

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズHDDナビコンポ

VXH-108VFi

オーディオ編



internavi
Premium Club



MP3 WMA AAC



Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点はお買い求めの販売店へご相談ください。

機能

FM/AM Digital TV CD/DVD Music Rack SD iPod USB VTR

DSP/SRS CS Auto・イコライザ・フェードバランス・BeatJam・MP3/WMA・ハンズフリー

※上記表の  はAV SOURCE画面に表示される各モードボタンを表します。

※iPodを接続するには別売のiPod接続コードが必要になります。  19ページ

※USBを接続するには別売のUSBコードAが必要になります。  19ページ

※VTR機器を接続するには別売のVTRコードが必要になります。

※BeatJamを使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamが必要になります。  19ページ

- Bluetooth対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。



T AD09-0033005

R 005WWCA0234

- 本製品には、株式会社リコーがデザイン制作したリコーJetフォントを使用しております。

ACCESS™
NetFront®

- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部は、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

このシステムでできること

はじめに／共通……………P11～43

- 本機を正しく使うための説明
- 映像やオーディオの調整

など

録音設定／データ管理……………P45～73

- 録音方法(手動／自動)の選択
- 録音のしかた
- HDDの情報
- ローカル／カスタムアップデート
- データの初期化
- BeatJam

など

CD……………P75～85

- CDを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生

など

MP3／WMA……………P87～103

- MP3／WMAを聞く
- フォルダや好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート再生

など

Music Rack……………P105～143

- Music Rackを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生
- 選曲モード(アルバム名／アーティスト名／ジャンルなど)から曲を選択する
- お気に入り登録
- タイトル情報の上書きやタイトル名の編集(変更)

など

ラジオ……………P145～157

- ラジオを聞く
- バンド(AMまたはFM)を選ぶ
- 手動／自動／エリア／プリセット選局
- 道路交通情報を聞く

など

映像 DVD／テレビ／VTR ……P159～253

- DVDを再生させる
- 地上デジタルテレビ放送を見る(12セグ／ワンセグ)
- VTR機能を使う

など

SD／iPod／USB……………P255～313

- SDカード／iPod／USBメモリデバイスに収録されているトラックを聞く
- iPodビデオを見る

など

ハンズフリー……………P315～351

携帯電話を操作することなく電話を受ける／かける

など

その他……………P353～391

- カスタマイズ機能
- システム設定
- リア席モニターについて(別売)
- 故障かな?と思ったときの対処方法や用語説明

など

- 本機の使用に関する全般的な説明およびナビゲーションの操作につきましては、別冊の取扱説明書 ナビゲーション編をお読みください。
- 本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

はじめに／
共通

録音設定／
データ管理

CD

MP3／WMA

Music
Rack

ラジオ

映像
DVD／テレビ
VTR

SD

iPod

USB

ハンズフリー

その他

目次(1)

はじめに／共通

P11~

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
BeatJamについて	15
SDカード／USBメモリデバイスについて	16、17
DVDビデオについて	18
別売の接続コードについて	19
はじめに	20、21
AV MENU画面について	22、23
AV SOURCE画面のモードボタンについて	23
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
画質調整のしかた	27~29
画質調整を初期値に戻すには	29
画面のイメージを変える	30
オーディオの調整をする	31~43
音場(臨場感)を変えるには	31~33
イコライザ(音質)を変えるには	34~37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整をするには	40、41
車速連動音量を設定する	42、43

録音設定／データ管理

P45~

録音方法の手動／自動を選択する	46、47
録音する	48~52
本機のMusic Rack(HDD)機能について	48
Music Rack(HDD)への録音について	49、50
録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する	50~52
データ管理	53~73
HDDの情報を知る	53
音楽データの修復をするには	54
音楽データの初期化をするには	55
Gracenoteデータベースタイトル情報の更新の流れについて	56、57
Gracenoteデータベースの更新をするには	58~62
Gracenoteデータベースのデータを初期化するには	63
BeatJamを利用する	64
BeatJamでできること	64
BeatJam使用上のご注意	65
ノートパソコンへ接続するには	66~73

CD

P75~

CDプレーヤーを使う	76~85
各部の名称とはたらき	76
表示部(再生画面)について	77
CDを聞く	78、79
CDモードを終了する	80
CDを取り出す	80
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)	81
早戻し／早送りをする	81
再生モードを選択する(リピート／ランダム／スキャン再生)	82、83
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	84、85

MP3/WMAについて ……88~93

MP3/WMAプレーヤーを使う …94~103

各部の名称とはたらき ……94

表示部(再生画面)について ……95

MP3/WMAを聞く ……96、97

MP3/WMAモードを終了する ……97

MP3/WMAディスクを取り出す …97

操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ

選曲する(トラックを戻す/進める) …98

早戻し/早送りをする ……98

好きなフォルダを選ぶ ……99

再生モードを選択する(リピート/

ランダム/スキャン再生) …100、101

トラックリストより好きなファイル

(曲)を選び再生させる ……102、103

ラジオを使う ……146~157

各部の名称とはたらき ……146、147

表示部について ……147

ラジオを聞く ……148

ラジオモードを終了する ……149

FM/AM放送を切り替える ……149

プリセット1/プリセット2を選ぶ…150

選局する ……151~153

プリセット(メモリー)する…154、155

交通情報を受信する ……156、157

Music Rackを使う ……106~143

各部の名称とはたらき ……106

表示部(再生画面)について ……107

Music Rackを聞く ……109

Music Rackモードを終了する …110

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲

する(トラックを戻す/進める) ……111

早戻し/早送りをする ……111

リスト表示より好きなトラックまたは

アルバムを選び再生させる…112、113

選曲モードより選択し

再生させる ……114~121

再生モードを選択する(リピート/

ランダム/スキャン再生) …122、123

アルバムリストの編集

(曲管理) ……124~131

トラックリストの編集

(曲管理) ……132~137

お気に入り进行管理する ……138、139

再生中の曲をお気に入り登録

する ……140、141

再生中の曲のジャンルとミュージック

エスコートを設定する ……142、143

目 次(2)

D V D

P159~

DVDプレーヤーについて	…160、161
DVDプレーヤーを使う	……162~191
各部の名称とはたらき	……162~164
再生を始める	……165~167
DVDモードを終了する	……167
DVDディスクを取り出す	……167
再生を停止する	……168
再生を一時停止(静止)する	……169
再生中にチャプターを戻す／ 進める	……170
早戻し／早送りをする	……170
コマ戻し／コマ送りをする	……171
スロー戻し／スロー送りをする	…171
DVDメニューを使う	……172、173
タイトルメニューを使う	…174、175
好きな所から再生する (サーチ選択)	……176、177
音声言語／字幕言語を切り替える	…178
時間の表示を替える	……179
リピート(繰り返し)再生する	……180
アングル(角度)を切り替える	……181
VRモードディスク内の映像をリスト より選択し再生させる	……182、183
DVDの初期設定について	…184~191
初期設定を変更する	……184~191

テ レ ビ

P193~

(デ ジ タ ル T V)

テレビについて	……194、195
地上デジタルテレビ放送について	…194
地上デジタルテレビ放送の 番組受信について	……195
B-CASカードについて	……196、197
B-CASカードについて	……196
B-CASカードを入れる／取り出す	…197
B-CASカードに関する お問い合わせ先について	……197
Digital TVを使う	……198~250
各部の名称とはたらき	……198~203
パネル部について	……198
バナー表示について	……198、199
タッチパネル部のボタン について	……200~202
デジタルメニューについて	……203
Digital TVモードにする	…204、205
Digital TVモードにすると	……205
Digital TVモードを終了する	……205
視聴エリアの変更(地方／県域の設定) をする	……206、207
中継局を探す	……207
初期スキャン／再スキャン／ エリアスキャンをする	……208、209
選局する	……210~213
プリセットボタンに メモリーする	……214、215
エリア呼出／プリセット呼出 について	……215
チャンネルリスト／プリセットリスト を初期化する	……216、217
番組表を見る	……218、219
映像を切り替える	……220
音声を切り替える	……221
字幕表示を切り替える	……222
バナー表示の設定	……223
郵便番号設定	……224
文字スーパーを切り替える	……225
チャンネル表示設定	……226、227
時計表示設定	……228、229

テレビ(デジタルTV)

自動切替(ワンセグ・12セグ・切替なし)の設定をする ……230、231
 サービスの設定をする ……232、233
 中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする ……234、235
 アンテナ電源の設定をする ……236、237
 受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する ……238、239
 B-CASカード(ICカード)のテストをする ……240、241
 放送局からの情報を見る ……242、243
 設定を初期化する ……244
 データ放送を利用する ……245～247
 リレーサービスの番組を見る ……248
 臨時サービスの番組を見る ……248
 緊急放送を見る ……249
 エラーコードについて ……250

SD

P255～

(SDカード)

SDカードの音楽再生について…256～258
 SDカードを使う ……259～269
 各部の名称とはたらき ……259
 表示部(再生画面)について ……260
 SDカードを聞く ……261、262
 SDモードを終了する…262
 SDカードを取り出す…262
 操作パネル上のボタンにて1曲ずつ
 選曲する(トラックを戻す／進める)…263
 早戻し／早送りをする ……263
 リスト表示より好きなトラックまたは
 フォルダを選び再生させる…264、265
 選曲モードより選択し
 再生させる ……266、267
 再生モードを選択する(リピート／
 ランダム／スキャン再生) ……268、269

VTR

P251～

VTR機能を使う ……252、253

目 次(3)

iPod

P271~

iPodについて	272~275
iPodとは	272
使用上のご注意	272
対応可能なiPod	273
iPodを本機に接続するには	274、275
iPodを本機に接続すると	275
iPodを使う	276~293
各部の名称とはたらき	276
表示部(再生画面)について	277
iPodを聞く	278
iPodモードを終了する	279
再生を止める(一時停止)	279
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ	
選曲する(トラックを戻す/進める)	280
早戻し/早送りをする	280
トラックリストより好きなトラックを	
選び再生させる	281
選曲モードより選択し	
再生させる	282~287
再生モードを選択する(リピート/	
シャッフル再生)	288、289
iPodビデオモードで映像データを	
再生させる	290~293

USB

P295~

(USBメモリデバイス)

USBメモリデバイスの音楽再生	
について	296~298
USBメモリデバイスを使う	299~313
各部の名称とはたらき	299
表示部(再生画面)について	300、301
USBメモリデバイスを	
本機に接続するには	302
USBメモリデバイスを聞く	302、303
USBモードを終了する	303
USBメモリデバイスの接続を	
やめるには	303
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ	
選曲する(トラックを戻す/進める)	304
早戻し/早送りをする	304
USBフラッシュメモリのリスト表示	
より好きなトラックまたはフォルダを	
選び再生させる	305
ウォークマンのリスト表示より	
好きなトラックまたはアルバムを	
選び再生させる	306、307
選曲モードより選択し	
再生させる	308~311
再生モードを選択する(リピート/	
ランダム/スキャン再生)	312、313

ハンズフリーについて	316~318
Bluetoothとは	316
ハンズフリーとは	316
音声について	316
安全上のご注意	316
使用上のご注意	317、318
初期登録設定	319~335
携帯電話を登録する	319~323
マニュアル設定するには	321
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する	324、325
携帯電話を切り替える	326
登録した携帯電話の自動接続を設定する	327
携帯電話のメモリを本機に登録する	328、329
車載機(本機)のBluetooth情報を見る	330
着信音量を設定する	331
受話音量を設定する	332
送話音量を設定する	333
自動的に保留する(自動応答保留)	334
パスキーを変更する	335
電話を受ける	336~341
着信音量を調整する	336
電話に出る	337
保留にする	338
通話を拒否(終了)する	339
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)	339
通話を携帯電話に切り替える	340
トーン入力する	341
電話をかける	342~349
電話番号から	342、343
リダイヤルから	344
履歴から	345~347
アドレス帳から	348、349
発着履歴を削除する	350
通話中に地図画面を表示する	351

カスタマイズ(Quick)機能について	354
時計を表示する	355
システムの設定について	356、357
リア席モニターについて(別売)	358
初期設定一覧	359
メッセージ表示について	360~362
故障かな?と思ったら	363~379
エリア番号と放送局一覧	380、381
用語説明	382~387
個人情報の取り扱い(初期化)について	388
索引	389~391

はじめに／共通

本機で再生できるディスク	12、13
データベースについて	14、15
BeatJamについて	15
SDカード／USBメモリデバイスについて	16、17
DVDビデオについて	18
別売の接続コードについて	19
はじめに	20、21
AV MENU画面について	22、23
AV SOURCE画面のモードボタンについて	23
音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する	24
音声はそのまま、画面を消す	25
音量を調整する	26
画質調整のしかた	27～29
画質調整を初期値に戻すには	29
画面のイメージを変える	30
オーディオの調整をする	31～43
音場(臨場感)を変えるには	31～33
イコライザ(音質)を変えるには	34～37
スピーカーを設定する	38、39
フェード・バランスの調整をするには	40、41
車速連動音量を設定する	42、43

本機で再生できるディスク

	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL
		CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※ はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CD-G
- CD-ROM
- CD-EXTRA
- DVD-ROM

■下記のディスクは再生できません。

- フォトCD
- VIDEO CD
- SA-CD
- SVCD
- Blu-ray
- HD DVD
- DVD-RAM
- DVDオーディオ

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- 記録に使用したレコーダとの相性が悪い場合
- CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3につきましては「MP3／WMAについて」88～93ページを参照してください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。[P] 161、182、183ページ
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。

[P] 「●DVD再生ディスク一覧表」161ページ

※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズが必要です。

DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

8cmディスクは対応しておりません。

※アダプターを使用しても再生できません。アダプターを使用しますとディスクを取り出せなくなる恐れがあり、故障の原因になります。

■dts-CD(dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD)について

CDモードでは再生できます。Music Rackモードでは正常に録音／再生できません。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に[CDロゴ]  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。また、ご使用になる前にディスクに付属されている説明書などをお読みください。

■特殊ディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクやCDリングプロテクターを装着したディスク、市販されているスタビライザーは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Disc、市販されているプロテクトフィルムは正常に出し入れや再生ができなくなる恐れがありますのでご使用にならないでください。

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、ハードディスクに収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

■Gracenoteデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信での業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright©2000-2009 Gracenote.

Gracenote Software：Copyright©2000-2009 Gracenote.この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDbはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください

[:www.gracenote.com/corporate](http://www.gracenote.com/corporate)



「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

Gracenoteデータベースのご利用について

■この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア (以下「Gracenoteソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenoteデータ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenoteサーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote プライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。

Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。

Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2009

BeatJamについて

別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROMでBeatJamをパソコンにインストールすることにより株式会社ジャストシステムのBeatJamサービスを利用することができます。

☎ 64～73ページ

SDカード／USBメモリデバイスについて

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■本機にはSDカード、USBメモリデバイスは付属しておりません。

※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。

■本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。

本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

●SDメモリーカード ●SDHCメモリーカード ●miniSDカード* ●microSDカード*

*：専用のアダプターが必要です。

■16GBまでの容量の“SDカード”“USBメモリデバイス”に対応しています。

■本機に接続できるUSBメモリデバイスはUSBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマンです。

USBフラッシュメモリとATRAC AD対応のウォークマン以外のものは接続しないでください。

動作保証できません。  296ページ参照

※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してiPodを再生させることもできます。

 275ページ

■フォーマット(初期化)について

●SDカードのフォーマットは本機で行なってください。

 別冊の取扱説明書ナビゲーション編「データを初期化(消去)する」275、276ページ

※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使えない場合があります。本機で初期化を行なったから使用してください。

●USBメモリデバイスのフォーマットは本機で行なえません。お手持ちのパソコンなどで行なってください。(FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。)

■microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。

■“miniSDカード”／“microSDカード”を使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

■miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。

■SDカード挿入口やUSBの端子に異物を入れないでください。SDカードやUSBメモリデバイスを破損する原因になります。

- SDカード／USBメモリデバイスへのデータ書込中／読み込み中／HDDにデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンを切らないでください。データが破損されることがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所では、SDカードやUSBメモリデバイスを使用しないでください。また、放置しないでください。データが破壊されることがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態ではSDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
 - Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」56～62ページ
 - 画像の追加やコピー
 -  別冊の取扱説明書ナビゲーション編
 - 「画像を追加する」253～255ページ
 - 「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」256～258ページ
 - 音楽再生  255～269ページ
 - ※対応可能なSDカードと再生につきましては257ページを参照してください。
- 本機はUSBメモリデバイスを使用して下記機能を使用することができます。
 - Gracenoteデータベースのアップデート  「データ管理」56～62ページ
 - 画像の追加やコピー
 -  別冊の取扱説明書ナビゲーション編
 - 「画像を追加する」253～255ページ
 - 「画像をSDカード／USBメモリデバイスにコピーする」256～258ページ
 - 音楽再生  295～313ページ
- SDカード、USBメモリデバイス内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間で使用になったあと、SDカードやUSBメモリデバイスが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカード、USBメモリデバイスが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードに誤消去防止スイッチ（LOCK）が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込みまたは初期化（フォーマット）できません。「LOCK」を解除してください。
- SDカード／USBメモリデバイスの最適化は行なわないでください。
- SDカード／USBメモリデバイス内のデータは圧縮しないでください。圧縮したデータは再生できません。

※本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

DVDビデオについて



本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕



DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。



アドバイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

●マクロビジョン

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

●ドルビーデジタル

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

●dts



米国特許番号：5,451,942；5,956,674；5,974,380；5,978,762；6,487,535、およびその他の米国や世界中に申請中並びに審理中の特許ライセンスに基づき製造されています。DTSは登録商標です。DTSロゴとシンボルおよび2.0 ChannelはDTS, Inc.の商標です。

©1996-2009 DTS, Inc. All Rights Reserved.

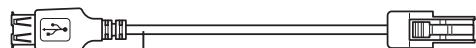
別売の接続コードについて

別売のUSB接続コード☆ (USBコードA)、iPod接続コード◎、USB接続コード& BeatJam★を使用すると、iPodやUSBメモリデバイスの音楽を聞いたり、ノートパソコンに接続して曲を本機に転送したりすることができます。

はじめに
共通

「DVDビデオについて」／「別売の接続コードについて」

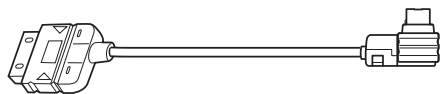
【USB接続コード】☆



USBコードA

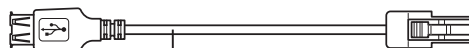
☆：USBメモリデバイス／iPodの音楽再生が可能です。

【iPod接続コード】◎

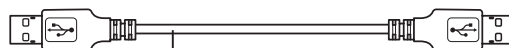


◎：iPodの動画・音楽再生が可能です。

【USB接続コード& BeatJam】★



USBコードA



USBコードB

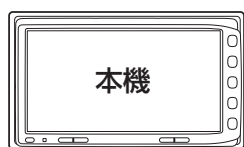


CD-ROM
(BeatJam)

★：USBメモリデバイス／iPodの音楽再生、PC接続 (BeatJamの使用) による音楽データの転送が可能です。

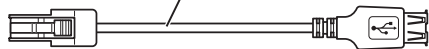
※使用例は以下の通りとなります。☆★◎マークの付いている別売品で対応可能です。

■ USBメモリデバイスを再生させる場合 ☆／★



本機

別売 USBコードA
(USBモードで再生)



USB
メモリデバイス



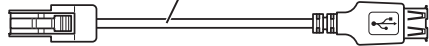
☞ 295～313ページ

■ iPodを再生させる場合 ☆／★／◎

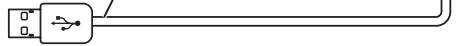


本機

別売 USBコードA (☆／★)
(USBモードで再生)



iPod本体に付属され
ているUSBケーブル

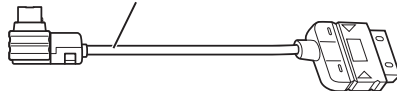


iPod



本機

別売 iPod接続コード (◎)
(iPodモードで再生)



iPod



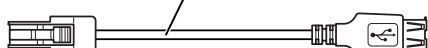
☞ 271～293ページ

■ BeatJamを使用する場合 ★

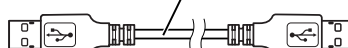


本機

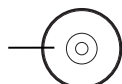
別売 USBコードA (☆／★)



別売 USBコードB (★)



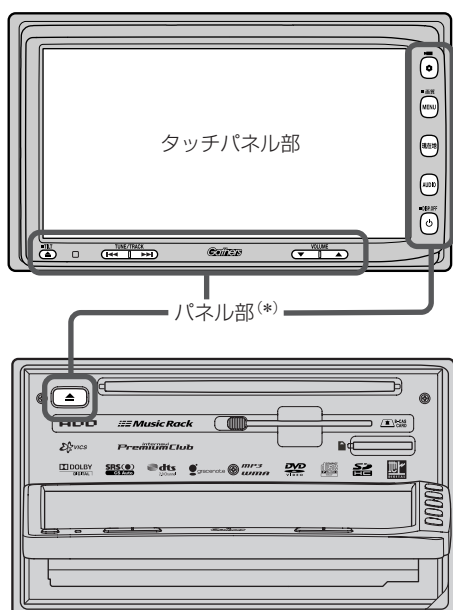
CD-ROM
(BeatJam)



ノート
パソコン

☞ 64～73ページ

はじめに



本書では、

タッチパネル部のボタンは画面の“○○ボタンをタッチする”
パネル部*のボタンはパネルの“○○ボタンを押す”と記載しています。
(*：使用するボタンは白色表示しています。)

※本書のマークについて



……………本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、
知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。



お願い……………お車のために守っていただきたいことを表しています。



……………画面上でタッチパネル操作を表します。



……………操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。



……………操作を行なった結果を説明します。



……………パネル部のボタンを表します。



……………タッチパネル部のボタンを表します。

- パネル部の詳細につきましては別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 44ページを参照してください。

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面(オーディオモード画面)とはFM/AM/Digital TV/CD/DVD/MP3/WMA/Music Rack/SD/iPod/USB/VTRモード時を示します。(モード指定がある場合は明記しています。)

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 **2** (21ページ)へ進んでください。

1

車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の取扱説明書 ナビゲーション編43ページを参照してください。



起動初期画面



モード表示画面(USBモード画面(例))



アイコン表示
(USBモード選択中)

- | | | |
|--------------------------|-----------------------|---------------------------|
| FM …FMモード(ラジオ) | AM …AMモード(ラジオ) | DTV …Digital TVモード |
| CD …CD/MP3/WMAモード | DVD …DVDモード | MR …Music Rackモード |
| SD …SDモード | iPod …iPodモード | USB …USBモード |
| | | VTR …VTRモード |



お願い

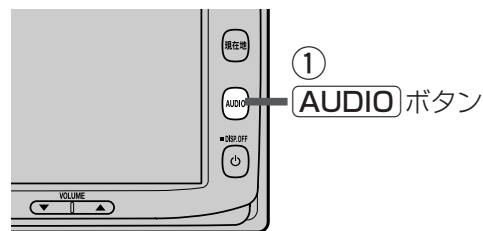
車のエンジンスイッチを I (ACC) (エンジンを停止したまま) の状態で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合にしたがって操作してください。

■ ナビゲーション画面または他のモードが表示された場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。



AV MENU画面(例)



□ AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

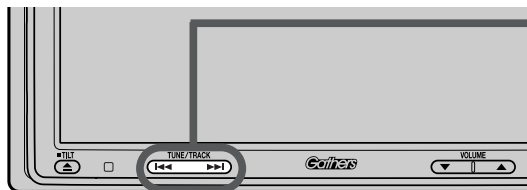
② 操作したいモード (**FM/AM** / **Digital TV** / **CD/DVD** / **Music Rack** / **SD** / **iPod** / **USB** / **VTR**) ボタンをタッチする。

■ 操作したいモード画面が表示された場合

76～313ページにしたがって、ご希望の操作をしてください。



アドバンス



● 各モードに合わせて呼び名を変えています。

トラック ボタン…CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/iPod/USB

選局 ボタン…FM/AM/Digital TV

スキップ ボタン…DVD

設定の保持について

- **決定** ボタンのある画面では、**決定** ボタンをタッチすると設定が保持されます。
決定 ボタンをタッチしないで **戻る** ボタンをタッチまたは **MENU** / **現在地** ボタンを押すと設定は保持されません。
- **決定** ボタンのない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。
(例：映像/オーディオ調整など)

AV MENU画面について

AV MENU画面はパネルの **AUDIO** ボタンまたは **MENU** ボタンを押して表示させます。そのとき、選択するボタン (**AV SOURCE** / **AUDIO設定** / **システム設定**) によってAV SOURCE、AUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

● **AUDIO** ボタンを押した場合



- ★1：ナビゲーション画面のときはAV MENUまたはラストモードを、オーディオ画面のときはAV MENUを表示します。
※ラストモードのときは、もう一度 **AUDIO** ボタンを押すとAV MENUを表示します。

● **MENU** ボタンを押した場合



AUDIO設定画面／システム設定画面は最終選択時の状態を保持するため、状態によっては **AUDIO設定** または **システム設定** ボタン選択の操作は省略することができます。

- ★2：ナビゲーション画面のときに **MENU** ボタンを押すとNAVI MENUが表示されるので **AUDIO** ボタンを押して* AV MENUを表示させてください。（*：ラストモードのときは、もう一度 **AUDIO** ボタンを押します。）



アドバイス

AV MENU画面(例)



- 表示させたAV MENU画面は、**MENU** ボタン／**AUDIO** ボタンのどちらを押して表示させたかにかかわらず、**AV SOURCE** / **AUDIO設定** / **システム設定** ボタンを選択できます。
- ☆1： **交通情報** ボタンをタッチすると交通情報画面を表示します。 156ページ
- ☆2： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

選択可能モードは
文字が黒色表示*1



選択不可能モードは
文字が灰色表示



選択中モードの場合、
文字およびアイコン青色表示



*1印：SDカード未挿入／USB未接続の場合でもモードボタンは選択できますが、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

*2印：*3のとき、一度他のモードにすると選択不可(*2の状態)となります。

●CD/DVD表示について

CD/DVD モードボタンは使用状態によって表示が異なります。

CD/DVD未挿入時*2



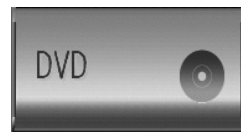
CD選択再生中に
ディスクを抜いた時*3



CD/MP3/WMA
ディスクを挿入し再生時



DVDディスクを
挿入し再生時



アドバイス

●各モードボタンをタッチすることによってそれぞれのモードへと切り替わります。

FM/AM = FM/AMモード(ラジオモード)

Digital TV = Digital TVモード(地上デジタルテレビ放送)

CD/DVD = CD/DVD/MP3/WMAモード

Music Rack = Music Rackモード

SD = SDモード

iPod = iPodモード

USB = USBモード

VTR = VTRモード

※ **CD/DVD** ボタンはディスク挿入の有無によって **CD** ボタン／ **DVD** ボタンと表示が変わります。

※SDモードを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

※iPodモードを使用するには別売のiPod接続コードを使用してiPodを接続しておく必要があります。

※USBモードを使用するには別売のUSBコードAにUSBメモリデバイスを接続しておく必要があります。

(iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用して、USBモードでiPodを再生させることもできます。)

☎ 19、275ページ)

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各モードの画面で、 パネルの **現在地** ボタンを押す。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。



アドバイス

右画面にAVを表示する設定にしている場合は、ナビゲーションとオーディオの同時表示となります。



ナビゲーション画面 オーディオ画面

「カスタマイズ(Quick)機能について」 354ページ

CDモード画面(例)



1 **現在地** ボタン



■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：選択中モードの画面に戻り、選択中モードのタッチパネルでの操作が可能になります。

再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、パネルの **現在地** ボタンを押してください。

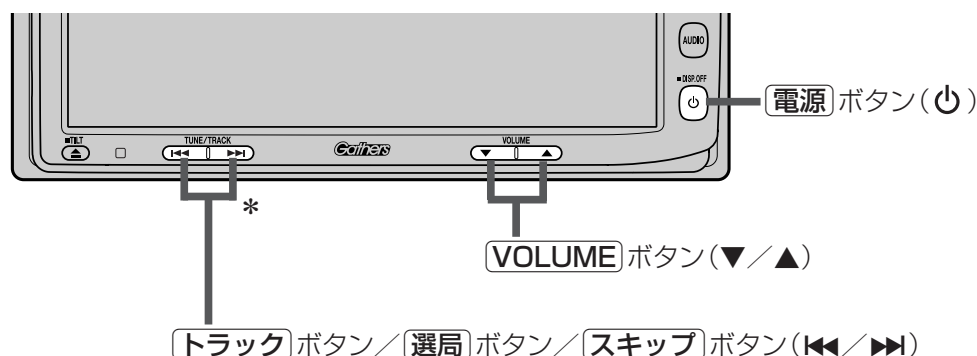


① **AUDIO** ボタン



アドバイス

オーディオの音量調整 (**VOLUME** ボタン)や◀▶を使っての操作、AVのOFF/ON(**電源** ボタン)は、ナビゲーション画面のままでできます。



*用途によって呼び名が変わります。

「21ページアドバイス参照」

音声はそのまま、画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

- 1 パネルの **電源** ボタン(⏻)を2秒以上押す。
：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

USBモード画面(例)

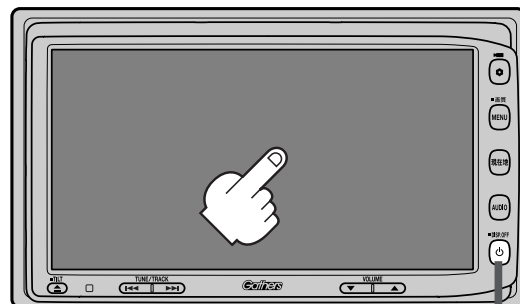


1 **電源** ボタン(⏻)

再度、画面を表示する場合

画面をタッチするか、再度 **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



電源 ボタン(⏻)



アドバイス

音声はそのまま画面中央に時計のみ表示させることもできます。

📖 「時計を表示する」 355ページ

音量を調整する

USBモード画面(例)



音量を調整すると画面に現在の音の大きさを示すVOLUME (バーと数値*)が表示されます。
VOLUME表示は約2秒間表示されます。

* : 0~40

1 VOLUME ボタン(▼/▲)

1 パネルの **VOLUME** ボタン(▼/▲)を押す。

▲側：音量が大きくなります。

▼側：音量が小さくなります。

※押しつづけて調整することもできます。



アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「音声案内の音量を調整／案内設定をするには」
223~226ページ

- 音量は各モードで個別に設定できます。

- OPTION** ボタン(🔊)にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編 249、250ページ

画質調整のしかた(1)

FM/AM/CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/iPod/USBモード画面のとき、明るさ/コントラスト調整ができます。Digital TV/DVD/VTRモード画面のときは、明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い/ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ/コントラストの調整となります。)



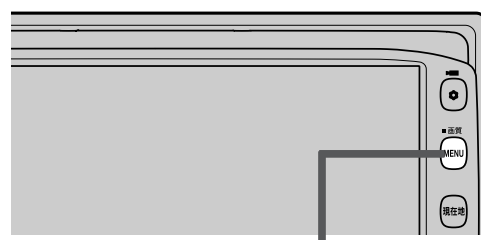
アドバンス

- *印：ディスプレイ選択はノーマル/フル/ワイド/シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、Digital TVモードの場合はフル固定となります。
- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ/コントラスト調整となります。
- 画質は、FM/AM/CD/MP3/WMA/Music Rack/SD/iPod/USBの画面、Digital TVの画面、DVDの画面、VTRの画面で別々に調整することができます。

1

パネルの **MENU** ボタンを2秒以上押す。

：画面右側に画面設定画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

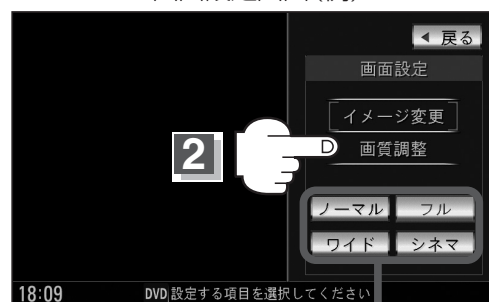
2

画面の **画質調整** ボタンをタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

*:ディスプレイ選択をする場合は29ページ
「■ **ディスプレイ選択の場合** 」を参照してください。

画面設定画面(例)



DVD/iPodビデオ/VTRモード画面の場合に表示されます。(ディスプレイ選択*)

3

調整したい項目(**明るさ** / **コントラスト** / **色の濃さ** / **色合い** ボタン)をタッチする。

画質調整画面(例)

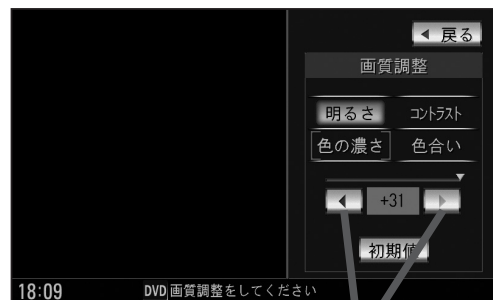


画質調整のしかた(2)

4

画面の◀/▶ボタンをタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)



4



- 調整はタッチパネルの◀ボタンまたは▶ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。
- 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)の調整値をメモリーしています。ライトをつけている/ライトを消しているときで、それぞれ、お好みの値に調整してください。

■ 明るさ(1~31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると暗くなり、▶ボタンをタッチすると明るくなる。

■ コントラスト(1~31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると黒さが増し、▶ボタンをタッチすると白さが増す。



直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は(+側へ)▶ボタンをタッチして白さを増してください。

■ 色の濃さ(1~31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると淡くなり、▶ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1~31)調整の場合

◀ボタンをタッチすると赤が強くなり、▶ボタンをタッチすると緑が強くなる。



人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ ディスプレイ選択の場合 (DVD/iPodビデオ/VTRモード画面の場合)

手順 **1** (27ページ)で画面設定画面を表示する。

ノーマル/フル/ワイド/シネマの4つのタイプの中から、好きな表示画面のボタンをタッチする。

※ディスプレイ選択の場合、ボタンをタッチした時点で確定(決定)となります。

画面設定画面(例)



- ノーマル : 4 : 3の映像の画面
- フル : 4 : 3の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9にした画面
- ワイド : “フル” の違和感を少なくした画面
- シネマ : 4 : 3の映像をそのまま拡大した画面



アドバンス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

5 設定を終わるには…
調整画面が消えるまで待つか画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバンス

- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

画質調整を初期値に戻すには

手順 **3**、**4** (27、28ページ)で調整した画質(明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合い)を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

画質調整画面で画面の **初期値** ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面(例)

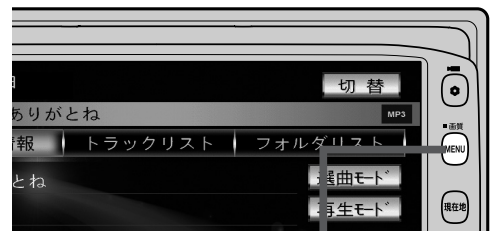


画面のイメージを変える

背景やボタンのイメージ(色合い)を変更することができます。

- 1 パネルの **MENU** ボタンを2秒以上押す。
：画面右側に画面設定画面が表示されます。

USBモード画面(例)



1 **MENU** ボタン

- 2 画面の **イメージ変更** ボタンをタッチする。
：イメージ変更画面が表示されます。
※画面設定画面は、画面に映像を表示するモードの場合に、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。 「■ ディスプレイ選択の場合」 29ページ

画面設定画面(例)

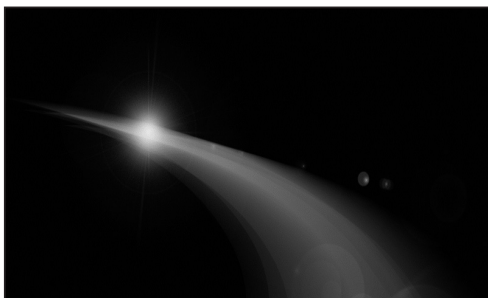


- 3 画面の **ライトパープル** または **ブルー** ボタンをタッチする。
：選択したイメージ(色合い)で表示されます。
※選択中ボタンのイメージも変わります。

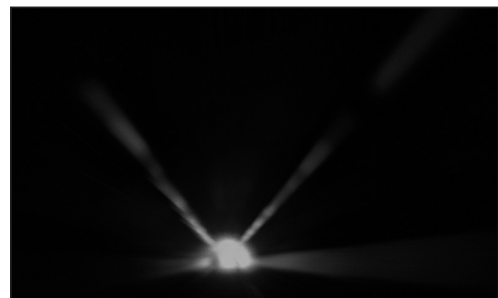
イメージ変更画面



ライトパープル設定時



ブルー設定時



※出荷状態(初期状態)は、ライトパープルに設定されています。

- 4 設定を終わるには…
画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。
※すでにイメージ(色合い)を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

オーディオの調整をする(1)

AUDIO設定

音場(臨場感)を変えるには

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、音場(臨場感)を変えることはできません。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))

1 オーディオモード画面で パネルの **MENU** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを
2回押します。

※音場はLIVE/HALL/STADIUM/
CHURCH/SRS CS Autoの5種類です。

手順 **3** で選択した
音場が表示されます。

1 **MENU** ボタン



2 画面の **AUDIO設定** の **音場** ボタンを タッチする。

：音場設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)

2 -2



- 交通情報設定画面(156ページ)の場合、音場(臨場感)は得られません。(**音場** ボタンは選択できません。)
- AV MENU画面につきましては 222ページを参照してください。

3 お好みの音場(DSP/SRS CS Auto)を選択します。

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

ライブ
LIVE：音場をライブハウス

ホール
HALL：音場をコンサートホール

スタジアム
STADIUM：音場をスタジアム

チャーチ
CHURCH：音場を残響音の多い教会
に設定します。

① **DSP** ボタンをタッチし、お好みの音場
ボタン(**LIVE** / **HALL** / **STADIUM** /
CHURCH)をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

音場設定画面(例)



DSP選択時SRS CS Autoは設定できません。
(※SRS CS Autoの同時使用はできません。)

共通
はじめに

「画面のイメージを変える」

「音場を変える」

オーディオの調整をする(2)

■ SRS CS Autoを使用する場合

センタースピーカーやサブウーファーがなくても4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

① **SRS CS Auto** をタッチする。

：SRS (の音場) 効果で再生されます。

● SRS CS Autoを選択したときは…

1. 各項目(**FOCUS**／**TruBass**／**MixToRear** ボタン)と**－**／**＋** ボタンをタッチして音の高さ／低音の強さ／音の位置をお好みの値に調整することができます。

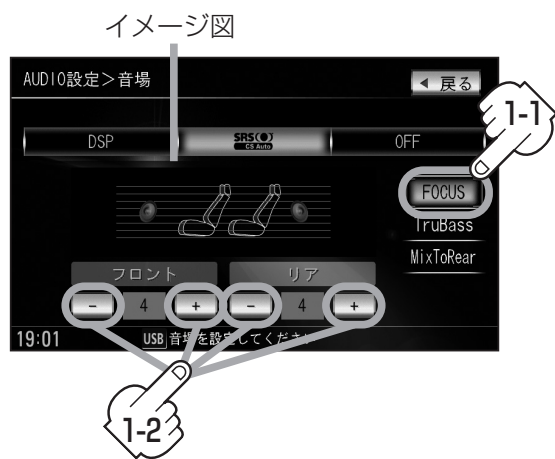


SRS ^{フォーカス} FOCUS ：耳の高さから音が聞こえるように調整できます。

SRS ^{トゥルーバス} TruBass ：低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
(サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。)

SRS ^{ミックストゥリア} MixToRear ：フロントの音をリアにふり分けることができます。
(後席でもセリフなどを聞きやすくできます。)

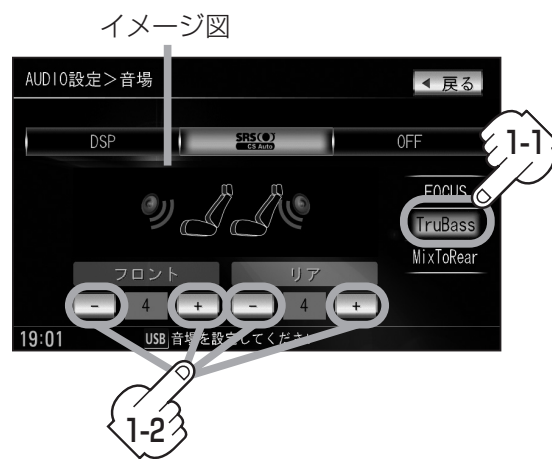
□ **FOCUS** ボタンを選択した場合



フロントまたはリアの音の高さを

- －** ボタンタッチで低くし、
- ＋** ボタンタッチで高くします。(0～8)

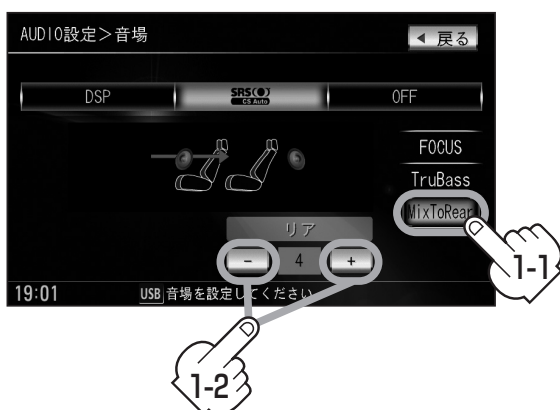
□ **TruBass** ボタンを選択した場合



フロントまたはリアの低音のレベルを

- －** ボタンタッチで下げ(弱くし)、
- ＋** ボタンタッチで上げ(強くし)ます。(0～8)

□ MixToRear ボタンを選択した場合



フロントスピーカーの成分をリアスピーカーへ

- － ボタンタッチでレベルを下げ(出力を弱める)、
- ＋ ボタンタッチでレベルを上げ(出力を強め)ます。(0～8)



アドバイス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに音場を選択している場合はその音場で確定(決定)されます。
- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- **SRS CS Auto** はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合もあります。
- 表示されるイラストは音場を表すためのイメージ図です。
- 手順 **3** (31、32ページ)で音場を選択するとイコライザの設定(34～37ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は音場設定画面(31～33ページ手順 **3**)で **OFF** ボタンをタッチしてください。



オーディオの調整をする(3)

イコライザ(音質)を変えるには

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザの中心周波数や効果を自在に調整することができるため、微妙な音響調整をすることができます。

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、イコライザの設定をすることはできません。

1

オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **イコライザ** ボタンを
タッチする。

：イコライザ画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



AV MENU画面につきましては 22ページを参照してください。

3

好みの音質の選択または中心周波数(周波数帯域)の設定をします。

■ お好みの音質を選択する場合

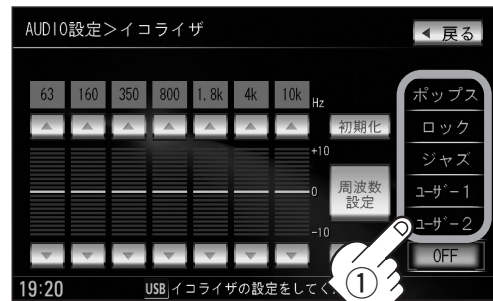
①音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。

右記

イコライザ画面



ポップス/ロック/ジャズは本機に既存の値が再生されています。ユーザー1/ユーザー2はイコライザの値がOFF状態(±0)となります。

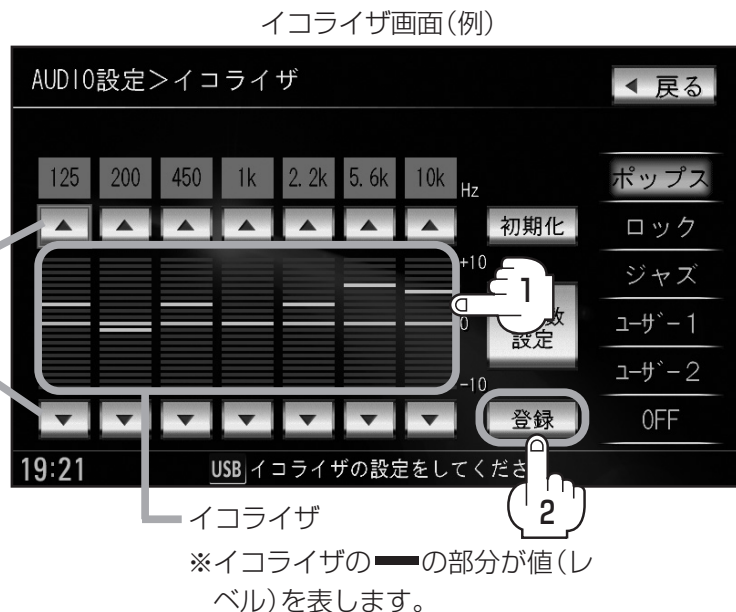
※お好きな値に調整することもできます。 35、36ページ

□ お好きな値に調整するには…

1. 値を調整する。

：イコライザをタッチする方法と
▲／▼をタッチして調整する
方法の2種類があります。

▲：レベルアップ
▼：レベルダウン

2. **登録** ボタンをタッチする。

：調整した値で上書き保存されます。

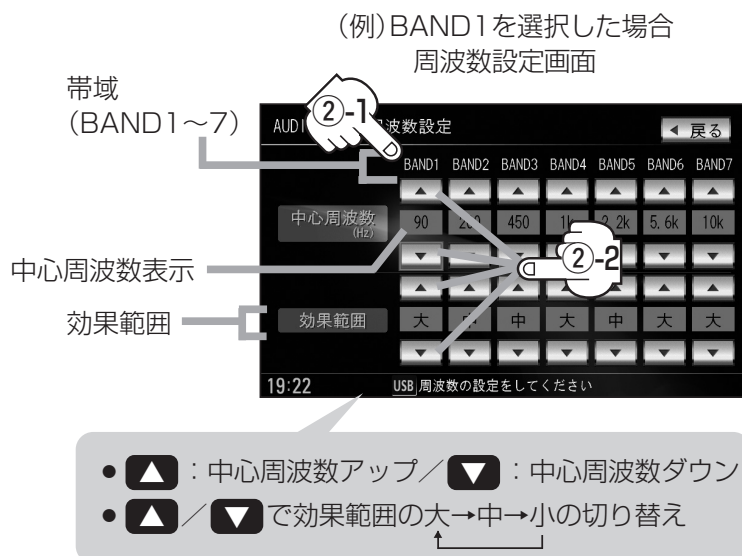
■ 中心周波数と効果を設定する場合

- ① 設定したい音質ボタン(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**)をタッチし、
周波数設定 ボタンをタッチする。



：周波数設定画面が表示されます。

- ② 調整したい帯域(BAND1～7)を選択し、
中心周波数または効果範囲の▲／▼
をタッチする。



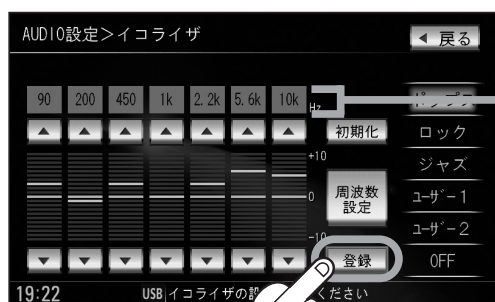
- ③ **戻る** ボタンをタッチする。



：調整した値を保持しながらイコライザ画面に戻ります。

オーディオの調整をする(4)

④ 登録 ボタンをタッチする。



中心周波数の値を表示

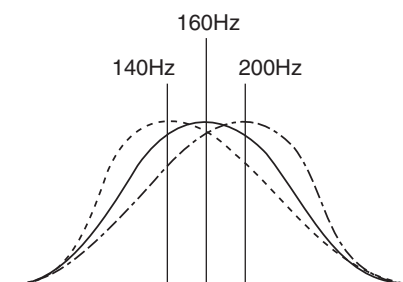
：設定した値は上書き保存されます。



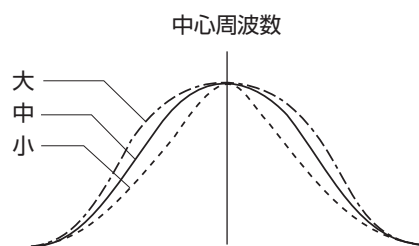
アドバイス

● 中心周波数と効果範囲の設定について

- ・ 中心周波数を調整することによってレベル補正の中心となる周波数を設定することができます。



- ・ レベルを調整したときのレベルの効果(変わりかた)を設定することができます。
大…中心周波数付近で大きくレベルが上がります。
中…大と小の間となります。
小…ゆるやかにレベルが変わります。



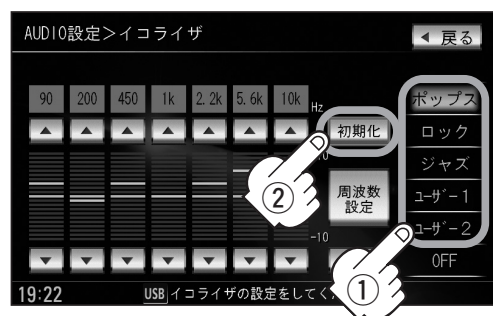
■ 調整した値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

① イコライザ画面で初期化したい音質ボタン

(**ポップス** / **ロック** / **ジャズ** / **ユーザー1** / **ユーザー2**) をタッチする。

② 初期化 ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。



4

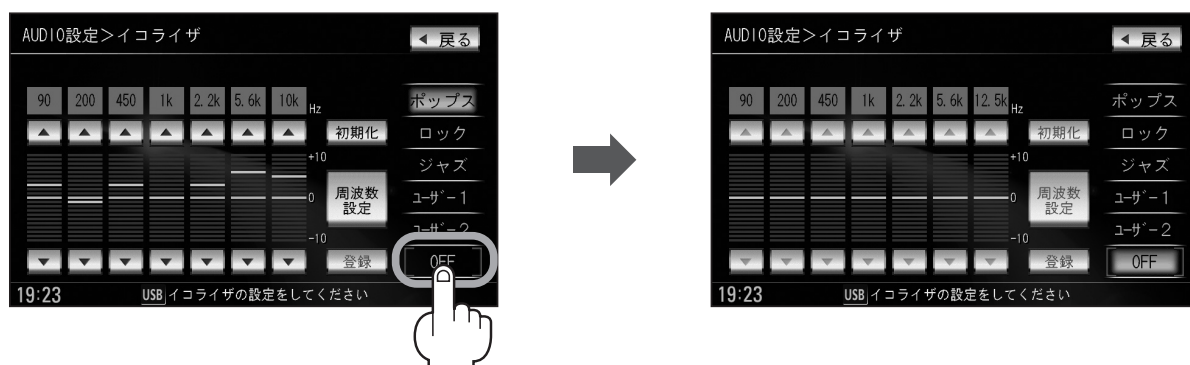
設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



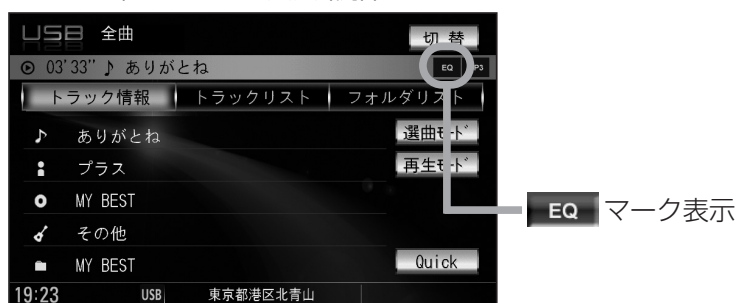
アドバイス

- イコライザ画面で **OFF** ボタンをタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。



- **登録** ボタンをタッチする前に **戻る** ボタンをタッチした場合、設定した値は保存されずAV MENU画面に戻ります。
- 手順 **3** (34ページ)で音質を選択(イコライザの設定を)すると音場(31～33ページ)は自動的に **OFF** 選択となります。
- イコライザ設定中はオーディオモード画面のとき **EQ** マークが表示されます。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



はじめに
共通

「音質を変える」

オーディオの調整をする(5)

スピーカーを設定する

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時(☞31～33ページ)の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

位置／大きさ	LARGE	SMALL
フロント	17cm以上	16cm以下
リア	17cm以上	16cm以下

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、スピーカーの設定をすることはできません。

1

オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **スピーカー** ボタンを
タッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



AV MENU画面につきましては☞22ページを参照してください。

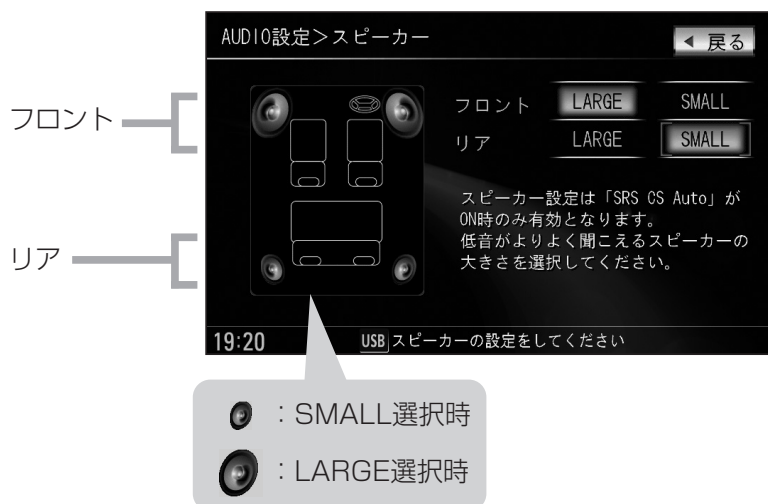
3

上記表を参照して画面の **LARGE** / **SMALL** ボタンをタッチする。

スピーカー設定画面



選択した結果が反映される



アドバイス

17cm以上の場合はLARGE、16cm以下の場合はSMALLの設定をおすすめします。
※スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選択してください。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更した設定で確定(決定)されます。

オーディオの調整をする(6)

フェード・バランスの調整をするには

^{バランス}
BALANCE：左または右スピーカーの音量調整

^{フェード}
FADE：前または後ろスピーカー音量調整

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、フェード・バランスの調整をすることはできません。

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **フェードバランス** ボタンをタッチする。

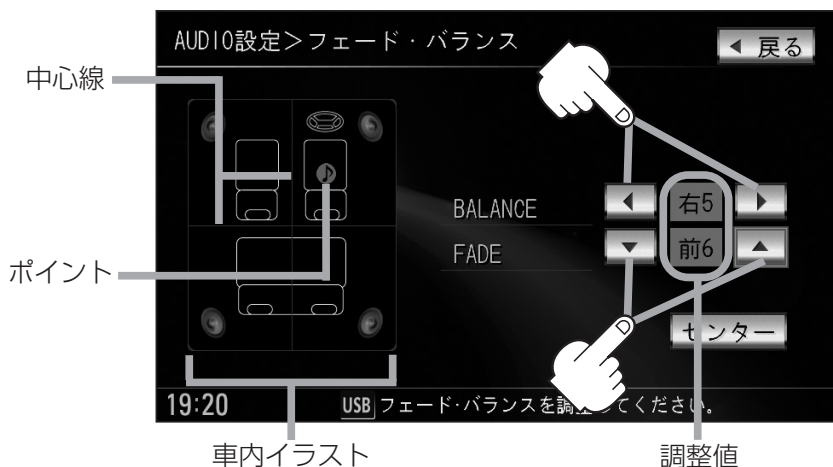
：フェード・バランス設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



AV MENU画面につきましては **22** ページを参照してください。

3 調整したい項目 (BALANCE/FADE) の ◀ / ▶ / ▲ / ▼ ボタンをタッチして値を調整する。



- 車内イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。

バランス BALANCE (左9～右9)

◀ ボタンタッチ

：右スピーカーの音量が下がります。

▶ ボタンタッチ

：左スピーカーの音量が下がります。

フェード FADE (前9～後9)

▼ ボタンタッチ

：前スピーカーの音量が下がります。

▲ ボタンタッチ

：後ろスピーカーの音量が下がります。



アドバイス

- 調整時に ◀ / ▶ / ▼ / ▲ ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

4

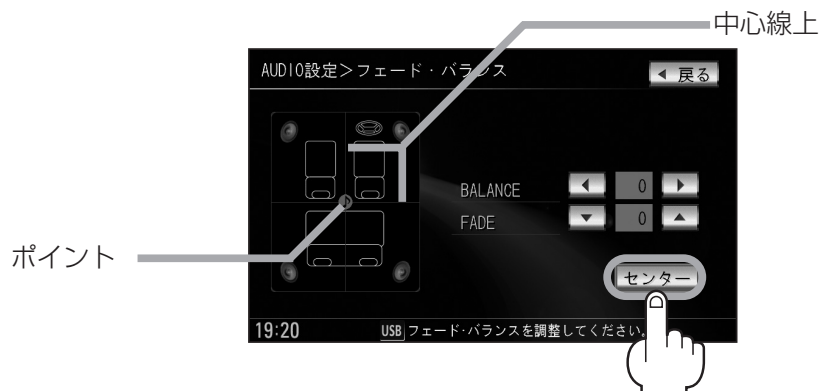
設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されます。
- センター** ボタンをタッチするとBALANCE/FADEの調整値が0になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。



オーディオの調整をする(7)

車速連動音量を設定する

車の走行速度によって発生する走行ノイズの大きさに反応し、オーディオの音量を自動で調整します。

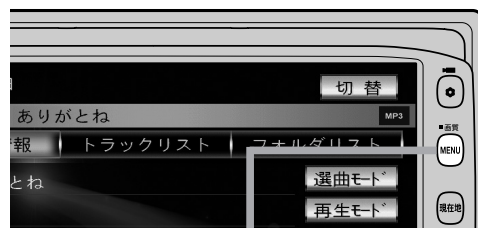
1

オーディオモード画面でパネルの
MENU ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **車速連動音量** ボタン
をタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



AV MENU画面につきましては 22ページを参照
してください。

3

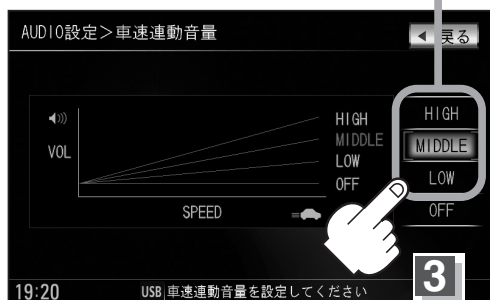
設定したい音量
(**HIGH** / **MIDDLE** / **LOW** ボタン)を
タッチする。

※車速(走行速度)に応じて音量変化は

- HIGH…大きい
- MIDDLE…HIGHとLOWの間
- LOW…小さい

となります。

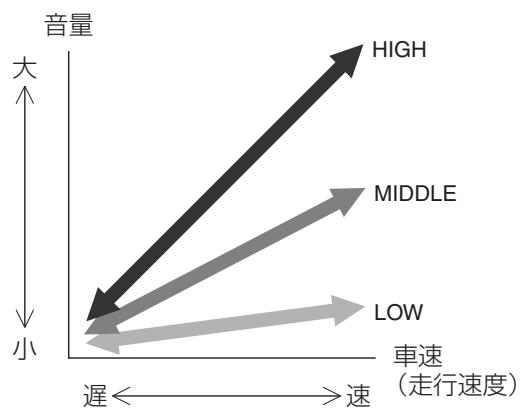
連動音量



4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

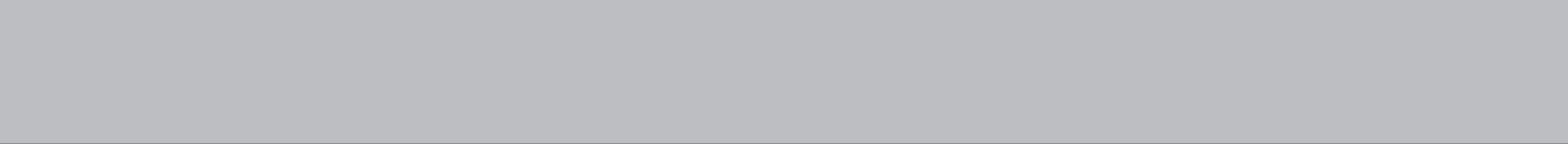


- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ（小さくし）ます。
※高速走行中など速度を上げているときに発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 連動音量を設定しない場合は左記手順 **3** のとき **OFF** ボタンを選択します。



- 車内イラストは音の出力を表すイメージ図です。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
すでに設定を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。



録音設定／データ管理

**Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートと
カスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)に
つきましては弊社ホームページから提供しております。(注)**

(注) 操作方法につきましては、

<http://www.honda.co.jp/ACCESS>をご参照してください。

また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音方法の手動／自動を選択する	46、47
録音する	48～52
本機のMusic Rack(HDD)機能について	48
Music Rack(HDD)への録音について	49、50
録音速度を選択し、録音方法／録音音質を 選択する	50～52
データ管理	53～73
HDDの情報を知る	53
音楽データの修復をするには	54
音楽データの初期化をするには	55
Gracenoteデータベースタイトル情報の更新の 流れについて	56、57
Gracenoteデータベースの更新をするには	58～62
Gracenoteデータベースのデータを 初期化するには	63
BeatJamを利用する	64
BeatJamでできること	64
BeatJam使用上のご注意	65
ノートパソコンへ接続するには	66～73

録音方法の手動／自動を選択する

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲をMusic Rack(HDD)へ録音することができます。
録音には手動録音と自動録音があります。

1

オーディオモード画面でパネルの
MENU ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **録音** ボタンを
タッチする。

：手動・自動／音質設定画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



アドバイス

AV MENU画面につきましては **52** ページを参照してください。

3

録音方法(**手動録音** ／ **自動録音** ボタン)
を選択する。

■ **手動録音** ボタンをタッチした場合

：CDモード画面で録音モード(追っかけ／マッハリッピング)／録音方法(全曲録音／選択曲録音)

／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して
録音開始 ボタンをタッチすると録音を開始します。

51 「**録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する**」

50～52ページ

■ **自動録音** ボタンをタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機
(Music Rack)に曲の録音(追っかけ録音)を開始します。

50、**78** ページ参照

※本機の録音方法(初期設定)は“自動録音”に設定されています。

手動・自動／音質設定画面(例)



音質の選択や録音可能時間、HDDの残容量の確認もできます。

51 音質選択51ページ



アドバイス

- すでに本機(Music Rack)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、**●録音** ボタンをタッチして録音を開始させてください。
▶ 50～52ページ
- 録音を開始する前に▶ 「録音する」48、49ページを必ずお読みください。

4

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：設定は確定(決定)され、**戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に、**AUDIO** ボタンを押すと選択中モード画面に戻ります。

録音する(1)

本機のMusic Rack(HDD)機能について

本機には主に下記に示すようなMusic Rack(HDD)機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加(Gracenoteデータベース収録済)
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどを選曲モードの各ボタンに自動で振り分け
※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト” 作成可能
- Gracenote音楽認識サービスからタイトル情報取得可能
- マッハリッピング(高速録音)機能により録音時間の短縮化を実現
- 設定により手動録音／自動録音の選択が可能
- 別売のBeatJamを使って本機へ曲の転送(チェックアウト)や本機の曲をパソコンへ移動(アップロード)



- 選曲モードの各ボタンへの振り分けは収録しているデータベースに合致した場合に行なわれ、自動振り分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下のとおりとなります。

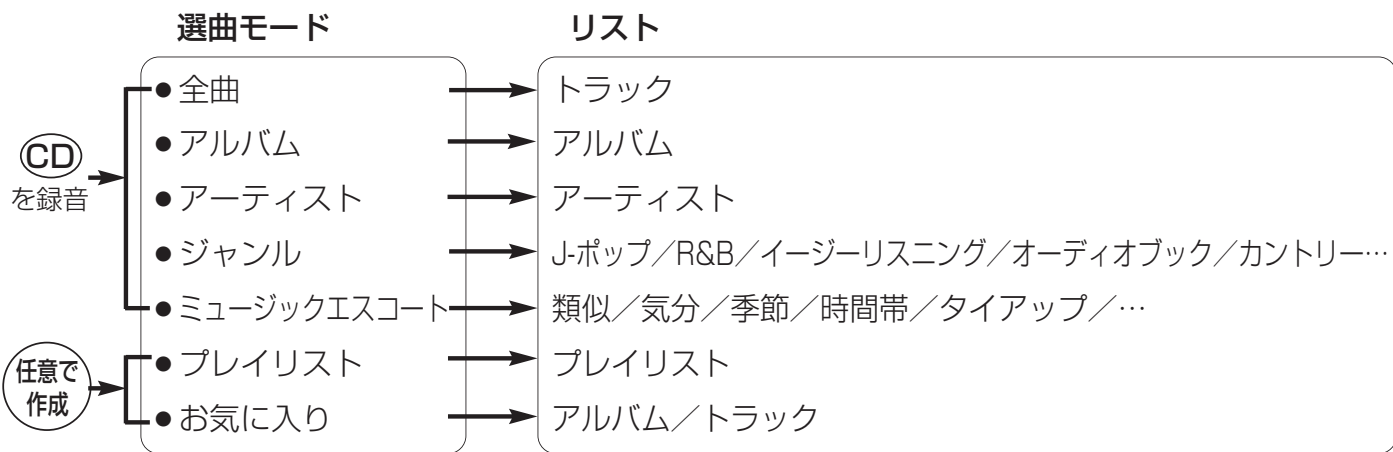
録音可能曲数☆	約3500曲
最大容量	14GB

- ※☆印：録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4000曲となります。)
- ※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。
- Music Rack(HDD)には4つのアルバムと4つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1つのアルバムフォルダに200アルバム、1つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。
- マッハリッピング機能により通常の最大14倍速録音が可能となるため、時間がないときなどに便利です。
(マッハリッピング(高速録音)中はCDモードでは無音となります。また、マッハリッピング中にCD以外のモードにすると、録音速度が低下することがあります。)
- Gracenoteデータベースについては58～73ページをご覧ください。

■ Music Rackの構成について 108ページ参照

本機に録音された音楽CDは自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲モードの各ボタンに振り分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲モードの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。

※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。



Music Rack(HDD)への録音について

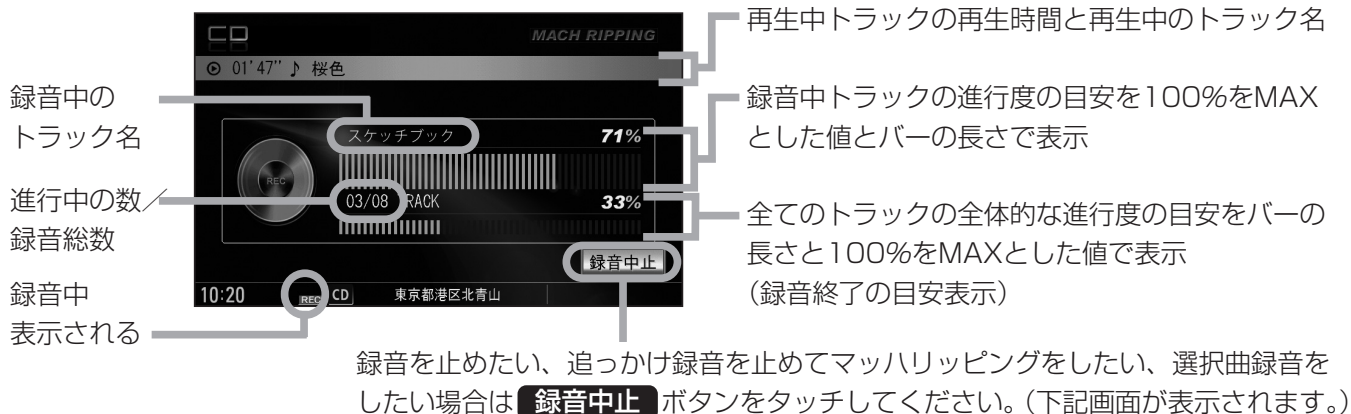
- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ（録音内容など）、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。
- 録音中に車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となる恐れがあります。

- 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでにMusic Rack(HDD)に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は手動で録音モード、録音方法を選択して録音を開始させてください。
- 自動録音中に録音を中止して他のモードにし、CDモードに戻すと1曲も録音されていない場合は再度自動録音が開始されます。
- エンジンスイッチを変更したりオーディオをOFF状態にしても前回設定した手動・自動と録音音質（ 46ページ）は保持されます。
- 本機への録音は音楽CDのみです。MP3/WMAファイル、DVD、SDカード、USBメモリデバイス、iPod、テレビ、ラジオなどから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 車のエンジンスイッチをI(ACC)の状態に録音しているときに、II(ON)にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失する恐れがあります。また、その他のデータがこわれる場合もあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - マッハリッピング時(音楽CDを録音中)にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
- 録音途中に録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
 - ※ 音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- Music Rack(HDD)の録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- Music Rack(HDD)の使用状況を確認するには「**HDDの情報を知る**」53ページ(“音楽データ”部分)を参照してください。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。
- 追っかけ録音中の再生音はMusic Rack(HDD)に録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 追っかけ録音中に録音が終了した場合は、最後に再生していたトラックの先頭からCD再生を開始します。
- 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
 - 録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合
 - 録音中にCDを取り出した場合

録音する(2)

- 本機は初期設定が自動録音に設定されているため未録音のCDを挿入すると、同時に追っかけ録音を開始します。

未録音(録音モードが追っかけ録音)の場合(例)



※自動録音と手動録音の設定のしかたは「録音方法の手動／自動を選択する」46、47ページを参照してください。手動録音の場合、録音速度(録音モード)の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。[P] 50 (下記)～52ページ

録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する

録音の速度には、音楽を再生させながら録音する“追っかけ”^{☆1}と通常の最大14倍速で録音するマッハリッピング^{☆2}があります。

☆1：マッハリッピングに比べて録音速度は低下します。

☆2：録音中、音楽は再生できません。(無音となります。)

1

CDモード時、画面の **録音** ボタンをタッチする。

：録音設定画面が表示されます。

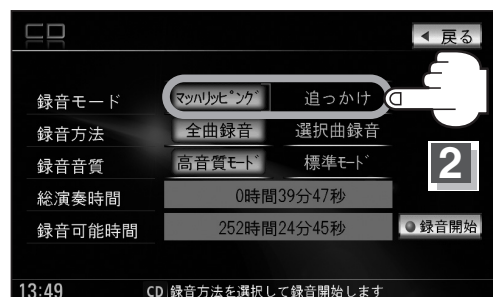
CDモード画面(手動録音設定時)



2

画面の録音速度
(**マッハリッピング** / **追っかけ** ボタン)を
選択する。

録音設定画面(例)



■ **マッハリッピング** ボタンを選択した場合

：最大14倍の速さでディスクが回転して、録音します。
(マッハリッピング中CDモードでは音楽は再生できません。)

■ **追っかけ** ボタンを選択した場合

：音楽を再生させながら最大10倍の速さで録音します。

3

録音方法、録音音質を選択します。

■ “録音方法” (全曲録音／選択曲録音) を選択する場合

全曲録音するか、お好みの曲のみ録音するかを設定することができます。

□ **全曲録音** ボタンをタッチすると…

：CD内にある全ての曲の録音となります。
ただしHDD (Music Rack) の容量が足りない場合

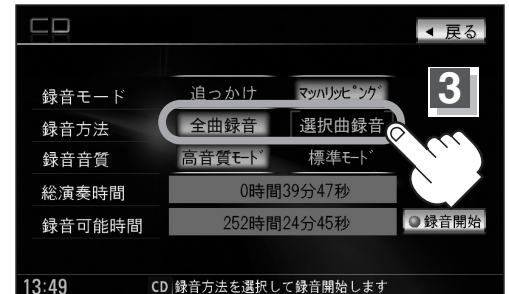
全曲録音 ボタンは選択できません。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

□ **選択曲録音** ボタンをタッチすると…

：録音曲選択画面が表示されます。

録音設定画面



1. 録音したいトラックをタッチする。

録音曲選択画面



トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このトラックを録音します。

☐：このトラックは録音しません。

※すでに録音済のトラックは選択できません。(✓表示有／トラックは灰色表示)

2. **決定** ボタンをタッチする。

録音曲選択画面



：録音したいトラックが確定(決定)され、録音設定画面に戻ります。

※ **戻る** ボタンをタッチした場合は選択は解除(無効)となり録音設定画面に戻ります。



アドバース

- Music Rackに録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“トラックxx”と表示されます。
※xxにはトラック番号の数字が入ります。
- 次ページがある場合、**↑**／**↓** ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

■ “録音音質” (高音質モード／標準モード) を選択する場合

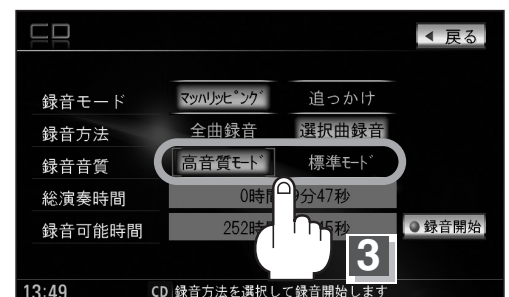
音の質(容量)を選択することができます。

□ **高音質モード** ボタンをタッチすると…

：音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。
※標準モードに比べて録音できる曲数が少なくなります。

□ **標準モード** ボタンをタッチすると…

：音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。
※高音質モードに比べて録音できる曲数が多くなります。



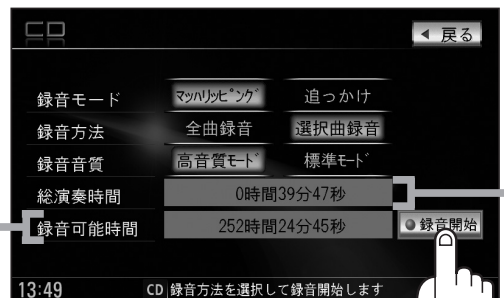
録音する(3)

4

画面の●録音開始 ボタンをタッチする。

- 手順 2 (50ページ)で **マッハリッピング** を選択している場合はメッセージと録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(51ページ)で選択した曲の録音を無音にて開始します。
- 手順 2 (50ページ)で **追っかけ** を選択している場合はアーティスト名／トラック名と録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(51ページ)で選択した曲の1曲目から順に再生しながら録音します。

総演奏時間が確認できます。



本機への録音可能時間が確認できます。

4

録音モードが
マッハリッピングの場合(例)

録音中の情報を確認することができます。

録音中のトラック名

進行中の数／録音総数

録音中表示される



録音中トラックの進行度の目安を100%をMAXとした値とバーの長さで表示

録音を止めたい場合は
録音中止 ボタンをタッチしてください。

全曲録音または選択曲録音画面で選択した全てのトラックの全体的な録音の進行度の目安をバーの長さとして100%をMAXとした値で表示(録音終了の目安表示)



アドバイス

- 録音(REC)をしながら他のモードにすることができます。

【現在地】 ボタンを押す。

：ナビゲーション画面を表示します。

※ただし、マッハリッピング中ナビゲーションのメニュー等の操作は限定されます。

さらに、録音時間は通常より長くなります。

【AUDIO】 ボタンを押す。

： **FM/AM** / **Digital TV** / **Music Rack** / **SD** / **iPod** / **USB** / **VTR** ボタンをタッチしてそれぞれのモードにすることができます。

※マッハリッピング時に他のモードを表示させている場合、録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。

- マッハリッピング中に他のモードにしたとき、再度マッハリッピング画面に戻すには…

【AUDIO】 ボタンを押す→ **【CD】** ボタンをタッチします。

- 録音中に **録音中止** ボタンをタッチすると録音を中止できます。

※録音を中止してもすでに本機(HDD)に録音したトラックは本機(HDD)に保存されます。

- CDモードのとき、マッハリッピングが完了すると、録音前に再生していた曲の続きから再生を始めます。

- CDモードのとき、追っかけ録音が完了すると、録音の最後に再生していた曲の頭から再生を初めます。

※追っかけ録音中にエンジンスイッチを“0”にした場合、次に電源を入れると録音が完了している曲の次の曲から再生を始めます。

- Music Rack(HDD)への録音可能時間の情報を知ることができます。

【HDDの情報を知る】 53ページ

HDDの情報を知る

本機(HDD)の使用状況を確認することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **データ管理** ボタンをタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2

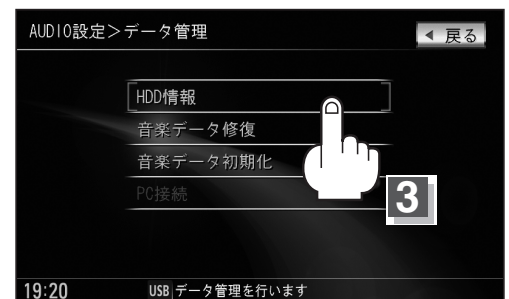


AV MENU画面につきましてはP.22ページを参照してください。

3 画面の **HDD情報** ボタンをタッチする。

：HDD情報画面が表示されます。

データ管理画面



3

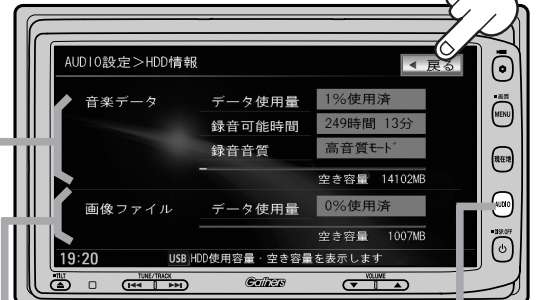
4 HDD(本機)の使用状況を確認したら…画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

※工場出荷時や音楽データ初期化時は“0%使用”と表示され、使用量が1%以下の場合や1度でも曲を録音した場合は“1%未満使用済”と表示されます。

音楽データ
(Music Rack)
の使用情報

HDD情報画面(例)



4 **AUDIO** ボタン

画像データファイルの使用情報

録音設定
データ管理

マッピング・追っかけ選択／全曲録音・選択曲録音設定／録音音質設定／HDD情報

データ管理(2)

音楽データの修復をするには

Music Rack(HDD)に録音(REC)した音楽データが見当たらない、録音(REC)中にエンジンスイッチを操作してしまいHDDに正常に録音できなかった場合などのときに操作するとデータを修復できる場合があります。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **データ管理** ボタンをタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

※走行中、これ以降の操作はできません。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



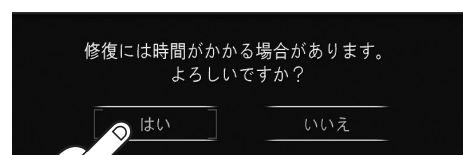
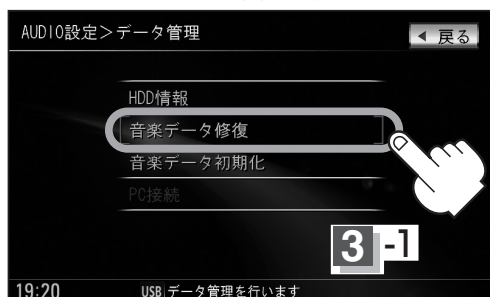
AV MENU画面につきましては **22** ページを参照してください。

3 画面の **音楽データ修復** ボタンをタッチし、**はい** ボタンをタッチする。

：修復作業が開始されます。

※修復作業は曲数が増加するにしたがって長くなります。修復できない場合もありますのでご注意ください。

データ管理画面



3-2

4 修復が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データの初期化をするには

Music Rack (HDD) に録音 (REC) した音楽データを初期化することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **データ管理** ボタンをタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

※走行中、これ以降の操作はできません。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2

AV MENU画面につきましては 22ページを参照してください。

3 画面の **音楽データ初期化** ボタンをタッチする。

：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを画面にしたがって選択します。

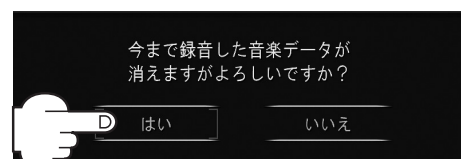
※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行なってください。

データ情報・管理画面



3-1

3-2



4 初期化が終わったら…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



お願い

- 初期化中(修復中)は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたりI(ACC)の状態からII(ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。

録音設定
データ管理

〔音楽データの修復〕／〔音楽データの初期化〕

データ管理(3)

■本機にはあらかじめ商用CDタイトルのアルバム情報データベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・タイトル名などを付けることができますので、入力の手間をはぶくことができます。

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

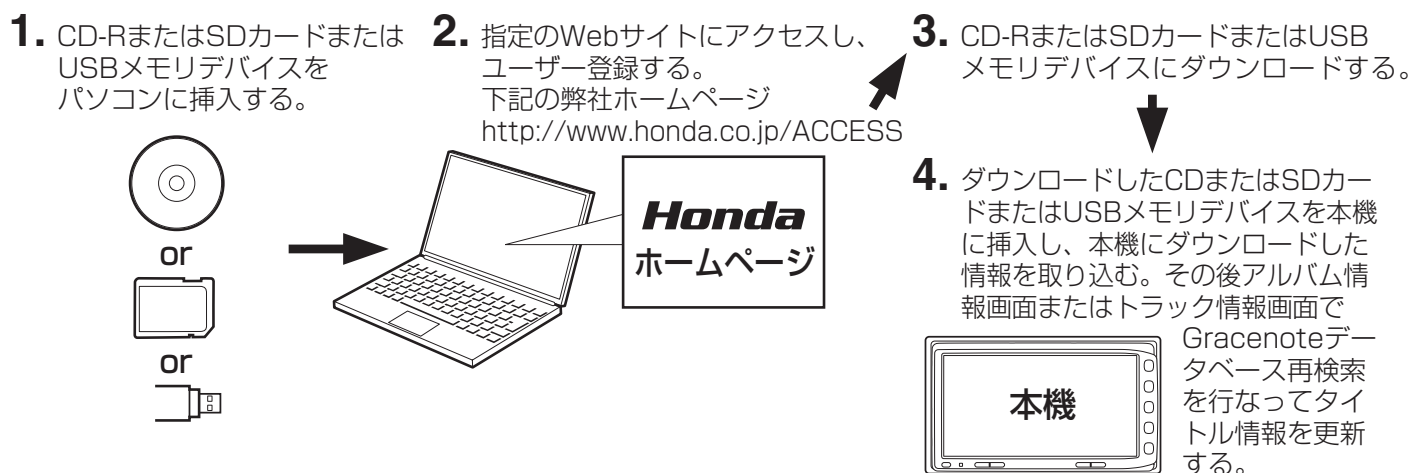
また、MCDBデータベースを利用することによりCD録音した曲のミュージックエスコート(曲調にあわせた再生リストへの振り分け)が可能となりました。

Gracenoteデータベースタイトル情報の更新の流れについて

本機に収録されているGracenoteデータベースはアップデートすることができます。アップデートする方法はローカルアップデート(定期更新)とカスタムアップデート(個別更新)の2種類があります。

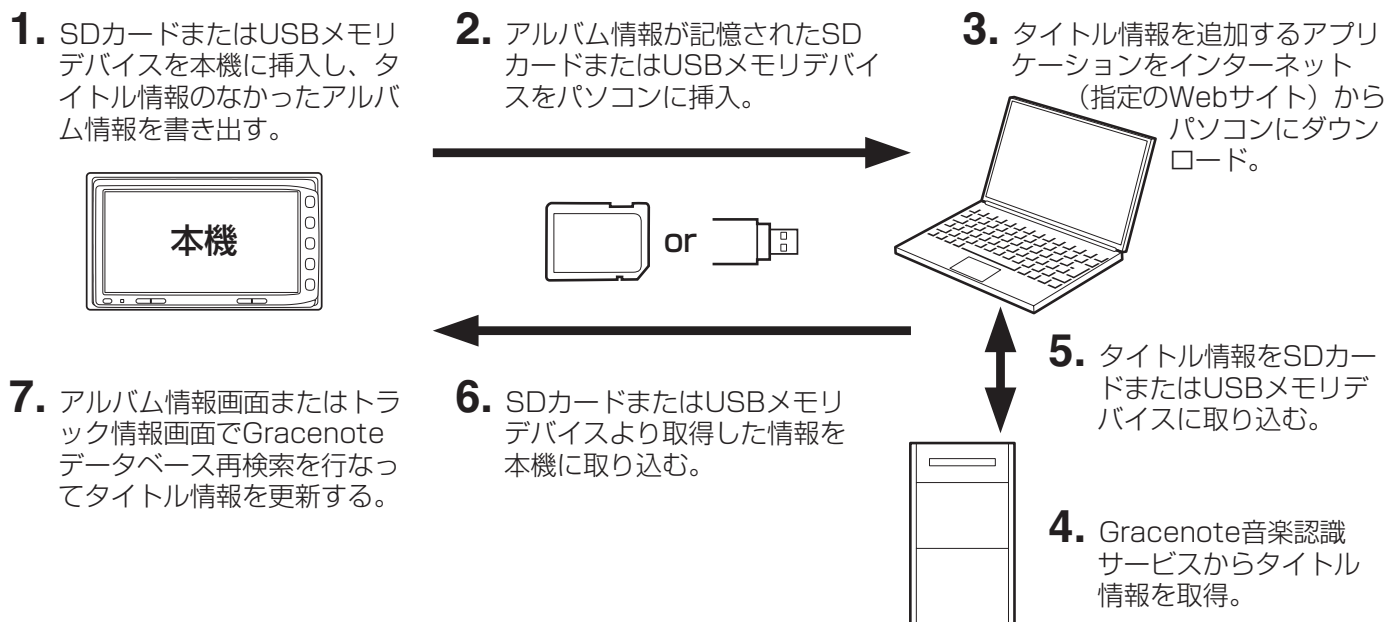
■ ローカルアップデート(定期更新)

HondaのWebサイトに年に数回、定期的にアップデートされるデータを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。



■ カスタムアップデート(個別更新)

本機のGracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、パソコンを使用してGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。





アドバンス

- ローカルアップデート(定期更新)のデータ更新により本機のデータベースを最新の状態にすることができます。
 - ローカルアップデート(定期更新)はローカルアップデート専用アプリケーションを使用してダウンロードしたデータをSDカード/USBメモリデバイスに書き込むことができます。
 - CD-Rに書き込む場合はNVDATAフォルダを作成し、ダウンロードしたデータをNVDATAフォルダに入れてください。
 - CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理してください。(Romeo/ISO9660/パケットライト方式などは不可)
 - カスタムアップデート(個別更新)は間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
 - カスタムアップデート(個別更新)はカスタムアップデート専用アプリケーションを使用して、本機から書き出したデータの検索ができます。
 - 別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROMをセットアップすることによりBeatJamの利用が可能となります。パソコン上での音楽データの管理をより快適にします。
- 【P】「データ管理」64、65ページ
- Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはSDカードまたはUSBメモリデバイス8MB以上、パソコン100MB以上の空容量、インターネット接続環境(64kbps以上推奨)、カードリーダーライターなどインストールするにあたり動作環境をととのえていただく必要があります。
 - Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(操作方法)につきましては指定Webサイトにアクセスし、ユーザー登録をお願い致します。^(注)
ローカルアップデート(定期更新)専用アプリケーション、カスタムアップデート(個別更新)専用アプリケーションは指定ウェブサイトから入手できます。
- (注) 操作方法につきましては、“www.honda.co.jp/ACCESS” をご参照ください。

□ MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡・コピー・転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。

データ管理(4)

Gracenoteデータベース検索(オンライン検索)を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

Gracenoteデータベースの更新をするには

※Music Rack/SD/USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

1

オーディオモード画面でパネルの

MENU ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2

画面の **AUDIO設定** の **Gracenoteデータベース** ☆
ボタンをタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

☆：走行中/録音中は選択できません。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



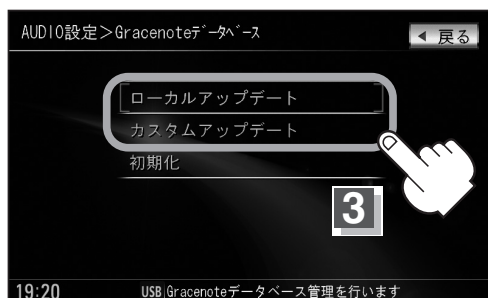
アドバイス

AV MENU画面につきましては **22** ページを参照してください。

3

アップデートの方法 (**ローカルアップデート** /
カスタムアップデート ボタン) を選択する。

Gracenoteデータベース画面



3



アドバイス

●ローカルアップデートとはHondaのホームページに定期的にアップデートされるGracenoteデータベース更新データを本機でアップデートする方法です。

59 ページへ進む

●カスタムアップデートとはGracenoteデータベース検索で本機に収録されていないCDのタイトル情報を個別にアップデートする方法です。異なったタイトル情報が検索された場合もこの方法によって個別に再取得が可能です。

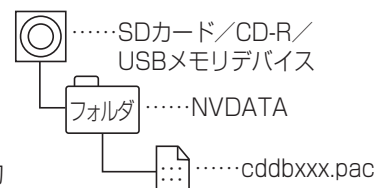
60～62 ページへ進む

ローカルアップデート ボタンをタッチした場合



ローカルアップデートボタンをタッチする前に…

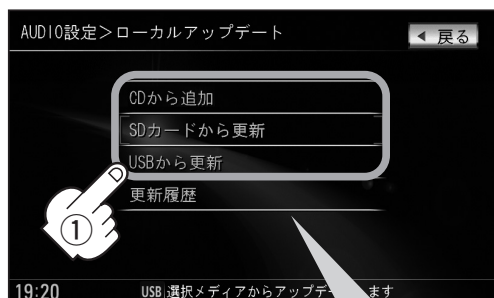
1. ローカルアップデート専用アプリケーションをパソコンにダウンロード
 2. データベースファイルをパソコンにダウンロード
 3. SDカード／USBメモリデバイスの場合、ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角でNVDATAフォルダを作成／CD-Rの場合、手動でメディアに半角でNVDATAフォルダを作成
 4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをフォルダの中に移動
 5. CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスを本機に挿入または接続
- ※SDカードは使用前に本機で初期化してください。[P 356、357ページ]



①追加する方法 (CDから更新 / SDカードから更新 / USBから更新 ボタン) をタッチする。

※USBメモリデバイスの接続につきましては302ページを参考にしてください。

：更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。



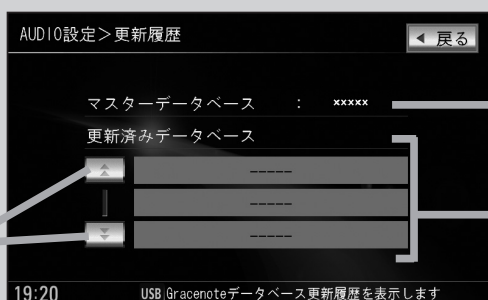
注意

更新中は他の操作(モード切替／車のエンジンスイッチO(OFF)／電源を切る／CD・SDカード・USBメモリデバイスを抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 ボタンをタッチすると、CD-RまたはSDカードまたはUSBメモリデバイスからアップデートしたGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

次ページがある場合、
▲ / ▼ ボタンタッチで
ページ戻し／送り表示

バージョン更新履歴確認画面



Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

②本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面でデータベース再検索 ボタンをタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

[P 124ページ手順 1 ~ 3] で **アルバム編集** ボタンまたは、132ページ手順 1、2 で **トラック編集** ボタンをタッチし「☐ データベースから再検索するときは…」129、135ページ参照



- ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行ないます。
- CD-Rに書き込む際のフォーマット形式はJolietにしてください。ディスクはファイナライズ処理をしてください。(Romeo／ISO9660／パケットライト方式などは不可)

データ管理(5)

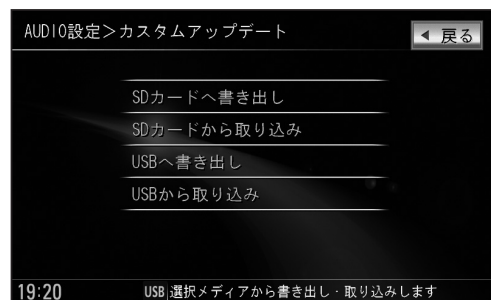
■ カスタムアップデート ボタンをタッチした場合

※SDカード／USBメモリデバイスを本機に挿入／接続しておく必要があります。

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「SDカードを入れる／取り出すには」 42ページ

「USBメモリデバイスを本機に接続するには」 302ページ

カスタムアップデート画面



● データの書き出しをする。



アドバイス

新規アルバム表示または、まちがったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ 新規アルバム(トラックxx表示)の場合

1. 右記手順①へ進んでください。

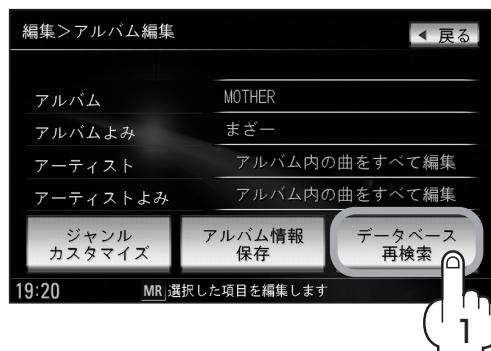
□ まちがったタイトルを表示(ミスヒット)している場合

● データベースに複数のタイトル情報があるときは…

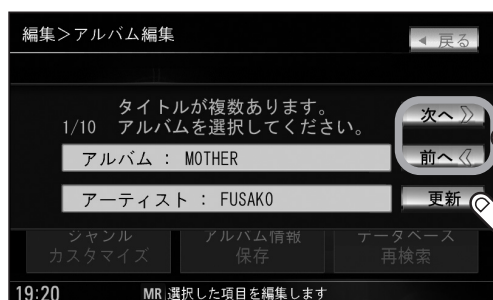
1. Music Rackモードでデータベース再検索をする。

別冊124ページ手順 1 ~ 3 で **アルバム編集** ボタンまたは、132ページ手順 1、2 で **トラック編集** ボタンをタッチし、
「□ データベースから再検索するときは…」 129、
135ページ参照し **データベース再検索** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面の場合



2. 表示させたいアルバム名を **次へ**／**前へ** ボタンをタッチして検索し、希望のアルバム名が見つかった場合は **更新** ボタンをタッチする。



：タイトル情報が更新されます。

3. 62ページ手順 5 へ進んでください。

※手順 2 のとき希望のアルバム名がなかった場合は61ページ
「● データベースにタイトル情報がないときは…」
へ進んでください。

● データベースにタイトル情報がないときは…

* : 再生は停止する必要があります。

1. Music Rackモードで **編集** ボタンをタッチし、**曲管理** ボタンをタッチする。*



: 曲管理画面が表示されます。

2. まちがった情報のアルバムをタッチし、**アルバム編集** ボタンをタッチする。

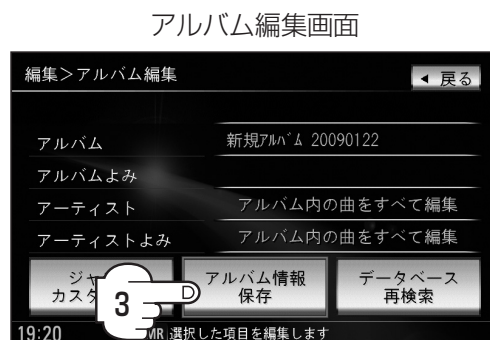
: アルバム編集画面が表示されます。

3. **アルバム情報保存** をタッチする。

: まちがったアルバム情報を一旦本機(HDD)に保存します。

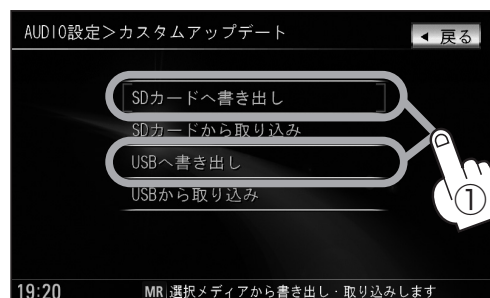
4. 58ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

5. 下記手順①へ進んでください。



- ① **SDカードへ書き出し** / **USBへ書き出し** ボタンをタッチする。

: 書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとSDカード／USBメモリデバイスにタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。



- ②本機よりSDカード／USBメモリデバイスを外し、パソコンに挿入する。

- ③パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

- ④取得した情報をSDカード／USBメモリデバイスに取り込む。

- ⑤SDカード／USBメモリデバイスをパソコンより外し、本機に挿入／接続する。

データ管理(6)

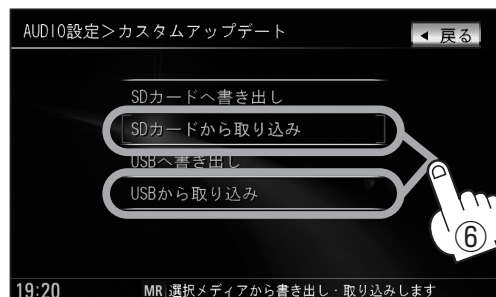
●データの取り込みをする。

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑥へ進んでください。

表示していない場合は58ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき **カスタムアップデート** ボタンをタッチする。

⑥ **SDカードから取り込み** / **USBから取り込み** ボタンをタッチする。

：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチするとSDカードまたはUSBメモリデバイスより取得した情報を本機に取り込みます。

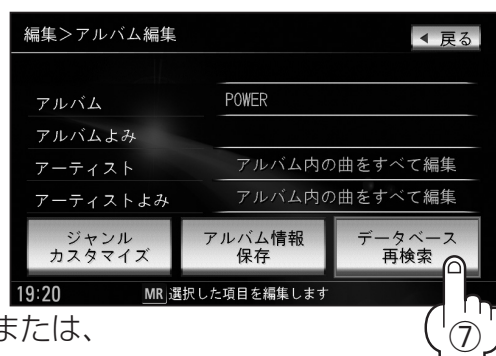


⑦ 本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** ボタンをタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

☞ 124ページ手順 **1** ~ **3** で **アルバム編集** ボタンまたは、
132ページ手順 **1**、**2** で **トラック編集** ボタンをタッチし、
「☐ **データベースから再検索するときは…** 」129、135ページ参照

アルバム編集画面の場合



アドバイス

- 「 **Gracenoteデータベースタイトル情報の更新の流れについて** 」 56ページもご参照ください。
- **↑** / **↓** ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

Gracenoteデータベースのデータを初期化するには

Gracenoteデータベースのデータを初期化することができます。

1 オーディオモード画面でパネルの **MENU** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は**MENU** ボタンを2回押します。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

2 画面の **AUDIO設定** の **Gracenoteデータベース** ボタンをタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

☆：走行中／録音中は選択できません。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)



2-2



AV MENU画面につきましては **22** ページを参照してください。

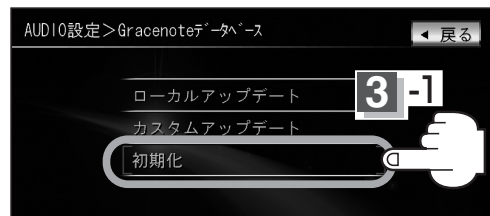
3 画面の **初期化** ボタンをタッチする。

※Music Rack／SD／USB再生中の場合は、再生を停止する必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンを画面にしたがって選択するとデータを消去し、Gracenoteデータベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行ってください。

Gracenoteデータベース画面



4 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチまたはパネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **AUDIO** ボタンを押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



お願い

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり I (ACC) の状態から II (ON) にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート／カスタムアップデート)は消去され、二度と復帰しません。

データ管理(7)

BeatJamを利用する

BeatJamとは音楽データをノートパソコン上で操作するためのソフトウェアです。

BeatJamは株式会社ジャストシステムが提供する音楽データ管理システムです。

ノートパソコン上での音楽データの管理をより使いやすくし、機敏で快適な操作を行なうことができます。

※パソコンを本機に接続し、BeatJamを利用するには別売のUSB接続コード&BeatJamを使用します。(☞ 19ページおよび70ページ手順 **6**)

- BeatJamは株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJamにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- BeatJamは株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機はATRAC ADに対応しています。
- ATRAC ADはソニー株式会社の商標です。

ATRAC AD
AUDIO DEVICE

BeatJamでできること

● 曲を取り込む

音楽CD／パソコン内の音楽ファイル／音楽配信サイトから購入した曲をパソコンに取り込むことができます。

● 曲を整理／分類する

取り込んだ曲は、アーティスト名／アルバム名／ジャンル名など、さまざまな情報を付けることができ、情報を元に、検索したりグループに分類したりと、集めた曲をきちんと整理することが可能です。

● パソコンで音楽を聴く

聴きたい曲を選んで、かんたんに音楽を楽しめます。音楽CDをそのまま聴くこともできます。

● 本機に曲を転送／本機から曲を転送

BeatJam上で管理している音楽ファイルを本機に転送したり、本機にリッピング(録音)した曲をパソコンに転送することができます。

● 音楽CDを作成する

パソコン画面を見ながら曲を選んでいくだけの操作で、好きな曲を集めたオリジナルCDをかんたんに作成することができます。

● 作業の流れ

● BeatJamに曲を登録

- ・ パソコン内の音楽ファイルを取り込む
- ・ 音楽CDから録音
- ・ 音楽配信サイトからダウンロード

● 曲の管理や再生

- ・ 曲情報の編集
- ・ 好きな曲を集めてプレイリストを作成
- ・ ジャケット写真を表示させる

● 曲を転送

- ・ BeatJam上で管理している曲を本機に転送する
- ・ 本機の音楽ファイルを取り込む



※VXH-098CVU／VXH-108VF
内の曲も本機に転送可能です。

BeatJam使用上のご注意



走行中は安全のため、接続や取り外し、データの移動／転送などの操作は絶対に行わないでください。

- エンジンのスイッチを I ((ACC) (エンジンを休止したまま)) で長時間使用しないでください。車のバッテリーがあがったり本機の故障の原因となります。ノートパソコンと本機を接続し操作する場合は、必ずエンジンがかかった(車のエンジンスイッチ II (ON)) 状態で停車中に行なってください。
※オーディオモードは終了(OFF)状態にしてください。
※作業(操作)中は、排気ガスなどの換気には十分注意してください。また、接続(操作)中はナビゲーション／オーディオの全ての機能が使用できません。
 - BeatJamは以下のOS(日本語版および32bit版)に対応しています。
 - ・ Windows XP(SP2以降)
 - ・ Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate
 - ノートパソコンと本機の接続には専用ソフトウェア(別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROMでBeatJam)をセットアップして使用します。BeatJam以外のアプリケーションで転送されても正常に動作しません。
 - 本機とノートパソコンのBeatJam上との間で移動／転送できるデータは下記の形式の音楽データです。
転送可能なファイル : ATRAC3(.OMA)/ATRAC3plus(.OMA)
直接転送できないファイル(*) : WAV/MP3/WMA/AAC
* : ノートパソコン上にある音楽ファイルから本機へUSB接続を使用してデータを転送する場合は、BeatJamを使用してGracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得を行なってください。(そのまま転送すると、選曲などの一部機能が使用できません。)Gracenote音楽認識サービスより曲情報の取得ができないファイルは、BeatJam上で車のアイコン(🚗)が表示されません。
 - BeatJamでのUSB接続転送終了後も本機へのデータベースの更新に時間がかかります。“更新が完了しました”と画面に表示されるまで、絶対にお車のエンジンスイッチを変更しないでください。
 - ノートパソコンと本機のデータ転送中はエンジンスイッチを変更したりUSBコードA/Bを抜いたりしないでください。音楽データがこわれて再生できなくなる場合があります。
 - BeatJamを利用するための接続環境につきましては別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROMに付属の **BeatJam動作環境** を参照してください。
 - ノートパソコンと本機の接続には必ず別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のUSBコードAとUSBコードBを使用してください。市販のUSB延長ケーブルなどで延長はしないでください。
- ☞ 19ページ
- USB接続する場合、USB2.0対応のノートパソコンで接続を行なうことをおすすめします。
※USB1.1対応のノートパソコンではUSB2.0に比べ転送に時間がかかります。
 - 一度に多くの音楽データを本機からノートパソコンに移動(アップロード)したり、ノートパソコンから本機に転送(チェックアウト)したりすると時間がかかる場合がありますのでアルバム単位で移動／転送することをおすすめします。また、本機の音楽データをパソコンに移動(アップロード)すると本機から音楽データは削除されます。
 - 音楽データは暗号化されているため万一、本機に故障など発生しても音楽データは復元／修復できません。したがって大切な音楽データはノートパソコンでのバックアップ(アップロード)をお願いします。
 - 音楽の編集／削除は、必ず本機またはBeatJamを使用して行なってください。

データ管理(8)

ノートパソコンへ接続するには

ノートパソコンの音楽データを本機へ転送(チェックアウト)し、機能(選曲モードなど)を正常に使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のCD-ROM(BeatJam)をインストールし、Gracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得をする必要があります。

詳しくはCD-ROMに付属のBeatJamの説明書を参照してください。

●車外でやること

1 CD-ROMをノートパソコンにセットアップする。

※BeatJamを利用できる環境にします。

2 ノートパソコンへ音楽CDをリッピング(録音)またはノートパソコンにあるファイルを取り込む。

※BeatJamで直接CDからGracenoteデータベースより曲情報を取得し、ノートパソコンにリッピング(録音)した音楽データは手順 **3**、**4** の操作は必要ありません。

手順 **5** (70ページ) へ進んでください。

(ジャケット写真を付加する場合は68、69ページを参照してください。)

3 転送したい音楽データをGracenote音楽認識サービスにより情報を再取得する。

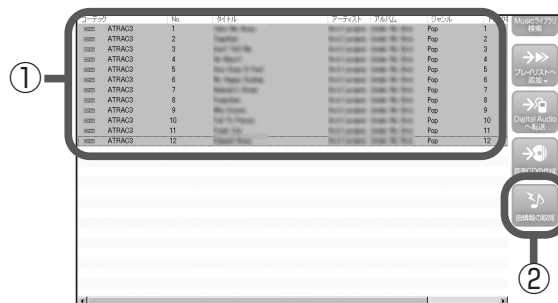
①再取得したい情報(タイトル)を選択する。

②「曲情報の取得」をクリックする。

：曲情報の取得結果のダイアログボックスが表示されます。

※Gracenoteサーバーにアクセスしますので、インターネットに接続されている必要があります。

BeatJam画面
(パソコン画面 (例))



4

候補が複数ある曲で、候補を選択したい場合は、

①曲を選択する。

②「候補の選択(E)」をクリックする。

：曲情報の選択のダイアログボックスが表示されます。

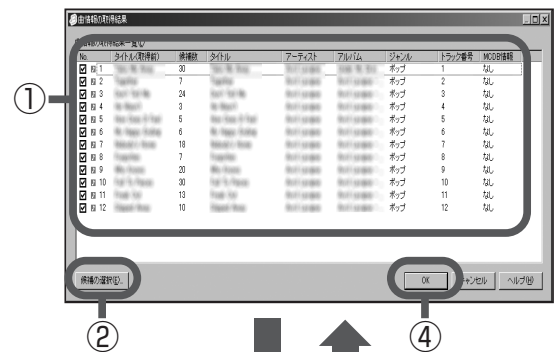
※複数の候補が有る場合、「MCDB情報」が「あり」の候補を選択すると本機のミュージックエスコート機能を使うことができます。

③目的の情報を選択し、**OK**をクリックする。

：曲情報の選択のダイアログボックスが閉じます。

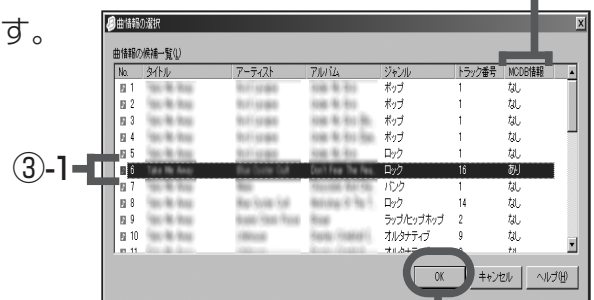
④**OK**をクリックする。

曲情報の取得結果のダイアログボックス
(パソコン画面 (例))



MCDB情報

曲情報の選択のダイアログボックス



③-2

録音設定
データ管理

〔Beat Jam(PC接続)〕



アドバース

コーデック

ATRAC3
ATRAC3
ATRAC3



…曲情報が取得できている



……MCDB情報が取得できている

曲情報の取得ができている場合、コーデック()アイコンのとなりに車と音符のマークが表示されます。

※車マークが付いていない曲を転送した場合、本機の機能を正常に使用することはできません。また音符マークが付いていない場合はMCDB情報がとれていないためミュージックエスコート機能を使うことはできません。

※曲情報の取得は必ずしも正しいデータが取得できるわけではありません。Gracenoteサーバーのデータベースや音楽ファイルの状態に依存します。

データ管理(9)

■ ジャケット写真を付加する場合

①付加したい曲またはアルバムを選択し、右クリックをする。

②曲の場合は「曲のプロパティ」をクリックし、
アルバムの場合は「アルバム情報の編集」をクリックして
「詳細情報」をクリックする。

曲の場合(例)

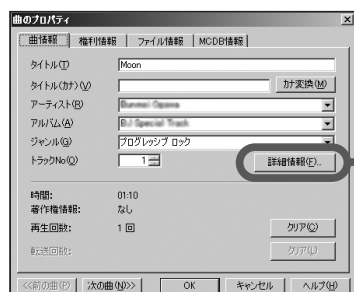


「曲のプロパティ」

アルバムの場合(例)



「アルバム情報の編集」



「詳細情報」

③ジャケット写真になる画像を検索します。

「ファイルから選択」または「画像一覧から選択」をクリックする。

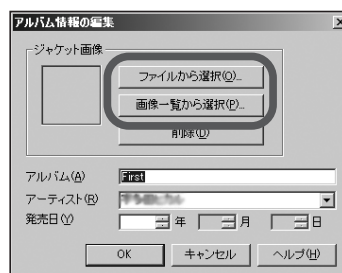
曲の場合(例)

曲の詳細情報のダイアログボックス



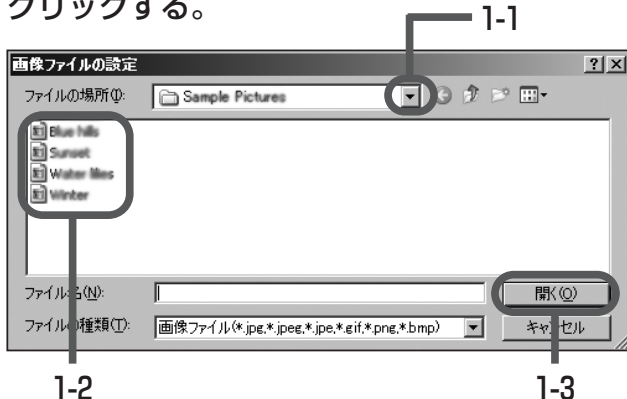
アルバムの場合(例)

アルバム情報の編集のダイアログボックス



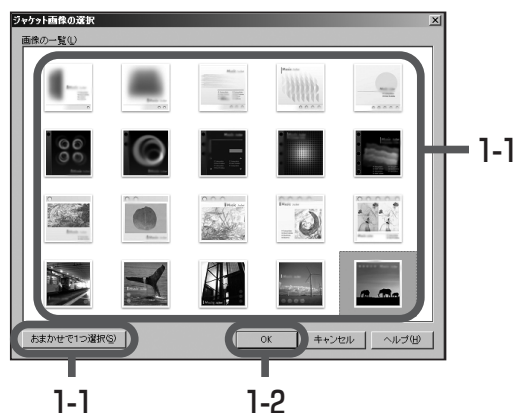
□ ファイルから選択した時は…

1. 画像を選択し、**開く(O)**をクリックする。



□ 画像一覧から選択した時は…

1. 画像を選択し、**OK**をクリックする。

④ 選択した画像が表示されるので付加する場合は **OK** をクリックする。

曲の場合(例)



アルバムの場合(例)

選択した
画像

アドバンス

- ジャケット写真は1曲ごとに設定することができます。
- 音楽CDを録音し、Music Rackモードで再生した場合はジャケット写真は表示されません。ジャケット写真を表示させるには本機の音楽データをパソコンに移動(アップロード)してBeatJamを使用して付加し、本機へ転送(チェックアウト)する必要があります。
- ジャケット写真は、Music Rackモードでトラック情報表示時に表示されます。  107ページ

Music Rackモード
ジャケ写表示有の場合

付加したジャケット写真はトラック情報を表示させている場合に表示されます。

Music Rackモード
ジャケ写表示無の場合

ジャケット写真が付加されていない場合は "No image" と表示されます。

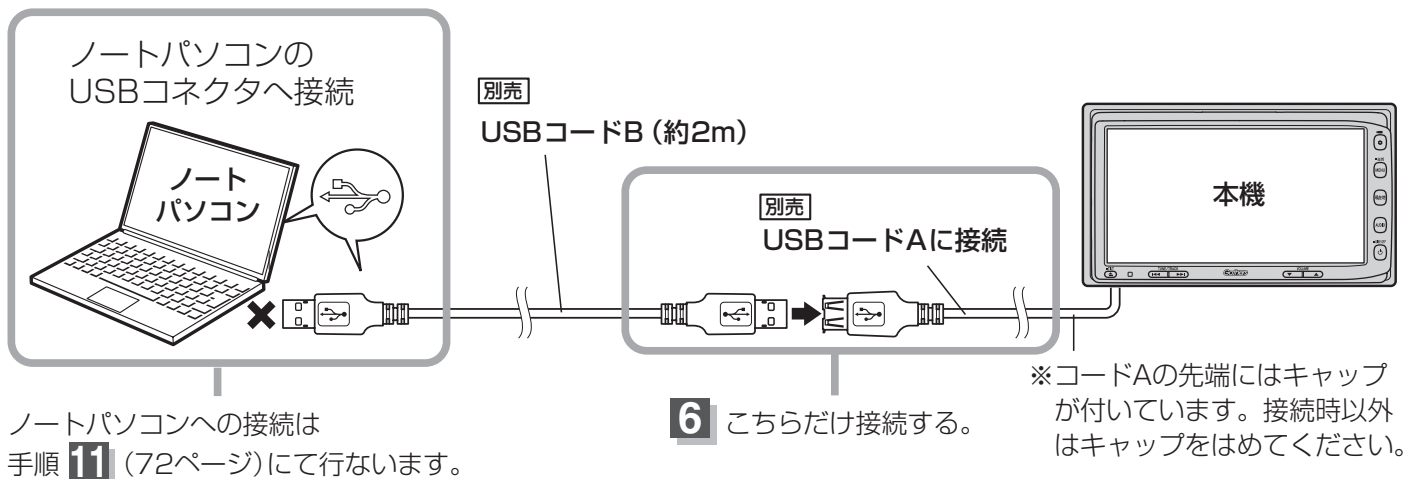
データ管理(10)

●車内でやること

5 車内へノートパソコンを持ち込む。

⚠車のエンジンスイッチⅡ(ON)の状態ですべて安全な場所に停車して行なってください。

6 別売のUSB接続コード&BeatJam★に付属のUSBコードBとUSBコードAを接続する。(📖★：19ページ)



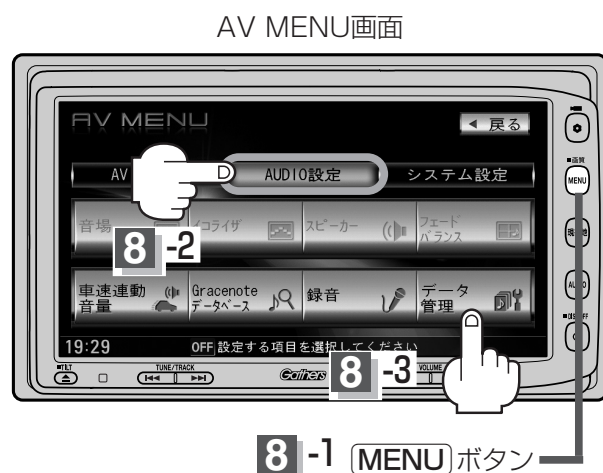
 ノートパソコンと本機の接続には必ず別売のUSBコードAとUSBコードBを使用してください。市販のUSB延長ケーブルなど指定以外のコードを使用されますとパソコンや本機の故障の原因となります。

7 オーディオモードのとき、パネルの**電源**ボタン(🔌)を押す。 ：オーディオモードを終了させます。



8 パネルの**MENU**ボタンを押しAV MENU画面を表示させ、画面の**AUDIO設定**の**データ管理**★ボタンをタッチする。 ：データ管理画面が表示されます。 ☆：走行中／録音中は選択できません。

 AV MENU画面につきましては📖 22ページを参照してください。



9

画面の **PC接続** ボタンをタッチする。

：ユーザー同意画面が表示されます。



アドバース

PC接続 ボタンを選択し操作するには以下の条件がそろう必要があります。

1. 停車中であること(パーキングブレーキをかけていること)
2. オーディオモードでオーディオOFFになっていること
3. 別売のUSBコードBとUSBコードAが接続されていること
4. 録音中でないこと



お願い

接続中はナビゲーション／オーディオ機能は使用できません。また、車のエンジンスイッチを変更したり走行したりしないでください。

10

ユーザー同意画面が表示されるのでメッセージを確認し、画面の **はい** ボタンをタッチする。

：転送できるフォーマットのメッセージ→コード確認中のメッセージを順に表示します。

※ユーザー同意画面で **いいえ** ボタンをタッチすると手順 **9** へ戻ります。



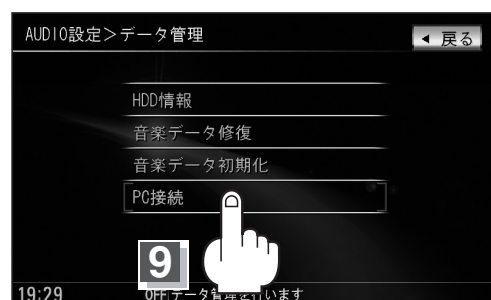
アドバース

ノートパソコンに別売のBeatJamをセットアップしてノートパソコンを起動させておく必要があります。[P] 64ページ

本機側の準備はこれで完了です。

キャンセルしたい場合は **キャンセル** ボタンをタッチするとPC接続は中止できます。

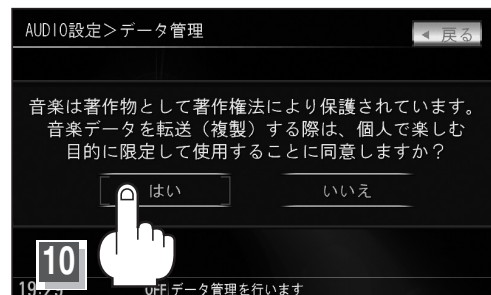
データ管理画面



録音設定
データ管理

(BeatJam(PC接続))

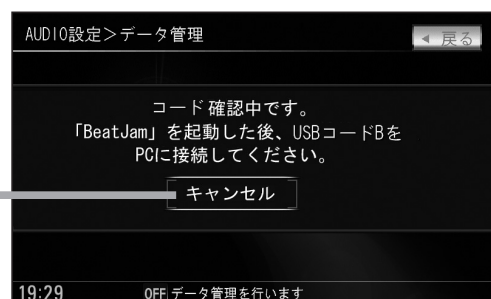
ユーザー同意画面



転送できるフォーマットのメッセージ

本製品にPCから音楽データを転送する場合は、
本機指定の別売『BeatJam』をご利用ください。

ケーブル確認中のメッセージ

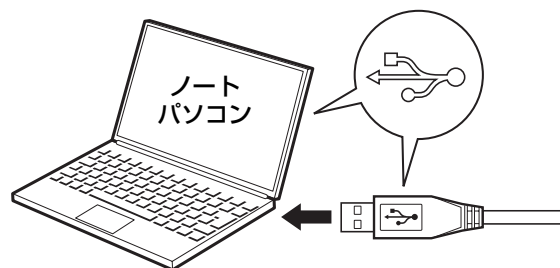


データ管理(11)

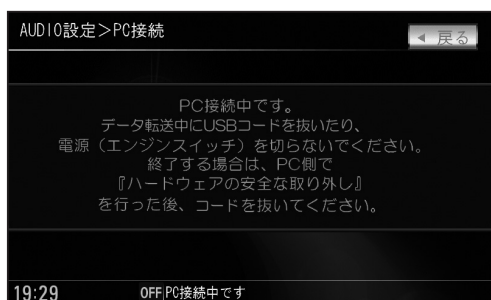
11

別売のUSBコードBのもう片方( 側)をノートパソコンに接続する。

：本機ではPC接続中画面が表示され、接続が可能状態になるとノートパソコンにBeatJamのDigital Audioプレーヤーパネルが表示されます。



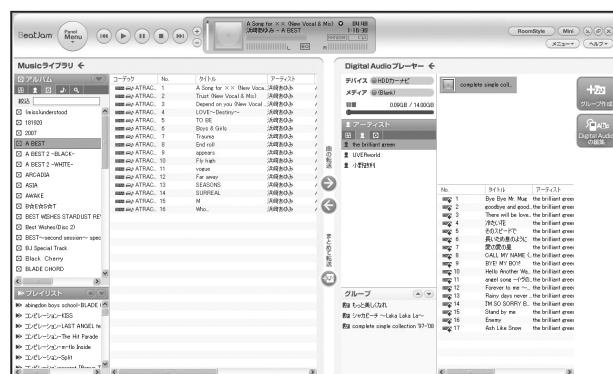
PC接続中画面(本機)



接続すると



ノートパソコンの画面に
Digital Audioプレーヤーパネルを表示



本機の情報が表示されます。

12

ノートパソコンでBeatJamの操作を行なってください。
(本機へノートパソコンの音楽データを転送(チェックアウト)します。)



お願い

本機へ音楽データを転送するときは、Gracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得をしてください。

 66ページ

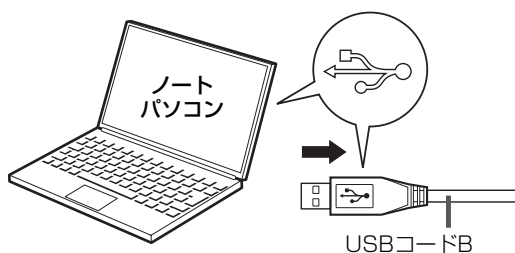
※ノートパソコン上の(移動(アップロード)／転送(チェックアウト)などの)操作方法はCD-ROMに付属のBeatJamの説明書、または株式会社ジャストシステムのサポートホームページを参照してください。

■ 接続をやめる(終了する場合)

① BeatJamを閉じる。

※ノートパソコンのタスクバーより“ハードウェアの安全な取り外し”を行なってください。

② ノートパソコン側のUSBコードBを外す。

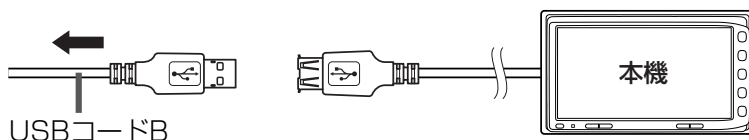


③ 本機が更新作業に入ります。



アドバイス Music Rackの曲数が増加するにしたがって更新時間も長くなります。

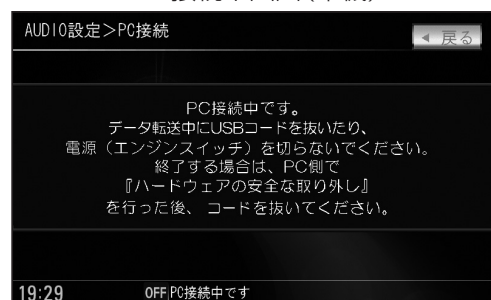
④ 更新が完了したことを知らせるメッセージが表示されたら、本機側に接続されているUSBコードBを外す。



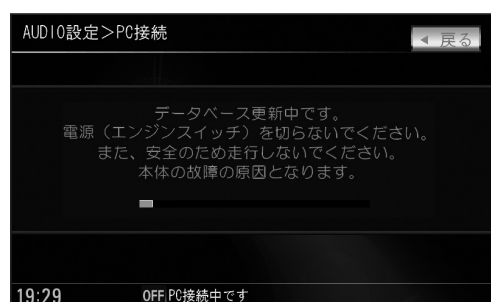
⑤ 車のエンジンスイッチをO(OFF)にし、電源を切る。

：他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをII (ON)にし電源を入れてください。

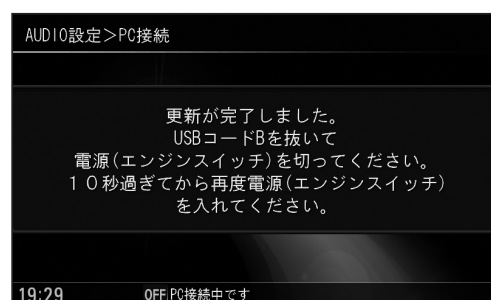
PC接続中画面(本機)



更新中画面

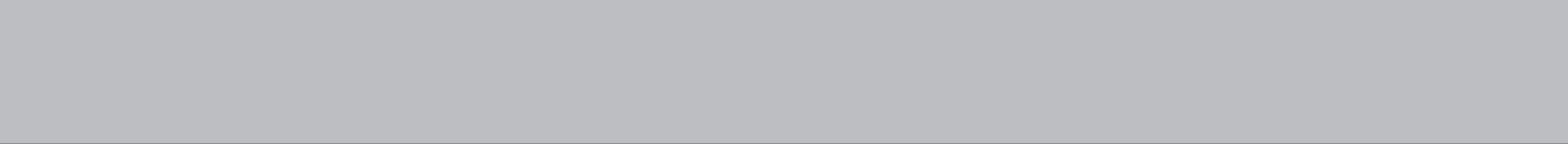


更新完了メッセージ



アドバイス

- アップロードとは本機のデータをパソコンに移動することをあらわします。(本機の音楽データは移動によって削除されます。)パソコン(BeatJam)にある音楽データを本機に転送することをチェックアウト、チェックアウトしたデータをノートパソコンに戻すことをチェックインと呼びます。
- 「**BeatJamでできること**」64ページ、「**BeatJam使用上のご注意**」65ページもご参照ください。



CDプレーヤーを使う	76～85
各部の名称とはたらき	76
表示部(再生画面)について	77
CDを聞く	78、79
CDモードを終了する	80
CDを取り出す	80
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	81
早戻し／早送りをする	81
再生モードを選択する (リピート／ランダム／スキャン再生)	82、83
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	84、85

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン*1

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン*1

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(84、85ページ)

③ **切替** ボタン*1

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(355ページ)

④ **●録音** ボタン*1

録音設定画面を表示し、録音を開始させることができます。
(50～52ページ)

⑤ **再生モード** ボタン*1／*2

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
(82、83ページ)

⑥ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。

※ナビゲーション画面／FM／AM／Digital TV／
Music Rack／SD／iPod／USB／VTRモード
からCDモードに切り替えるときに使用します。

⑦ **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／
取り出すときに使用します。
(78、80ページ)

⑧ **トラック** ボタン(◀▶) *2

好きな曲を選びます。また、このボタンを
押し続けると早戻し(◀◀)／早送り(▶▶)します。
(81ページ)

⑨ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

⑩ **Quick** ボタン*1

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

⑪ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始／終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。



アドバイス

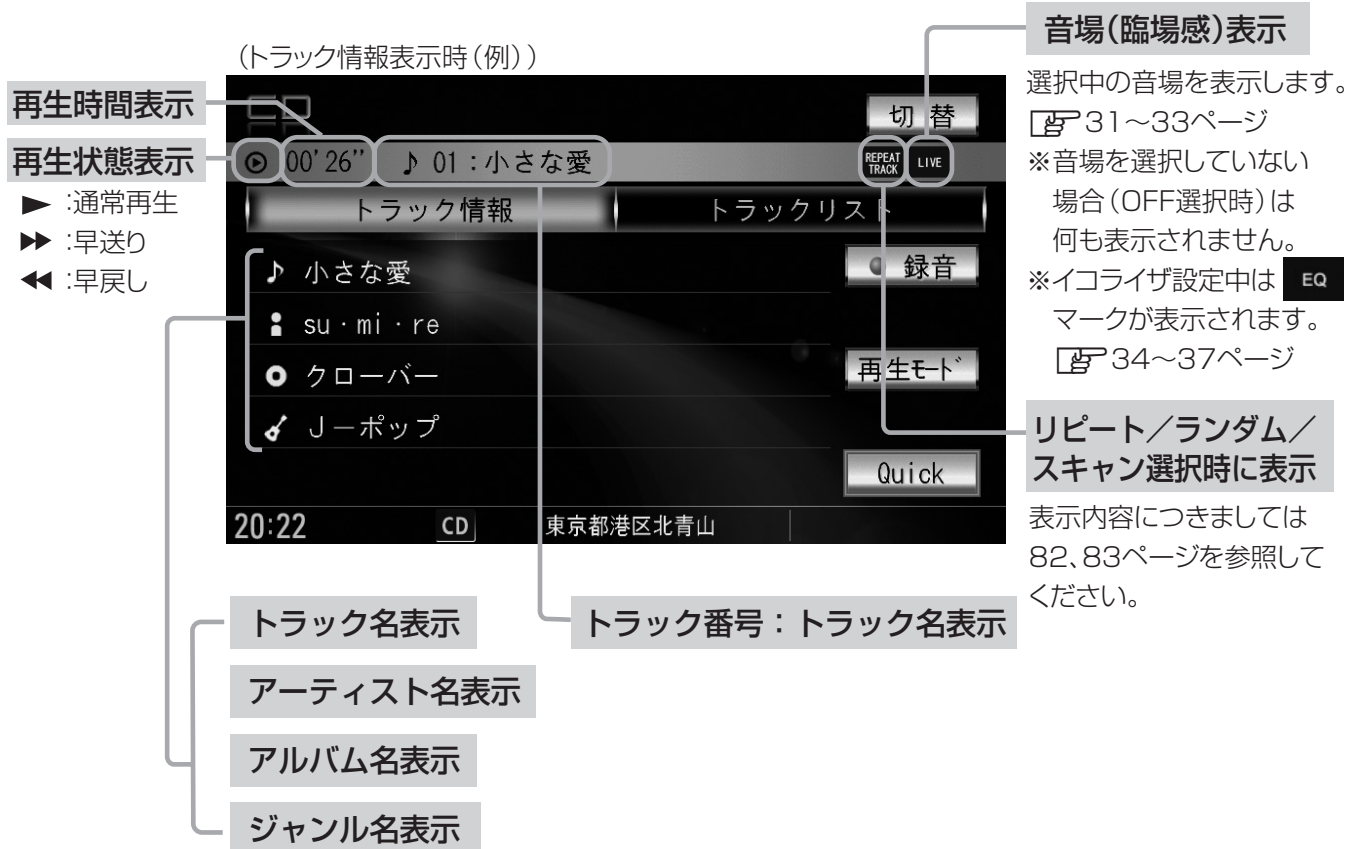
● *1印：録音(REC)中は表示されません。

● *2印：録音(REC)中は操作できません

● 録音(REC)中はCD録音画面を表示し、**録音中止** ボタンが表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。

● 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

表示部(再生画面)について

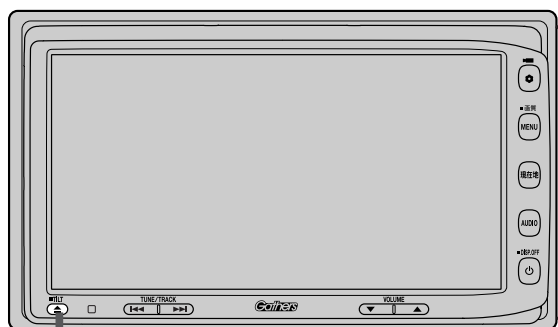


アドバイス

- トラック情報表示のとき、トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示のどちらからでもタッチしてスクロールすることができます。
- DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下のようになります。
 - ・DISCにCD-TEXT情報があれば、トラック名/アーティスト名/アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
 - ・CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名/アーティスト名が表示されます。
 - ・DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名/アーティスト名/アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
 - ・本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
 - ・CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK1…”と表示され、タイトル表示されません。
- ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

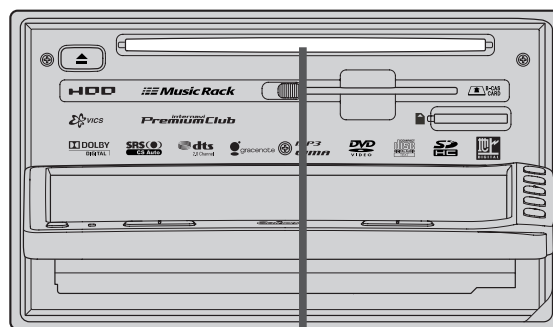
CDプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1

パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが開きます。

2

ディスク挿入口にCDを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。

※本機の録音方法(初期)は **自動録音** に設定されているため、未録音のCDを挿入した場合は再生と同時に Music Rack(HDD)へ自動で追っかけ録音を開始します。 50ページ

録音(REC)を停止させるには録音画面で **録音中止** ボタンをタッチしてください。

※録音時の自動／手動は設定により変更できます。

「録音方法の手動／自動を選択する」
46、47ページ

※マッハリッピング(高速録音)をする場合も

録音中止 ボタンをタッチしていったん追っかけ録音を止めてから各操作を行なってください。

「**録音速度を選択し、録音方法／録音音質を選択する**」 50～52ページ



アドバース

ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。



CDモード画面(自動録音設定時)
未録音の場合(例)



アドバース

Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rack(HDD)へ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。

「**本機のMusic Rack(HDD)機能について**」 48ページ

「Music Rackを使う」 106～143ページ

※音楽CD以外(MP3/WMAなど)は録音できません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回CDモード画面でOFF
(オーディオモードを終了)していた場合

- ① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
：前回のつづきからCDの再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回CDモード以外のオーディオモード画面の場合

- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

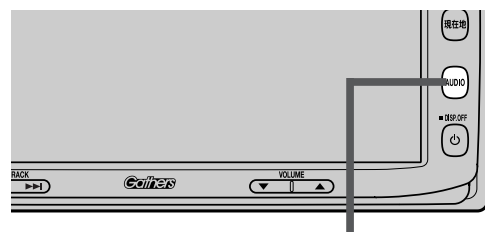
- ②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

- もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。
：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

- ②画面の **CD** ボタンをタッチする。
：CDの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

↓
AV MENU画面



■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- ☞ 「音量を調整する」 26ページ
- ☞ 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- ☞ 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドハイス

CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- ☞ 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

CDプレーヤーを使う(3)

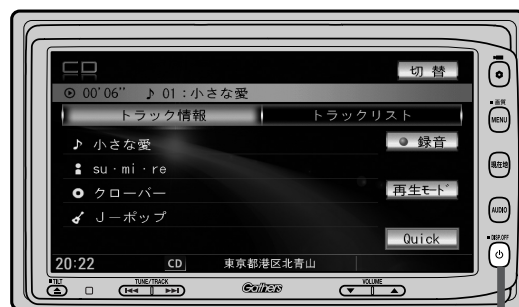
CDモードを終了する

1

パネルの **電源** ボタン()を押す。

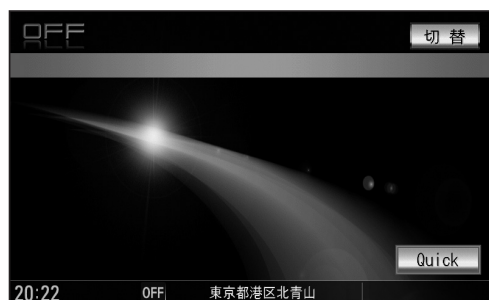
：画面に“OFF”と表示されCDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

※録音中の場合、CDの再生を止めても録音は継続されます。



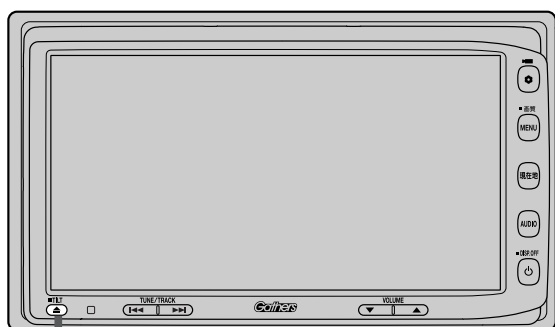
1

電源 ボタン()



CDを取り出す

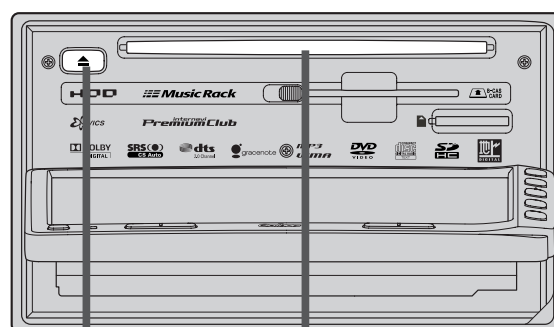
[ディスプレイが閉じた状態]



1

TILT ボタン()

[ディスプレイが開いた状態]



2

DVD/CDイジェクト ボタン()

ディスク挿入口

1

パネルの **TILT** ボタン()を押す。

：ディスプレイが開きます。

2

パネルの **DVD/CDイジェクト** ボタン()を押す。

：CDがディスク挿入口より出てきます。



アドバイス

CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中に車のエンジンスイッチをO(OFF)にした場合は、次に車のエンジンスイッチをI(ACC)またはII(ON)にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

※ **DVD/CDイジェクト** ボタン()を押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクを本機に引き込み、再生を開始します。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。
：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

* 1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

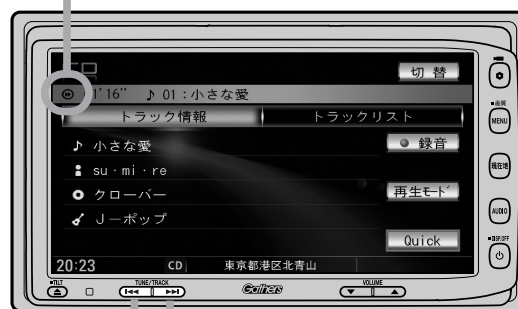
- 画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。
「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」 84、85ページ
- 録音(REC)中トラックを戻す／進めることは操作できません。
- *：トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。
：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

- ▶：通常再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

- それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます
- 録音(REC)中の早戻し／早送りはできません。

CDプレーヤーを使う(4)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

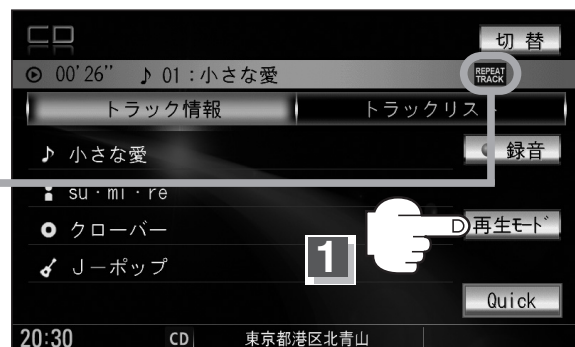
1

画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

CDモード TOP画面(例)



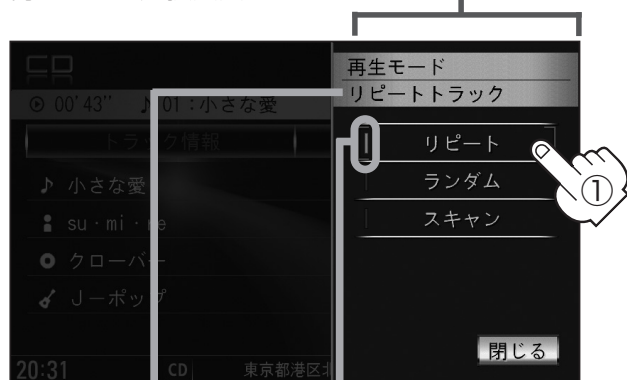
2

再生したいモード (**リピート** / **ランダム** / **スキャン** ボタン) を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

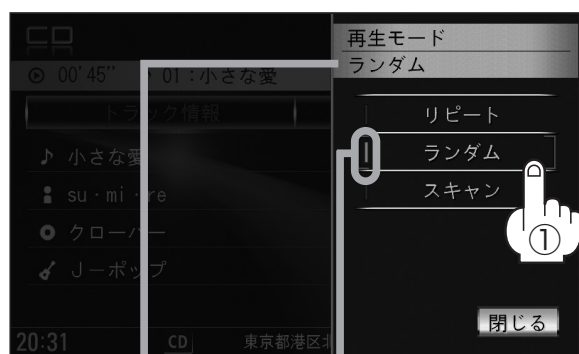
通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、ディスク内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をランダム再生

(表示灯点灯/
TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)

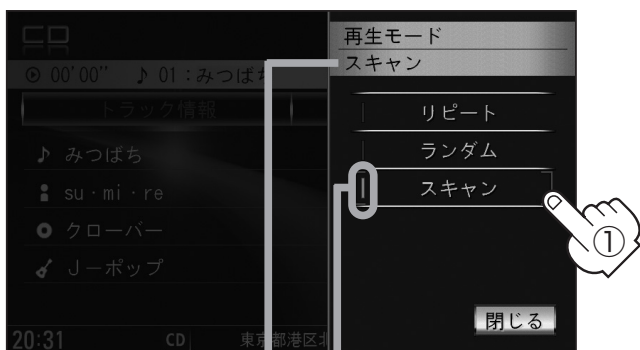
通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯/マーク表示無)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯
の状態を表示

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

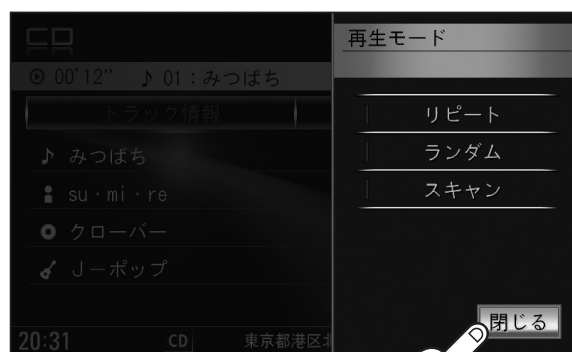
(表示灯消灯／マーク表示無)

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



3



アドバイス

- 録音(REC)中は操作できません。
- マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。
- ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

CD

「リピート再生」／「ランダム再生」／「スキャン再生」

CDプレーヤーを使う(5)

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

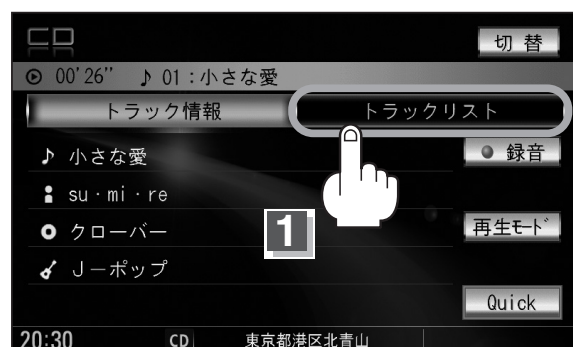
トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

画面の**トラックリスト** ボタンを
タッチする。

：トラックリストが表示されます。

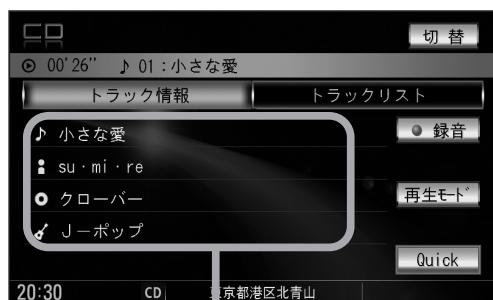
CDモードTOP画面
トラック情報表示(例)



アドバイス

CDモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト**)によってトラック情報表示／
トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)

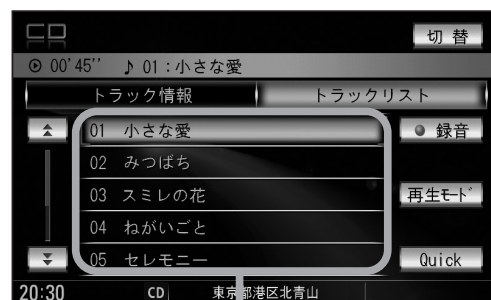


トラック情報表示

トラックリスト
ボタンタッチ

トラック情報
ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト表示

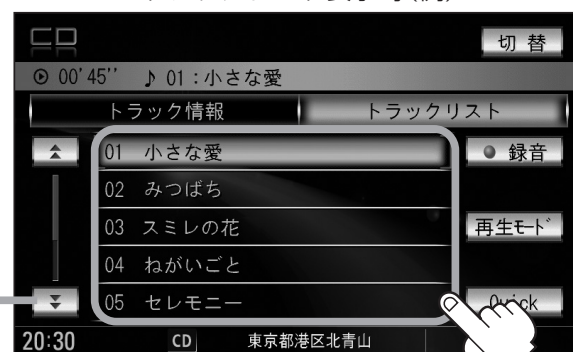
※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

TOP画面
トラックリスト表示時(例)



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し／送り表示

2



アドバイス

トラックリストについて

- CD-TEXT情報またはGracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
- タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
- TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は、**トラック情報** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)



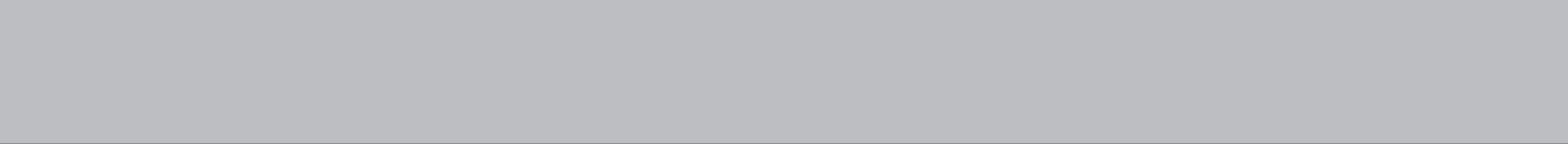
アドバイス

録音 (REC) 中は操作できません。

※録音 (REC) 中はトラックリストを表示させてもトラックの選択はできません。トラックリストの確認のみとなります。

C
D

〔リストより選択〕



MP3/WMA (CD-R/RW)

MP3/WMAについて	88～93
MP3/WMAプレーヤーを使う	94～103
各部の名称とはたらき	94
表示部(再生画面)について	95
MP3/WMAを聞く	96、97
MP3/WMAモードを終了する	97
MP3/WMAディスクを取り出す	97
操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	98
早戻し/早送りをする	98
好きなフォルダを選ぶ	99
再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	100、101
トラックリストより好きなファイル(曲)を選び 再生させる	102、103

MP3／WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3 (MPEG Audio Layer 3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA (Windows Media™ Audio) は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio* ¹
対応サンプリング周波数	 92ページ参照	 93ページ参照
対応ビットレート* ²		

* 1印：●DRM(デジタル著作権管理)システムのWMAファイルやプロテクト録音(ライセンス管理)されたWMAファイルは再生できません。

●Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応していません。

* 2印：●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。

●VBRに対応しています。

●フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

■使用できるメディアについて

●MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。

※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

●一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

●MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”(*1)／WMAの拡張子“WMA”(*1)が付いたものだけです。

●MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。

* 1)：拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。



アドバース

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けしないでください。MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証していません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角32文字、バージョン2.xは半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名です。

※WMAタグの表示可能文字数は全角／半角32文字です。

※対応バージョンはVer 1.0／1.1／2.2／2.3となります。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3／WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。



アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1、レベル2、Remeo、Jolietです。

※UDF形式のディスクでの動作保証はしていません。

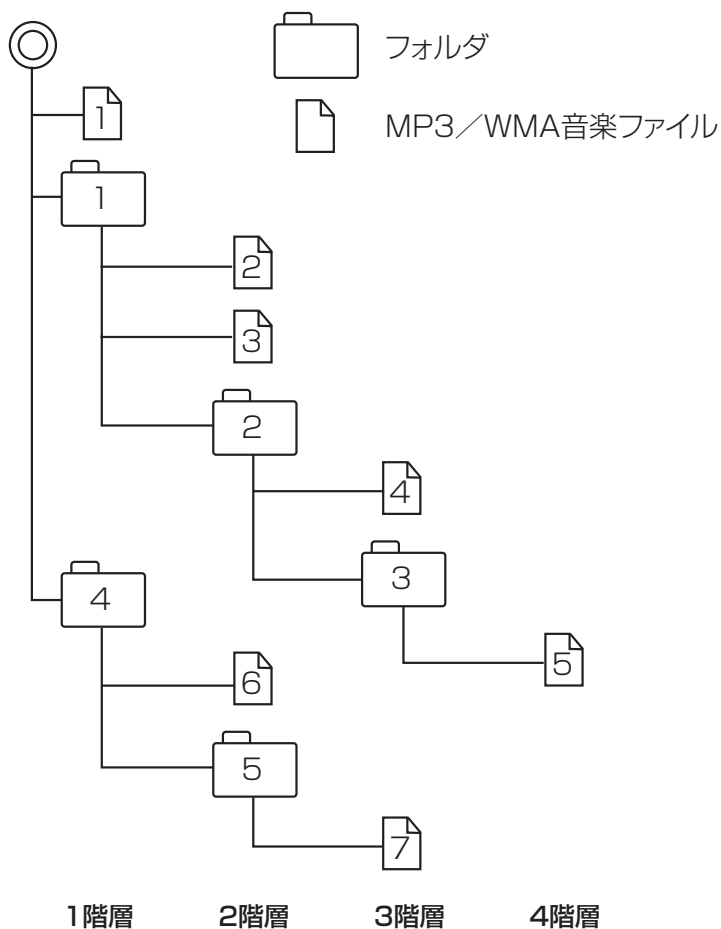
上記フォーマットに準拠して記録されたディスク以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大フォルダ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角32、半角32文字
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字 : A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、
_(アンダースコア)、JIS第一水準
- 1フォルダ中の最大ファイル数 : 255
- 1メディア内の最大ファイル数 : 999
- 最大フォルダ数 : 255
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

MP3／WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3/WMAファイルの作り方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り(料金支払いなど)、そこから指示通りにダウンロードを行ないます。

※著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚(最大74分収録/データ容量650MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。

□CD-R/CD-RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。



アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合があります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3/WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。

MP3／WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数 (kHz)		
16.000	—	○
22.050	—	○
24.000	—	○
32.000	○	—
44.100	○	—
48.000	○	—
ビットレート (kbps)		
8	—	○
16	—	○
24	—	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	—	○
160	○	○
192	○	—
224	○	—
256	○	—
320	○	—
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数 (kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	○
ビットレート (kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR	—	○

※VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3/WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3に対応しています。

●フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 64kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- WMA9 Professional/WMA9 Losslessには対応していません。

MP3/WMAプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、ファイル(曲)の選択が可能です。(102、103ページ)

③ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。(355ページ)

④ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。(100、101ページ)

⑤ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。
※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/Music Rack/SD/iPod/USB/VTRモードからMP3/WMAモードに切り替えるときに使用します。

⑥ **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/取り出すときに使用します。
(96、97ページ)

⑦ **トラック** ボタン(◀▶)

好きなファイル(曲)を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。(98ページ)

⑧ **フォルダ** ◯ ボタン

前のフォルダに戻ります。

⑨ **フォルダ** ⊕ ボタン

次のフォルダに進みます。

⑩ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

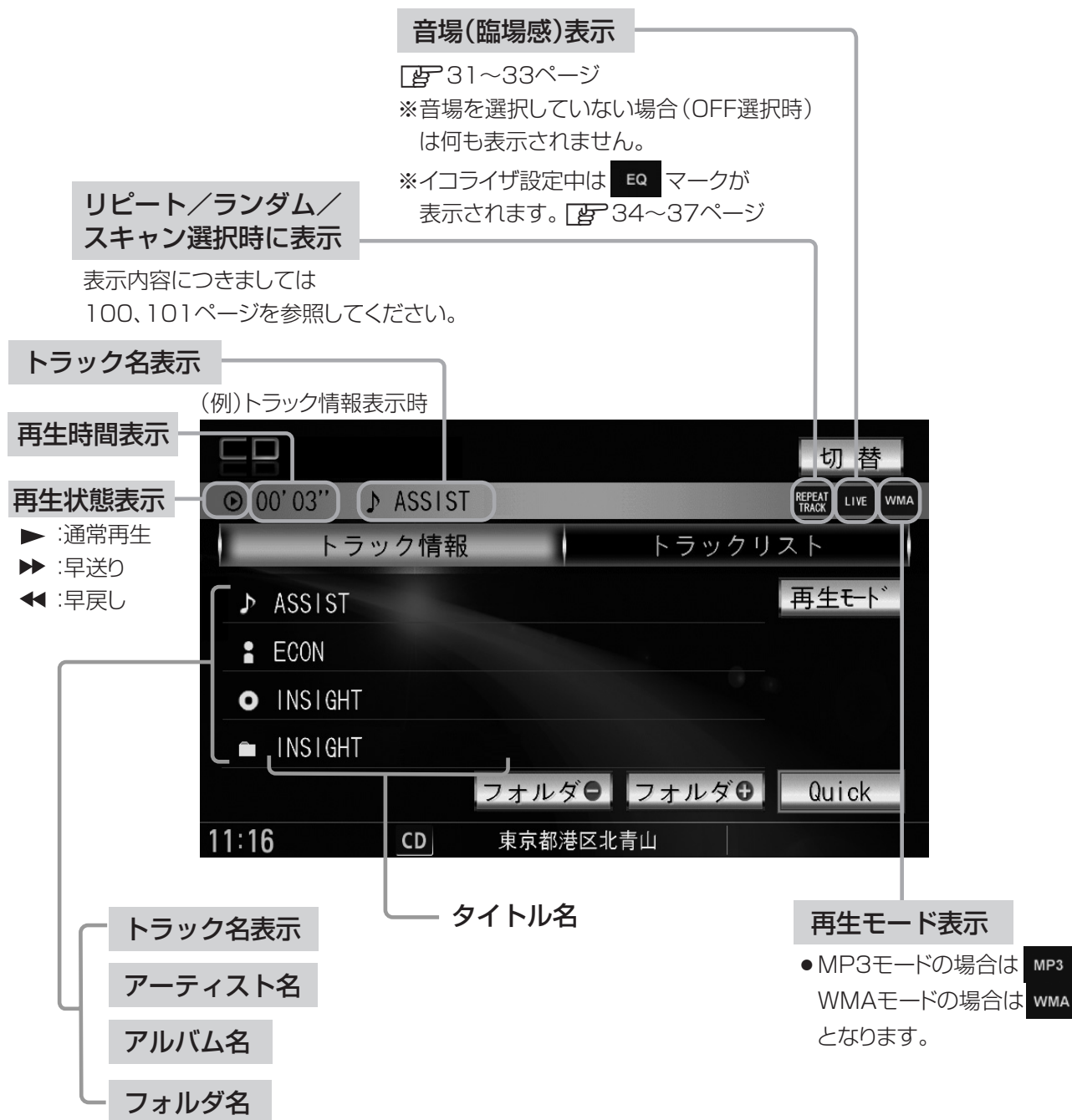
⑪ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(354ページ)

⑫ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

表示部(再生画面)について



MP3/WMA

〔各部の名称とはたらき〕／〔再生画面について〕

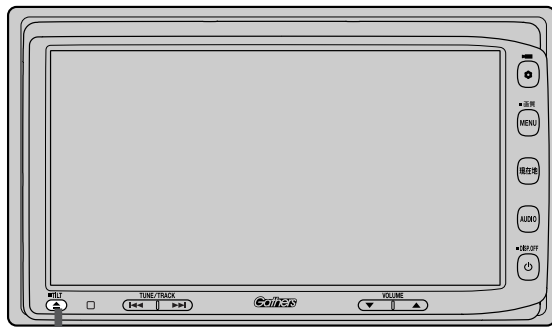


アドバイス

- トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名/フォルダ番号・フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクの場合は、“No Title” と表示されます。

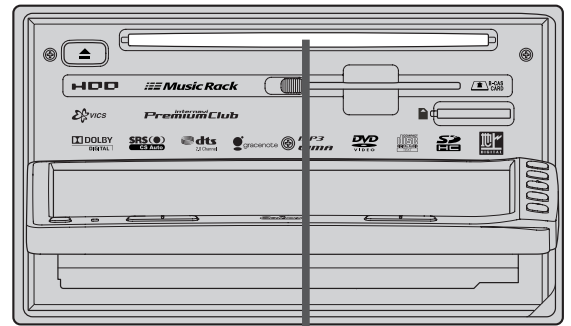
MP3/WMAプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

MP3/WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1

パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが開きます。



ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

2

ディスク挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- ☐ 前回MP3/WMAモード画面でOFF (オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからMP3/WMAの再生を始めます。



① **電源** ボタン (⏻)

□ ナビゲーション画面または前回MP3/WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

□ ラストモード*画面のときは…

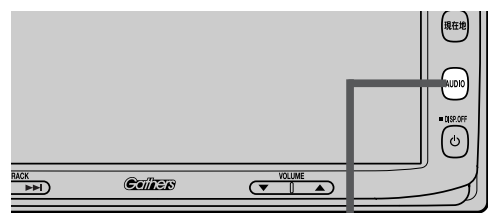
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

② 画面の **CD** ボタンをタッチする。

：MP3またはWMAの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AV MENU画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 26ページ

🖥️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドバンス

MP3/WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

MP3/WMAモードを終了する

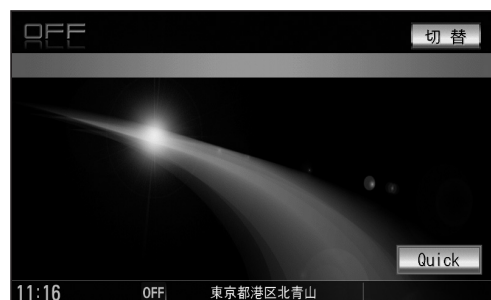
1

パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMP3/WMAの再生を止めます。(オーディオモード終了)



① **電源** ボタン(🔌)



MP3/WMAディスクを取り出す

1

80ページ **CDを取り出す** の手順 ①、② にしたがって操作してください。

MP3/WMA

〔聞く〕

〔MP3/WMAモードを終了する〕

〔取り出す〕

MP3/WMAプレーヤーを使う(3)

操作パネル上のボタンにて1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。
：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。*

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

●画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「**トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる**」102、103ページ

●*：トラック再生開始3秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を
押し続ける。

：再生中のファイル(曲)の早戻し／早送りを
します。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の **フォルダ⊖**／**フォルダ⊕** ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖ ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕ ボタンをタッチする。



1

MP3/WMA

「1 ファイルずつ選曲」／「早戻し／早送り」／「フォルダ選択」

MP3/WMAプレーヤーを使う(4)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1 画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

WMAモード TOP画面(例)

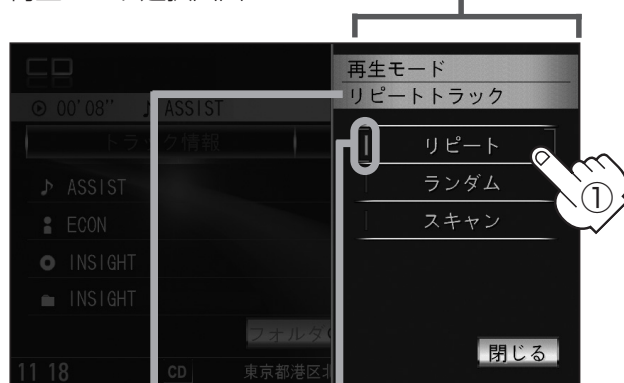


2 再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、リピート再生されます。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの リピート再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)



今聞いているフォルダの リピート再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **REPEAT FOLDER** マーク表示有)



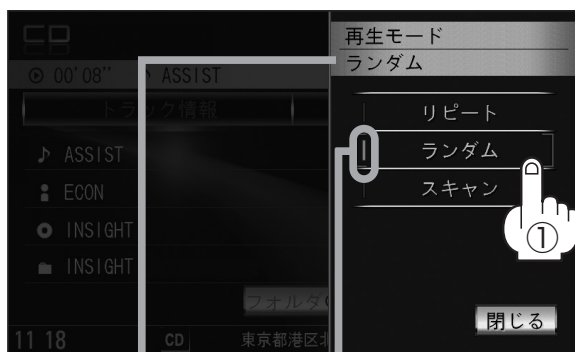
通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

現在再生しているフォルダのランダム再生となります。

：表示灯点灯し、選択中フォルダ内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

選択中フォルダ内の曲をランダム再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)



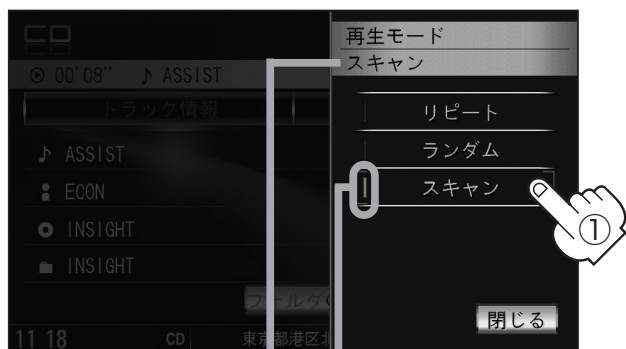
通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード
の状態を表示

選択時点灯

ディスク内の曲のスキャン再生となります。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



3



アドバイス

- ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。
- スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。
- TOP画面にマーク表示がある限りそれぞれのモード再生を繰り返します。

MP3/WMA

「リピート再生」／「ランダム再生」／「スキャン再生」

MP3/WMAプレーヤーを使う(5)

トラックリストより好きなファイル(曲)を選び再生させる

ファイル(曲)を一覧表示させ、再生させることができます。

1

画面の**トラックリスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストにファイル(曲)が表示されます。

WMAモード TOP画面
トラック情報表示(例)



MP3/WMAモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト**)によってトラック情報表示 / トラックリスト(ファイル(曲))リスト表示となります。

TOP画面(例)



詳細情報表示

トラックリスト
ボタンタッチ

トラック情報
ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト(ファイル(曲))リスト表示

※すでにトラックリスト(ファイル(曲))リスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

2

再生したいファイル(曲)をタッチする。

：選択したファイル(曲)が再生されます。

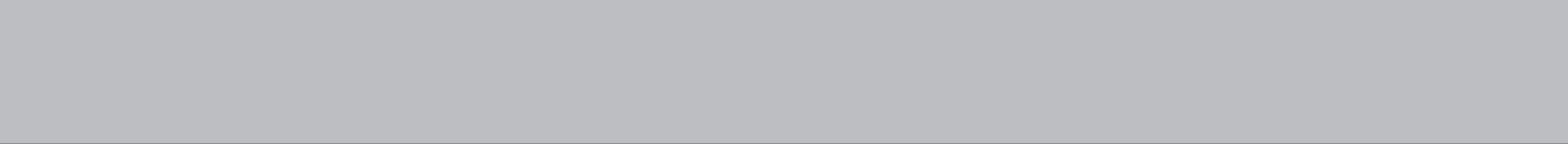
TOP画面
トラックリスト(ファイル(曲))表示時(例)





アドバイス

TOP画面を詳細情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。
(左記アドバイス参照)



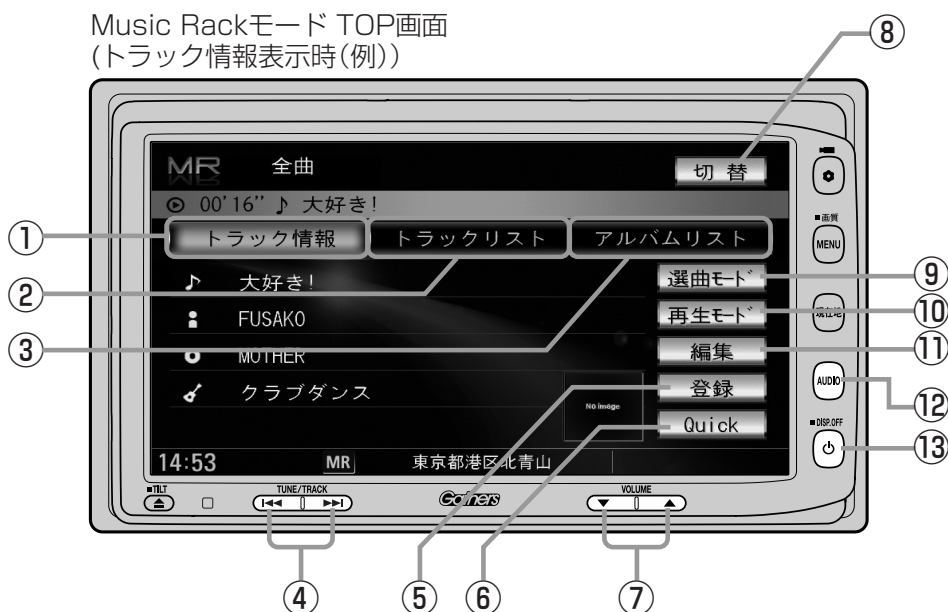
Music Rack

Music Rackを使う 106~143

各部の名称とはたらき	106
表示部(再生画面)について	107
Music Rackを聞く	109
Music Rackモードを終了する	110
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	111
早戻し／早送りをする	111
リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを 選び再生させる	112、113
選曲モードより選択し再生させる	114~121
再生モードを選択する (リピート／ランダム／スキャン再生)	122、123
アルバムリストの編集(曲管理)	124~131
トラックリストの編集(曲管理)	132~137
お気に入り进行管理する	138、139
再生中の曲をお気に入り登録する	140、141
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを 設定する	142、143

Music Rackを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(112、113ページ)

③ **アルバムリスト** ボタン

アルバムリストを表示し、アルバムの選択が可能です。
(112、113ページ)

④ **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを
押し続けると早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。
(111ページ)

⑤ **登録** ボタン

再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録
したり、再生中トラックをお好きなジャンル/ミュー
ジックエスコートに変更することができます。
(140、141ページ)

⑥ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

⑦ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

⑧ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(355ページ)

⑨ **選曲モード** ボタン

7種類の選曲モード(全曲/アルバム/アーティスト
/プレイリスト/ジャンル/ミュージックエスコート
/お気に入り)から再生したい曲を絞り込んで検索す
ることができます。(114～121ページ)

⑩ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすること
ができます。(122、123ページ)

⑪ **編集** ボタン

アルバムやトラックの編集(表示名やよみがなを変え
たり)、ジャンルの変更、再生選択やお気に入り管理
などを行うことができます。(124～139ページ)

⑫ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。
※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/
CD/DVD/MP3/WMA/SD/iPod/USB/
VTRモードからMusic Rackモードに切り替える
ときに使用します。

⑬ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

表示部(再生画面)について

選択中の選曲モードの内容を表示します。

※選曲モードで **ジャンル** / **ミュージックエスコート** / **お気に入り** 選択時にアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合でも“全曲”表示となります。
選曲モード  114ページ

再生状態表示

- ▶ :通常再生
- ▶▶ :早送り
- ◀◀ :早戻し

(トラック情報表示時(例))

再生時間表示



リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

表示内容につきましては122、123ページを参照してください。

音場(臨場感)表示

選択中の音場を表示します。

 31~33ページ
※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

※イコライザ設定中は  EQ

 34~37ページ

トラック名表示

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

ジャケット表示

ジャケット写真を表示させることができます。

 68、69ページ

トラック名表示

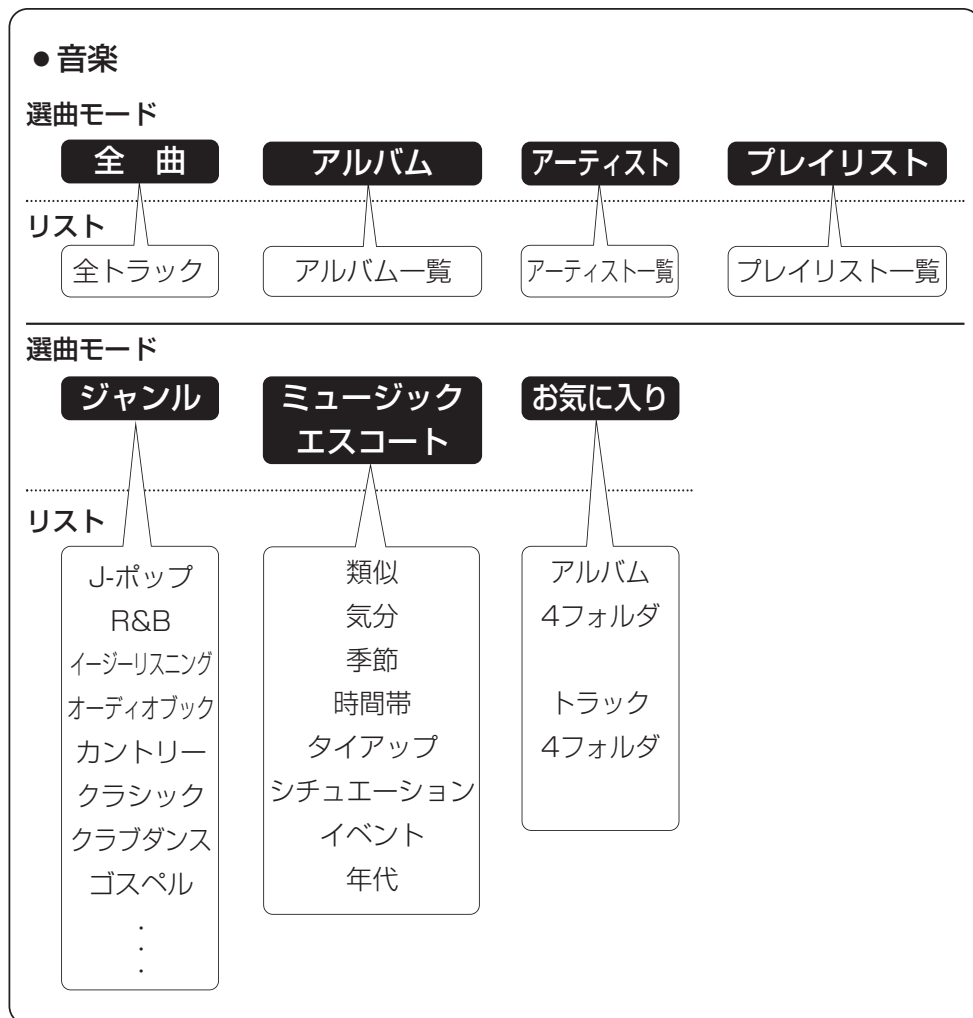


アドバイス

- トラック情報表示のとき、トラック名/アーティスト名/アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示/アルバムリスト表示のどの画面からでもタッチしてスクロールすることができます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は“トラック××”/“新規アーティスト”/“新規アルバム△△△△ △△△”と表示されます。
※××にはトラック番号、△には録音した西暦・月・日の数字が入ります。
- 実在と異なるトラック名/アルバム名表示のまま録音した場合は、異なった情報のまま本機に録音されます。
- ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は“その他”と表示されます。

Music Rackを使う(2)

Music Rackイメージ図



★Music Rackに録音*された曲は自動で4種類(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)の選曲モードに分類され、さらに細かく分かれて管理されます。

選曲モードの各ボタンの中から絞り込んで検索することができるので便利です。

※全曲は全てのトラックを表示します。プレイリストはBeatJam上で作成し、本機に転送した場合に表示されます。お気に入りは好みの曲だけを集めたオリジナルリストを表示します。

※ミュージックエスコートはMCDB(メディアクリックDB)の楽曲属性DBを利用して曲調によって分別されます。

※*印：録音につきましては 「録音する」48～52ページをお読みください。

※選曲モードでジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りを選択し、再生させているときにアルバムや曲の削除／再生選択を行なうと、トラック情報画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)

※録音された音楽CDがGracenoteおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限り
ます。

Music Rackを聞く

※CDまたはパソコンから1曲も本機に録音していない場合、Music Rackを聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回Music Rackモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回Music Rackモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

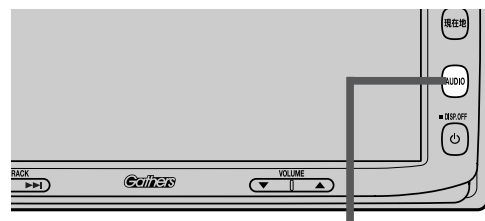
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

②画面の **Music Rack** ボタンをタッチする。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン



AV MENU画面



■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 26ページ

🖥️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドバイス

Music Rackの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

Music Rackを使う(3)

Music Rackモードを終了する

1

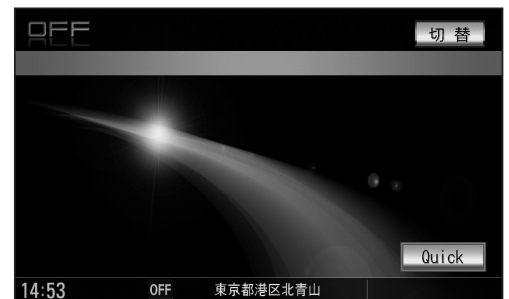
パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されMusic Rackの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1

電源 ボタン(⏻)



操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を
押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

- 再生モードでランダムを選択している場合は順序不同再生となります。
- 画面をタッチしてリストより選択することもできます。

☞「リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選び再生させる」112、113ページ

早戻し／早送りをする

1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を
押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン



アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。**トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続け、リストの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

Music Rackを使う(4)

リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選び再生させる

選曲モード(☞ 114ページ)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／プレイリスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックまたはアルバムをリストより選択再生させることができます。

1

画面の **トラックリスト** ボタンまたは **アルバムリスト** ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

Music Rackモード TOP画面
トラック情報表示時(例)



■ **トラックリスト** ボタンをタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード(☞ 114ページ)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／プレイリスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックリスト表示となります。

■ **アルバムリスト** ボタンをタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。



アドバイス

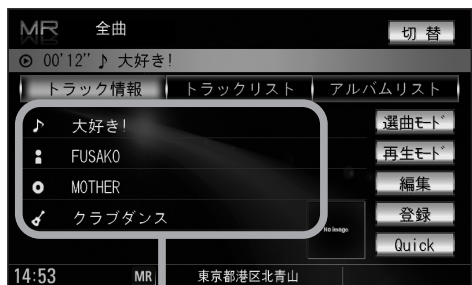
選曲モード(☞ 114ページ)で選択したボタン(全曲／アーティスト)のアルバムリスト表示となります。

※選曲モードで全曲／アルバムを選択した場合は、全てのアルバムが表示されます。アーティストを選択した場合は、選択したアーティストのアルバム表示となります。お気に入りアルバムを選択した場合は、選択したお気に入りアルバムのアルバム表示となります。プレイリスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りトラックを選択した場合はアルバムリストは選択できません。



Music RackモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト** / **アルバムリスト**)
によってトラック情報表示/トラックリスト表示/アルバムリスト表示となります。

TOP画面(例)



トラック情報表示

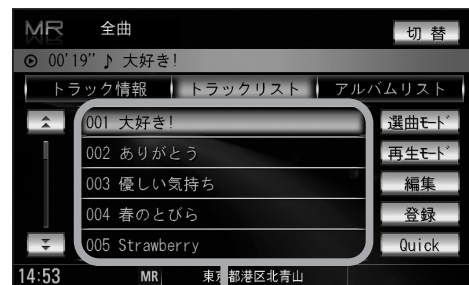
トラックリスト

ボタンタッチ

トラック情報

ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト表示

TOP画面(例)



アルバムリスト表示

アルバムリスト

ボタンタッチ

トラック情報

ボタンタッチ

アルバムリスト

ボタンタッチ

トラックリスト

ボタンタッチ

2

再生させたいトラックまたはアルバムを
タッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(アルバムリスト表示時(例))



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し/送り表示



TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。
(上記アドバイス参照)

Music Rackを使う(5)

選曲モードより選択し再生させる

本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲モードの各ボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)に自動で振り分けます。選曲モード内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

※録音された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限りです。

また、選曲モードにはBeatJam上で作成したプレイリストの曲を再生させる“プレイリスト”ボタンや、本機のお好みの曲だけを集めた“お気に入り”ボタンもあります。

※“プレイリスト”ボタンを使用するにはあらかじめPC接続をしてBeatJamからプレイリストを本機に転送しておく必要があります。(PC接続には別売のUSB接続コード&BeatJamが必要です。

☞ 19ページ)

※“お気に入り”ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。

☞ 「再生中の曲をお気に入り登録する」 140、141ページ

1

画面の**選曲モード**ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

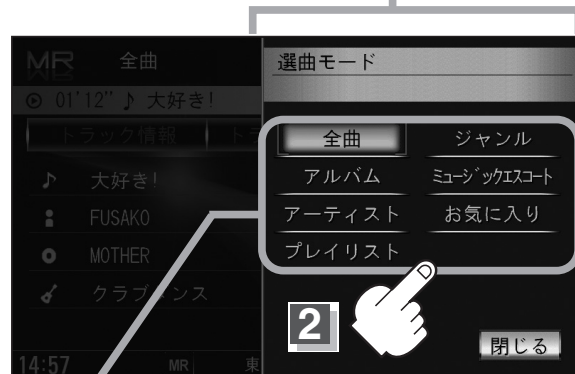
Music Rackモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



2

選曲モードより選曲する方法(**全曲**／**アルバム**／**アーティスト**／**プレイリスト**／**ジャンル**／**ミュージックエスコート**／**お気に入り** ボタン)を選択します。

選曲モード画面



選曲モード



アドバイス

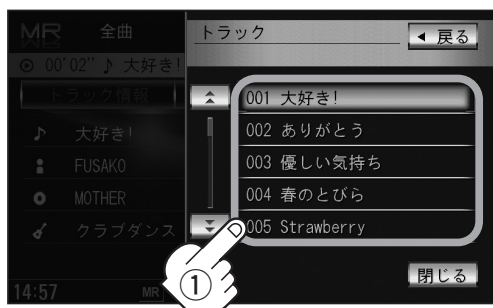
- リッピングした曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- パソコン上にある音楽ファイルをBeatJamから本機に転送(チェックアウト)する場合は必ずGracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得を行なってください。
※曲情報の取得を行ってから転送(チェックアウト)することにより選曲モード(正常にサーチ機能)が使えるようになります。
☞ 66、67ページ参照
- 選曲モードを選択する前に**閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



アドバイス

次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

■ アルバム ボタンをタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト

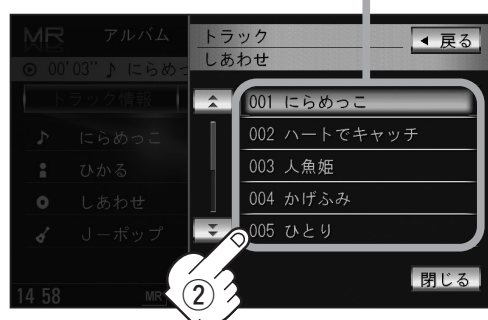
名前順表示の場合(例)



：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



アドバイス

- アルバムリスト表示(手順①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

登録順表示の場合(例)



1. 画面の **登録順** ボタンをタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** ボタンをタッチしてください。(パソコンから転送(チェックアウト)された曲はアルバム名のよみ("アルバムよみ")が入っていないと正しく名前順に表示されません。アルバム名のよみが入っているものをリストより名前順に並び替え、さらにその下によりよみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。)(アルバムの編集は 125~127ページ参照)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。

Music Rackを使う(6)

■ アーティスト ボタンをタッチした場合

：アーティストリストが表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

名前順表示の場合(例)



：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト



：選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。



アドバイス

- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- アーティストリスト／アルバムリストには、タイトル名がある(Gracenoteデータベースにヒットした)場合にリストに表示されます。
- アーティストリスト(手順①)／アルバムリスト(手順②)表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. 画面の **登録順** ボタンをタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** ボタンをタッチしてください。(アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。

Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ(“アーティストよみ”の項目を選択し編集画面にしたとき)に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。(アルバム／アーティストの編集は125～127ページ参照)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

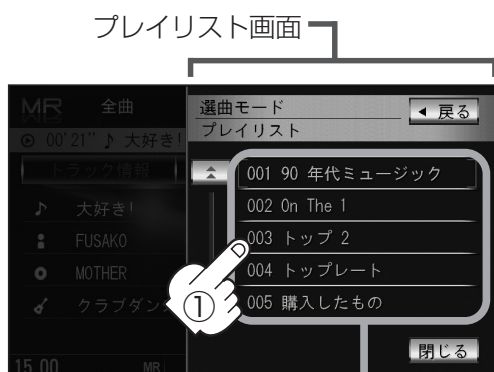
(登録順表示の場合(例))



■ プレイリスト ボタンをタッチした場合

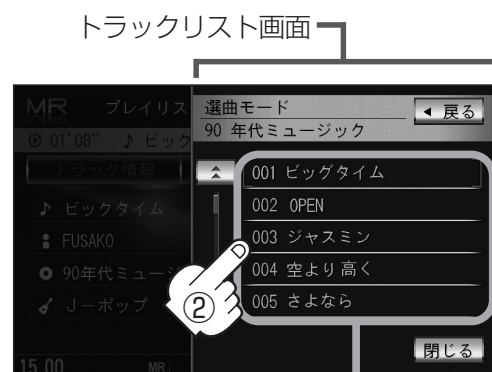
：プレイリスト画面が表示されます。(本機に転送されていない場合は表示されません。)

- ①再生させたいプレイリストをタッチする。 ②再生させたいトラックをタッチする。



プレイリスト

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



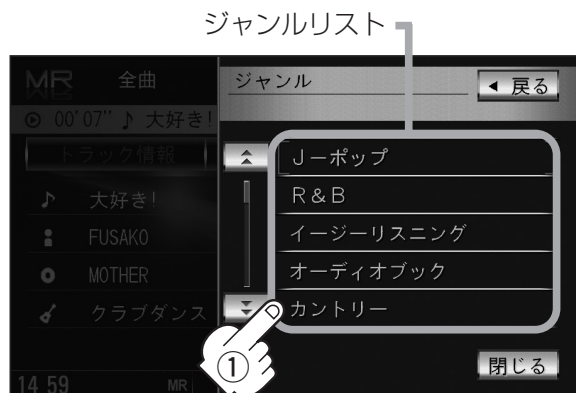
トラック

：選択した曲を再生します。

■ ジャンル ボタンをタッチした場合

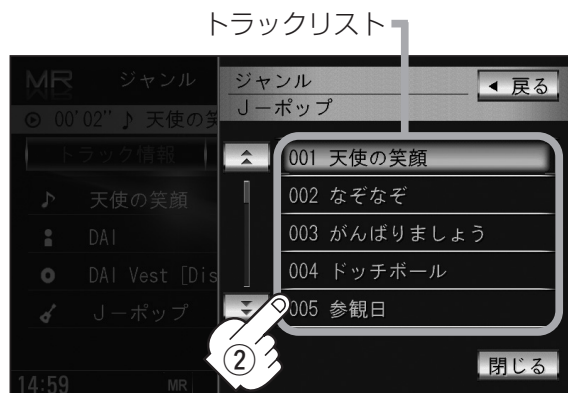
：ジャンルリストが表示されます。

- ①再生させたいジャンルをタッチする。



：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

- ②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。



アドバース

* ジャンル一覧

- | | | | | |
|-------------|------------|----------|--------------|--------|
| ・ J-POP | ・ クラブダンス | ・ パンク | ・ ポップ | ・ 演歌 |
| ・ R&B | ・ ゴスペル | ・ ヒップホップ | ・ メタル | ・ 子供向け |
| ・ イージーリスニング | ・ サウンドトラック | ・ フォーク | ・ ラテン | ・ その他 |
| ・ オーディオブック | ・ ジャズ | ・ フュージョン | ・ レゲエ | |
| ・ カントリー | ・ テクノ | ・ ブルース | ・ ロック | |
| ・ クラシック | ・ ニューエイジ | ・ ホリデー | ・ ワールドミュージック | |

- / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- トラックリストはGracenoteデータベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。

「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」142、143ページ

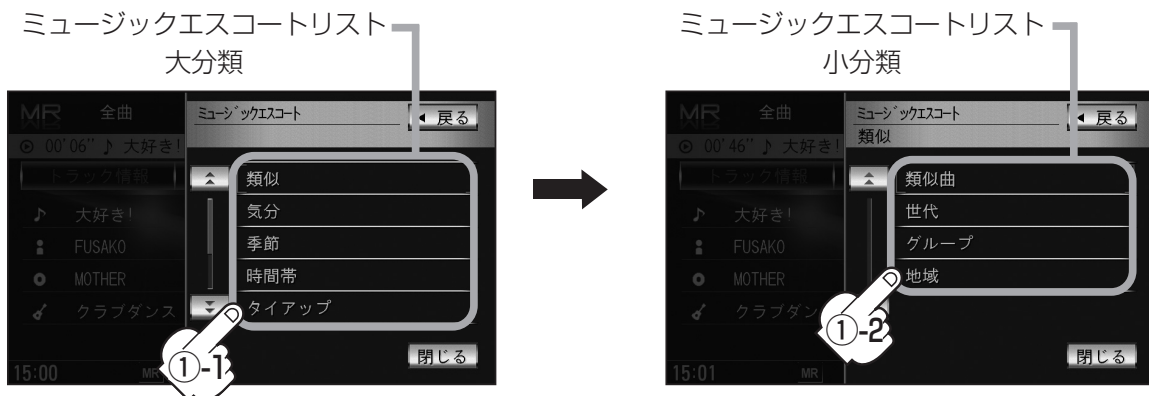
Music Rackを使う(7)

■ ミュージックエスコート ボタンをタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

①再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

※大分類／小分類につきましては右記表(アドバイス内)を参照してください。



：選択した小分類のトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

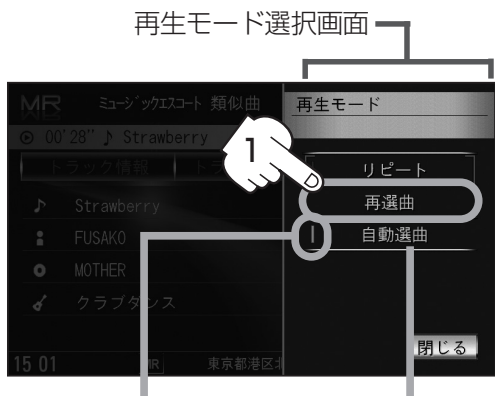
※トラックは10曲まで表示されます。

他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。
(下記)

□ 再選曲をする場合

再生モード選択画面のとき、再生させる曲を選択しなおすことができます。

※再生モード選択画面はMusic Rackモード TOP画面のとき **再生モード** ボタンをタッチして表示させます。
(122ページ)



1. 再選曲 ボタンをタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が再選曲しなおし、曲を再生します。

選択時表示灯点灯

初期状態は“自動選曲”に設定されています。
自動選曲が選択されていると、選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。



- ミュージックエスコートの各分類は以下のとおりとなります。

大分類	小分類
類似	類似曲／世代／グループ／地域
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌
シチュエーション	海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪
イベント	クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚
年代	60年代／70年代／80年代／90年代／00年代

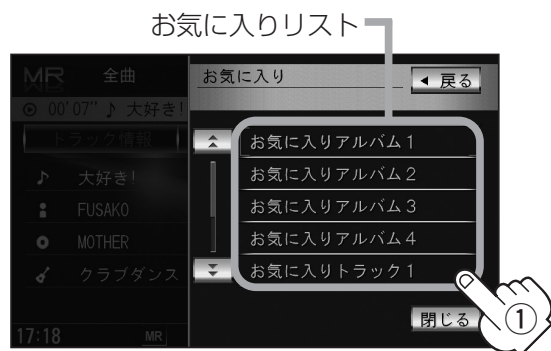
- ミュージックエスコートにはMCDB (CD収録属性) を利用した主観的楽曲 (テンポ・シチュエーション・季節・男性／女性など) が自動でふり分けられます。多角的な管理の実現により気分に合わせて選曲が可能です。
- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 再生させたいミュージックエスコートを選択した場合ランダム／スキャン再生はできません。
 122、123ページ
- トラックリストはGracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットした (タイトル情報がある) 場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択するごとに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されるとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類にふり分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
 - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
 - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
 - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ (ソロ／デュエット／グループ) の曲
 - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
 - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
 「 **再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する** 」 142、143ページ

Music Rackを使う(8)

■ お気に入り ボタンをタッチした場合

：お気に入りリストが表示されます。

- ①再生させたいお気に入りアルバム1～4またはお気に入りトラック1～4をタッチする。



- Music RackモードのTOP画面で **登録** ボタンをタッチしてお気に入り登録をしていないと、下記手順1.以降の操作はできません。
- 1つのお気に入りアルバムに200アルバム、1つのお気に入りトラックに200曲の登録が可能です。

☞ 「再生中の曲をお気に入り登録する」
140、141ページ

□ お気に入りアルバム1 をタッチした場合

：お気に入りアルバム1に収録されているアルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。

お気に入りアルバム1の
アルバムリスト



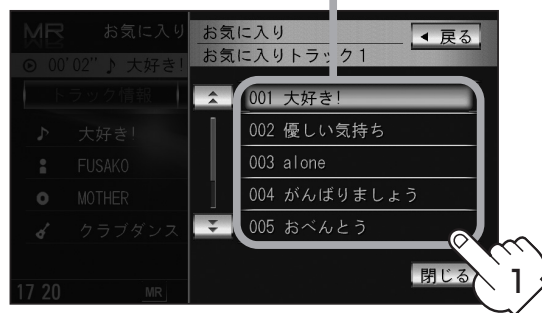
：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

□ お気に入りトラック1 をタッチした場合

：お気に入りトラック1に収録されているトラックリスト表示とともにリストの1番上の曲が再生されます。

1. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りトラック1の
トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。

2. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りアルバム1の
トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。



次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



アドバイス

ジャンルリスト (P 117ページ)、ミュージックエスコートリスト (P 118ページ)、お気に入りリスト (P 120ページ)で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(Gracenoteデータベース/MCDBデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。さらに表示部は“——”となります。

Music Rackを使う(9)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の**再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

Music Rackモード TOP画面(例)



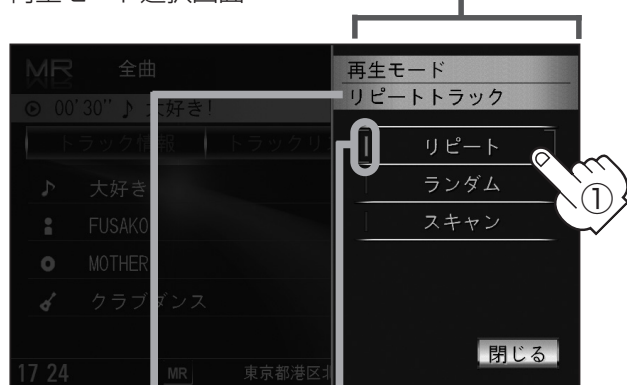
2

再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯 /
TOP画面のとき **REPEAT** マーク表示有)



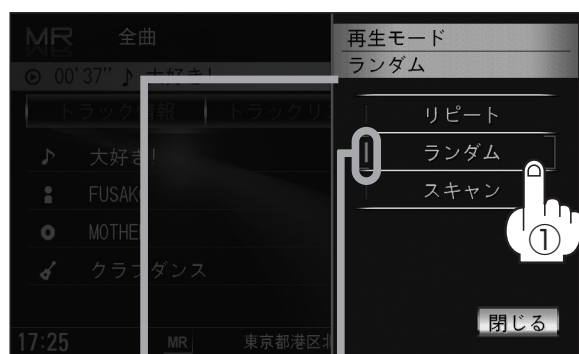
通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯 / マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をランダム再生

(表示灯点灯 /
TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)



通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯 / マーク表示無)



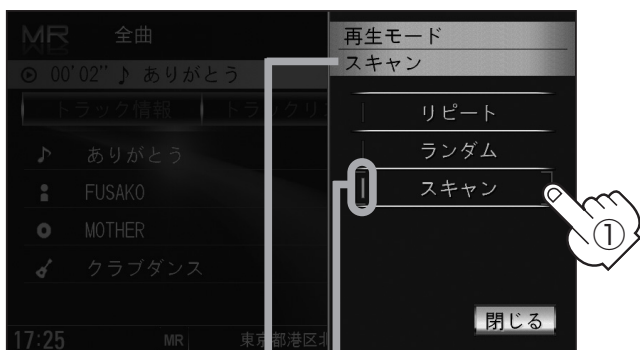
アドバイス

- ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。
- 選曲モード(114ページ)の中で **ミュージックエスコート** を選択しているときランダム再生はできません。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯
の状態を表示

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

ディスク内の曲をスキャン再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



アドバイス

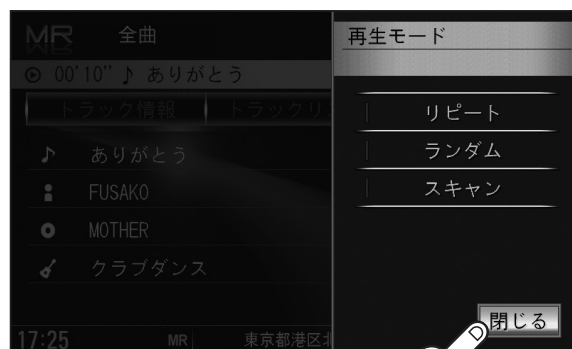
- スキャン解除をすると、再生中の曲で通常再生を続けます。
- 選曲モード(114ページ)の中で **ミュージックエスコート** を選択しているときスキャン再生はできません。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



3



アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

Music Rackを使う(10)

アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などを行うことができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索なども行うことができます。

1

画面の **編集** ボタンをタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。



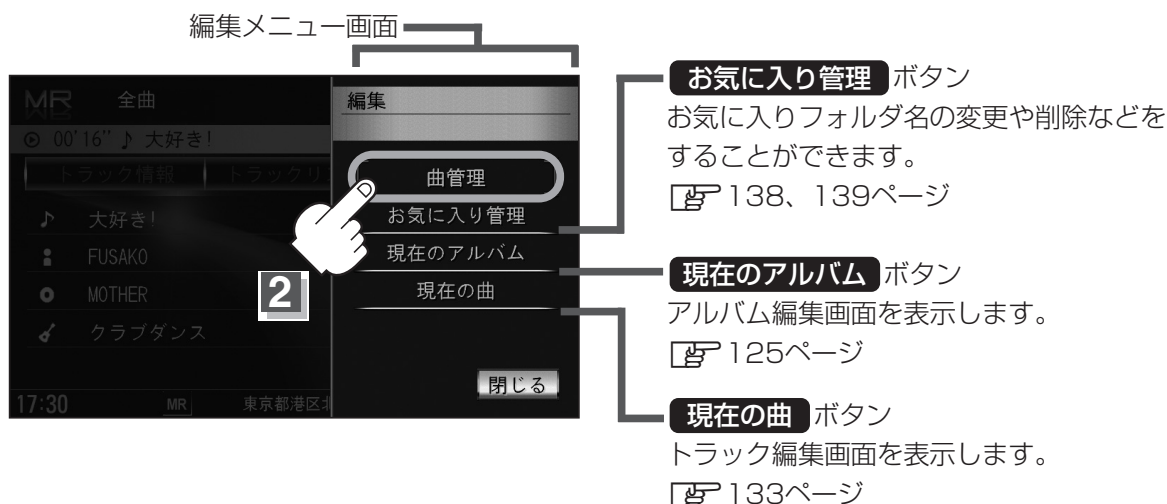
2

編集メニューより **曲管理** ボタンをタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンは選択できません。

はい ボタンをタッチして再生を停止してください。



お気に入り管理 ボタン

お気に入りフォルダ名の変更や削除などを行うことができます。

☞ 138、139ページ

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

☞ 125ページ

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

☞ 133ページ

3

編集したいアルバムを選択し、操作したいボタン(**アルバム編集** / **再生選択** / **お気に入り登録** / **削除**)をタッチします。

- ノートパソコンを接続(BeatJamを使用★)して転送(チェックアウト)したデータで、アルバム情報がない曲の場合にタッチします。(132ページ)

- ★：BeatJamを使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamが必要です。☞ 19ページ



*：トラックの編集(**トラック表示** ボタンにつきましては)

☞ 「 **トラックリストの編集(曲管理)** 」132～137ページを参照してください。

■ アルバム編集 ボタンをタッチした場合

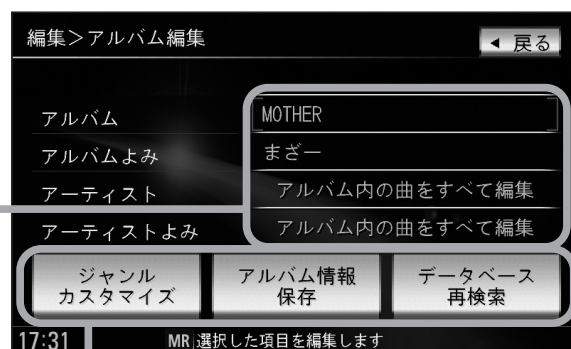
：アルバム編集画面が表示されます。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は

☞ 下記～127ページ参照

アルバム編集画面



お好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は

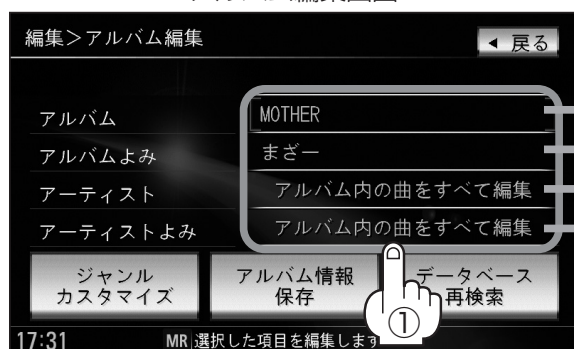
☞ 128、129ページ参照

□ タイトルの編集をするときは…

① 編集したい項目をタッチする。

※アルバム名／アーティスト名や、アルバム名／アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

アルバム編集画面



アルバム名

アルバム名の読みがな(読みかた)

アーティスト名

アーティスト名の読みがな(読みかた)

：タイトル編集画面が表示されます。



アドバイス

- “アルバムよみ”の項目をタッチすると再生画面にて表示されているアルバム名をかな読み表示します。
- アーティスト名(**アルバム内の曲をすべて編集**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。
- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面(☞ 115ページ)／アーティストリスト画面(☞ 116ページ)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名／アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面(☞ 133ページ)から確認することができます。
※再生画面(Music Rackモード TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

Music Rackを使う(11)

②入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

ひらがなとカタカナを入力する場合

例「わワ」と入力する場合

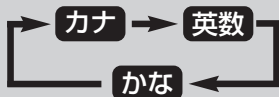
← → ボタンをタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

1 **わ** ボタンをタッチする。
：画面上部に、「わ」があらわれます。

3 **ワ** ボタンを選び、タッチする。
(画面上部に、「ワ」があらわれる。)

1文字分のスペースを空けます。

2 **カナ** ボタンをタッチする。
：50音パレットがカタカナに変わります。
※タッチするたびに



と切り替わります。
用途に合わせて切り替えてください。

入力した文字を訂正する場合

① **訂正** ボタンをタッチする。

：1文字消去します。

※全ての文字を訂正する場合は、**訂正** ボタンを1.5秒以上タッチします。

②正しい文字を入力する。



50音パレット

小文字に変換したい場合

小文字 ボタンをタッチする。

：50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。

※タッチするたびに **小文字** ↔ **大文字** と切り替わります。
用途にあわせて切り替えてください。

漢字を入力する場合

例「桜」を入力する場合

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に   ボタンを選択します。



- 1 **さ く ら** ボタンをタッチする。
：画面上部に「さくら」と表示されます。

2 **変換** ボタンをタッチする。

：さくらに該当するリストが表示されます。



3 **桜** ボタンをタッチする。

：画面上部に「桜」と表示されます。

※リストをタッチする前に

閉じる ボタンをタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

- 次ページがある場合  /  ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。

※ **無変換** ボタンをタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。

※ **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

③入力が終わったら…

決定 ボタンをタッチする。

：変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。



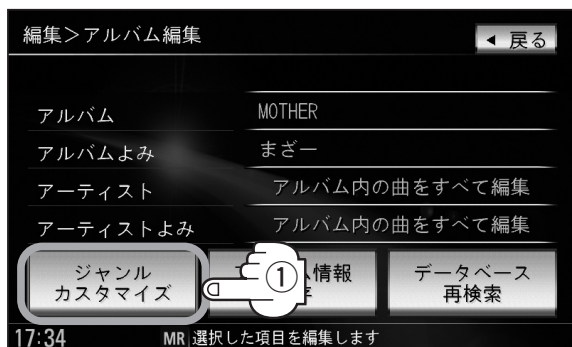
Music Rackを使う(12)

□ ジャンルを変更するときは…

※本機によって振り分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

- ① **ジャンルカスタマイズ** ボタンをタッチする。

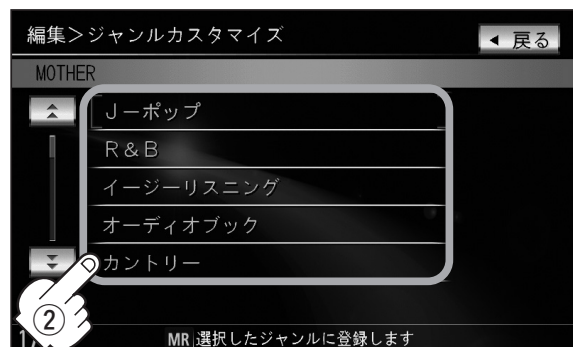
アルバム編集画面



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

- ② お好きなジャンルボタンをタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面



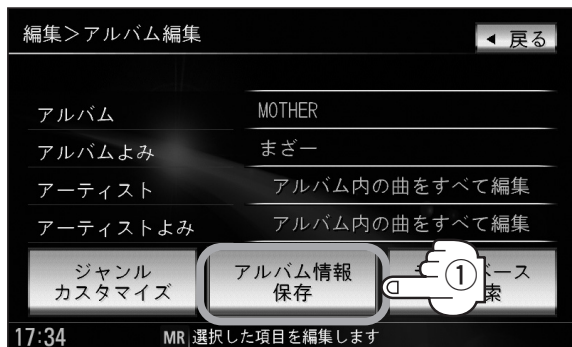
：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

□ アルバム情報を保存するときは…

※本機(HDD)に収録されていないタイトル情報を本機のGracenoteデータベースフォルダに保存します。

- ① **アルバム情報保存** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面



：アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバイス

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

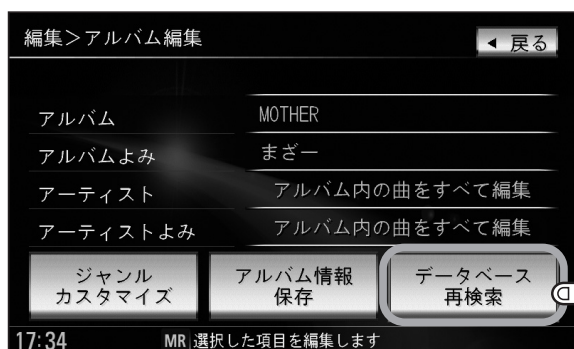
カスタムアップデート(個別更新)

1. Gracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(☞ 61ページ①～⑤)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。(☞ 62ページ⑥、⑦)

□ データベースから再検索するときは…

- ① **データベース再検索** ボタンをタッチする。

アルバム編集画面



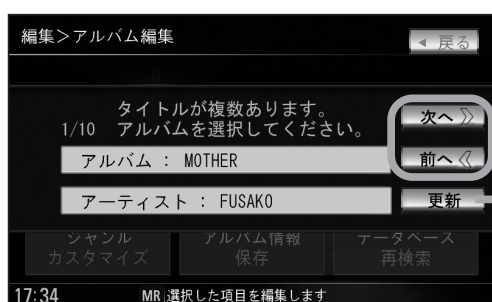
※誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。) 編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバイス

データベース再検索をしたときタイトル情報が複数ある場合は好きなアルバム名を選択することができます。 ※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



- 1 **次へ**／**前へ** ボタンをタッチして次のアルバム名を表示させることができます。
- 2 上書きするアルバム名が決まったら **更新** ボタンをタッチします。

BeatJamから転送(チェックアウト)された音楽データは“データベース再検索” および “アルバム情報を保存” は機能しません。

Music Rackを使う(13)

■ 再生選択 ボタンをタッチした場合

：再生選択画面が表示されます。

※チェックマーク(✓)のアルバムのみ再生させることができます。

①再生させたくないアルバムをタッチする。

再生選択画面(例)



アルバムを一括で選択することができます。

(すべてのアルバムにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。

(すべてのアルバムのチェックマーク(✓)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：このアルバムは再生されません。

✓表示：このアルバムは再生されます。

②画面の 決定 ボタンをタッチする。



：曲管理画面(📁 124ページ)に戻ります。



アドバイス

●チェックマーク(✓)を外して再生しない設定にしても、本機(Music Rack)内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル/プレイリスト/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。

●本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に 前へ / 次へ ボタンが表示されます。

※ 前へ / 次へ ボタンをタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

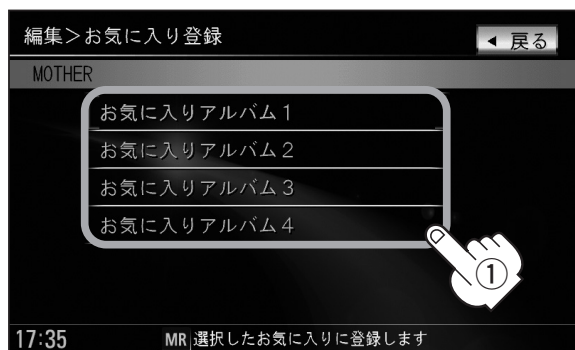
■ お気に入り登録 ボタンをタッチした場合

：お気に入り登録画面が表示されます。

※アルバムリスト(☞ 115ページ)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

①登録したい場所(お気に入りアルバム1～4)をタッチする。

お気に入り登録画面



：選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面(☞ 124ページ)に戻ります。



アドバイス

- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するには132ページ手順 **1**、**2** と137ページを参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
☞ 「再生中の曲をお気に入り登録する」 140、141ページ

■ 削除 ボタンをタッチした場合

※アルバムを削除することができます。

：選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。



※削除しない場合は **いいえ** ボタンをタッチしてください。



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり I (ACC)の状態から II (ON)にしてエンジンを始動したり電源をOFF状態にしたり)をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。



アドバイス

- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Music Rackを使う(14)

トラックリストの編集(曲管理)

アーティスト名／トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

- 1** 124ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のとき編集したいアルバムを選択し、**トラック表示** ボタンをタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。

ノートパソコン接続(BeatJamを使用★)して本機にデータを転送したとき、アルバム情報がない曲がある場合にその曲の編集をすることができます。

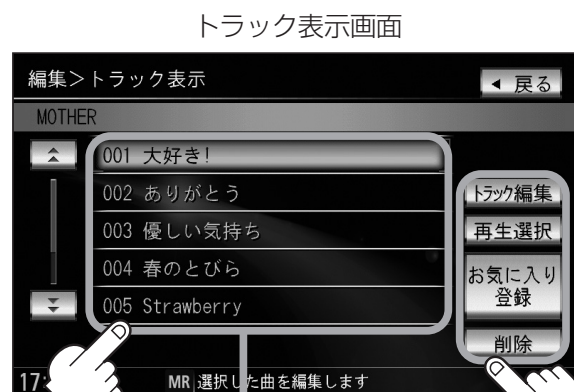
アルバム情報がない曲 タッチ→ **トラック表示** タッチ→下記手順 **2** の操作が可能

★：BeatJamを使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamが必要です。  19ページ



1-1

- 2** 編集したいトラックを選択し、操作したい項目(**トラック編集**／**再生選択**／**お気に入り登録**／**削除** ボタン)をタッチする。



2-1

トラックリスト

2-2



アドバイス

編集したいトラックを選択しなくても **再生選択** ボタンはタッチ(操作)することができます。

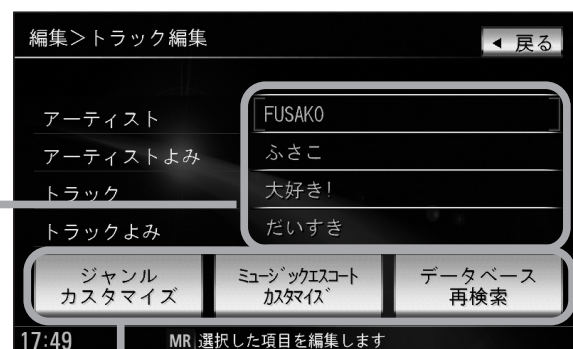
■ **トラック編集** ボタンをタッチした場合

：トラック編集画面が表示されます。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほか、ジャンルやミュージックエスコートの変更、データベースの再検索(タイトル情報の上書き)をすることができます。

タイトル名の編集をする場合は
下記参照

トラック編集画面



好きなジャンルやミュージックエスコートに変更したりデータベースの再検索をする場合は
☞ 134、135ページ参照

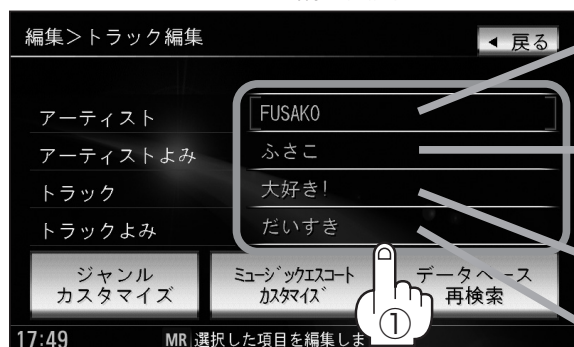
□ **タイトルの編集をするときは…**

※アーティスト名/トラック名や、アーティスト名/トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アーティスト名

アーティスト名の読みがな
(読みかた)

トラック名

トラック名の読みがな
(読みかた)



アドハイス

- “アーティストよみ”/“トラックよみ”の項目をタッチすると再生画面にて表示されているアーティスト名/トラック名をかな読みにて表示します。
- アーティスト名は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面(☞ 116ページ)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** ボタンをタッチしてください。

② 入力する。

※入力のしかたは126、127ページを参考にしてください。

Music Rackを使う(15)

- **ジャンルを変更するときは…** ※本機によって振り分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

- ① **ジャンルカスタマイズ** ボタンをタッチする。

- ② **好きなジャンルボタンをタッチする。**

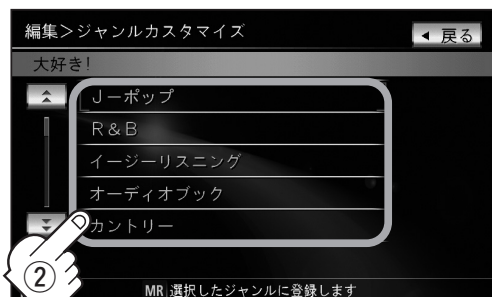
※ジャンルの種類につきましてはP117ページ アドバイスを参照してください。

トラック編集画面



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

ジャンルカスタマイズ画面



：選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

- **ミュージックエスコート(分類)を変更するときは…**

※本機によって振り分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

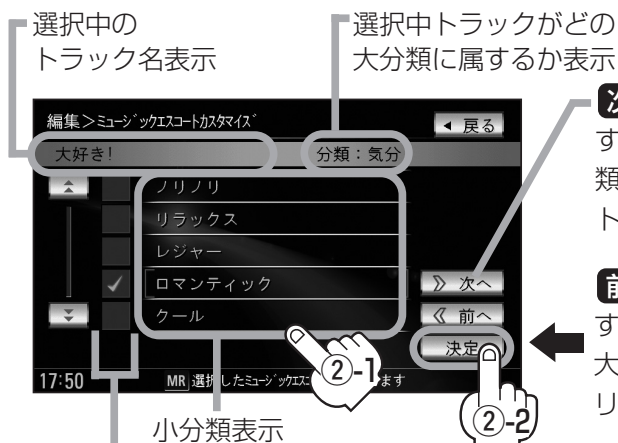
- ① **ミュージックエスコートカスタマイズ** ボタンをタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。



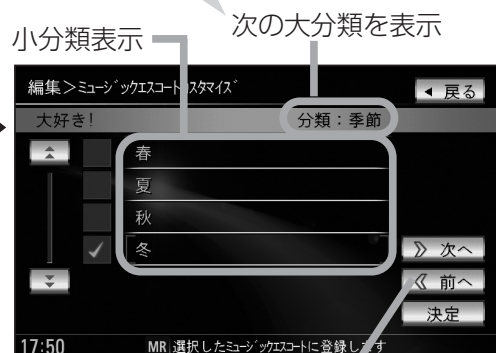
- ② **リストより小分類を選択し、決定** ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。
□表示：設定されていません。／✓表示：設定されています。

次へ／前へ ボタンタッチで大分類が
気分 ↔ 季節 ↔ 時間帯 ↔ タイアップ
イベント ↔ シチュエーション と切り替わる



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、TOP画面に戻ります。

※ミュージックエスコートの分類／小分類(一覧)につきましてはP119ページの表を参照してください。

※ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

□ データベースから再検索するときは…

① データベース再検索 ボタンをタッチする。

トラック編集画面



※誤ったタイトル(アーティスト名/トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)

編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

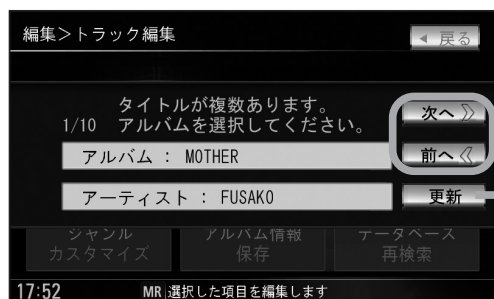
：タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。



アドバイス

タイトル情報が複数ある場合は好きなアルバム名を選択することができます。

※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。



1 **次へ** / **前へ** ボタンをタッチして次のアルバム名を表示させることができます。

2 上書きするアルバム名が決まったら **更新** ボタンをタッチします。

BeatJamから転送(チェックアウト)された音楽データは“データベース再検索”は機能しません。

Music Rackを使う(16)

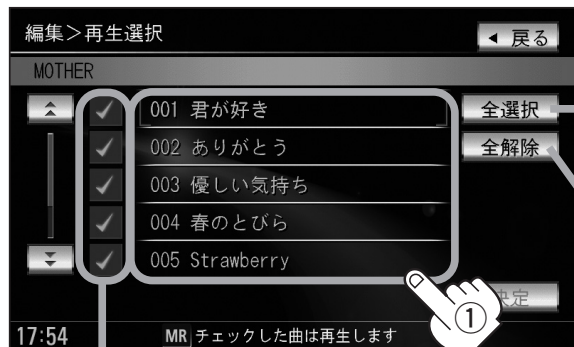
■ 再生選択 ボタンをタッチした場合

：再生選択画面が表示されます。

※チェックマーク(✓)のアルバムのみ再生させることができます。

①再生させたくないトラックをタッチする。

再生選択画面(例)



トラックを一括で選択することができます。

(すべてのトラックにチェックマーク(✓)が付きます。)

選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのトラックのチェックマーク(✓)を消します。)

トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：このトラックは再生されません。

✓表示：このトラックは再生されます。

②画面の 決定 ボタンをタッチする。



：曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバイス

- チェックマーク(✓)を外して再生しない設定にしても、本機(Music Rack)内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル/プレイリスト/ミュージックエスコート/お気に入りのリストには反映されません。

- 本機の実行アルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ** / **次へ** ボタンが表示されます。

※ **前へ** / **次へ** ボタンをタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

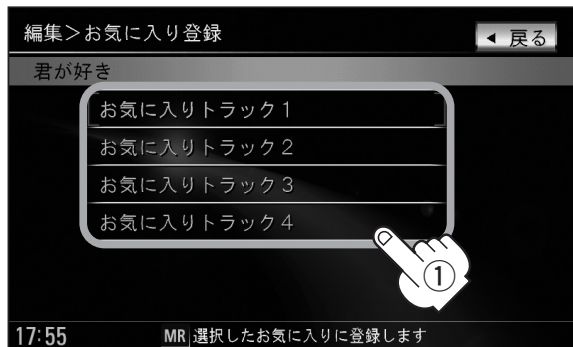
■ **お気に入り登録** ボタンをタッチした場合

：お気に入り登録画面が表示されます。

※トラック表示画面(132ページ)より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

①登録したい場所(お気に入りトラック1~4)をタッチする。

お気に入り登録画面



：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバイス

- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するには124ページ手順 **1** ~ **3** と131ページを参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
 「再生中の曲をお気に入り登録する」 140、141ページ

■ **削除** ボタンをタッチした場合 ※トラックを削除することができます。

：選択したトラック(曲)を削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチしてください。



※削除しない場合は **いいえ** ボタンをタッチしてください。

お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり I (ACC)の状態から II (ON)にしてエンジンを始動したり電源をOFF状態にしたり)をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。



アドバイス

- 次ページがある場合 / ボタンで1ページずつの戻し/送り表示をします。
- 画面の **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Music Rackを使う(17)

お気に入り管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム／トラックの)削除をすることができます。

1

画面の **編集** ボタンをタッチする。

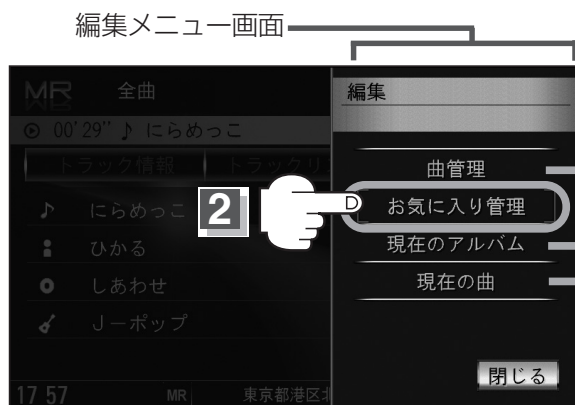
：画面右側に編集メニューが表示されます。



2

編集メニューの **お気に入り管理** ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選択できません。**はい** ボタンをタッチして再生を停止してください。



：お気に入り管理画面が表示されます。

曲管理 ボタン

アルバムの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などを行うことができます。

📄 124～137ページ

現在のアルバム ボタン

アルバム編集画面を表示します。

📄 125ページ

現在の曲 ボタン

トラック編集画面を表示します。

📄 133ページ

3

編集したいお気に入りフォルダ

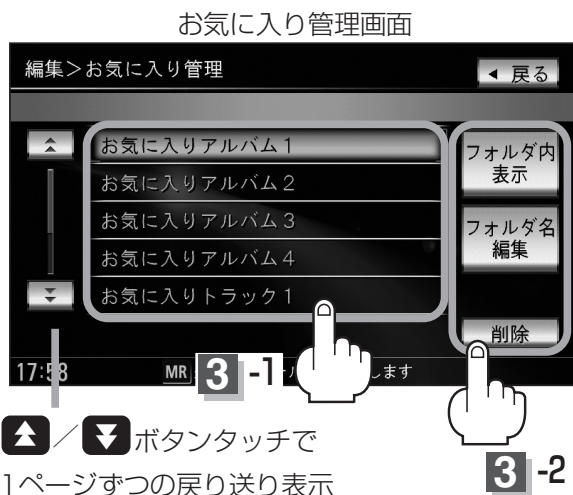
(**お気に入りアルバム1** ～ **お気に入りアルバム4**

または **お気に入りトラック1** ～ **お気に入りトラック4**)

ボタンを選択し、操作したい

(**フォルダ内表示** ／ **フォルダ名編集** ／ **削除**)

ボタンをタッチします。



📄 124～137ページ

3 -2



アドバイス

お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。

📄 131、137、141ページを参照してください。

■ フォルダ内表示 ボタンをタッチした場合

(選択したアルバムまたはトラックの削除)

：フォルダ内表示画面が表示されます。

- ①削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、**削除** ボタンをタッチする。

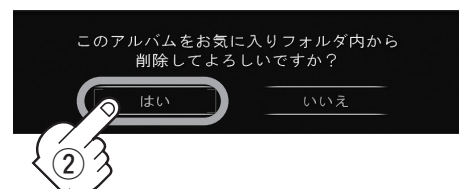
フォルダ内表示画面



手順 **3** で選択したフォルダ内の情報(内容)を表示

※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

- ②削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。



：選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ フォルダ名編集 ボタンをタッチした場合

：タイトル編集画面が表示されます。

- ①画面の50音パレットを使って入力し、**決定** ボタンをタッチする。

※入力のしかたは126、127ページを参考にしてください。

※タイトル(お気に入りアルバム1~4／お気に入りトラック1~4の名前)を変更することができます。



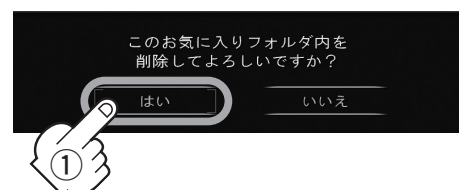
■ 削除 ボタンをタッチした場合

(1フォルダ(最大200アルバム)ごとの削除)

- ①削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。

：選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。

※選択したお気に入りフォルダ (アルバム1~4／トラック1~4)内の曲を一括で削除することができます。



アドバンス

- 次ページがある場合 ▲ / ▼ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを0(OFF)にしたり電源を切ったりなど)をしないでください。故障の原因となります。

Music Rackを使う(18)

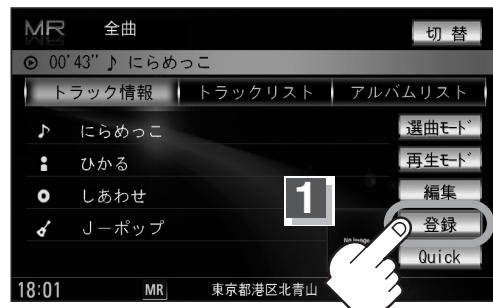
再生中の曲をお気に入り登録する

再生中の曲をお気に入り登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1

画面の**登録** ボタンをタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。

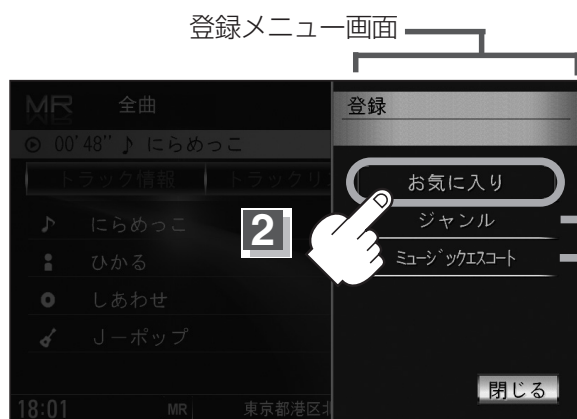


2

画面の**お気に入り** ボタンをタッチする。

※Music Rack再生中はお気に入り登録できません。

はい ボタンをタッチして再生を停止してください。



：お気に入り登録画面が表示されます。

ジャンル ボタン

1曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。

☞ 142ページ参照

ミュージックエスコート ボタン

再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。

☞ 142、143ページ参照

3

再生中トラックのアルバムを登録したい場合は

お気に入りアルバム1 ～ **お気に入りアルバム4** ボタ

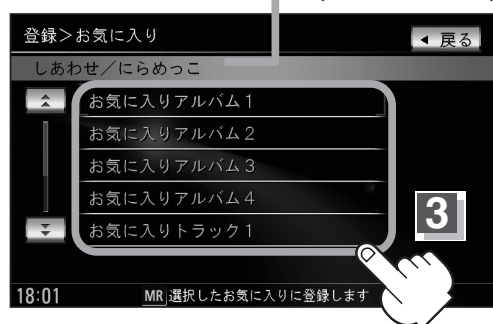
ンの中から、再生中トラックを登録したい場合は

お気に入りトラック1 ～ **お気に入りトラック4** ボタ

ンの中から登録したい場所をタッチする。

：選択したお気に入りに登録され、手順**1**の画面に戻ります。

お気に入り登録画面
アルバム名／トラック名を表示(長い場合は途中までの表示となります。)



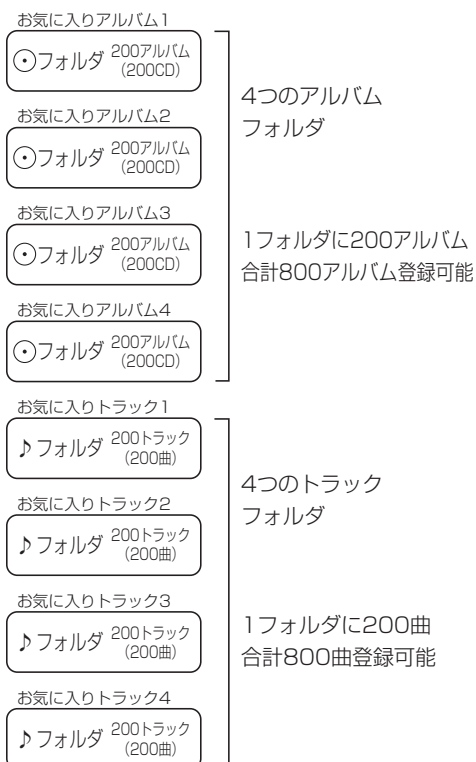


アドバイス

- 1つのお気に入りフォルダに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
 「**お気に入りを管理する**」 138、139ページ、
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
- ・ アルバムを登録するときは
 「**アルバムリストの編集(曲管理)**」 124ページ
 手順 **1** ~ **3** と131ページ
 ■ **お気に入り登録** ボタンをタッチした場合 にしたがって操作する。
- ・ トラックを登録するときは
 「**トラックリストの編集(曲管理)**」 132ページ
 手順 **1**、**2** と137ページ
 ■ **お気に入り登録** ボタンをタッチした場合 にしたがって操作する。
- パソコン上にあるBeatJamのデータを転送(チェックアウト)したとき、Gracenote音楽認識サービスから曲情報を取得しなかった場合はお気に入りアルバムに登録できません。

★：BeatJamを使用するには別売のUSB接続コード&BeatJamが必要です。  19ページ

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成



Music Rackを使う(19)

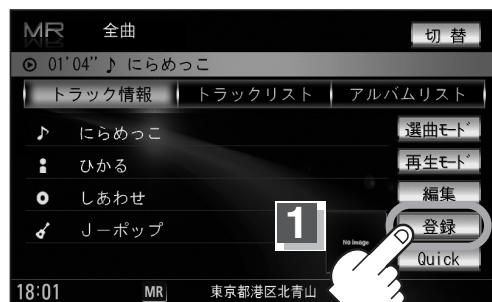
再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によって振り分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

1

画面の**登録** ボタンをタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2

設定(カスタマイズ)しなおしたい項目(**ジャンル** / **ミュージックエスコート** ボタン)をタッチする。

※Music Rack再生中は設定できません。

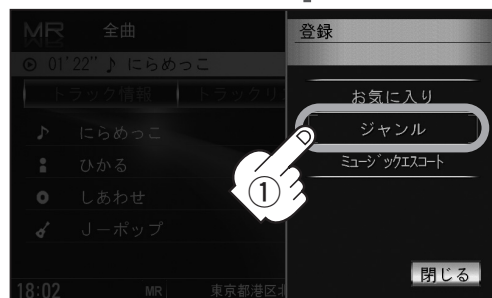
はい ボタンをタッチして再生を停止してください。

■ ジャンルを変更したい場合

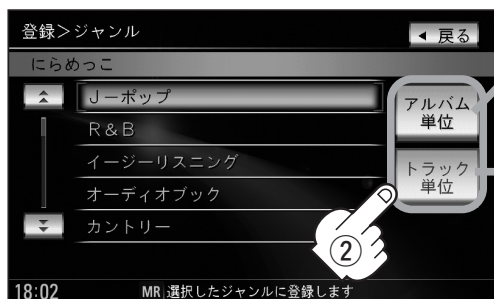
① **ジャンル** ボタンをタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー



② **アルバム単位** または **トラック単位** ボタンをタッチする。

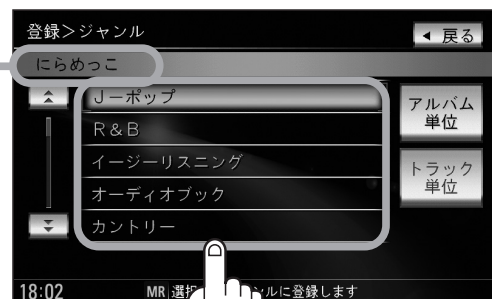


選択中アルバムのジャンル変更となります。

選択中トラックのジャンル変更となります。

選択中のトラック名またはアルバム名を表示

③ お好きなジャンルをタッチする。



：ジャンルは変更(登録)されTOP画面に戻ります。

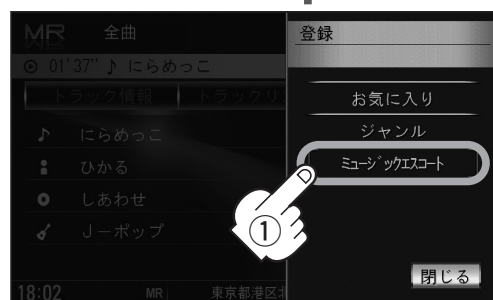
※ジャンルの種類につきましては117ページアドバイス内「*ジャンル一覧」を参照してください。

■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

① ミュージックエスコート ボタンをタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。

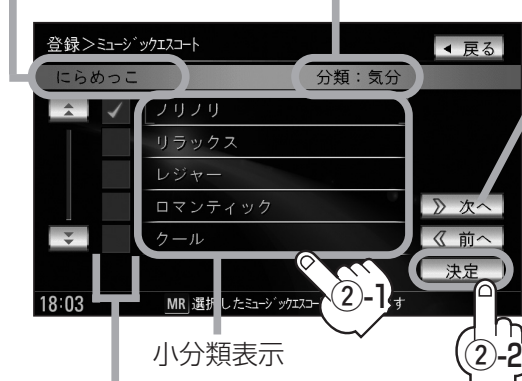
登録メニュー



② リストより小分類を選択し、**決定** ボタンをタッチする。

ミュージックエスコートカスタマイズ画面

選択中のトラック名表示
選択中トラックがどの大分類に属するか表示



リストをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示：設定されていません。

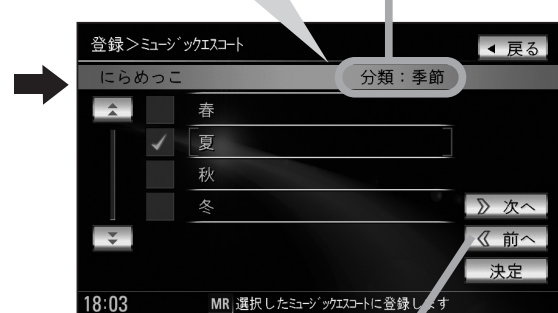
■表示：設定されています。

次へ／前へ ボタンタッチで大分類が

気分 ↔ 季節 ↔ 時間帯 ↔ タイアップ
イベント ↔ シチュエーション

と切り替わる

次の大分類を表示



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、TOP画面に戻ります。

ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき1つずつしか属性を設定できません。

分 類						
大分類	気 分	季 節	時間帯	タイアップ	シチュエーション	イベント
小分類	ノリノリ／ リラックス／ レジャー／ ロマンティック／ クール	春／夏／秋／冬	早朝／朝／昼／ 夜／深夜	CMソング／ ドラマ主題歌／ ゲームソング／ 映画主題歌／ テレビ主題歌	海沿い／都市／ ハイウェイ／ 雨／晴れ／雪	クリスマス／ バレンタイン／ 卒業／誕生日／ 入学／結婚



アドバイス

● **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

● **↑**／**↓** ボタンタッチでページ戻し／送り表示することができます。

ラジオ

ラジオを使う	146～157
各部の名称とはたらき	146、147
表示部について	147
ラジオを聞く	148
ラジオモードを終了する	149
FM／AM放送を切り替える	149
プリセット1／プリセット2を選ぶ	150
選局する	151～153
プリセット(メモリー)する	154、155
交通情報を受信する	156、157

ラジオを使う(1)

各部の名称とはたらき

ラジオ (FM) モードTOP画面 (例)
(プリセット1/プリセット2選択時)



① プリセット1 / プリセット2 ボタン*

ユーザープリセット1 (プリセット1) / ユーザープリセット2 (プリセット2) を表示します。(150ページ)

② エリア ボタン*

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を
エリア表示 ボタン(1~12)に表示します。
(152ページ)

③ 切替 ボタン

時計のみ表示させてラジオを聞くことができます。
(355ページ)

④ 交通情報 ボタン

道路交通情報を受信します。(156、157ページ)

⑤ FM/AM ボタン

FM / **AM** の切り替えができます。(149ページ)

⑥ A.SEL ボタン

1秒以上タッチでオートセレクトを開始します。
(表示灯点灯)

※セレクトされた放送局は **プリセット** ボタン
(1~6) に表示されます。

短タッチでオートセレクト画面とユーザープリセット/
エリア画面の切り替えとなります。(153ページ)

⑦ AUDIO ボタン

AV MENU画面を表示します。

※ナビゲーション画面/Digital TV/CD/DVD/
MP3/WMA/Music Rack/SD/iPod/
USB/VTR/AM(FM)モードからFM(AM)モード
に切り替えるときに使用します。

⑧ 電源 ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

⑨ 上下移動ボタン

ページ戻し/ページ送り表示します。

⑩ 選局 ボタン(⏮/⏭)

手動/自動選局に使用します。(151ページ)

⑪ プリセット ボタン(1~6)

- ユーザープリセット画面(**プリセット1** / **プリセット2** 選択時)のとき、1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。(154ページ)
(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンをタッチします。
- オートセレクト画面(**A.SEL** ボタンの表示灯点灯)のとき、オートセレクトした放送局を表示します。
(155ページ)
※呼び出しはセレクトしたボタンをタッチします。

⑫ VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

⑬ Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)



アドバンス

*印: オートセレクト画面(**A.SEL** ボタンの表示灯点灯)のとき、**プリセット1** / **プリセット2** / **エリア** ボタンは選択できません。

ラジオ (FM) モード TOP画面 (例) (エリアボタン選択時)



① エリア ボタン

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を
エリア表示 ボタン(1~12)に表示します。
(152ページ)

② エリア更新 ボタン

エリア ボタンタッチで表示させた放送局を最新の
情報(放送局)で表示します。(152ページ)

③ エリア表示 ボタン(1~12)

エリア選局画面でエリアが **エリア表示** ボタン(1~
12)に表示されます。(152ページ)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未
満)タッチします。

表示部について

音場(臨場感)表示 (31~33ページ)

※交通情報受信中では機能しません。

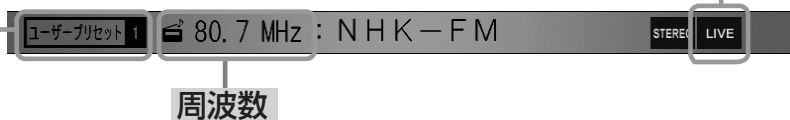
また、音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。[音場] 34~37ページ

ユーザープリセット表示

プリセット1 / **プリセット2**

ボタン選択時



放送局名

エリア表示

エリア ボタン選択時



ステレオ放送表示

ステレオ放送受信時のみ
表示されます。
(159ページ)

オートセレクト表示

A.SEL ボタン選択時



※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

ラジオを使う(2)

ラジオを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回ラジオ(FM/AM)モード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：ラジオ放送を受信します。

- ナビゲーション画面または前回ラジオ(FM/AM)モード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

②画面の **FM/AM** ボタンをタッチする。

：ラジオ放送を受信します。



① **電源** ボタン(⏻)



① **AUDIO** ボタン



AV MENU画面



ラジオの操作説明はFM画面の場合にて説明していますがAMも同様の操作手順となります。

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

🔊 「音量を調整する」 26ページ

🖼️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ

🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドバイス

ラジオ(FM/AM)の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

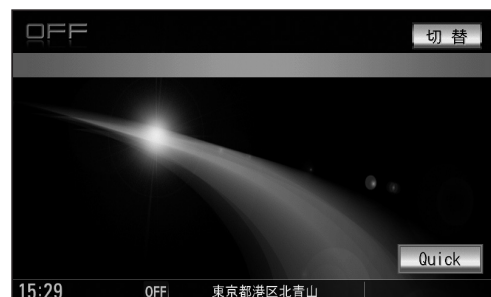
ラジオモードを終了する

1 パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されラジオ放送を終了します。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)



FM／AM放送を切り替える

1 画面の **FM／AM** ボタンをタッチする。

：FM／AM切替画面が表示されます。

FMモードの場合(例)



FM／AM切替画面



ラジオ

「聞く」

「ラジオモードを終了する」／「切り替える」

2 画面の **FM** または **AM** ボタンをタッチする。

：選択した放送を受信します。

ラジオを使う(3)

プリセット1／プリセット2を選ぶ

プリセット1／プリセット2の中から聞きたいプリセットを選択することができます。

1

画面の **プリセット1** または **プリセット2** ボタンをタッチする。

：149ページ手順 **2** で選択したモード(**FM**／**AM**)の **プリセット** ボタン表示となります。

※ **プリセット1** を選択するとユーザープリセット1、**プリセット2** を選択するとユーザープリセット2の **プリセット** ボタンを表示します。

※ **プリセット** ボタンを使っでの選局は151ページを参照してください。

FMモードの場合



プリセット ボタン(1～6)



アドバイス

ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(**プリセット1**／**プリセット2**、**A.SEL**、**エリア**)によって異なります。

ラジオモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面(**プリセット1**／**プリセット2** 選択時)



エリア ボタンを
タッチすると

プリセット1／
プリセット2
ボタンを
タッチすると

ラジオモード TOP画面(例)
エリア表示画面(**エリア** 選択時)



A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
点灯すると

A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
点灯すると

ラジオモード TOP画面(例)
オートセレクト画面(**A.SEL** 選択時)



A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
消灯すると

A.SEL ボタンを
タッチして表示灯を
消灯すると

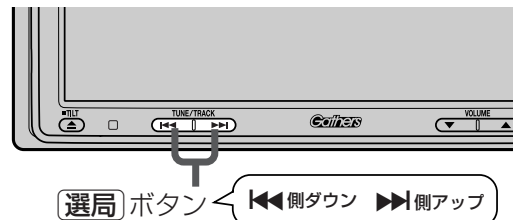
選局する

手動選局／自動選局／ユーザープリセット選局／エリア選局／オートセレクト選局があります。

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を1秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押すと、自動選局は止まります。



アドバイス

- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると **STEREO** が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット ボタン(1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** ボタン(1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

☞ 「 **プリセット(メモリー)する** 」 154、155ページ

① プリセット(**プリセット1** ／ **プリセット2** ボタン)を選ぶ。

☞ 「 **プリセット1／プリセット2を選ぶ** 」 左記

② 呼び出したい **プリセット** ボタン(1～6)をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

ラジオ (FM) モード TOP画面 (例)
ユーザープリセット画面表示時



プリセット ボタン(1～6)



アドバイス

オートセレクト画面を表示している場合は **A.SEL** ボタンをタッチして表示灯を消灯し、ユーザープリセット画面に切り替えて手順①を行なってください。

☞ 「 **オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すには…** 」 153ページ

ラジオを使う(4)

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① **エリア** ボタンをタッチする。

ラジオ (FM) モード TOP画面 (例)



エリア表示 ボタン
(1~12)
※エリアが6局に満
たない場合、表示ボタ
ンの数は減ります。

：現在地周辺のエリアで放送されて
いる放送局が **エリア表示** ボタン
(1~12) に表示されます。

② **エリア表示** ボタン(1~12)の中 で聞きたい放送局をタッチする。



：選択したラジオ放送を受信します。



アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** ボタンに表示されるとは限りません。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** ボタンをタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(**エリア** または **プリセット1** / **プリセット2**、**A.SEL**)によって異なります。  150ページアドバイス参照

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動で12局までメモリー)した放送局を **プリセット** ボタン(1~6)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

📖 「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」 155ページ

① **A.SEL** ボタンをタッチする。

ラジオモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時(※)



：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** ボタンに表示します。

② **プリセット** ボタンの中で聞きたい放送局をタッチする。

プリセット ボタン
(1~6)
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。



：選択したラジオ放送を受信します。

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すには…

① **A.SEL** ボタンをタッチする。

オートセレクト画面



：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ **A.SEL** ボタンをタッチするたびにオートセレクト／エリア画面 ↔ ユーザープリセット／エリア画面と切り替わります。



- **A.SEL** ボタンを1秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。📖 155ページ
- 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- *印：ラジオモードのTOP画面は選択するボタン(**エリア** または **プリセット1** / **プリセット2**、**A.SEL**)によって異なります。📖 150ページアドバイス参照

ラジオを使う(5)

プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)選局とオートセレクトプリセット(自動メモリー)選局があります。

※ **プリセット** ボタンには、FM・AMの各モードでプリセット1／プリセット2画面に6局ずつ、計24局メモリーすることができます。

1

バンドとプリセットを選ぶ。

☞ 「**FM／AM放送を切り替える**」149ページ、

「**プリセット1／プリセット2を選ぶ**」150ページ

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

2

プリセットする方法を選択します。

(ユーザープリセット／オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、**プリセット** ボタン(1～6)にメモリーします。

① パネルの**選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「■ **手動選局で放送局を選ぶ場合**／

■ **自動選局で放送局を選ぶ場合**」

151ページ

② **プリセット** ボタン(1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。

ユーザープリセット画面(例)



① **選局** ボタン(◀◀／▶▶)



プリセット ボタン(1～6)



アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**プリセット1** または **プリセット2** をタッチし、呼び出したい**プリセット** ボタン(1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。

☞ 「■ **ユーザープリセット選局で放送局を選ぶ場合**」151ページ

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動で12局まで **プリセット** ボタンにメモリーします。

- ①画面の **A.SEL** ボタンを1秒以上
タッチする。

ユーザープリセット画面(例)



： **A.SEL** ボタンの表示灯点灯し、
受信した放送局を **プリセット** ボ
タンにメモリー(表示)します。

オートセレクト画面(例)



プリセット ボタン
(1~6)

オートセレクト機能が働
いているとき表示灯点灯



アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** ボタン(1~6)を軽く(1秒未満)タッチし
ます。

「**オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合**」153ページ

- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放
送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、 **A.SEL** ボタンをタッチし、表示灯を消灯
させてください。

交通情報を受信する

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1

ラジオモードTOP画面で画面の

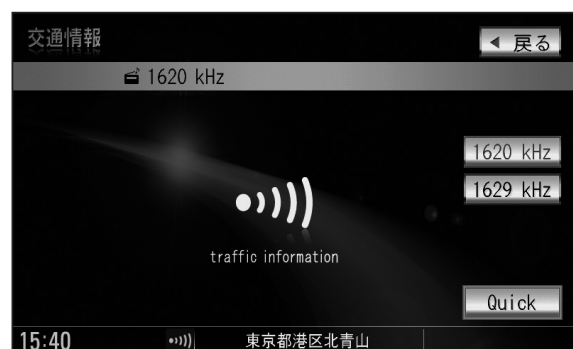
交通情報 ボタンをタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の
道路交通情報を受信します。

ラジオモードTOP画面(例)



交通情報画面(例)

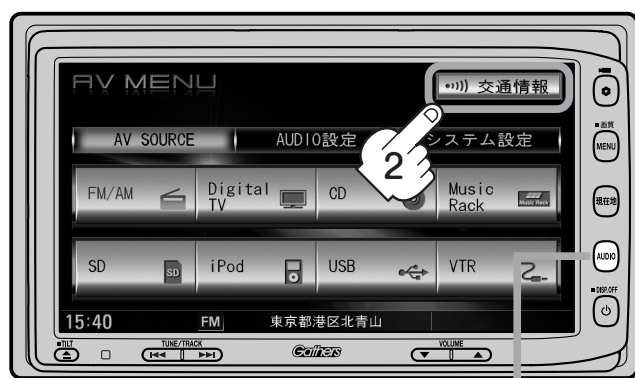


※初期状態は1620kHzに設定されてい
ます。



アドバイス

交通情報画面はAV MENU画面からも表示させること
ができます。



1. **AUDIO** ボタン

1. パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

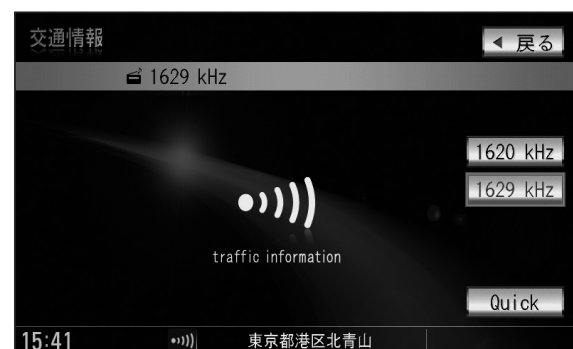
：AV MENU画面が表示されます。

2. 画面の **交通情報** ボタンをタッチする。

：交通情報画面が表示されます。

■ 周波数の設定を変える場合

①交通情報設定画面のとき **1629kHz**
ボタンをタッチする。



：1629kHzの交通情報を受信します。

※1620kHzに戻したい場合は
1620kHz ボタンをタッチしてください。

2

交通情報の受信を止めるには…

パネルの **電源** ボタン(⏻)または他のモードを選択する。

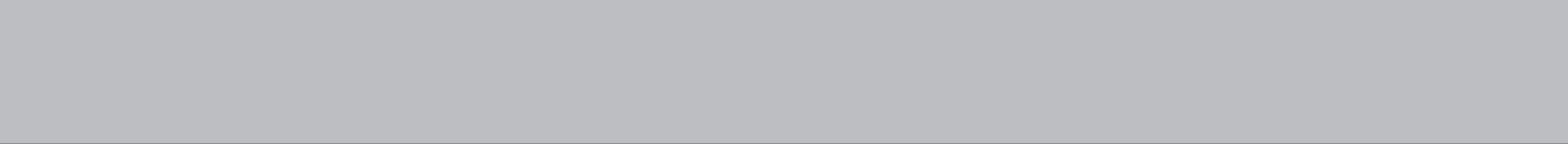
： **電源** ボタン(⏻)を押すと画面に“OFF”と表示されオーディオモードを終了します。

AUDIO ボタンを押してAV MENU画面にし、モードボタンをタッチすると選択したモードに切り替わります。



アドバイス

次回 **交通情報** ボタンをタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。



DVD

DVDプレーヤーについて	160、161
DVDプレーヤーを使う	162～191
各部の名称とはたらき	162～164
再生を始める	165～167
DVDモードを終了する	167
DVDディスクを取り出す	167
再生を停止する	168
再生を一時停止(静止)する	169
再生中にチャプターを戻す／進める	170
早戻し／早送りをする	170
コマ戻し／コマ送りをする	171
スロー戻し／スロー送りをする	171
DVDメニューを使う	172、173
タイトルメニューを使う	174、175
好きな所から再生する(サーチ選択)	176、177
音声言語／字幕言語を切り替える	178
時間の表示を替える	179
リピート(繰り返し)再生する	180
アングル(角度)を切り替える	181
VRモードディスク内の映像をリストより選択し 再生させる	182、183
DVDの初期設定について	184～191
初期設定を変更する	184～191

DVDプレーヤーについて

■本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

△本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

■ディスクに表示されているマークについて

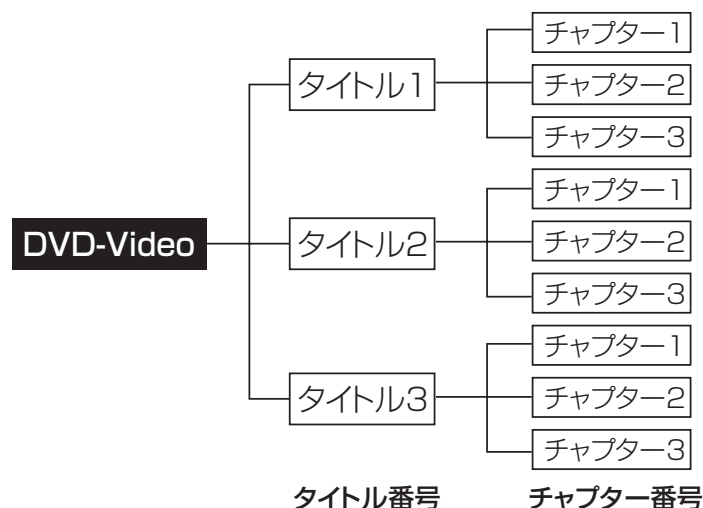
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。（例）

マーク(例)	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比 (TV画面の横と縦の比率) を表します。 ●「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

■ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。



■VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R/RW、DVD-R DLにDVDビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものだけに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。) 未ファイナライズ処理のDVD-R/DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

●DVD再生ディスク対応一覧表

メディアの種類 (記録方式) 録画映像の種類	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R (Videoモード) DVD-RW (Videoモード) DVD+R (Videoモード) DVD+RW (Videoモード) DVD-R DL (Videoモード) DVD+R DL (Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×*	×*	×*	×*	×*	×	×

—：記録できないディスク

×：再生できないディスク

*印：ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

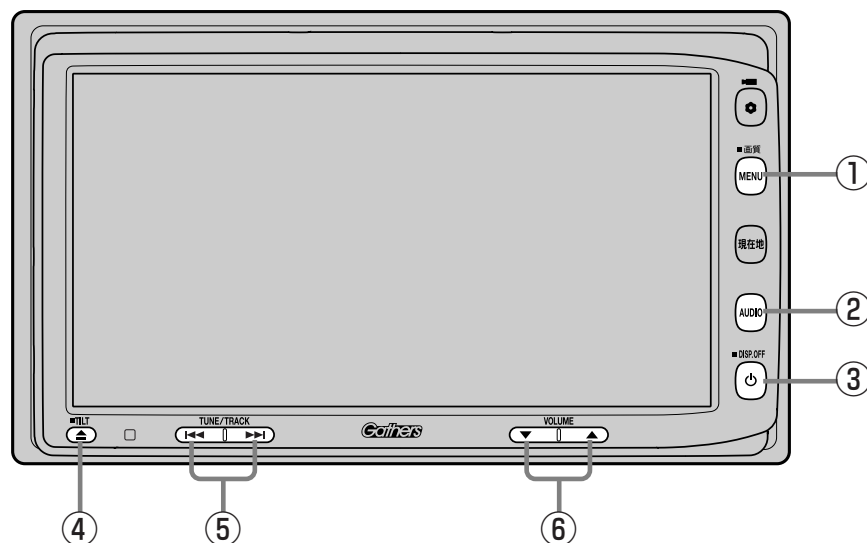
※ディスクの書き込み状態によっては再生できない場合があります。

映像
DVD

〔DVDプレーヤーについて〕

DVDプレーヤーを使う(1)

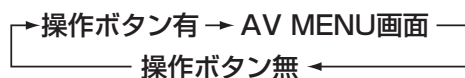
各部の名称とはたらき



① MENU ボタン

操作ボタンを表示またはAV MENU画面を表示します。

※押すたびに



を繰り返します。

② AUDIO ボタン

AV MENU画面を表示します。

※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/Music Rack/SD/iPod/USB/VTRモードからDVDモードに切り替えるときに使用します。

③ 電源 ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

④ TILT ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、ディスクを入れる/取り出すときに使用します。
(165、167ページ)

⑤ スキップ ボタン(⏮/⏭)

- 再生中にチャプター画像を戻す/進めるときに使用します。(170ページ)
- 押し続けて早戻し/早送りします。(170ページ)
- 一時停止中にコマ戻し/送りをします。(171ページ)
- 一時停止中にスロー戻し/送りをします。(171ページ)

⑥ VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。

▲：音量増

▼：音量減

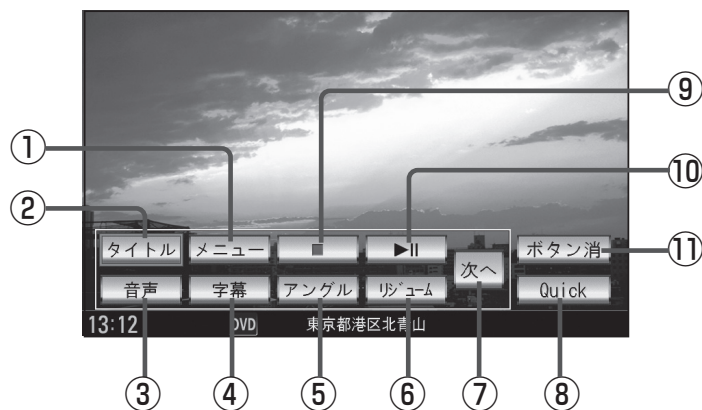


アドバイス

操作ボタン1は画面をタッチするかパネルの **MENU** ボタンを押すと表示されます。

※DVDメニューやタイトルメニューが画面に表示されている場合は、画面をタッチしても操作ボタン1は表示されません。

操作ボタン1表示画面



停止画面 (例)



① **メニュー** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。(172ページ)

※VRモードディスク再生中にタッチするとプレイリストが表示されます。(182、183ページ)

② **タイトル** ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。(174ページ)

※VRモードディスク再生中にタッチするとタイトルリストが表示されます。(182ページ)

③ **音声** ボタン

(DVDビデオ再生中のみ) タッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。(178ページ)

※VRモードディスク再生中にタッチすると音声chが切り替わります。

④ **字幕** ボタン

(DVDビデオ再生中のみ) タッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。(178ページ)

⑤ **アングル** ボタン

タッチするごとに、アングルが切り替わります。(181ページ)

⑥ **リジューム** ボタン

DVDビデオ再生中に、メニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行ないます。(173、175ページ)

⑦ **次へ** ボタン

次ページの操作ボタンを表示します。(操作ボタン2表示画面)

⑧ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(354ページ)

⑨ **停止** ボタン(■)

再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。(168ページ)

⑩ **再生／一時停止** ボタン(▶II)

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。(168、169ページ)

⑪ **ボタン消** ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

※ボタン消ボタンをタッチしなくても約13秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ **DVD設定** ボタン

DVD設定画面を表示します。(185ページ)

⑬ **続き再生解除** ボタン

続きメモリ機能を解除します。(168ページ)

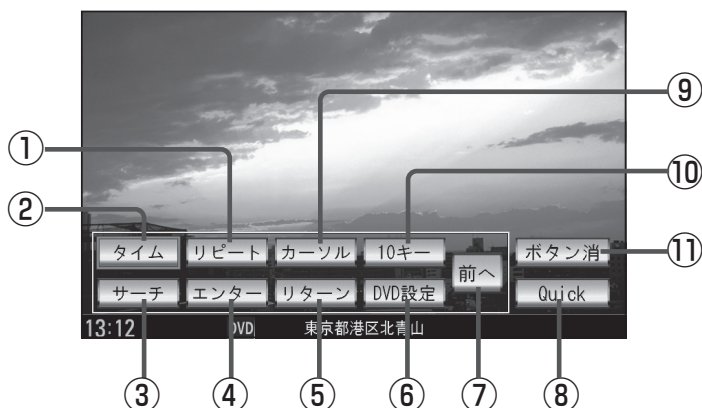
⑭ **再生／一時停止** ボタン(▶II)

再生を始めるときに使用します。(168ページ)

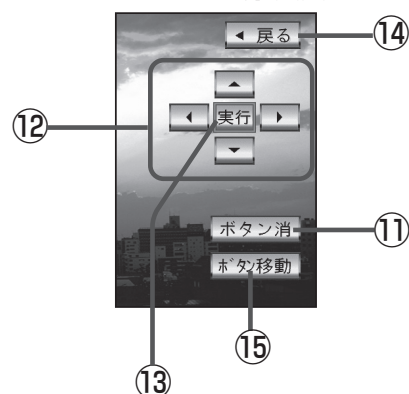
※DVD設定画面を表示させた場合はディスクの先頭からの再生となります。

DVDプレーヤーを使う(2)

操作ボタン2 表示画面



カーソル表示画面



サーチ選択画面



10キー入力画面



① リピート ボタン

タッチすることによりリピートモードが切り替わります。
(180ページ)

② タイム ボタン

再生の時間を表示します。(179ページ)

③ サーチ ボタン

チャプター、タイトル、タイムのサーチ選択画面を表示します。(176、177ページ)

④ エンター ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

⑤ リターン ボタン

DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
※ディスクによってはこの操作を禁止しているものがあります。

⑥ DVD設定 ボタン

DVD設定画面を表示します。(185ページ)

⑦ 前へ ボタン

操作ボタン1の画面を表示します。

⑧ Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

⑨ カーソル ボタン

カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)

⑩ 10キー ボタン

10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

⑪ ボタン消 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。
※ボタン消ボタンをタッチしなくても約13秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ カーソルキー (▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン)

項目を上下左右選択します。

⑬ 実行 ボタン

画面で選んだ項目を実行(決定)します。

⑭ 戻る ボタン

操作ボタン2表示画面を表示します。

⑮ ボタン移動 ボタン

カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

⑯ 訂正 ボタン

10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

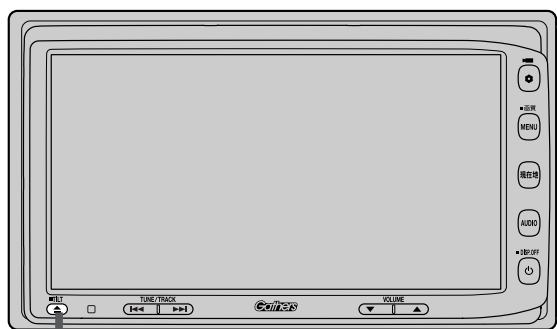
⑰ 0 ～ 9 ボタン

数字を入力するときに使用します。

⑱ 切替 ボタン

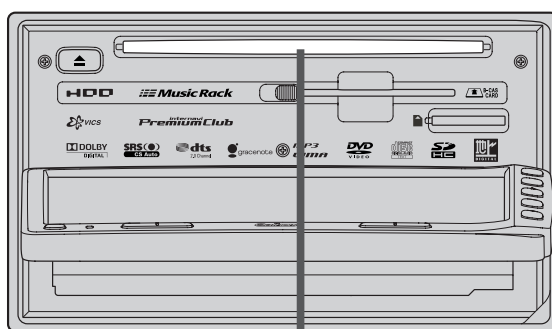
サーチモードを切り替えます。

[ディスプレイが閉じた状態]



1 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



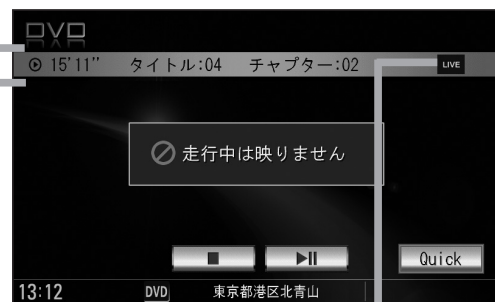
2 ディスク挿入口

再生を始める



安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

DVDモード画面(走行中)(例)



タイトル番号
チャプター番号
を表示します。

音場表示
選択中の音場を表示します。[31~33ページ
※イコライザ設定中は **EQ** マークが表示されます。
[34~37ページ

■ ディスク未挿入の場合

1

パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが開きます。

2

ディスク挿入口にDVDディスク挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、自動的に再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- ☐ 前回DVDモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからDVDの再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)



アドバンス

本機は前回再生を止めた位置をメモリーします。(続きメモリー機能) また、取り出したディスクを再び挿入しても続きメモリー機能が働きます。(再生していたディスクと別のディスクを挿入した場合はディスクの最初から再生します。)

〔各部の名称とはたらき(タッチパネル部)〕

映像
DVD

〔再生を始める〕

DVDプレーヤーを使う(3)

- ナビゲーション画面または前回DVDモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

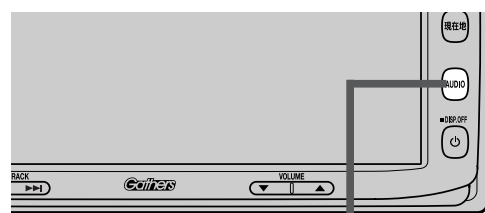
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

② 画面の **DVD** ボタンをタッチする。

：DVDの再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AV MENU画面



3

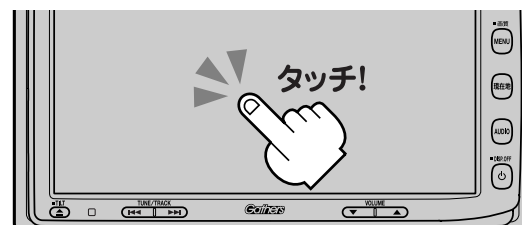
DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は…

下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

- ディスクによっては操作できない場合があります。
- 操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。

ボタン消 ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。



操作ボタン1表示画面

■ カーソルを表示させ項目を選択する。

① パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

② 画面の **次へ** ボタンをタッチし
操作ボタン2表示画面を表示させ、
画面の **カーソル** ボタンをタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。



① **MENU** ボタン

操作ボタン2表示画面



- ③画面のカーソルキー(▲▼◀▶ボタン)をタッチして項目を選択し、**実行** ボタンをタッチする。

☞「**DVDメニューを使う**」172ページ 手順 **4** を参考にしてください。

：選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※その他の操作につきましては各々のページ(168～191ページ)を参照してください。

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

☞「**音量を調整する**」26ページ

「**画質調整のしかた**」27～29ページ

「**オーディオの調整をする**」31～43ページ



DVDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

☞「**音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する**」24ページ

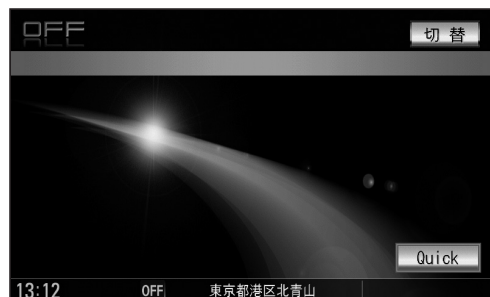
DVDモードを終了する

- 1** パネルの**電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されDVDの再生を止めます。(オーディオモード終了)



- 1** **電源** ボタン(⏻)



DVDディスクを取り出す

- 1** 80ページ **CDを取り出す** の手順 **1**、**2** を参考に操作してください。



DVDディスクを取り出して再度同じディスクを挿入するとリジューム再生(続きメモリー機能が働き再生をやめた続きから再生)を行ないます。

DVDプレーヤーを使う(4)

再生を停止する

1

画面をタッチするか、
パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



2

画面の **停止** ボタン(■)をタッチする。

：再生を止め、停止画面が表示されます。
(続きメモリー機能が働きます。)

停止 ボタン(■)

MENU ボタン

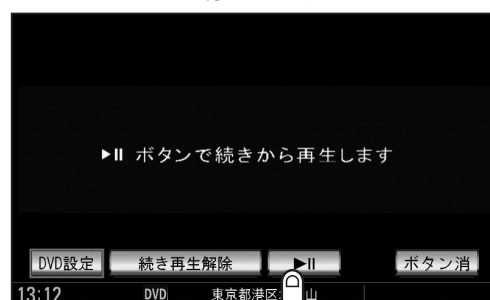
1

停止画面

続きメモリー機能

- 再生中に **停止** ボタン(■)をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶▶ ボタンで続きから再生します”を表示し、映像／音声を止めます。 **再生／一時停止** ボタン(▶▶)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、 **続き再生解除** ボタンをタッチするかディスクイジェクト(取り出す)操作で解除されます。ただし、同じディスクを再挿入すると続きメモリー機能が働きます。

※ **DVD設定** ボタンをタッチした場合も続きメモリーは解除されます。[?] 184ページ



3

再生／一時停止 ボタン
(▶▶)

3

再び再生を始めるには…

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶▶)をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。



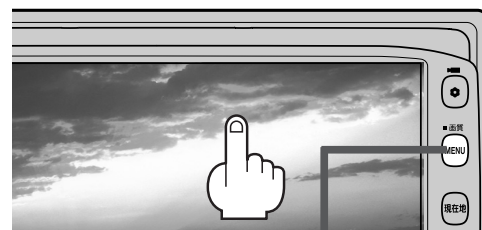
アドバイス

ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面) のとき画面の **続き再生解除** ボタンをタッチし、**再生／一時停止** ボタン(▶▶)をタッチします。

再生を一時停止(静止)する

1

画面をタッチするか、
パネルの **MENU** ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。

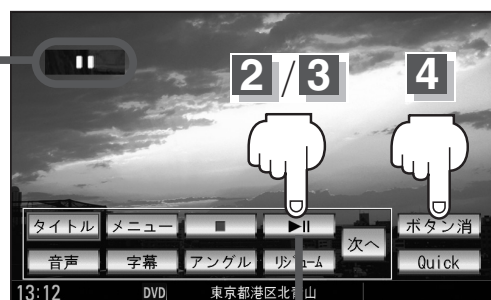


1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)を
タッチする。
：画面に “||” を表示し、映像を停止
(静止)します。(音声も止まります。)



再生／一時停止 ボタン(▶||)

3

再び再生を始めるには…
画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)を
タッチする。
：再生を止めた続きから再生します。

4

画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

映像
DVD

〔再生停止〕／〔再生一時停止〕

DVDプレーヤーを使う(5)

再生中にチャプターを戻す／進める

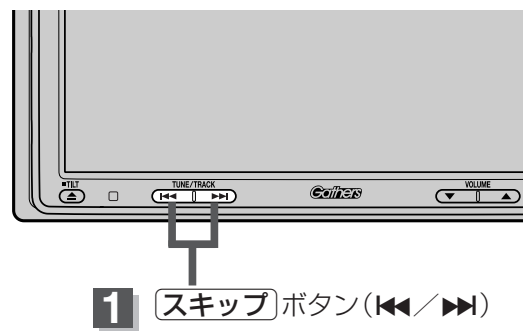
1 パネルの **スキップ** ボタン(⏮/⏭)を押す。

■ 前のチャプターに戻る場合

⏮側を2回押す。*

：1つ前のチャプターに戻ります。

※1回押した場合は、再生中のチャプターの頭に戻ります。



■ 次のチャプターに進む場合

⏭側を押す。：次のチャプターに進みます。



アドバイス

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているチャプターが収録されているものもあります。
- *: チャプター再生開始から3秒位内に押した場合は、前のチャプターの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

1 パネルの **スキップ** ボタン(⏮/⏭)を押し続ける。

：通常の6倍の早さで早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

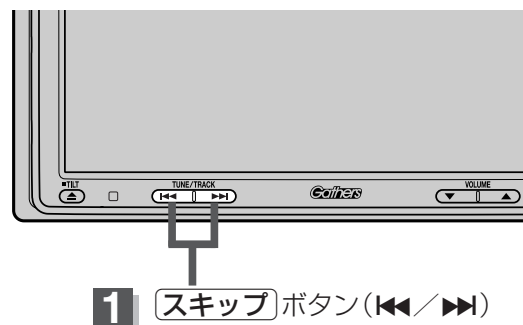
⏮側を押し続ける。

：早戻しで戻ります。

■ 早送りで進む場合

⏭側を押し続ける。

：早送りで進みます。



アドバイス

それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。

コマ戻し／コマ送りをする

- 1 画面をタッチするか、パネルの **MENU** ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。

- 2 画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

- 3 パネルの **スキップ** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

■ コマ戻しをする場合

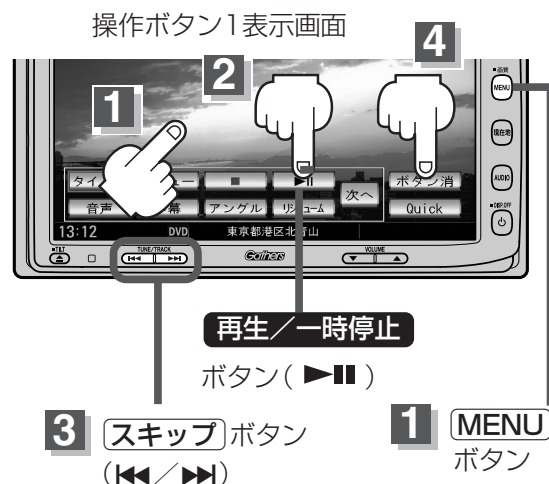
◀◀側を押す。：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

■ コマ送りをする場合

▶▶側を押す。：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチします。

- 4 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

スロー戻し／スロー送りをする

- 1 上記、**コマ戻し／コマ送りをする** 手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のときパネルの **スキップ** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

- **スロー戻しをする場合** ◀◀側を押し続ける。：スロー戻しで戻ります。

- **スロー送りをする場合** ▶▶側を押し続ける。：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。



アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

- 2 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

「チャプターを戻す／進める」

／「早戻し／早送り」

映像
DVD

「コマ戻し／コマ送り」／「スロー戻し／スロー送り」

DVDプレーヤーを使う(6)

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。



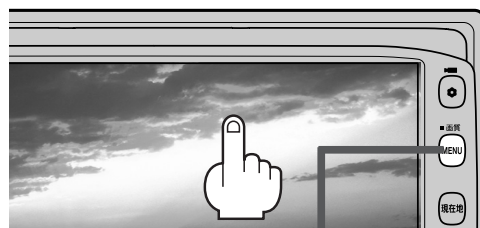
アドバース

下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1

画面をタッチするか、
パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **メニュー** ボタンをタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモード)ディスク
の場合はプレイリストが表示されます。
(182、183ページ)

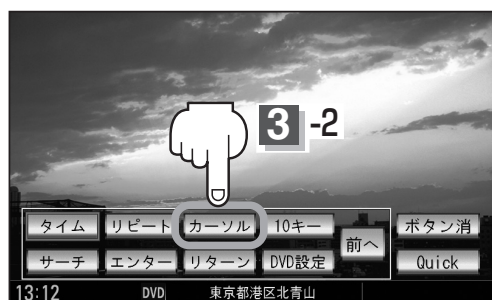


操作ボタン2表示画面

3

画面の **次へ** ボタンをタッチし操作ボタン2
表示画面を表示させ、画面の **カーソル** ボタ
ンをタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

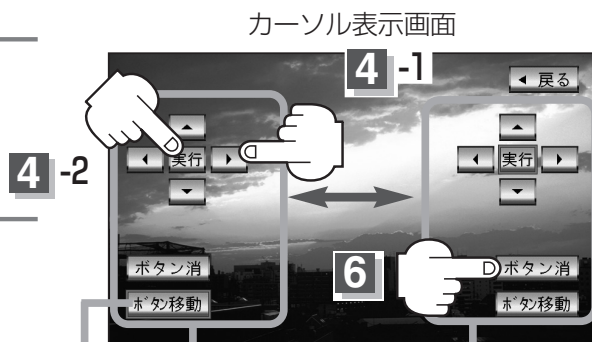


カーソル表示画面

4

画面のカーソルキー(ボタン)
をタッチして、項目を選び、
実行 ボタンをタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。



カーソル表示

カーソル表示

5

さらに選択画面が続く場合は、
手順 **4** を繰り返してください。

6

画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

ボタン移動 ボタンをタッチするたびにカーソル
表示が画面の右または左へ移動します。

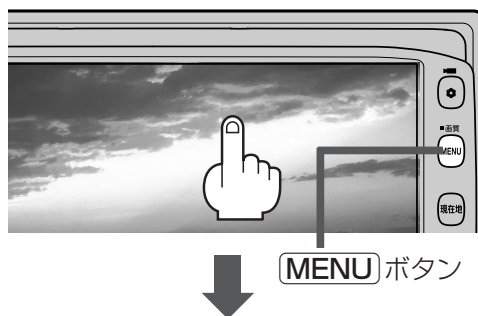


- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモード)ディスクの場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示しているものもあります。また、左記手順 **4** で **実行** ボタンのことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

□ 操作ボタン(カーソル含む)表示が消えている場合

- 画面をタッチするかパネルの **MENU** ボタンを押す → 画面の **リジューム** ボタンをタッチする。



□ 操作ボタンが表示されている場合

- 左記手順 **2** でDVDメニュー画面(またはプレイリスト)を表示している場合
画面の **リジューム** ボタンをタッチする。
- 左記手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
画面の **戻る** ボタンをタッチ →
前へ ボタンをタッチ →
リジューム ボタンをタッチする。



：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、画面の **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

映像
DVD

〔DVDメニューを使う〕

DVDプレーヤーを使う(7)

タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。



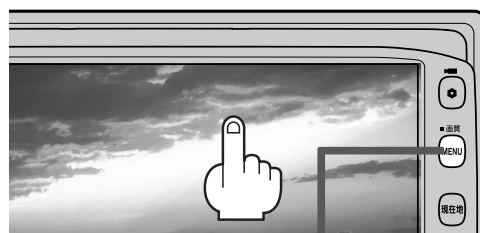
アドバイス

下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、**ボタン消** ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1

画面をタッチするか、
パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **タイトル** ボタンをタッチする。

：タイトルメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモード)ディスクの場合はタイトルリストが表示されます。
(182ページ)

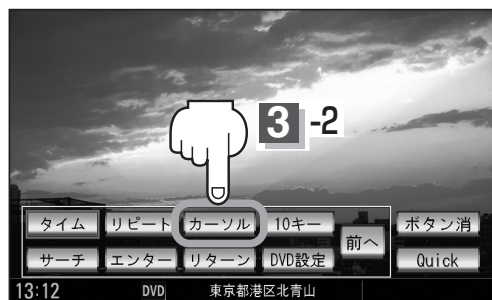


操作ボタン2表示画面

3

画面の **次へ** ボタンをタッチし操作ボタン2
表示画面を表示させ、画面の **カーソル** ボタ
ンをタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

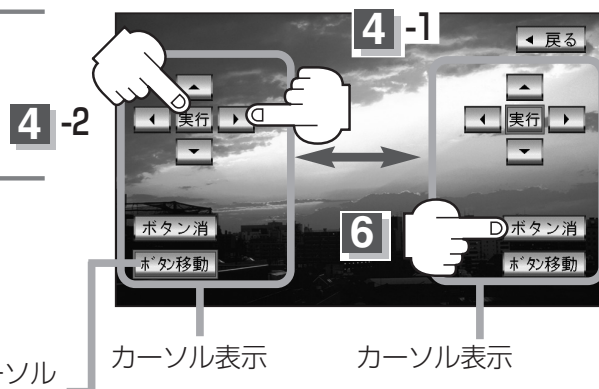


カーソル表示画面

4

画面のカーソルキー(ボタン)
をタッチして、項目を選び、
実行 ボタンをタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されている
シーンの再生が始まります。



カーソル表示

カーソル表示

5

さらに選択画面が続く場合は、
手順 **4** を繰り返してください。

6

画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

ボタン移動 ボタンをタッチするたびにカーソル
表示が画面の右または左へ移動します。



- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモード)ディスクの場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」等と表示しているものもあります。また、左記手順 **4** で **実行** ボタンのことを「決定ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- タイトルメニューを表示させ（約2分以上）何も操作しないとDVDの再生が始まる場合があります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

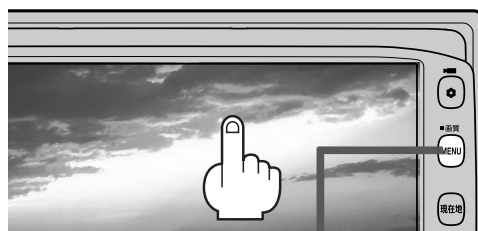
■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

□ 操作ボタン(カーソル含む)表示が消えている場合

- 画面をタッチするかパネルの **MENU** ボタンを押す → 画面の **リジューム** ボタンをタッチする。

□ 操作ボタン表示されている場合

- 左記手順 **2** でタイトルメニュー画面(またはタイトルリスト)を表示している場合
画面の **リジューム** ボタンをタッチする。
- 左記手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
画面の **戻る** ボタンをタッチ →
前へ ボタンをタッチ →
リジューム ボタンをタッチする。



↓ **MENU** ボタン



：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、画面の **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

映像
DVD

〔タイトルメニューを使う〕

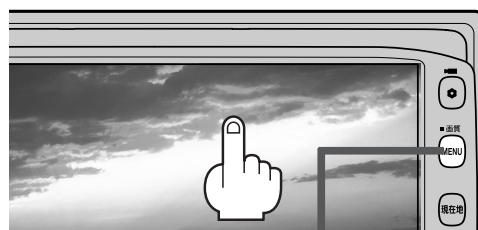
DVDプレーヤーを使う(8)

好きな所から再生する(サーチ選択)

チャプター、タイトルおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1

画面をタッチするか
パネルの **MENU** ボタンを押す。
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **次へ** ボタンをタッチする。
：操作ボタン2表示画面が表示されます。



操作ボタン2表示画面

3

画面の **サーチ** ボタンをタッチする。
：サーチ選択画面が表示されます。



サーチ選択画面(例)

4

サーチ選択画面で画面の **0** ~ **9** ボタン
をタッチして、再生したいチャプター／タイ
トル／タイム(経過時間)サーチを入力する。

- チャプターとタイトルとタイム(経過時間)は
切替 ボタンをタッチし切り替えて入力します。

チャプター → タイトル
↑ ↓
 タイム ←



モード表示 **0** ~ **9** ボタン

例 チャプター番号“25”を入力する場合

(例)

- ① **2**、**5** とタッチする。
：表示が“25”となります。



例 タイム（経過時間）入力で“15分目”を再生する場合

(例)

- ①手順 **4** でサーチ選択画面を表示させたとき
画面の **切替** ボタンをタッチする。
：タイム（経過時間）入力画面になります。
- ② **0**、**0**、**1**、**5**、**0**、**0**
とタッチする。
：表示が **タイム** **00:15:00** / **02:04:24** → **タイム** **00:15:00** / **02:04:24** となります。



5 画面の **実行** ボタンをタッチする。

：入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム（経過時間）から再生を始めます。

チャプター番号25を入力した場合



6 画面の操作ボタンの表示をやめるには… 画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



アドバンス

- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **4**（176ページ）からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **4**（176ページ）からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトル／タイム（経過時間）サーチを入力すると、この操作は、解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

映像
DVD

「サーチ選択」

DVDプレーヤーを使う(9)

音声言語／字幕言語を切り替える

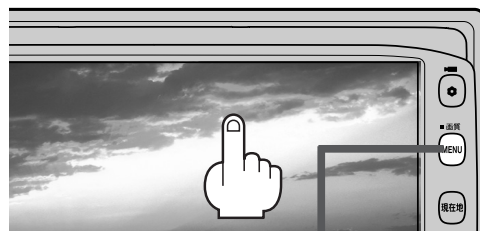
ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記にしたがって言語を選ぶことができます。

1

画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **音声** または **字幕** ボタンをタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。



2

音声言語リスト(例)



字幕言語リスト(例)



3

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。



アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(172ページ)や言語設定(186、187ページ)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1、2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。
この場合は、DVDメニュー(172ページ)または言語設定(186、187ページ)で切り替えてください。

時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

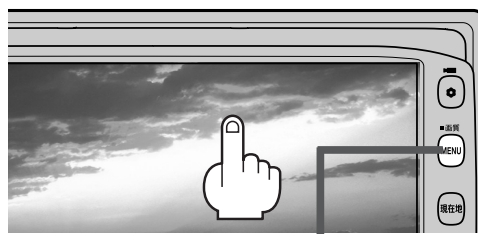
- 現在のタイトル／チャプター情報
- タイトル時間 ……………タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間 ……………タイトルの残時間を表示
- チャプター時間 ……………チャプターの経過時間を表示
- チャプター残り時間 ……………チャプターの残時間を表示
- DISPLAY OFF (何も表示しない)

1

画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2

画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3

画面の **タイム** ボタンをタッチする。

：タッチすることにより時間表示が切り替わります。

操作ボタン2表示画面

時間表示
(例)



4

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

■ 時間表示をやめる場合

手順 **1** ～ **3** にしたがって操作し、時間の種類の表示をやめてください。

映像
DVD

〔字幕言語切替〕／〔音声言語切替〕／〔時間表示切替〕

DVDプレーヤーを使う(10)

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- チャプターリピート …再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート ……再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF ………リピート再生しない

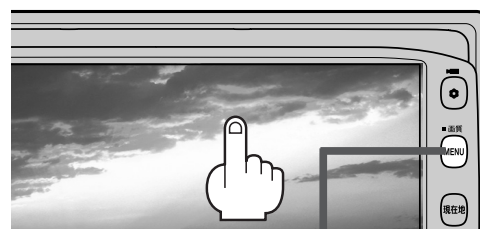
※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1

画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。



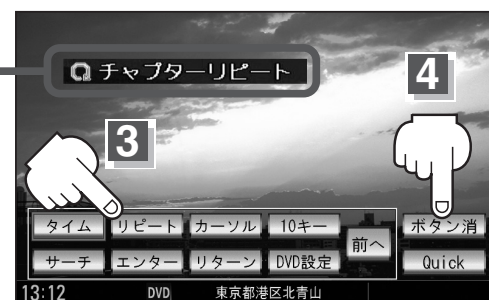
操作ボタン2表示画面

3

画面の **リピート** ボタンをタッチする。

：タッチするごとにモードが切り替わります。

リピート
モード表示
(例)



4

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

■ 通常の再生に戻す場合

上記手順 **1** ～ **3** にしたがって操作し、“リピートOFF”を選ぶ。

アングル(角度)を切り替える

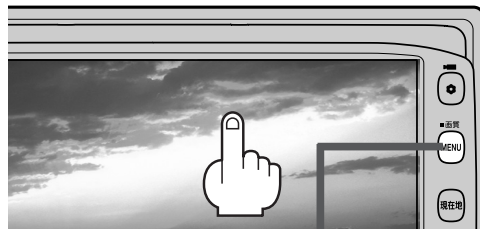
ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1

画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



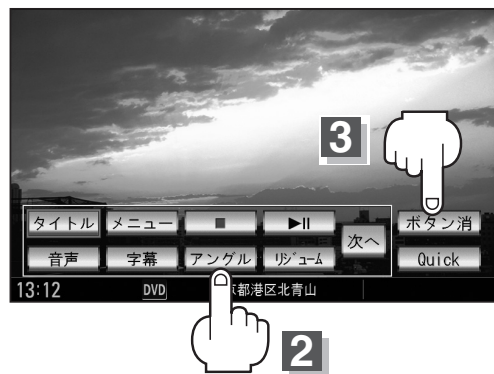
1 **MENU** ボタン

2

画面の **アングル** ボタンをタッチする。

：タッチするごとにアングルが切り替わります。

操作ボタン1表示画面



3

画面の操作ボタンの表示をやめるには…

画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

2



アドバース

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル” を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

映像
DVD

リプレイ再生 / アングル切替

DVDプレーヤーを使う(11)

VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

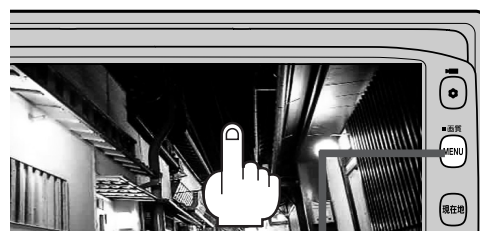
DVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモードで録画したものは、登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

1

画面をタッチするか

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 **MENU** ボタン

2

タイトルリストまたはプレイリストを表示させます。

■ タイトルリストより選択する場合

① **タイトル** ボタンをタッチする。

：タイトルリストが表示されます。

■ プレイリストより選択する場合

① **メニュー** ボタンをタッチする。

：プレイリストが表示されます。

操作ボタン1表示画面



アドバイス

タイトルリストとは録画したタイトルのリスト(何も編集されていないもの)、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものを表します。

※タイトル名はレコーダーによって編集することができます。タイトルリスト／プレイリストの詳細はレコーダーの取扱説明書を参照してください。

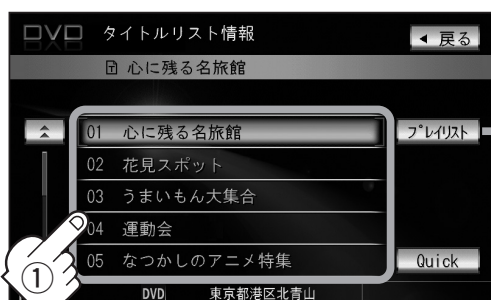
3

タイトル名を選択し、再生させます。

① リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

：選択した項目が選択されます。

手順 **2** で **タイトル** ボタンをタッチした場合
タイトルリスト表示(例)



プレイリスト をタッチするとプレイリストを表示します。

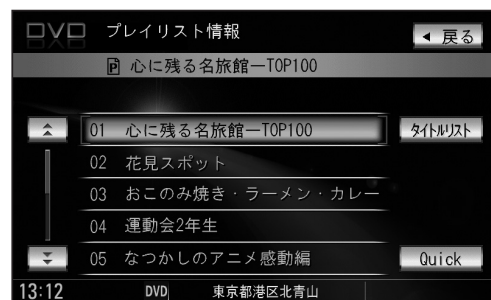
※プレイリスト表示のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリストを表示します。



アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** ボタンをタッチしてもプレイリストは表示されません。
- 次ページがある場合、**↑** / **↓** タッチでスクロールさせることができます。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合（リジューム再生する場合）は **戻る** ボタンをタッチしてください。

プレイリスト表示(例)



アドバイス

VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** ボタンをタッチすると、音声ch切替をすることができます。

映像
DVD

〔VRモードディスクの場合〕

DVDの初期設定について(1)

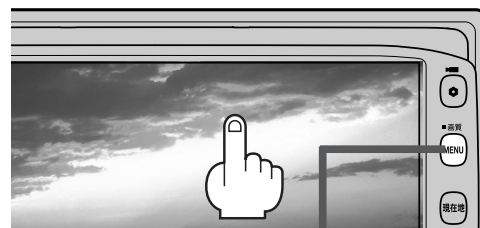
初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1

再生中に画面をタッチするか、
パネルの **MENU** ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



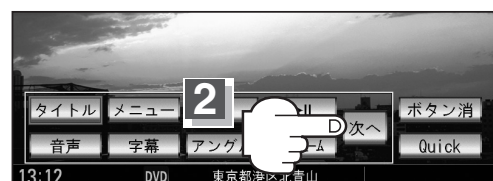
1 **MENU** ボタン

操作ボタン1表示画面

2

画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

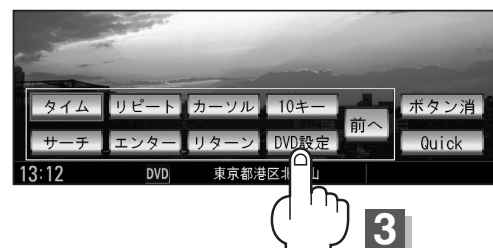


操作ボタン2表示画面

3

画面の **DVD設定** ボタンをタッチする。

：DVD設定画面が表示されます。



アドバイス

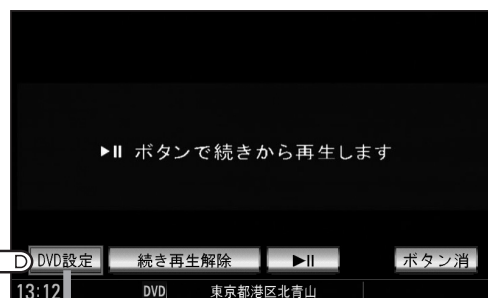
停止 ボタン(■)をタッチして再生停止中に、**DVD設定** ボタンをタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン1表示画面



停止 ボタン(■)

停止画面



DVD設定 ボタン

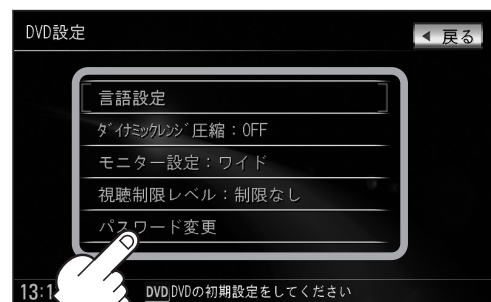
※ **DVD設定** ボタンを選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

画面の設定したい項目(**言語設定** ／
ダイナミックレンジ圧縮 ／ **モニター設定** ／
視聴制限レベル ／ **パスワード変更**)

ボタンをタッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。

DVD設定画面



4

選んだ項目	設定できる内容
言語設定	● 音声言語：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● メニュー言語：DVDメニューの表示言語の切り替え ● 字幕言語：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え
ダイナミックレンジ圧縮	● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ)
モニター設定	● TVアスペクト：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え
視聴制限レベル	● レベル：視聴制限レベルの設定
パスワード変更	● パスワード：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更

“言語設定”を選んだ場合 ➡ 186ページへ進む。

“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合 ➡ 189ページへ進む。

“モニター設定”を選んだ場合 ➡ 189ページへ進む。

“視聴制限レベル”を選んだ場合 ➡ 190ページへ進む。

“パスワード変更”を選んだ場合 ➡ 191ページへ進む。



アドバイス

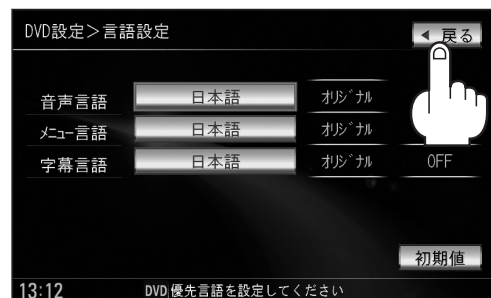
- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては再生停止中に初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。この場合はDVDメニュー(172、173ページ)で切り替えてください。

DVDの初期設定について(2)

- 言語設定／視聴制限レベル／パスワード変更時に、1つ前の選択画面に戻る場合

画面の **戻る** ボタンをタッチする。

言語設定画面(例)



- DVD設定画面を終わる／途中で止める場合

画面の **戻る** ボタンをタッチする。

：停止画面に戻ります。

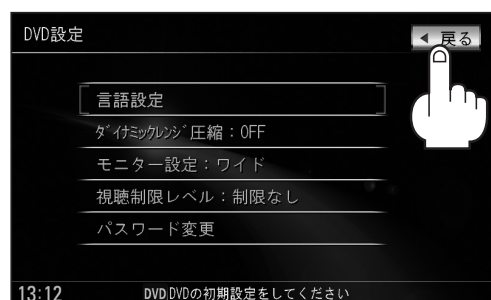
- **再び再生させるには…**

画面の **再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。



：ディスクの先頭から再生します。

DVD設定画面



- 手順 **4** (185ページ)で“言語設定”を選んだ場合

言語設定画面(例)



- 5** 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更したい項目をタッチする。

“音声言語” …

DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。

“メニュー言語” …

DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

“字幕言語” …

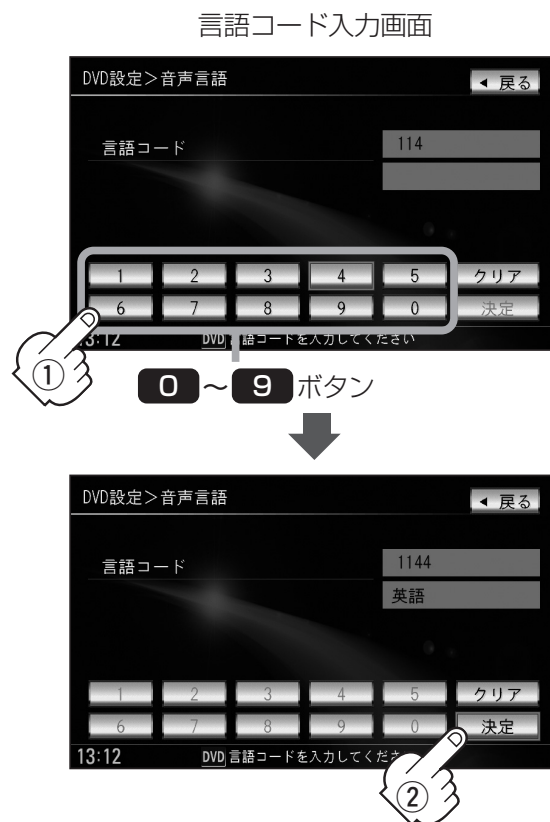
DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。

設定されている言語を表示
(ここをタッチすると言語コード
入力画面(右記)を表示)
ただし、言語が **オリジナル** または
OFF に設定されている場合は
言語を選択 と表示されます。

□ 言語を変更するには…

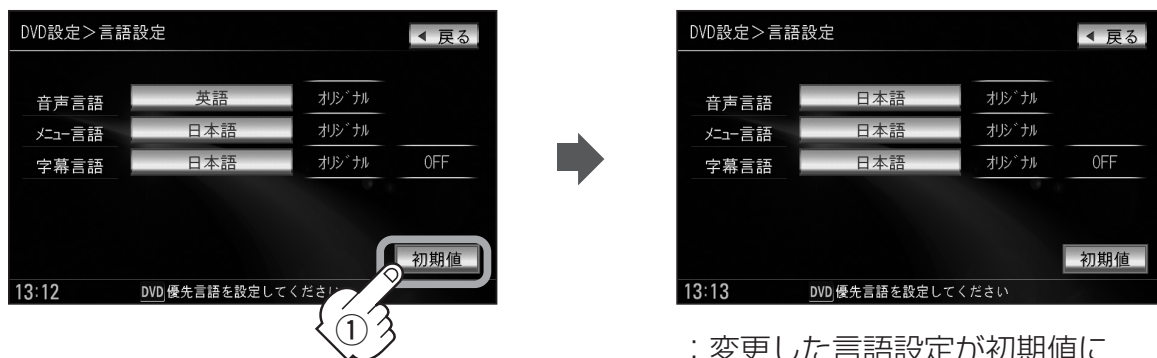
：選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。

- ①言語コード表(188ページ)を参照し、言語コードの数字を**0**～**9** ボタンをタッチして入力する。
- ②入力が終わったら **決定** ボタンをタッチする。



□ 言語設定を初期値に戻すには…

- ①言語設定画面で **初期値** ボタンをタッチする。



：変更した言語設定が初期値に戻ります。

映像
DVD

〔初期設定〕



アドバイス

- **DVD設定** ボタンを選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を訂正するときは **クリア** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語” のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** ボタンをタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

DVDの初期設定について(3)

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	AA アファル語	1239	IE 国際語	1482	RN キルンディ語
1028	AB アブバジア語	1245	IK Inupiak語	1483	RO ルーマニア語
1032	AF アフリカーンス語	1248	IN インドネシア語	1489	RU ロシア語
1039	AM アムハラ語	1253	IS アイスランド語	1491	RW キニヤルワンダ語
1044	AR アラビア語	1254	IT イタリア語	1495	SA サンスクリット語
1045	AS アッサム語	1257	IW ヘブライ語	1498	SD シンド語
1051	AY アイマラ語	1261	JA 日本語	1501	SG サング語
1052	AZ アゼルバイジャン語	1269	JL イディッシュ語	1502	SH セルビアクロアチア語
1053	BA バシキール語	1283	JW ジャワ語	1503	SI シンハラ語
1057	BE ベラルーシ語	1287	KA グルジア語	1505	SK スロバキア語
1059	BG ブルガリア語	1297	KK カザフ語	1506	SL スロベニア語
1060	BH ビハーリー語	1298	KL グリーンランド語	1507	SM サモア語
1061	BI ビスラマ語	1299	KM カンボジア語	1508	SN ショナ語
1066	BN ベンガル、バングラ語	1300	KN カンナダ語	1509	SO ソマリ語
1067	BO チベット語	1301	KO 韓国語	1511	SQ アルバニア語
1070	BR ブルトン語	1305	KS カシミール語	1512	SR セルビア語
1079	CA カタロニア語	1307	KU クルド語	1513	SS シスワティ語
1093	CO コルシカ語	1311	KY キルギス語	1514	ST セストゥ語
1097	CS チェコ語	1313	LA ラテン語	1515	SU スンダ語
1103	CY ウェールズ語	1326	LN リンガラ語	1516	SV スウェーデン語
1105	DA デンマーク語	1327	LO ラオス語	1517	SW スワヒリ語
1109	DE ドイツ語	1332	LT リトアニア語	1521	TA タミール語
1130	DZ ブータン語	1334	LV ラトビア、レット語	1525	TE テルグ語
1142	EL ギリシャ語	1345	MG マダガスカル語	1527	TG タジク語
1144	EN 英語	1347	MI マオリ語	1528	TH タイ語
1145	EO エスペラント語	1349	MK マケドニア語	1529	TI ティグリニャ語
1149	ES スペイン語	1350	ML マラヤーラム語	1531	TK トゥルクメン語
1150	ET エストニア語	1352	MN モンゴル語	1532	TL タガログ語
1151	EU バスク語	1353	MO モルダビア語	1534	TN セツワナ語
1157	FA ペルシャ語	1356	MR マラータ語	1535	TO トンガ語
1165	FI フィンランド語	1357	MS マレー語	1538	TR トルコ語
1166	FJ フィジー語	1358	MT マルタ語	1539	TS ツォンガ語
1171	FO フェロー語	1363	MY ミャンマ語	1540	TT タタール語
1174	FR フランス語	1365	NA ナウル語	1543	TW トウィ語
1181	FY フリジア語	1369	NE ネパール語	1557	UK ウクライナ語
1183	GA アイルランド語	1376	NL オランダ語	1564	UR ウルドゥー語
1186	GD スコットランドゲール語	1379	NO ノルウェー語	1572	UZ ウズベク語
1194	GL ガルシア語	1393	OC プロバンス語	1581	VI ベトナム語
1196	GN グアラニ語	1403	OM (アフアン) オロモ語	1587	VO ボラピュク語
1203	GU グジャラート語	1408	OR オリヤー語	1613	WO ウォロフ語
1209	HA ハウサ語	1417	PA パンジャブ語	1632	XH コーサ語
1217	HI ヒンディー語	1428	PL ポーランド語	1665	YO ヨルバ語
1226	HR クロアチア語	1435	PS パシュトー語	1684	ZH 中国語
1229	HU ハンガリー語	1436	PT ポルトガル語	1697	ZU ズール語
1233	HY アルメニア語	1463	QU ケチュア語		
1235	IA 国際語	1481	RM ラエティ=ロマン語		

■ 手順 4 (185ページ)で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5

①ダイナミックレンジの圧縮をする／しないの設定をします。

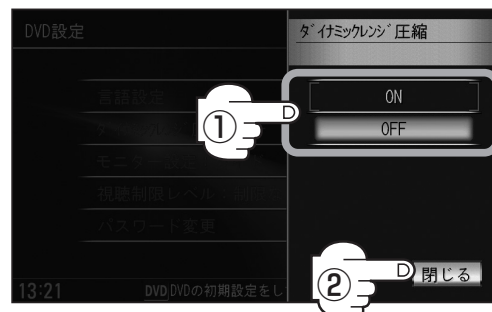
ON ボタンをタッチする。：圧縮します。

OFF ボタンをタッチする。：圧縮しません。

“ON”：小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選んでください。

“OFF”：標準音域で聞くとときに選んでください。

② 閉じる ボタンをタッチする。



■ 手順 4 (185ページ)で“モニター設定”を選んだ場合

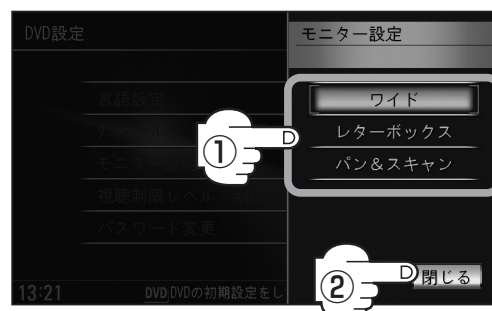
DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5

①設定したいアスペクト比 (**ワイド**／**レターボックス**／**パン&スキャン** ボタン)をタッチする。

※16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャン

② 閉じる ボタンをタッチする。



映像
DVD

〔初期設定〕



アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“フル”またはこれに相当するモードにして、本機を“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“レターボックス”や“パン&スキャン”の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4：3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode”等。)に設定してください。



お願い

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

DVDの初期設定について(4)

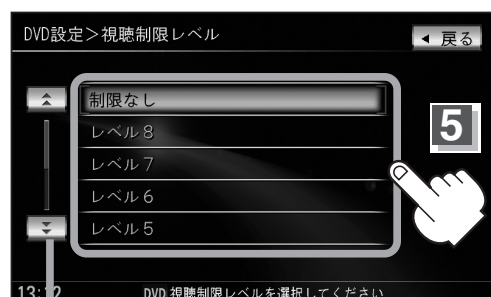
■ 手順 4 (185ページ)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

5 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

視聴制限レベル	“制限なし”	視聴制限を無効
	“8”	すべてのDVDビデオの再生可
	“7”	子供向／一般向のみ再生可
	“6”	
	“5”	
	“4”	
	“3”	
	“2”	
	“1”	子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)

下にいくほど制限が厳しくなる



↑ / ↓ ボタンタッチで
ページ戻し／送り表示

※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“**制限なし**”を選択してください。

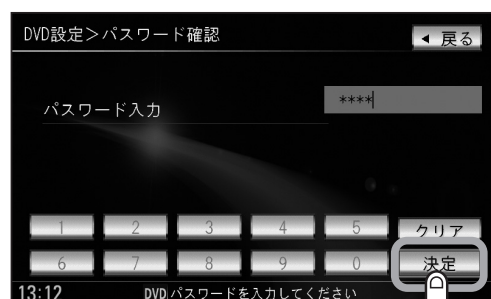
レベルを変更すると…

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

- ①現在のパスワードを **0** ～ **9** ボタンをタッチして入力する。
- ②入力が終わったら **決定** ボタンをタッチする。



0 ～ **9** ボタン



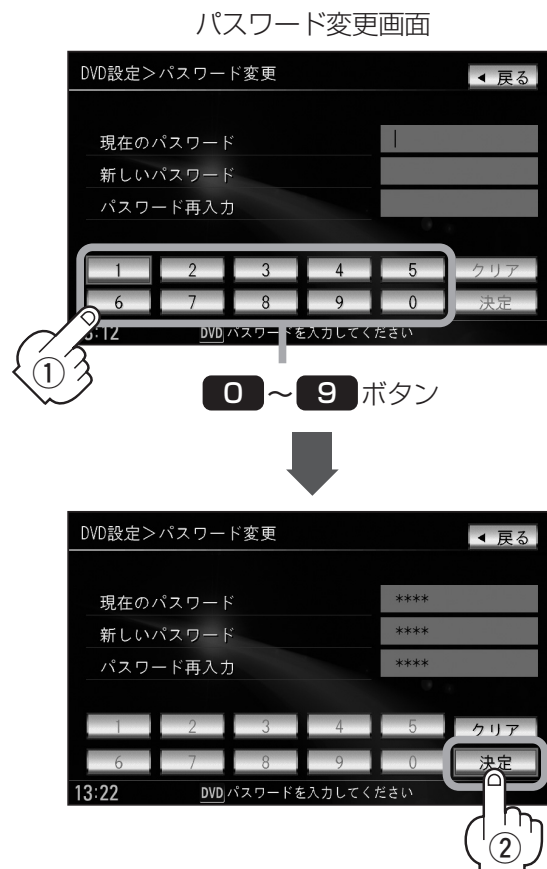
アドバイス

- 視聴制限が収録されているDVDを再生すると、“プレイヤーに設定されたレベル以上のコンテンツですが再生させますか？”というメッセージが表示されるので、YesまたはNoボタンをタッチしてください。
※カーソルキーの表示方法は172ページを参考にしてください。
- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力しなおしてください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
- 工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。(現在のパスワードは変更することができます。(次ページ参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- 工場出荷時の(現在の)視聴制限レベルは“制限なし”となっています。

■ 手順 4 (185ページ)で“パスワード変更”を選んだ場合

5

- ①現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を**0**～**9** ボタンをタッチして入力する。
- ② **決定** ボタンをタッチする。
：DVD設定画面に戻ります。



アドバイス

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、**戻る** ボタンをタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら…
現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。

映像
DVD

〔初期設定〕

テレビ(デジタルテレビ放送)

テレビについて194、195

地上デジタルテレビ放送について194

地上デジタルテレビ放送の番組受信について195

B-CASカードについて196、197

B-CASカードについて196

B-CASカードを入れる／取り出す197

B-CASカードに関するお問い合わせ先に

ついて197

Digital TVを使う198～250

各部の名称とはたらき198～203

パネル部について198

バナー表示について198、199

タッチパネル部のボタンについて200～202

デジタルメニューについて203

Digital TVモードにする204、205

Digital TVモードにすると205

Digital TVモードを終了する205

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)

をする206、207

中継局を探す207

初期スキャン／再スキャン／

エリアスキャンをする208、209

選局する210～213

プリセットボタンにメモリーする214、215

エリア呼出／プリセット呼出について215

チャンネルリスト／プリセットリストを

初期化する216、217

番組表を見る218、219

映像を切り替える220

音声を切り替える221

字幕表示を切り替える222

バナー表示の設定223

郵便番号設定224

文字スーパーを切り替える225

チャンネル表示設定226、227

時計表示設定228、229

自動切替(ワンセグ・12セグ・切替なし)の

設定をする230、231

サービスの設定をする232、233

中継局と系列局サーチの自動／

手動の設定をする234、235

アンテナ電源の設定をする236、237

受信可能なチャンネルと受信レベルを

確認し、受信する238、239

B-CASカード(ICカード)の

テストをする240、241

放送局からの情報を見る242、243

設定を初期化する244

データ放送を利用する245～247

リレーサービスの番組を見る248

臨時サービスの番組を見る248

緊急放送を見る249

エラーコードについて250

地上デジタルテレビ放送について



- 地上デジタルテレビ放送は、現行のアナログ(VHF/UHF)テレビ放送がデジタル化された(UHF帯の電波を使って行なう)放送で、2003年12月から関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で開始された放送です。

※アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。

- お車の走行地域(ご利用の地域)で放送が開始されている必要があります。県域(都道府県)を選択して現在地の設定をしてください。

 「**視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする**」 206、207ページ

- 地上デジタルテレビ放送は大きく分けて3種類のサービスがあります。

- ・テレビ放送……従来からのテレビ放送
- ・ラジオ放送……音声を主とした放送
- ・データ放送……現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送

※本機ではテレビ放送とデータ放送のサービスを受けることができます。(ラジオ放送には対応しておりません。)

- 一般的にデジタルテレビ放送はアナログテレビ放送に比べて数秒程度音声・映像が遅れます。(時報等も同様に遅れます。)

- 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで受信状態を安定させることができます。

※自動でワンセグ・12セグの切り替えを行なうか、行なわないかは、設定により変更することができます。

 「**自動切替(ワンセグ・12セグ・切替なし)の設定をする**」 230、231ページ

- B-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。

 「**B-CASカードについて**」 196ページ

「**B-CASカードを入れる/取り出す**」 197ページ

- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。



・日本の地上デジタルテレビ放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。

※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログテレビ放送と同様のUHF帯の電波を使用して放送されています。12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

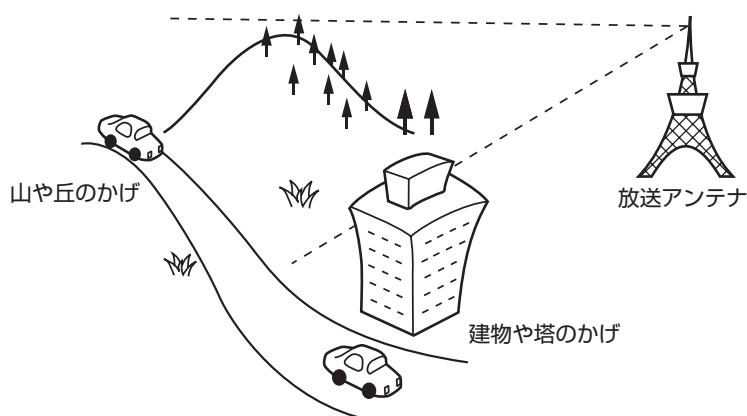
・地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日より東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズがでたり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。



以下の点にご注意ください。

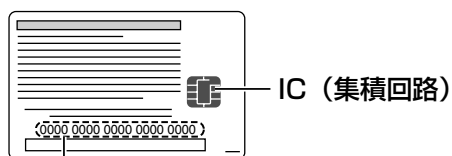
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アンセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかざられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。
- お知らせメールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。

B-CASカードについて

B-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。

※本機に付属のB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。

ID番号は大切な番号です。(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。



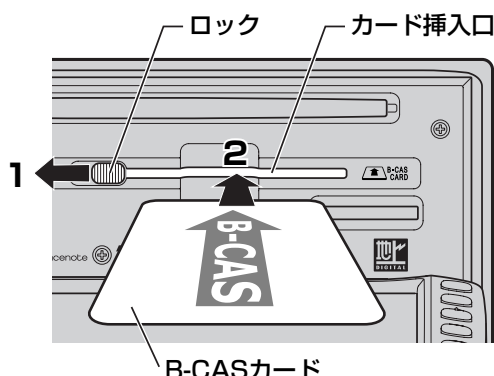
ID番号

契約内容などを管理するための大切な番号です。お問い合わせの際にも必要です。

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から電波に原則として「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
- B-CASカード取り扱い上の留意点
 - ・ 折り曲げたり、変形させない。
 - ・ 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
 - ・ 分解加工は行なわない。
 - ・ ご使用中にB-CASカードの抜き差しはしない。
※地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - ・ 上に重いものを置いたり踏みつけたりしない。
 - ・ IC(集積回路)部には手をふれない。
 - ・ カード挿入口に正しく挿入する。  左記
 - ・ 付属のB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
 - ・ 破損・紛失などB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
 - ・ B-CASカードの取り扱いの詳細につきましては、B-CASカードの台紙に記載されている説明をご覧ください。
 - ・ 付属のB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
 - ・ 本機の修理を依頼されるときは、本機よりB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

B-CASカードを入れる／取り出す

■ B-CASカードを入れる場合



①車のエンジンスイッチを0(OFF)にし電源を切る。

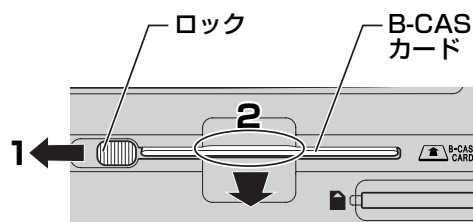
②パネルの「TILT」ボタン(▲)を押す。

：ディスプレイが開きます。

③ロックを1の方向に動かしながら、カード挿入口にB-CASカードを差し込む。

※B-CASカードの↑(イラスト)を上にし、2の矢印方向に奥まで挿入してください。

■ B-CASカードを取り出す場合



上記手順①、②にしたがって操作し、1の方向にロックを動かしながら、カードの挿入口の2の部分から少し出ているB-CASカードを持って矢印方向に引き抜く。



アドバイス

- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとB-CASカードは機能しません。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上待ってからB-CASカードテスト(ICカードテスト)を行ってください。▶「**B-CASカード(ICカード)のテストをする**」240、241ページ



お願い

- B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- カード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 車のエンジンスイッチ I (ACC) または II (ON) の状態でカードを抜き差ししないでください。
※上記注意事項を守らなかった場合、視聴できなくなったり故障や破損の原因となります。

B-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のB-CASカードについてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

電話番号 0570-000-250

受付時間 10:00~20:00 (年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。

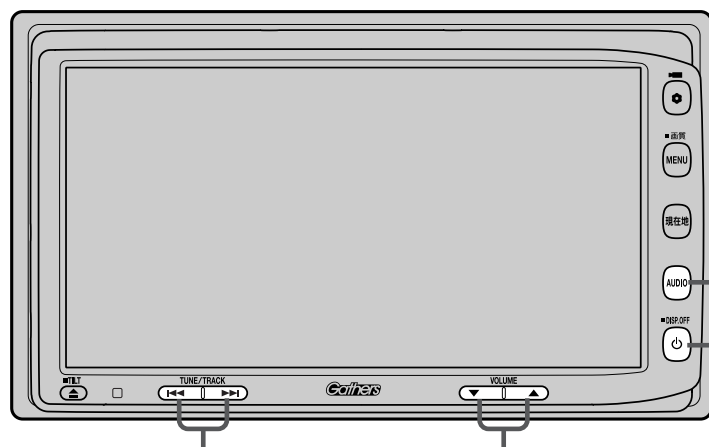
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- B-CASカードの台紙に記載されている「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「取付説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客さまのB-CASカードのID番号は控えておいてください。

Digital TVを使う(1)

各部の名称とはたらき

パネル部について



選局 ボタン(◀◀/▶▶)

プリセットされている放送局を呼び出します。(手動選局)
また、このボタンを押し続けると受信可能な放送局を探します。
(自動選局) (210ページ)

AUDIO ボタン

AV MENU画面を表示します。
※ナビゲーション画面／FM／AM／CD／DVD／
MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／
USB／VTRモードからDigital TVモードに切り
替えるときに使用します。

電源 ボタン(⏻)

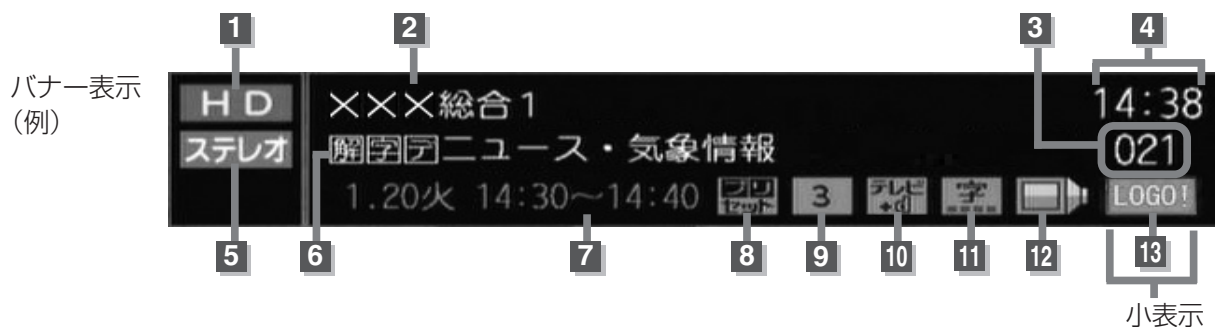
オーディオモードを開始／終了(OFF状態に)
します。また、2秒以上長押しで画面を消します。

VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

バナー表示について

地上デジタルテレビ放送を選局したときや、受信中に画面をタッチし **次へ** をタッチして操作ボタン2
を表示させ、画面の **表示切替** ボタンをタッチしたときなどに、画面に下のような表示が現われます。
これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が盛り込まれています。



1 放送の種類

HD / **HV** ハイビジョン放送
SD 標準放送(SDTV)

※本機は **HD** / **HV** を表示(ハイビジョ
ン放送を受信)しても映像は標準画質で映
されます。(**HD** / **HV** / **SD** は放
送の種類を示すもので画質を示すものでは
ありません。)

2 チャンネル名

チャンネルの名称を最大10文字まで表示し
ます。

3 チャンネル番号(チャンネル表示)

設定によりチャンネル表示を変更することがで
きます。[226、227ページ

4 時刻

現在の時刻を表示します。

5 音声の種類

番組の音声を表示します。

(例) **ステレオ** **マルチCH**
モノラル **ステレオ** *
JPN **ENG** **JPN**
主 **副** **+ENG**

※音声(と映像)が複数ある場合選択することが
できます。

[221ページ 「**音声を切り替える**」

*印：本機は5.1chサラウンドには対応していません。

6 番組名および記号

番組の名称を最大20文字まで表示します。
また、下記記号が番組名の前／後に表示されることがあります。

(例)

番組連動データ放送

2カ国語放送

字幕放送

圧縮Bモードステレオ音声

サラウンドステレオ音声

音声多重放送

再放送

ステレオ放送

音声解説

劇映画

吹き替え

ワイド放送

マルチビューテレビ放送 …など

●記号は放送局側で付けられています。

●上記以外の記号もあります。

7 日付と放送時刻

番組の日付と放送時刻を表示します。

8 プリセット表示

プリセット呼出 ボタンを選択している場合に
表示されます。

200、214、215ページ

9 エリア番号／プリセット番号

そのチャンネルがエリア登録またはプリセット登録されていることを表し、表示される数字はエリア番号またはプリセット番号を表します。

10 番組の種類など〔データ放送は12セグのみ〕

テレビ放送	独立型データ放送
	番組内容と関連しない データ放送あり
	番組内容と関連した データ放送あり

「データ放送を利用する」
245～247ページ

11 字幕

12セグの場合、番組に字幕サービスがあるときに が明るく表示されます。

「字幕表示を切り替える」
222ページ

12 信号選択

12セグの場合、複数の映像や音声を送られているときに が明るく表示されます。

「映像を切り替える」 220ページ
「音声を切り替える」 221ページ

13 チャンネルのロゴマーク

アドバンス

- 表示される時刻は実際とズレが生じる場合があります。正確な時刻は地図画面(ナビ画面)にて確認ください。
- 表示の内容は放送局や番組によって異なる場合があります。
- これらの表示は番組の内容によってそれぞれが表示されます。一度には表示されません。

小表示(/ /)について

バナー表示のほかに、バナー表示の一部を小表示として表示することもできます。
さらに時刻のみ表示させることもできます。

※表示させるかどうかは設定により変更できます。

201ページ 操作ボタン2の **表示切替** ボタンタッチ

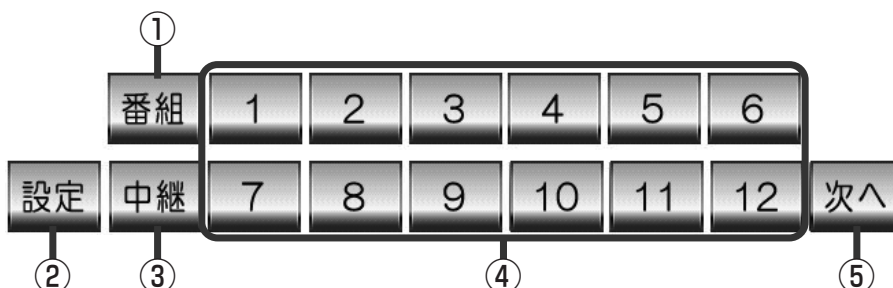
「バナー表示の設定」 223ページ

Digital TVを使う(2)

タッチパネル部のボタンについて

テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が表示されます。

操作ボタン1



① **番組** ボタン*1

番組表を表示します。
(218ページ)

② **設定** ボタン*2

デジタルメニュー画面を表示します。
(203ページ)

③ **中継** ボタン*3

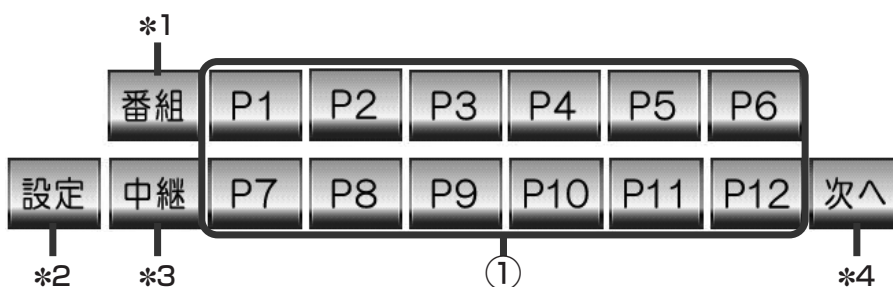
中継局(系列局)をサーチします。
(205、207ページ)

④ **エリア** ボタン(**1** ～ **12**)

あらかじめメモリーされている放送局を
呼び出すことができます。(211ページ)

⑤ **次へ** ボタン*4

次ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン2を表示)



① **プリセット** ボタン(**P1** ～ **P12**)

1秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。(214、215ページ)
メモリーしたボタンはP1～P12の表示から物理チャンネル(13～62ch)表示となります。
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1秒未満)タッチします。(211ページ)

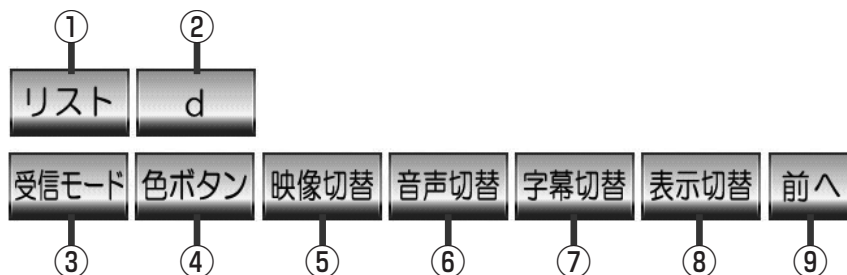


アドバンス

操作ボタン1は、デジタルメニュー画面で選択するボタン(**エリア呼出** ／ **プリセット呼出**)によって表示内容(機能)が異なります。

 デジタルメニュー画面 202ページ参照

操作ボタン2



① リスト ボタン

チャンネルリスト画面を表示します。(212ページ)

② d ボタン

データ放送画面を表示したり消すときに使用します。
(245～247ページ)

③ 受信モード ボタン

タッチすることによりセグメントを切り替えます。

放送自動切替 → 12セグ → ワンセグ

※放送自動切替は自動切替設定で“なし”に設定している場合は表示されません。

※ワンセグ放送がない場合は、ワンセグになりません。
(ワンセグ表示されません。)

受信状況によって自動で受信モードの切り替えを行なう設定にすることもできます。(230、231ページ)

④ 色ボタン ボタン

色ボタンを表示します。

データ放送など画面上で指示が出たときに使用します。

⑤ 映像切替 ボタン

映像を切り替えます。(220ページ)

⑥ 音声切替 ボタン

音声を切り替えます。(221ページ)

⑦ 字幕切替 ボタン

タッチすることにより字幕を切り替えます。
(222ページ)

⑧ 表示切替 ボタン

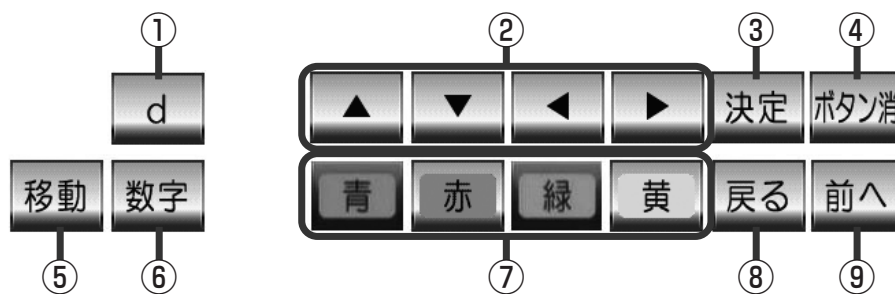
タッチすることによりバナー表示を出す(大表示)か小表示か時刻表示のみか何も表示しないかを切り替えることができます。(223ページ)

⑨ 前へ ボタン

前ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン1を表示)

Digital TVを使う(3)

色ボタン



① d ボタン

データ放送画面を表示したり消すときに使用します。
(248～250ページ)

②カーソルキー (▲／▼／◀／▶)

画面で項目を選ぶときに使用します。

③ 決定 ボタン*5

画面で選んだ項目を決定(実行)します。

④ ボタン消 ボタン*6

操作ボタンを消します。

⑤ 移動 ボタン*7

操作ボタンの表示を画面の上側または下側へ移動します。

⑥ 数字 ボタン

数字ボタンを表示します。
データ放送時に数字を入力するときに使用します。

⑦ カラーキー (青／赤／緑／黄)

データ放送を利用する場合などのときに使用します。
(245～247ページ)

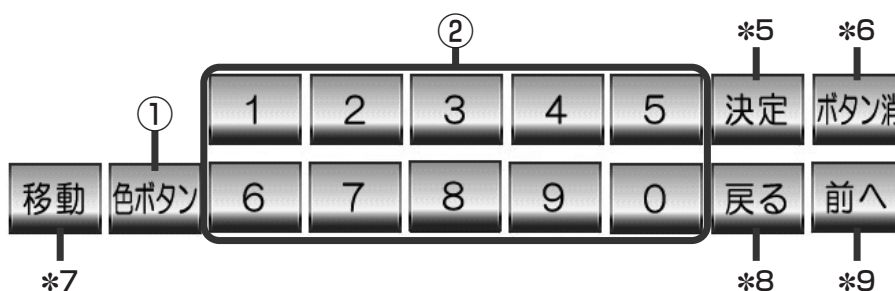
⑧ 戻る ボタン*8

データ放送画面操作時に
1つ前のデータ放送画面に戻ります。

⑨ 前へ ボタン*9

前ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン2を表示)

数字ボタン



① 色ボタン ボタン

色ボタンを表示します。
データ放送など画面上で指示が出たときに使用します。

② 10キー (0～9)

データ放送利用中に数字を入力するときに使用します。

デジタルメニューについて

画面をタッチして操作ボタン1を表示させているとき、**設定** ボタンをタッチするとデジタルメニュー画面を表示させることができます。地上デジタルテレビ放送の各機能や設定はこのデジタルメニューを使って行ないます。



① エリア変更 ボタン

視聴エリアを変更します。(206、207ページ)

② チャンネルリスト ボタン

チャンネルリスト／プリセットリストを表示します。
(212、213ページ)

③ スキャン ボタン

初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをすることができます。(208、209ページ)

④ 番組表 ボタン

番組表を表示します。(218ページ)

⑤ 戻る ボタン

受信画面に戻ります。

⑥ システム設定 ボタン

郵便番号や表示内容・受信モードの設定、受信レベルやB-CASカード・システム情報の確認などすることができます。
(224～244ページ)

☞ 郵便番号設定224ページ

☞ 表示設定

- 文字スーパーの切替225ページ
- チャンネル表示226、227ページ
- 時計表示228、229ページ

☞ 各種設定

- 放送自動切替230、231ページ
- サービス設定232、233ページ
- 中継・系列局サーチ234、235ページ

☞ アンテナ電源236、237ページ

☞ 受信レベル確認238、239ページ

☞ B-CASテスト240、241ページ

☞ システム情報

- 受信情報確認242、243ページ
- メモリ初期化244ページ

⑦ エリア呼出 ボタン

操作ボタン1を表示します。表示された**エリア** ボタン(**1** ～ **12**)をタッチしてプリセット(メモリー)されている放送局を呼び出すことができます。なお、プリセットされる放送局は視聴エリアの変更やスキャンなどによって変更されます。
(200、215ページ)

⑧ プリセット呼出 ボタン

操作ボタン1を表示します。表示された**プリセット** ボタン(**P1** ～ **P12**)をタッチして手動でプリセット(メモリー)した放送局を呼び出すことができます。
(200、211、214、215ページ)

〔各部の名称とはたらき(タッチパネル部のボタンについて)〕

映像
デジタル

〔各部の名称とはたらき(デジタルメニューについて)〕

※地上デジタルテレビ放送が受信できない場所にいる場合、項目が選択できない場合があります。

Digital TVを使う(4)

Digital TVモードにする



安全上の配慮から、停車中のみで覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

Digital TVモード画面(走行中)(例)

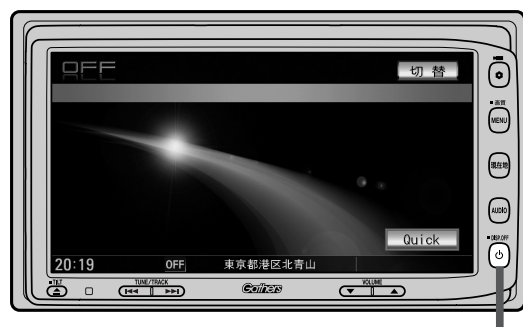


■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回Digital TVモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

： Digital TVモード画面を表示します。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回Digital TVモード以外のオーディオモード画面の場合(OFF含む)

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

： AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

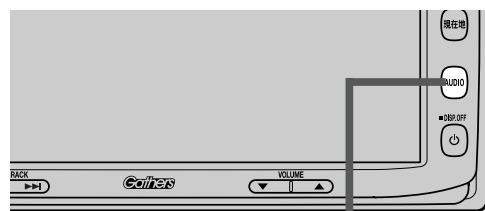
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

： AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

②画面の **Digital TV** ボタンをタッチする。

： Digital TVモード画面を表示します。



① **AUDIO** ボタン



AV MENU画面



アドバンス

初めてDigital TVを利用する場合でも、GPSで車の現在位置が判れば自動でその視聴エリアに合ったチャンネルリストを作成しますので、受信可能な放送局を簡単に見つけることができます。(エリア変更が“自動”に設定されている場合  206ページ)

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖼️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



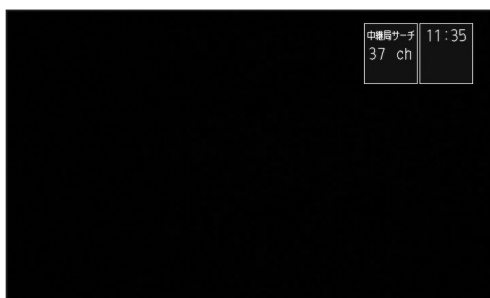
アドバンス

Digital TVの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

Digital TVモードにすると…

GPSから得たお車の位置に自動で視聴エリアの変更を行ない、また中継局サーチ機能により放送が受信できるまでサーチ(探索)を行ないます。



中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合
(🔊 234、235ページ参照(初期は自動に設定))

※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、206、207ページ手順にしたがって視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。

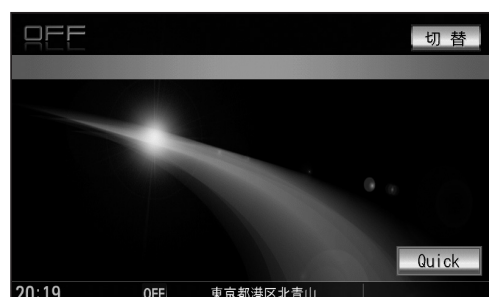
Digital TVモードを終了する

1 パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されDigital TVモード画面を終了します。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(🔌)



Digital TVを使う(5)

視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする



アドバイス

お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行います。自動で受信できない場合や、手で地域と県域を設定する場合は下記にしたがって操作してください。

現在地によって受信できる放送局(**エリア** ボタン(**1** ~ **12**))に割り当てられる放送局)が異なります。地上デジタルテレビ放送は、東京・名古屋・大阪を中心とする関東・中京・近畿の3大広域圏やその他の都道府県庁所在地でも放送が開始されており、今後も受信可能エリアは順次拡大されます。(地上デジタルテレビの電波が受信できない状態では放送を受信することはできません。)

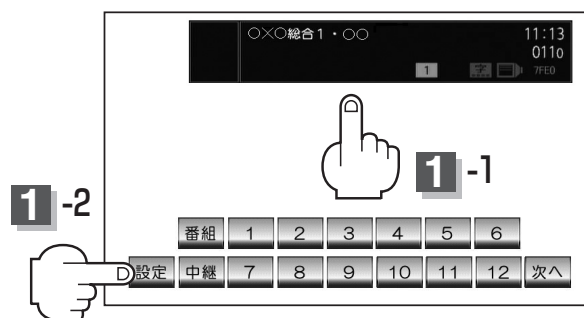
※初期状態(お買い上げ時)は東京都のチャンネルが設定されています。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

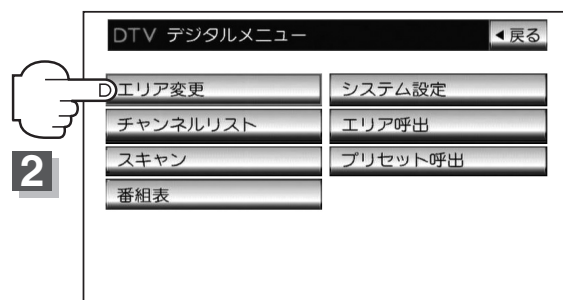


2

画面の**エリア変更** ボタンをタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

手動 ボタンをタッチし、現在地の地方と県域をタッチする。

初期状態は“自動”に設定されています。エリアを手動で変更する場合に“手動”を選択してください。

3-1

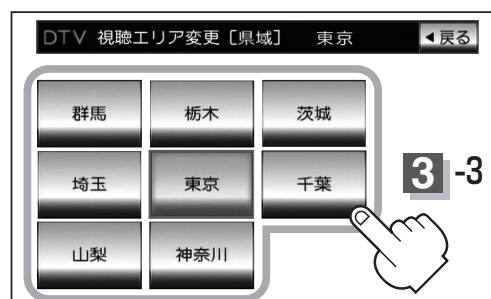
視聴エリア変更画面(地方選択時)



現在選択している県域が表示されます。

※すでに“手動”に設定されている場合は **3-1** の手順は省略することができます。

視聴エリア変更画面(県域選択時)



：スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

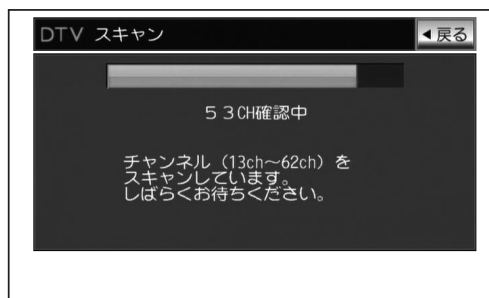
選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて **エリア** ボタン(**1** ~ **12**))にプリセット(メモリー)されます。
※選択している地域で放送されている放送局をすべてプリセット(メモリー)するため、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

■ スキャンを行なう場合

① はい ボタンをタッチする。



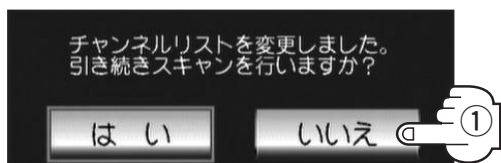
：スキャンを開始します。



スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行わない場合

① いいえ ボタンをタッチする。



：スキャンをしないで受信画面を表示します。

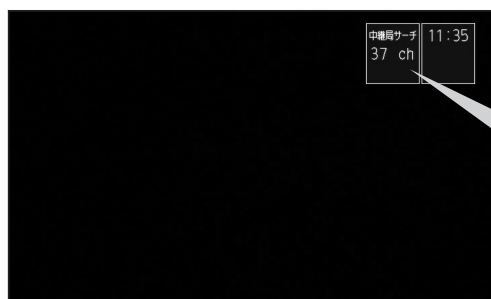
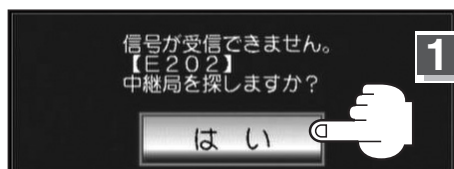


- 視聴エリアを変更した場合は **はい** ボタンをタッチしスキャンすることをおすすめします。
- スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**エリア** ボタンにプリセット(メモリー)された局の中継局をスキャン(探索)します。
※現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは再スキャンを行なってください。 209ページ

中継局を探す

本機は、お車の走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、自動でサーチを開始します (205ページ **Digital TVモードにすると…**) が、中継・系列局サーチの設定で“手動” (234、235ページ) を選択している場合は下記方法で中継局をサーチしなおすことができます。

1 画面にメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチする。



：受信できる放送局を探します。放送局を受信すると自動的に止まります。



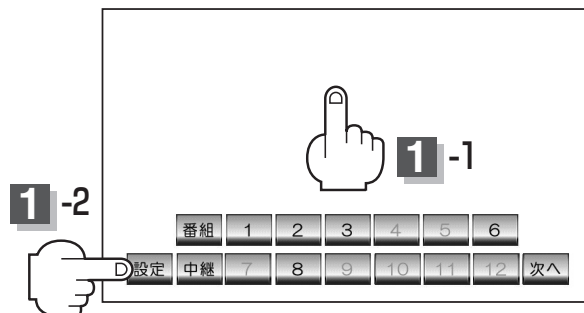
- 放送波送信にはMFN方式とSFN方式があり、MFN方式は複数の周波数を用いて放送を中継しているため今まで受信していた周波数が受信しなくなった場合でも中継局サーチをしないことで適切な周波数で受信しなおすことが可能です。SFN方式では同一の周波数を使用するので中継局サーチは有効に働きません。どちらの方式(MFN/SFN)になるかはエリアによって異なります。また、状況によっては、元の放送局といわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局の方が受信可能となる場合があります。これを「系列局」と呼んでいます。「系列局」では必ずしも同じ放送内容とは限りませんが、現在地の視聴エリアに「系列局」が存在する場合には、これもサーチの対象とします。なお、「ネットワーク系列」として次のものを定義しています。
NHK総合系列、NHK教育系列、TBS系列、NTV (日本テレビ) 系列、CX (フジ) 系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立UHF局系列 (2009年3月現在) ※MFN方式 「用語説明」 350ページ
- 中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合は、上記のようなメッセージは表示されません。 (234、235ページ)
- サーチ中に **選局** ボタン (>/<) を押すまたは **プリセット** / **エリア** ボタンをタッチするとサーチは止まり、要求された選局をします。
- 視聴エリアの変更で選択した県域に受信できる放送局がない場合もメッセージが表示されます。
- 操作ボタン1の **中継** ボタンをタッチしても中継局をサーチすることができます。 200ページ

Digital TVを使う(6)

初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをする

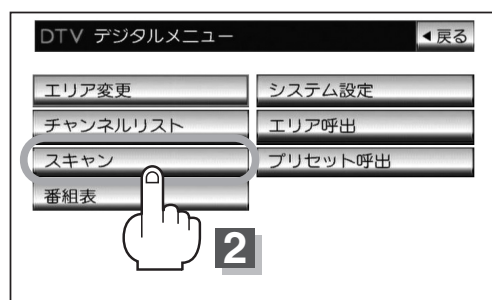
- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。
：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



- 2 画面の**スキャン** ボタンをタッチする。
：スキャン画面が表示されます。

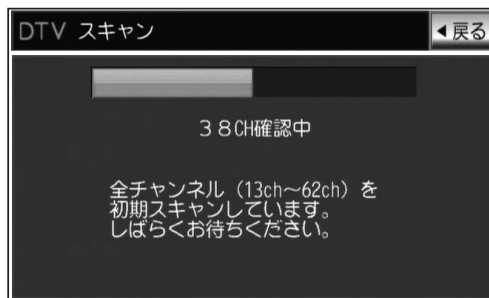
デジタルメニュー画面



- 3 初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンを選択します。

■ 初期スキャンをする場合

- ① **初期スキャン** ボタンをタッチする。



：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

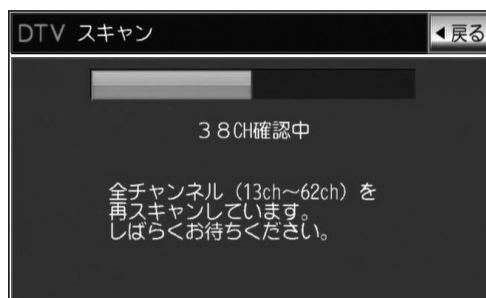


初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、**エリア** ボタンにメモリーされるエリア)が最新の状態となります。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときなどに行ないます。

① 再スキャン ボタンをタッチする。



：新たに受信可能なチャンネルを探し、プリセット（メモリー）します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

■ エリアスキャンをする場合

現在の車の位置を視聴エリアとするチャンネルリストに変更します。変更した放送局の中継局をスキャンします。

① エリアスキャン ボタンをタッチする。

：現在の車の位置において準備されているチャンネルリスト／**エリア** ボタン（**1**～**12**）は変更され、スキャンするかどうかのメッセージが表示されます。

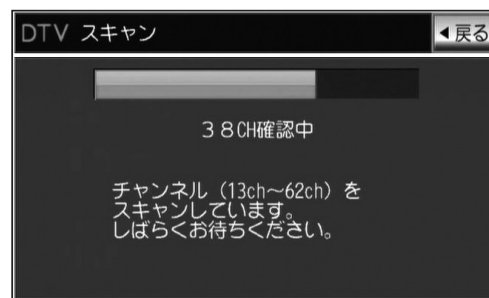
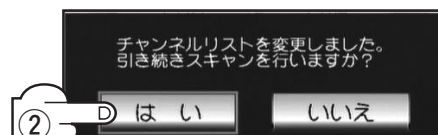


② はい ボタンをタッチする。

：変更した放送局の中継局をスキャンし、現在の車の位置で受信できる放送局をチャンネルリスト／**エリア** ボタン（**1**～**12**）にプリセット（メモリー）します。

※スキャンをしない場合は **いいえ** ボタンを選択してください。

※視聴エリアの変更で自動に設定（ 206ページ）している場合は、エリアスキャンをしなくてもチャンネルリスト／**エリア** ボタン（**1**～**12**）は変更されます。（中継局のスキャンは開始されません。）



映像
デジタル

〔初期スキャン／再スキャン／エリアスキャン〕



アドバース

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **エリア** ボタン（**1**～**12**）にプリセット登録されない番組もあります。
- スキャンをしてチャンネル設定した場合に、再度同じ県域（都道府県）をプリセット（メモリー）しても前回設定されたチャンネルのままとなります。プリセット（メモリー）前の状態に戻すには初期化を行なってください。 「チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する」216ページ／ 「設定を初期化する」244ページ

Digital TVを使う(7)

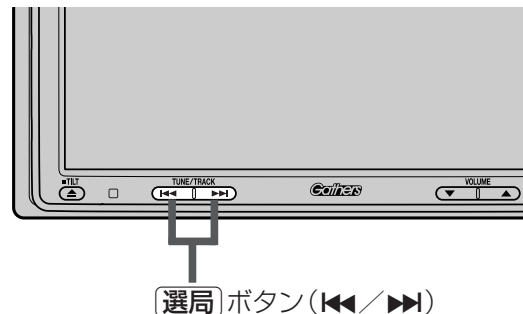
選局する

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局)

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① パネルの **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。

希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に **選局** ボタン(◀◀／▶▶)を押すと、自動選局は止まり、自動選局をする前のチャンネルに戻ります。



アドバース

- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって**エリア**ボタン(**1** ～ **12**)にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、好きな放送局をお客様ご自身が**プリセット**ボタン(**P1** ～ **P12**)にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ**エリア**ボタン(**1** ～ **12**)／**プリセット**ボタン(**P1** ～ **P12**)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「**視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」 206、207ページ

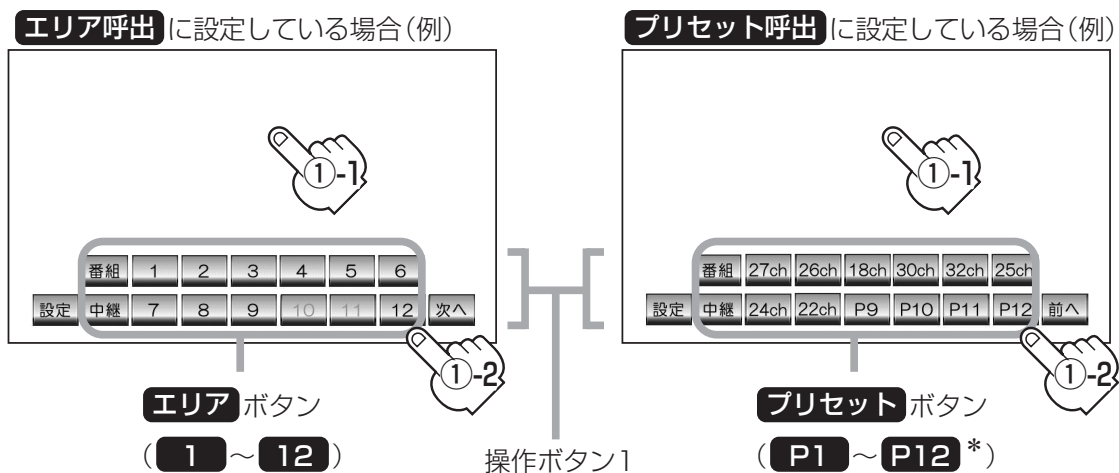
「**初期スキャン／再スキャン／エリアスキャンをする**」 208、209ページ

「**プリセットボタンにメモリーする**」 214、215ページ

①画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**エリア**ボタン(**1** ～ **12**)または**プリセット**ボタン(**P1** ～ **P12**)の中で呼び出したいボタンをタッチする。

：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。

※**エリア**ボタン(**1** ～ **12**)または**プリセット**ボタン(**P1** ～ **P12**)に放送局が割り当てられていない場合、設定されていないことを知らせるメッセージが表示されます。



アドバース

- **エリア**ボタン(**1** ～ **12**)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その**エリア**ボタン(**1** ～ **12**)をタッチするごとに設定されたチャンネルを順に選局します。
- **エリア**ボタン(**1** ～ **12**)／**プリセット**ボタン(**P1** ～ **P12**)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト／プリセットリスト画面(212、213ページ)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「エリア番号と放送局一覧」(380、381ページ)より確認できます。
- *印： **P1** ～ **P12** は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(**13ch** ～ **62ch**)となります。

Digital TVを使う(8)

■ リストにて放送局を選ぶ場合

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身が好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

「 視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする」 206、207ページ

「初期スキャン/再スキャン/エリアスキャンをする」 208、209ページ

「プリセットボタンにメモリーする」 214、215ページ

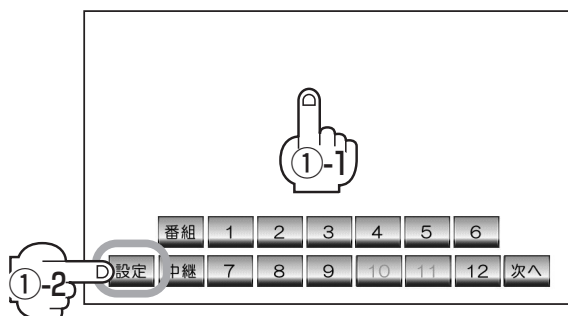
①画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

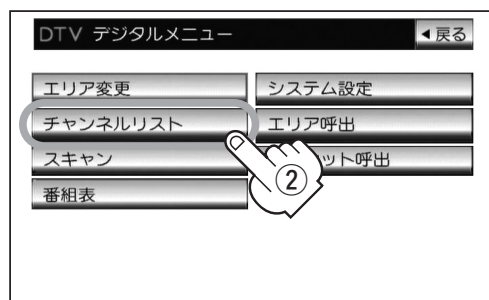
②画面の **チャンネルリスト** ボタンを
タッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



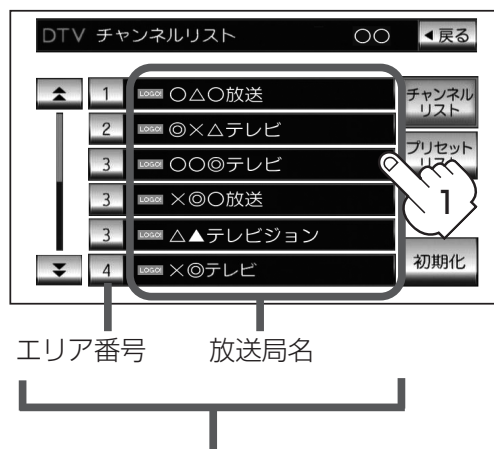
デジタルメニュー画面



③チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出します。

□ チャンネルリストより放送局を呼び出すには…

チャンネルリスト画面(例)



1. リストより呼び出したい放送局をタッチする。

：選択した放送局を受信します。



アドバンス

プリセットリスト(右記)が表示された場合は

チャンネルリスト ボタンをタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

※視聴エリアの変更で自動に設定( 206ページ)している場合は、エリアスキャンをしなくてもチャンネルリスト/**エリア** ボタン(**1**～**12**)は変更されます。(中継局のスキャンは開始されません。)

現在の設定内容(エリア番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。



アドバンス

チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「エリア番号と放送局一覧」( 380、381ページ)より確認できます。

□ プリセットリストより放送局を呼び出すには…

1. **プリセットリスト** ボタンをタッチする。

2. リストより呼び出したい放送局をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



：プリセットリスト画面が表示されます。

プリセットリスト画面(例)



1～12表示 放送局名と物理チャンネル (P1～P12)

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名と物理チャンネルの組み合わせ)を確認できます。

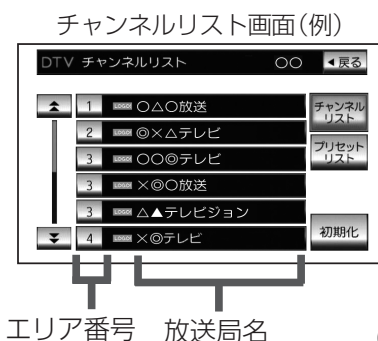
：選択した放送局を受信します。



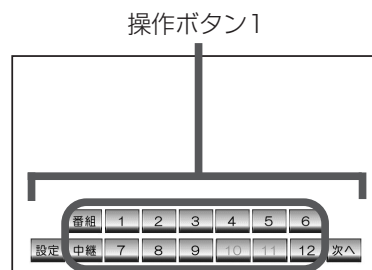
すでにプリセットリストを表示している場合は手順1を省略することができます。



- リスト画面は操作ボタン2の **リスト** ボタンから也表示させることができます。[P.201ページ]
- 次ページがある場合は、**▲** / **▼** ボタンをタッチして設定内容 (リスト) をスクロールすることができます。
- チャンネルリストは操作ボタン1の **エリア** ボタン(**1** ～ **12**) にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
※地域によって同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。



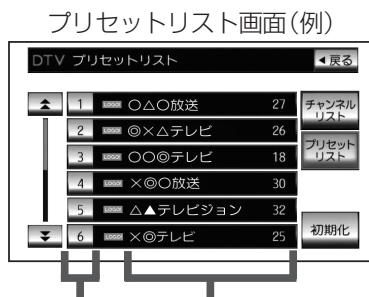
エリア番号 放送局名



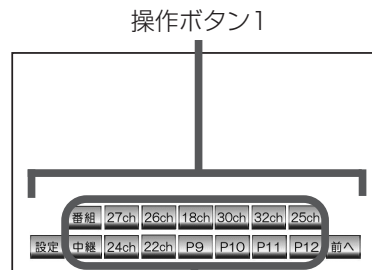
(例) **エリア** ボタン(**1** ～ **12**)

- プリセットリストは操作ボタン1の **プリセット** ボタン(**P1** ～ **P12**) にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネル*を表示します。

*：物理チャンネル [P.227ページ]



プリセット番号 放送局名／物理チャンネル
P1にメモリーされている場合 ※メモリーされていない場合、1と表示 リストに表示されません。



(例) **プリセット** ボタン

- 表示されるリストは、前回 **エリア呼出** または **プリセット呼出** のどちらかを選択したかによるため、左記手順②の **チャンネルリスト** / 操作ボタン2表示時の **リスト** ボタンをタッチしたときにどちらが表示されるかは状態によって異なります。

Digital TVを使う(9)

プリセットボタンにメモリーする

プリセット選局(☞ 211ページ)やリスト選局(☞ 212、213ページ)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

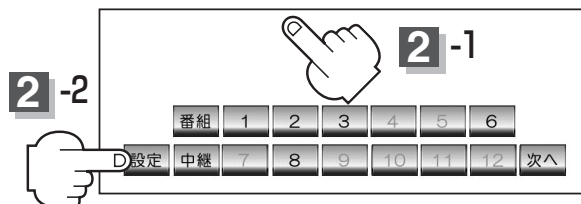
1 パネルの**選局**ボタン(◀◀/▶▶)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞ 「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 / ■ 自動選局で放送局を選ぶ場合」 210ページ

2 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



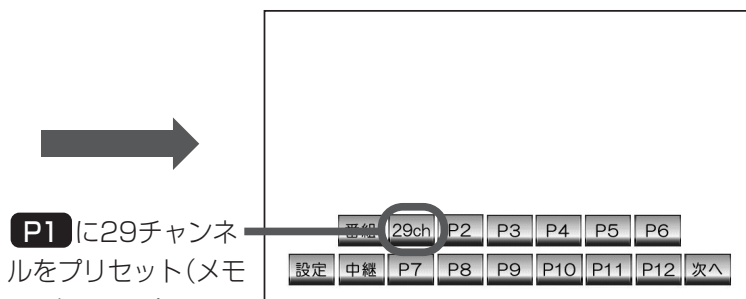
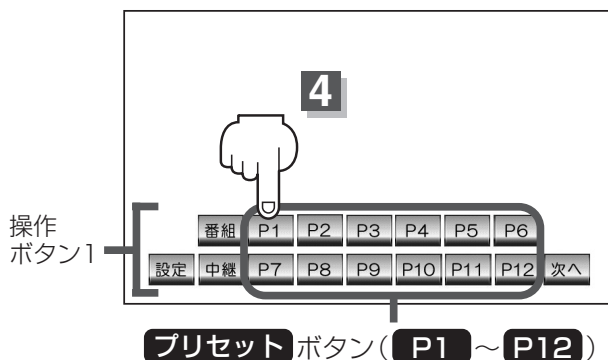
3 画面の**プリセット呼出**ボタンをタッチする。

：操作ボタン1を表示します。

デジタルメニュー画面



4 メモリーしたい**プリセット**ボタン(**P1**～**P12**)を1秒以上タッチする。



※表示はP1～P12から13ch～62ch
(物理チャンネル)表示へ変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、
放送局をメモリーすることはできません。



アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには**プリセット**ボタンを軽く(1秒未満)タッチします。☞ 211ページ
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- 画面をタッチしたときに**プリセット**ボタン(**P1**～**P12**)が表示された場合は、上記手順**2**、**3**を省略することができます。

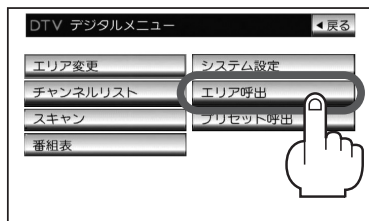


アドバイス

エリア呼出／プリセット呼出について

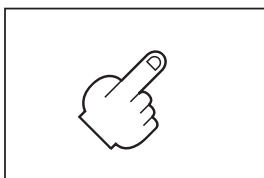
- テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

デジタルメニュー画面

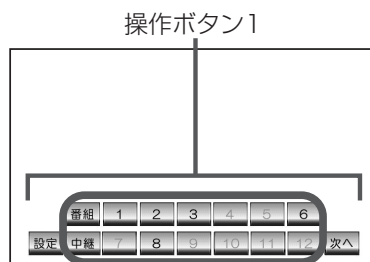


初期状態は **エリア呼出** ボタンが設定されています。

エリア呼出 設定中に

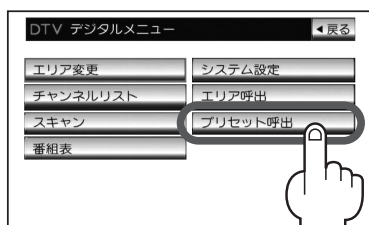


画面をタッチすると

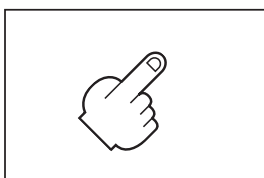


エリア ボタン(**1** ～ **12**)が表示される

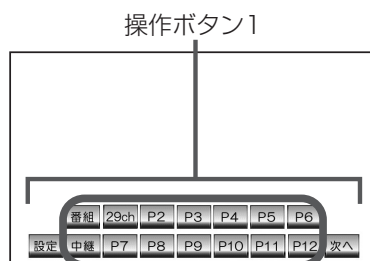
デジタルメニュー画面



手順 **2** で **プリセット呼出** ボタンが選択されている場合



画面をタッチすると



プリセット ボタン(**P1** ～ **P12**)が表示される

※ **エリア** ボタン(**1** ～ **12**)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。

プリセット ボタン(**P1** ～ **P12**)は、お客様ご自身が好きな放送局をメモリーします。

メモリーしたボタンは物理チャンネル*の表示に変わります。たとえば **P1** に36チャンネルをプリセットすると **P1** は **36ch** 表示になります。

*：物理チャンネル 227ページ

- 操作ボタン1の表示は最終選択時の状態を保持するため、前回 **エリア呼出** または **プリセット呼出** のどちらを選択したかによって表示が異なります。

映像
デジタル

「プリセットボタンにメモリーする」

Digital TVを使う(10)

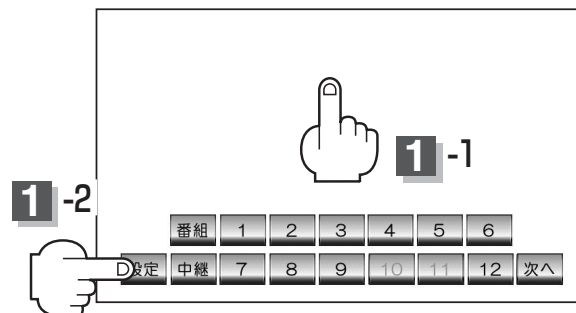
チャンネルリスト／プリセットリストを初期化する

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

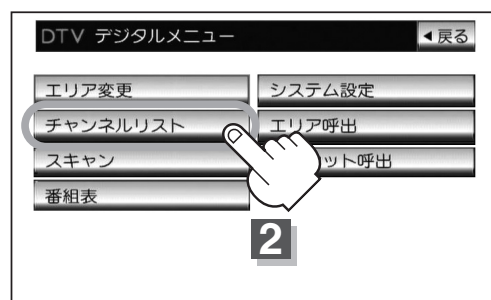


2

画面の**チャンネルリスト** ボタンをタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

チャンネルリストまたはプリセットリストを初期化します。

■ チャンネルリストを初期化する場合

① **初期化** ボタンをタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



：チャンネルリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので
はい ボタンをタッチするとチャンネルリストが初期化されます。(現在地の視聴エリアのチャンネルリストをセットします。)



アドバイス

プリセット(右記)が表示された場合は**チャンネルリスト** ボタンをタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

■ プリセットリストを初期化する場合

- ① **プリセットリスト** ボタンをタッチする。 ② **初期化** ボタンをタッチする。

チャンネルリスト画面(例)



：プリセットリスト画面が表示されます。



アドバイス

すでにプリセットリストを表示している場合は手順1を省略することができます。

プリセットリスト画面



：プリセットリストを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると、プリセットリストが初期化されます。(すべての登録内容がから(空白)になります。)

4

設定を終わるには…

戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、左記手順 ② の **チャンネルリスト** / 操作ボタン2 表示時の **リスト** ボタンをタッチしたときにどちらが表示されるかは状態によって異なります。

Digital TVを使う(11)

番組表を見る

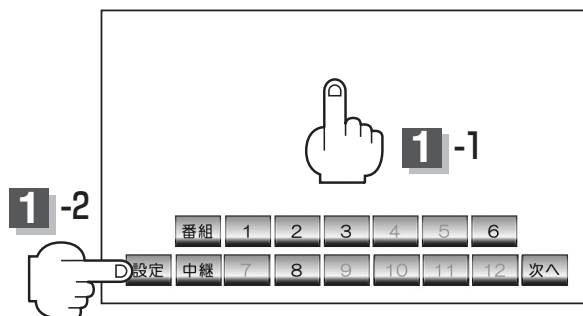
番組表(電子番組ガイド=EPG)を表示させ、1週間先までの情報を見ることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

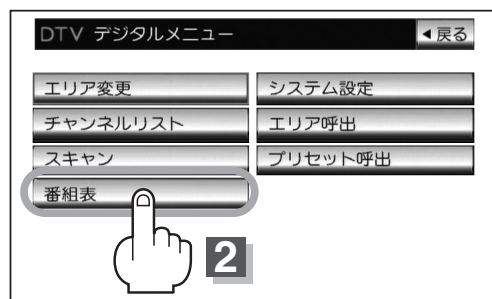


2

画面の**番組表** ボタンをタッチする。

：番組表が表示されます。

デジタルメニュー画面



番組表 一覧表示時(例)

日付曜日
チャンネル番号
放送局名表示

時間帯表示

表示 ボタンをタッチすると番組表をリスト表示に切り替えることができます。

カーソルキー
(///)
を使って番組表をスクロールさせることができます。

当日以降の番組を表示している場合、**前日** ボタンタッチで前日の番組表を表示します。**翌日** ボタンをタッチすると、翌日の番組表を表示します。(7日目まで)
※12セグの場合のみ

選択中の番組のチャンネルや放送局名・日付曜日などを表示

番組表表示



番組表 リスト表示時(例)

/ ボタンを使ってリストをスクロールさせることができます。

表示 ボタンをタッチすると番組表を一覧表示に切り替えることができます。

放送局名/日付曜日表示

放送時間と番組名を表示



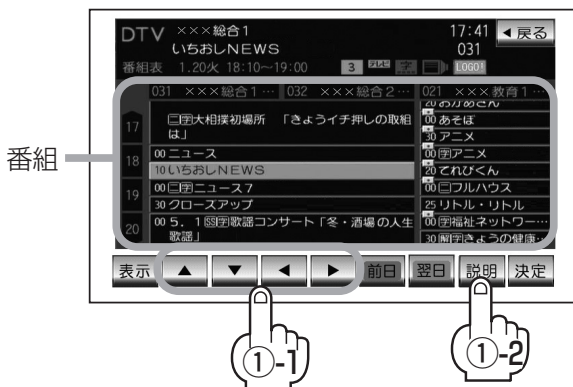
■ 番組の詳細情報を見る場合

さらに番組の詳細情報を見ることができます。

□ 一覧表示のときは…

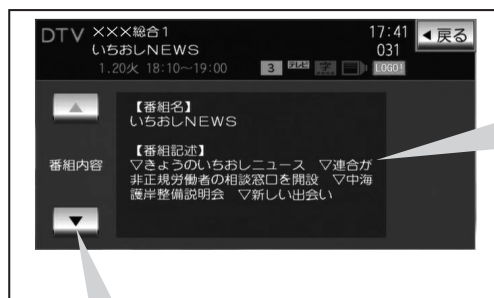
- ①カーソルキー(▲/▼/◀/▶)で見たい番組を選択し、**説明** ボタンをタッチする。

番組表 一覧表示時(例)



：番組内容画面が表示されます。

番組内容画面(例)



つづきがある場合、▲/▼ ボタンタッチでスクロールさせることができます。

□ リスト表示のときは…

- ①リストより見たい番組をタッチする。

番組表 リスト表示時(例)



他の時間帯の詳細情報を見たい場合は
▲/▼ ボタンをタッチして、
リストをスクロールさせてください。

内容

- 番組名……番組のなまえ
 - 番組記述……番組の内容や出演者など
 - 番組内容……番組の内容(あらすじ)などを番組記述より詳しく表示
 - 出演者……出演者名
 - ジャンル……番組のジャンル
 - 信号……525i、ステレオなどの情報
 - その他……中止や延長、シリーズ番組の情報など
- ※上記の内容は情報がある項目のみ表示されます。

3

番組表を見たら… 画面の **戻る** ボタンをタッチする。

：受信画面に戻ります。



アドバイス

- 番組表を一覧表示させているとき、カーソルキー(▲/▼/◀/▶)を使って見たい番組を選択し、**決定** ボタンをタッチすると選択した受信画面を表示させることができます。
※表示できる番組は現在の時間帯で放送中のものに限りです。また、現在放送していない時間帯の番組を選択決定した場合でも受信される番組は現在の時間帯で放送中のものとなります。
- データ取得のため、番組表の内容を表示するまでに時間がかかる場合があります。またデータ取得中は背景の映像が消える場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、すぐに表示が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。
- 番組表は操作ボタン1の **番組** ボタンからも表示させることができます。[📺] 200ページ
- ワンセグの場合、表示できる時間帯が12セグより短くなります。
- 表示される番組表は最終選択時の状態を保持するため、左記手順 **2** の **番組表** / 操作ボタン1の **番組** ボタンをタッチしたときに、一覧表示されるかリスト表示されるかは状態によって異なります。

Digital TVを使う(12)

映像を切り替える

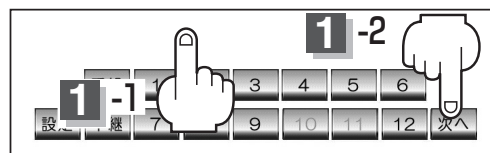
数種類の映像が同時に放送されている番組では、本機で映像を切り替えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の「次へ」ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

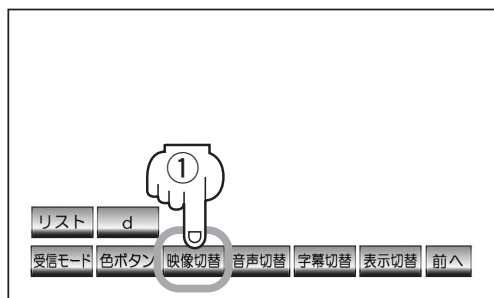
映像の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 数種類の映像がある場合

① **映像切替** ボタンをタッチする。

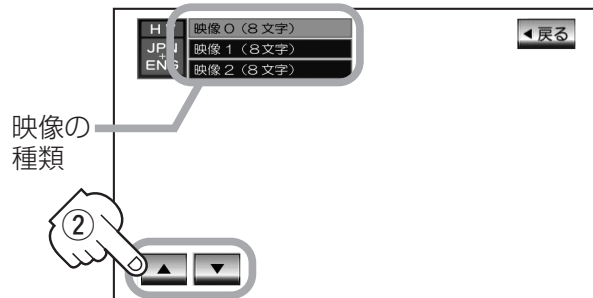
：映像の種類が表示されます。

操作ボタン2



②表示が出ている間にカーソルキー(▲/▼)をタッチして希望の映像を選ぶ。

：映像が切り替わります。



アドバイス

12セグの場合、数種類の映像が放送されているときはバナー表示の  が明るく表示されます。

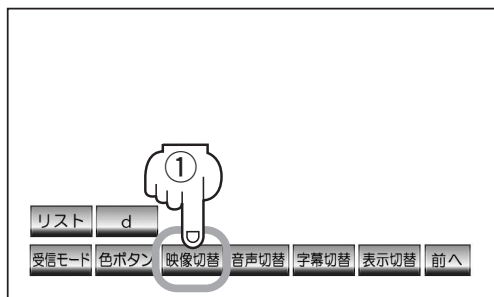
■ マルチビューテレビ放送の場合

マルチビューテレビ放送は、主番組、副番組の複数映像をひとつの番組内で同時放送するサービスです。

① **映像切替** ボタンをタッチする。

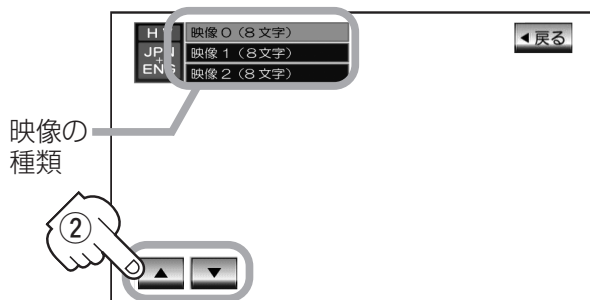
：映像の種類が表示されます。

操作ボタン2



②表示が出ている間にカーソルキー(▲/▼)をタッチして希望の映像を選ぶ。

：映像が切り替わります。



アドバイス

- マルチビューテレビ放送を受信したときは画面に“マルチビューテレビ放送です。「映像切替」キーで選択できます。”とメッセージが表示されます。
- 本機ではマルチビューテレビ放送のそれぞれの画面を同時に表示させることはできません。

音声を切り替える

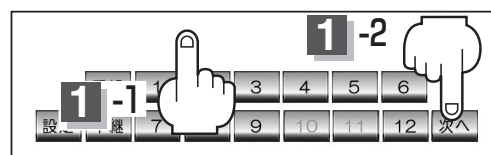
数種類の音声と同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の「次へ」ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

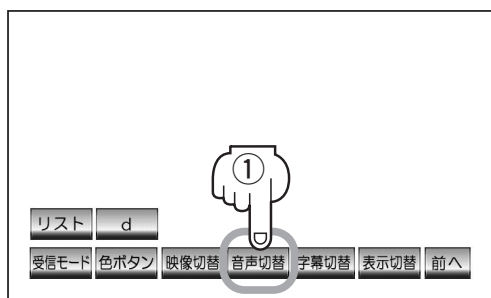
音声の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 二重音声の場合

① **音声切替** ボタンをタッチする。

：音声が表示されます。

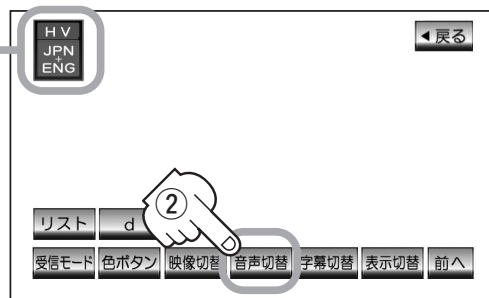
操作ボタン2



②表示が出ている間に **音声切替** ボタンをタッチする。

：タッチすることにより「JPN」、「ENG」、「JPN+ENG」など切り替わります。

音声表示

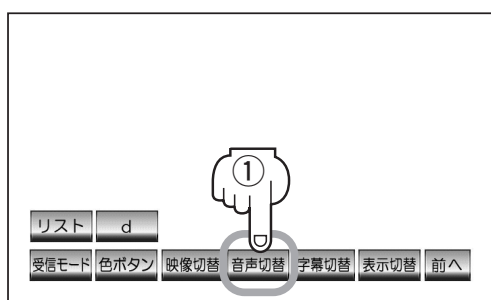


■ 数種類の音声がある場合

① **音声切替** ボタンをタッチする。

：音声の種類が表示されます。

操作ボタン2



②表示が出ている間にカーソルキー(▲/▼)をタッチして希望の音声を選ぶ。

：音声切り替わります。



● 音声の種類について

ステレオ ……2チャンネル(左右)のステレオ放送です。

モノラル ……左右が同じ音の、ステレオではない音です。

デュアルモノラル ……複数のモノラル音声を同時に放送し、選んで受信します。多言語放送などが考えられます。

〔映像切替〕

映像
デジtal

〔音声切替〕



アドバース

12セグの場合、数種類の音声が発送されているときはバナー表示のが明るく表示されます。

Digital TVを使う(13)

字幕表示を切り替える

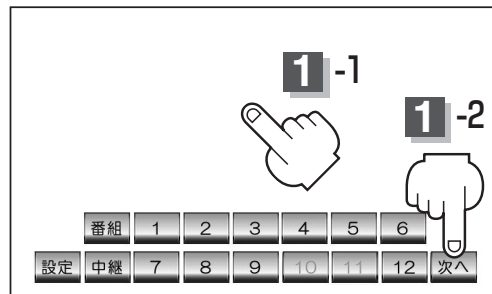
映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

画面の**字幕切替** ボタンをタッチする。

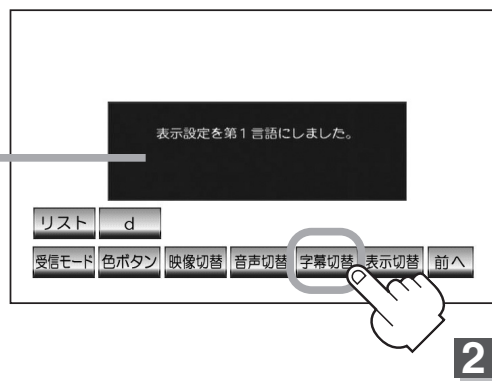
：タッチすることにより

→ 表示設定を第1言語にしました。

↓
表示設定を第2言語にしました。
(第2言語がない場合、第1言語)

↓
表示設定をオフにしました。

表示(例)



と切り替わります。

※表示が消えた場合はもう一度**字幕切替** ボタンをタッチしなおしてください。



アドバイス

- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。
- バナー表示を表示させたとき、12セグの場合字幕サービスがあると明るく表示されます。



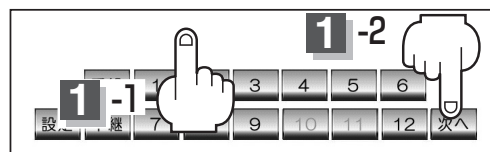
バナー表示の設定

選局時に表示されるバナー表示の設定をすることができます。

- 1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **次へ** ボタンをタッチする。

：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

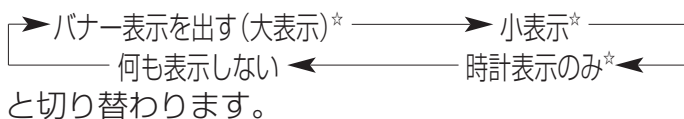


操作ボタン2表示画面



- 2 画面の **表示切替** ボタンをタッチする。

：タッチするごとに



※時計表示の設定(☞ 228ページ)で“する”に設定している場合は☆印の切り替わりとなります。

●バナー表示のときは…

：チャンネル名や番組名など、番組の情報を表示します。

(例)
バナー表示



●小表示のときは…

：小さい情報の表示となります。(時刻、チャンネル番号、放送局のロゴマークを表示します。)



小表示(例)

●時計表示のときは…

：時刻のみ表示します。



●何も表示しないときは…

：選局時、バナー表示(大表示)を約7秒間表示します。

- 3 操作ボタンの表示を止めるには…

画面をタッチする。



バナー表示につきましては☞ 「**バナー表示について**」 198、199ページも参照してください。

Digital TVを使う(14)

郵便番号設定

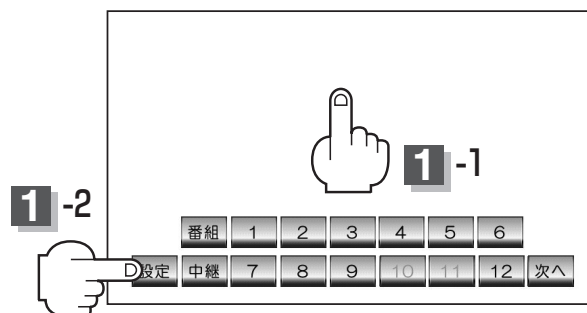
郵便番号を設定することによって、地域特有のサービス情報やドライブ先の情報を知りたいときに便利です。

 「データ放送を利用する」 245～247ページ

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

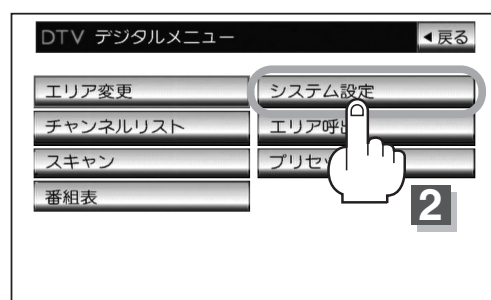
操作ボタン1表示画面(例)



デジタルメニュー画面

2 画面の**システム設定** ボタンをタッチする。

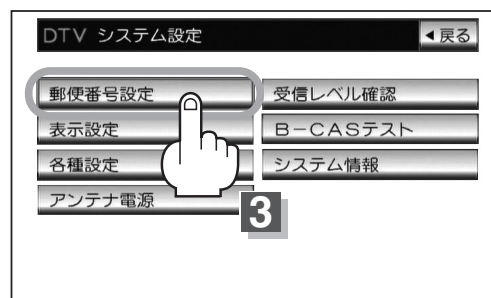
：システム設定画面が表示されます。



システム設定画面

3 画面の**郵便番号設定** ボタンをタッチする。

：郵便番号設定画面が表示されます。

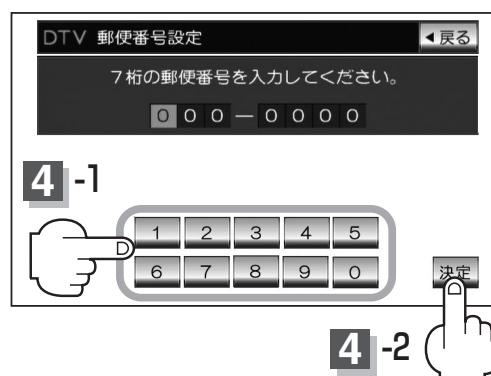


郵便番号設定画面(例)

4 画面の10キー(0～9)をタッチして郵便番号を入力し、**決定** ボタンを2回タッチする。

：システム設定画面に戻ります。

※天気予報などデータ放送の内容によっては、前3ケタの入力のみで利用できる場合があります。



5 画面の**戻る** ボタンをタッチすると受信画面に戻ります。

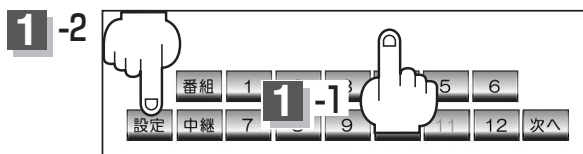
文字スーパーを切り替える

視聴者にお知らせしたい情報(臨時ニュースなど)を受信したとき、番組放送中の画面に表示するかどうかの設定をすることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



デジタルメニュー画面



2 画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

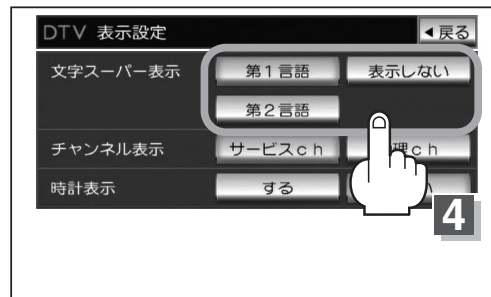
システム設定画面



3 画面の **表示設定** ボタンをタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

表示設定画面



4 表示方法(**第1言語**、**第2言語**、**表示しない** ボタン)を選択します。

■ 文字スーパーを表示させる場合

画面の **第1言語** ボタンまたは **第2言語** ボタンをタッチする。

：選択した言語で文字スーパーが表示されます。

■ 文字スーパーを表示させない場合

画面の **表示しない** ボタンをタッチする。：文字スーパーは表示されません。

5 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバンス

- 工場出荷時は **第1言語** に設定されています。
- 番組によっては文字スーパー表示設定が働かないものもあります。
- 文字スーパーは12セグのみのサービスです。
- 文字スーパーは字幕サービスとは別のサービスです。[?] 「**字幕表示を切り替える**」222ページ

Digital TVを使う(15)

チャンネル表示設定

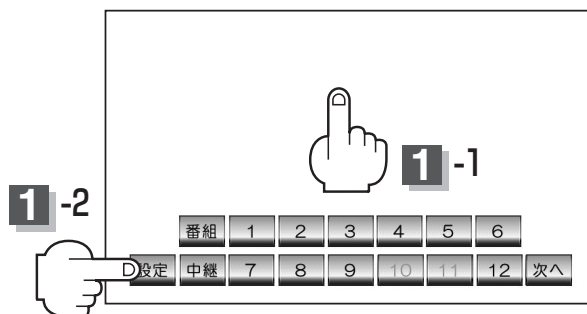
バーナー表示に表示されるチャンネル番号の表示を変えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、
画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

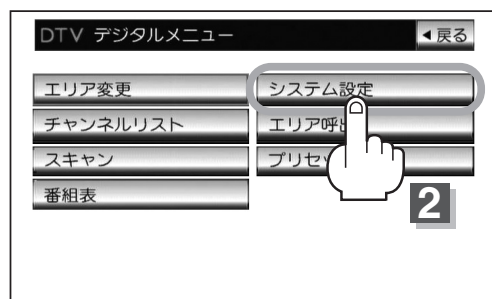


2

画面の **システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

画面の **表示設定** ボタンをタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

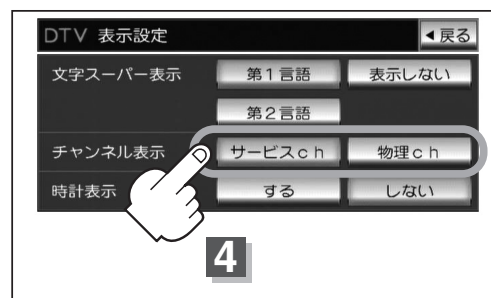
システム設定画面



4

チャンネル表示の設定をします。

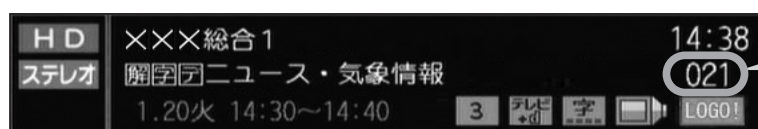
表示設定画面(例)



■ サービスチャンネルを表示させる場合

① サービスch ボタンをタッチする。

バナー表示(例)



チャンネル番号
021 (サービスチャンネル表示)

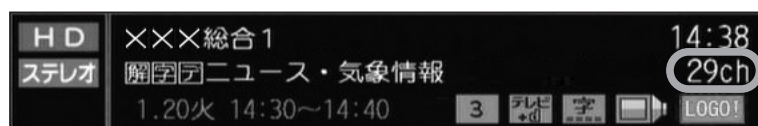
：3ケタの数字でチャンネル番号が表示されます。

※初期状態はサービスチャンネルの表示で設定されています。

■ 物理チャンネルの番号を表示させる場合

① 物理ch ボタンをタッチする。

バナー表示(例)



チャンネル番号
29ch (物理チャンネル表示)

：2ケタの数字(13～62ch)でチャンネル番号が表示されます。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(16)

時計表示設定

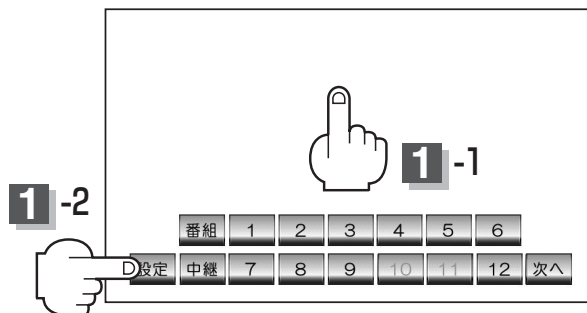
画面上に常に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

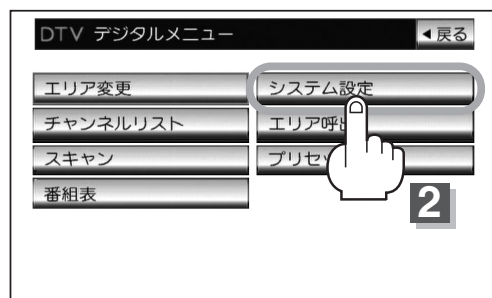


2

画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

画面の**表示設定**ボタンをタッチする。

：表示設定画面が表示されます。

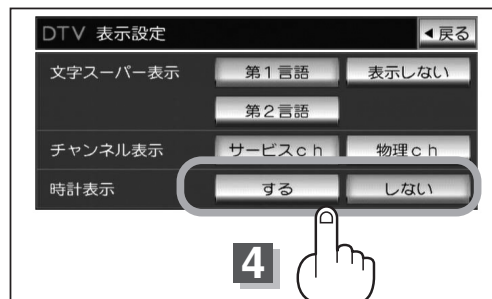
システム設定画面



4

時計表示をするかどうかの設定をします。

表示設定画面



■ 時計を表示させる場合

① **する** ボタンをタッチする。



時計表示(例)

：常に時計を表示します。

■ 時計を表示させない場合

① **しない** ボタンをタッチする。

：時計は表示されません。

※時計表示をしない設定にしても画面を操作してバナーを表示した場合は時計も表示されます。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

工場出荷時は **しない** に設定されています。

Digital TVを使う(17)

自動切替(ワンセグ・12セグ・切替なし)の設定をする

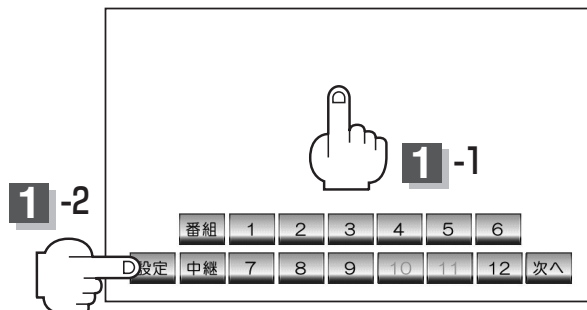
お車の受信状況によって優先的に受信するモードを自動でワンセグ・12セグと切り替えることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面

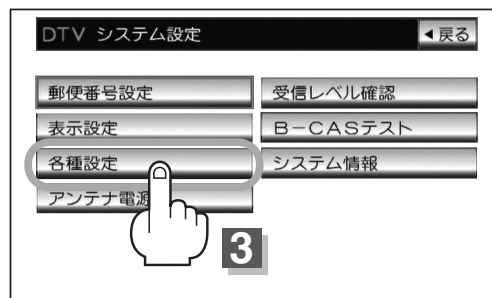


3

画面の**各種設定**ボタンをタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

システム設定画面



4

自動切替の設定をします。

各種設定画面



■ ワンセグを優先的に受信する設定にする場合

ワンセグ優先 ボタンをタッチする。

：受信状態が悪くなった場合、早々にワンセグに切り替えます。

※放送局によってワンセグ放送をしていない場合があります。その場合はワンセグ受信モードには切り替わりません。

■ 12セグを優先的に受信する設定にする場合

12セグ優先 ボタンをタッチする。

：受信状態が悪くなっても、できるだけ12セグを優先して受信します。

■ ワンセグと12セグの切り替えを行なわない場合

なし ボタンをタッチする。

：ワンセグと12セグの自動切替を行ないません。

選択しているセグメント(12セグまたはワンセグ)のままとなります。



アドバイス

- セグメントは操作ボタン2の **受信モード** ボタンをタッチして切り替えます。(P201ページ)
※ワンセグ固定受信、12セグ固定受信と、状況によってワンセグと12セグを切り替える自動切替の中から選択できます。(自動切替は上記設定で **なし** ボタンを選択している場合は表示されません。)
- 障害物などの影響により放送エリア内でも(ワンセグ/12セグともに)受信できない場合があります。
- ワンセグと12セグでは、放送内容が異なる場合があります。
- デジタルメニューから設定するここでの設定は、受信モードを設定するのみで現在の受信モードを変更するわけではありません。現在の受信モードを変更したい場合は操作ボタン2(P201ページ)の **受信モード** ボタンをタッチして行ってください。
- 工場出荷時は **ワンセグ優先** に設定されています。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(18)

サービスの設定をする

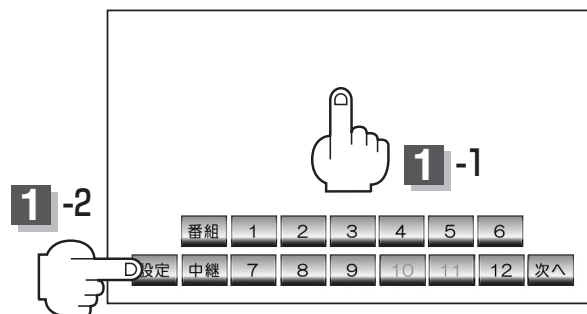
独立データサービス(Gガイドなど)を選局するかどうかの設定をすることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

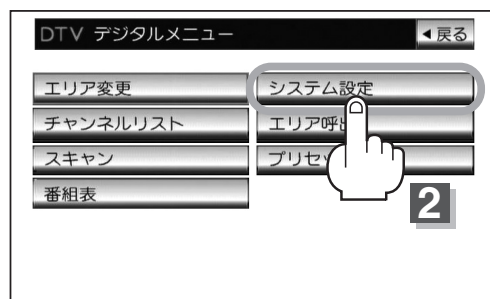


2

画面の**システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

画面の**各種設定** ボタンをタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

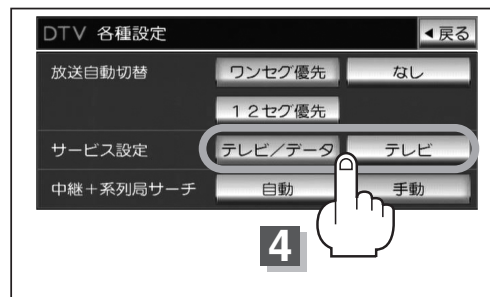
システム設定画面



4

サービスの設定をします。

各種設定画面



■ テレビサービスと独立データサービスを選局する設定にする場合

テレビ／データ ボタンをタッチする。

：テレビサービスと独立データサービスの両方を選局します。

■ テレビサービスのみ選局する設定にする場合

テレビ ボタンをタッチする。

：テレビサービスのみ選局します。

※独立データサービスがあった場合、とばして選局します。

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- **テレビ** に設定した場合、番組表もテレビサービスのみ表示されます。
- データサービスは12セグの場合です。

映像
デジタル

サービスの設定

Digital TVを使う(19)

中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする

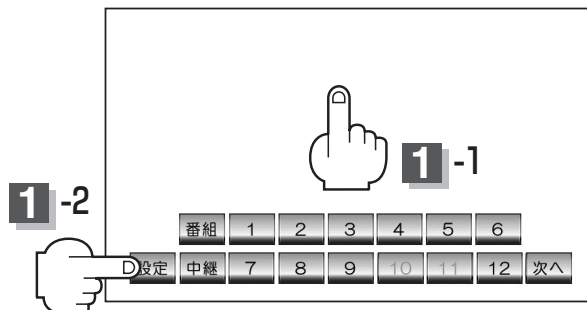
受信状態が悪くなった場合に自動で他の中継局／系列局を探すか、手動で探すかを設定することができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



2

画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面

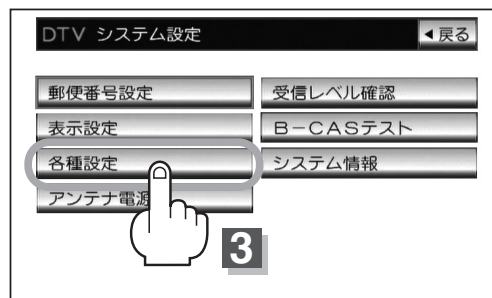


3

画面の**各種設定**ボタンをタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

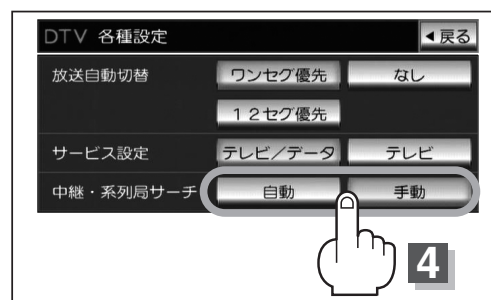
システム設定画面



4

自動／手動の設定をします。

各種設定画面



■ 自動で中継局と系列局を探す場合

自動 ボタンをタッチする。

：自動で中継局と系列局を探します。

※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

■ 手動で中継局と系列局を探す場合

手動 ボタンをタッチする。

：放送局が受信できなくなった場合は、中継局を探すことをうながすメッセージが表示されます。

☞ 「**中継局を探す**」 207ページ

5

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

映像
デジタル

〔中継局と系列局サーチの自動／手動の設定〕

Digital TVを使う(20)

アンテナ電源の設定をする

アンテナの電源設定を変更することができますが通常は**電源 入** に設定してください。

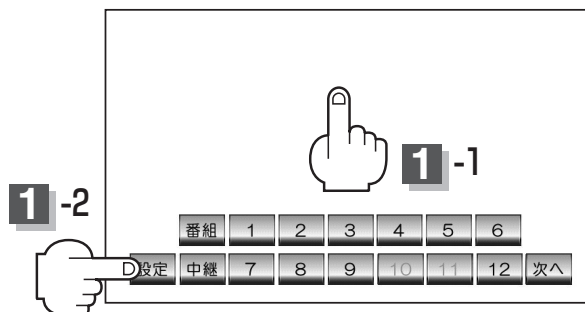
電源 切 に設定すると正常に受信できません。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

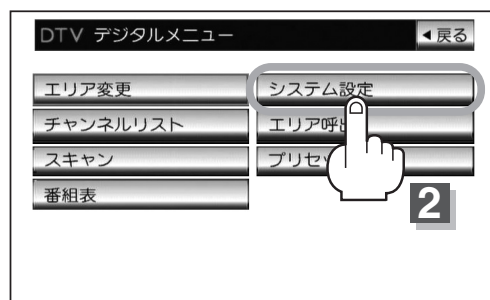


2

画面の**システム設定** ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

画面の**アンテナ電源** ボタンをタッチする。

：アンテナ電源設定画面が表示されます。

システム設定画面



4

画面の**電源 入** ボタンをタッチする。

アンテナ電源設定画面



アドバイス

アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合やアンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に**電源切** に設定されます。

※ **電源入** に設定できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(21)

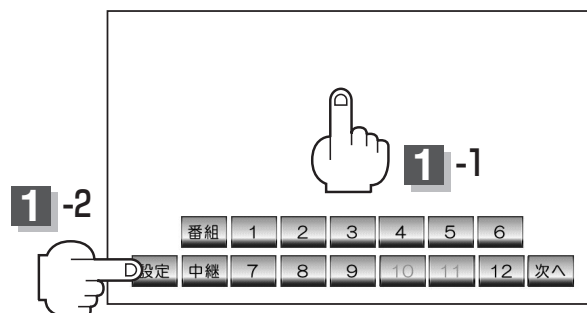
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

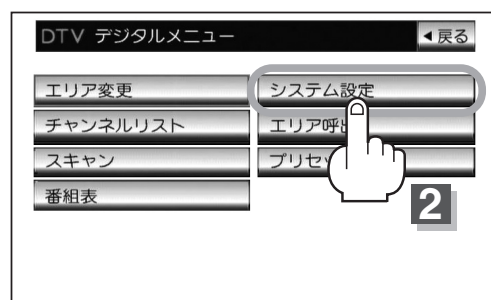


2

画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

画面の**受信レベル確認**ボタンをタッチする。

：受信レベル確認画面が表示されます。

システム設定画面



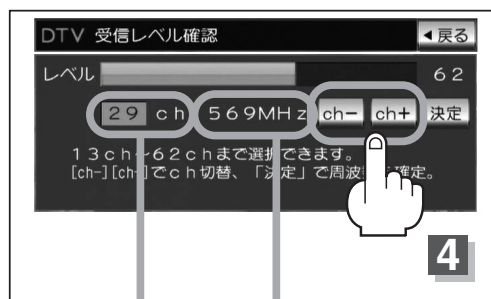
4

ch-／**ch+** ボタンをタッチする。

：タッチするたびに1チャンネルずつ変わります。
13～62chの中から確認したいチャンネルを選択してください。

※チャンネルを変更するとチャンネルにあった周波数が表示されます。

受信レベル確認画面(例)

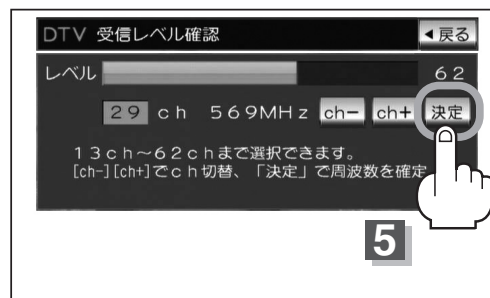


チャンネル表示 周波数表示

5

画面の **決定** ボタンをタッチする。

：チャンネル(周波数)を確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネル(周波数)の放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。(放送局が存在しない場合は受信できなくなります。)



6

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さで数値にて)確認することができます。

受信レベル確認画面(例)



映像
デジタル

「受信レベル確認」

Digital TVを使う(22)

B-CASカード(ICカード)のテストをする

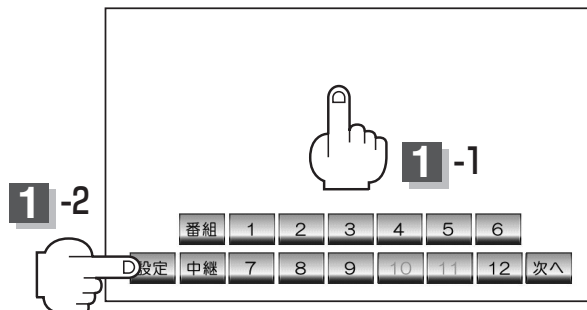
B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CASカードテスト(ICカードテスト)を行なってください。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

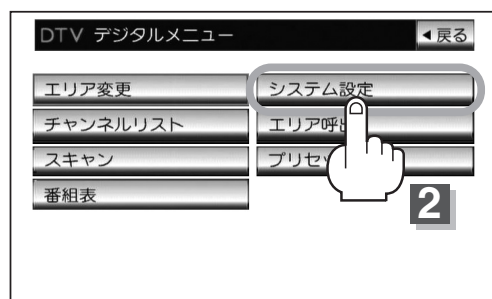


2

画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

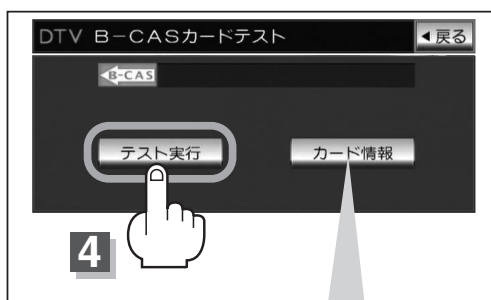
画面の**B-CASテスト**ボタンをタッチする。

：B-CASカードテスト画面が表示されます。

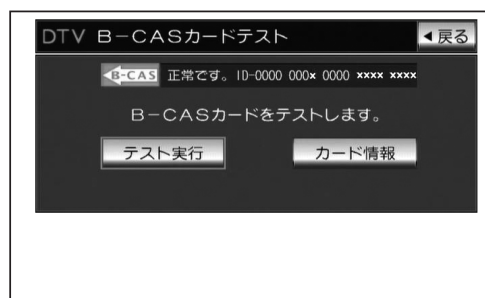
システム設定画面



画面の **テスト実行** ボタンをタッチする。



カード情報 ボタンをタッチするとB-CAS
カードの情報を確認することができます。

[illegible]

: テストが実行され、正常に動作する状態であれば“正常です。”と表示されます。

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

Digital TVを使う(23)

放送局からの情報を見る

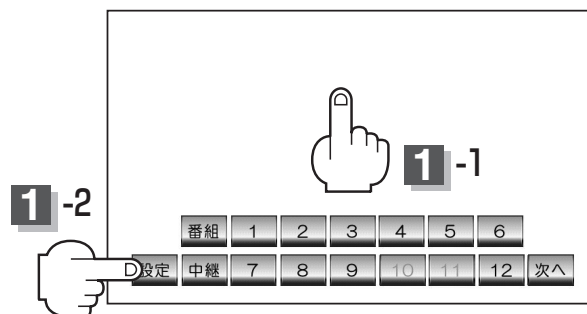
放送局からのお知らせメールを見ることができます。

1

画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の**設定**ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

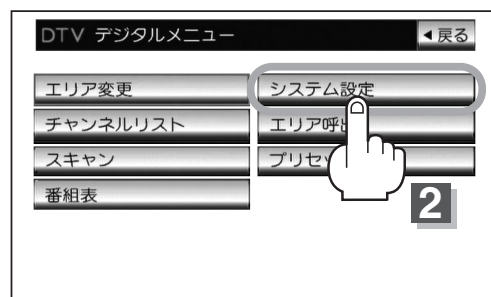


2

画面の**システム設定**ボタンをタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

デジタルメニュー画面



3

画面の**システム情報**ボタンをタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

システム設定画面



4

画面の**受信情報確認**ボタンをタッチする。

：情報一覧画面が表示されます。

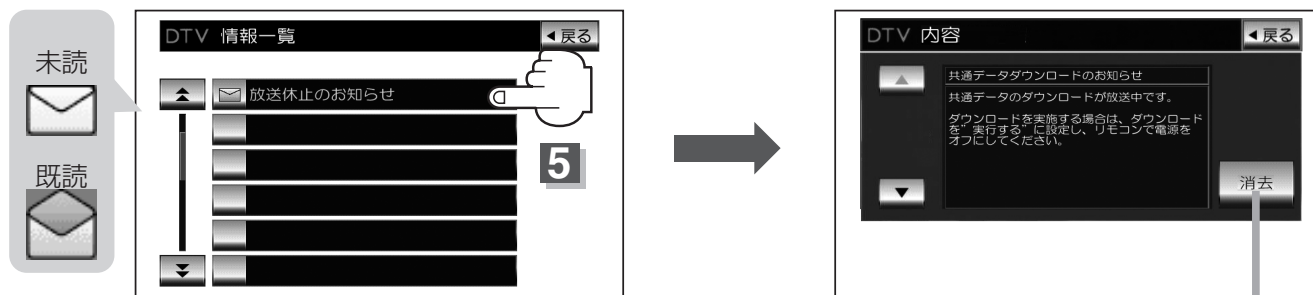
システム情報画面(例)



5

画面の確認したいメールをタッチする。

：選択したメールの内容が表示されます。



※次ページがある場合、 / ボタン、
 / ボタンタッチで戻り／送り表示
することができます。

消去 ボタンをタッチすると
選択中のメールを消去する
ことができます。

6

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。



アドバイス

- 本機で受信できる情報(お知らせメール)は16件までです。
- メールにはトラブルを知らせるものなどがあります。
- B-CASカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。

映像
デジタル

〔放送局情報〕

Digital TVを使う(24)

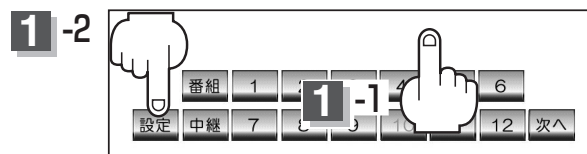
設定を初期化する

デジタルメニューで変更した各種設定内容を初期化することができます。

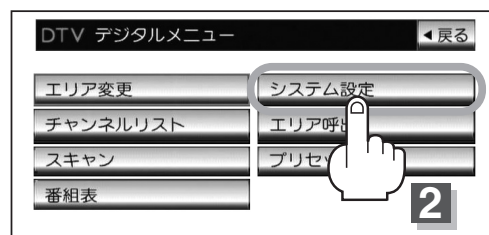
1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、画面の **設定** ボタンをタッチする。

：デジタルメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



デジタルメニュー画面



システム設定画面



3 画面の **システム情報** ボタンをタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

システム情報確認画面(例)



4 画面の **メモリ初期化** ボタンをタッチする。

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると設定内容を初期化します。

5 初期化が終わったら…

車のエンジンスイッチをO(OFF)にし、電源を切る。

※他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをII(ON)にし、電源を入れてください。



他人に譲渡または処分などされる際は、**メモリ初期化**を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。



お願い

- 初期化中は車のエンジンスイッチをO(OFF)にしないでください。
故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去されます。

データ放送を利用する

データ放送は12セグのみ対応しています。

地上デジタルテレビ放送では、映像や音声によるテレビ放送のほかに、便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

※データ放送を利用するにはあらかじめ郵便番号を設定しておく必要があります。

☞「郵便番号設定」224ページ

●データ放送には番組付加型と独立型があります。

番組付加型データ放送…天気やニュースなど番組に関連しない情報や、出演者など番組に関連する情報などを提供

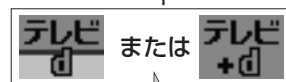
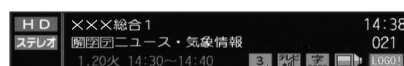
独立型データ放送………データのみを専門に放送

1 210～213ページの手順にしたがって、番組付加型データ放送または独立型データ放送の放送局を選局する。

2 データ放送を見ます。

※バナー表示に“”または“”と表示されます。

バナー表示



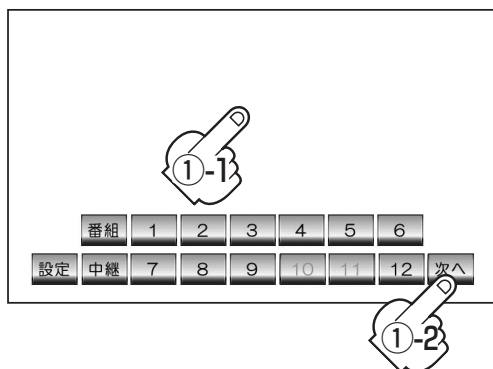
データ放送の場合表示されますが、番組付加型データ放送の場合はアイコンは表示されません。
※放送局の送信データによってはアイコンが表示されない場合でもデータ放送が放送されている場合があります。

■ 番組付加型データ放送を見る場合

①画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**次へ** ボタンをタッチする。

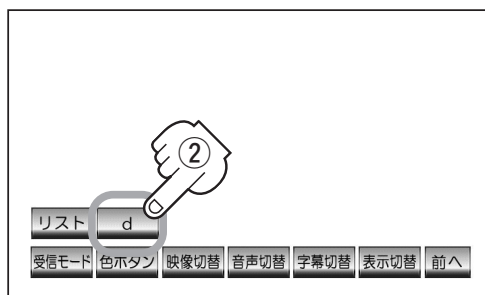
：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1 (例)



② **d** ボタンをタッチする。

操作ボタン2



：データ放送画面が表示されます。

〔設定を初期化する〕

映像
デジタル

データ放送を利用

Digital TVを使う(25)

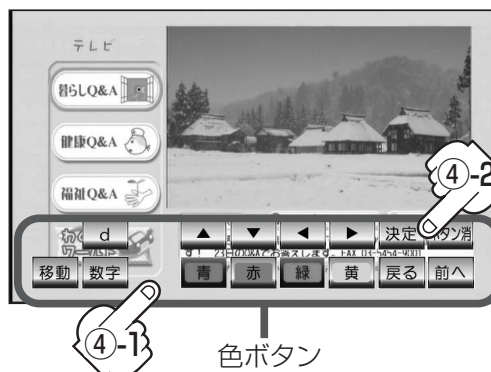
③ 色ボタン をタッチする。

データ放送画面(例)



④ 色ボタンを使って見たい項目を選択し、 決定 ボタンをタッチする。

データ放送画面(例)



※ボタンが消えた場合は245ページ手順①にしたがって操作し、表示させてください。



アドバース

- 番組によりカラーキー(青/赤/緑/黄)を使った画面や、数字入力画面が表示されます。画面の指示にしたがって、カラーキー(青/赤/緑/黄)/10キー(0~9(100202ページ))をタッチして項目を選択してください。「ピッ」と確認音が出ることもあります。
- 色ボタンを使用しなくてもデータ放送画面に表示される各項目を直接タッチして選択できる場合もあります。前へ ボタンをタッチすると1つ前の操作ボタンを表示します。
- 操作ボタンを移動させたいときは 移動 ボタンをタッチしてください。(上下に移動します。)
- 受信する放送局によっては、表示するまでに時間がかかる場合があります。その間に d ボタンを数回タッチすると、データ放送画面が表示されない場合があります。

⑤ データ放送を見たら…

d ボタンをタッチする。

データ放送画面(例)



：受信画面に戻ります。

※色ボタンを消すには ボタン消 ボタンをタッチしてください。



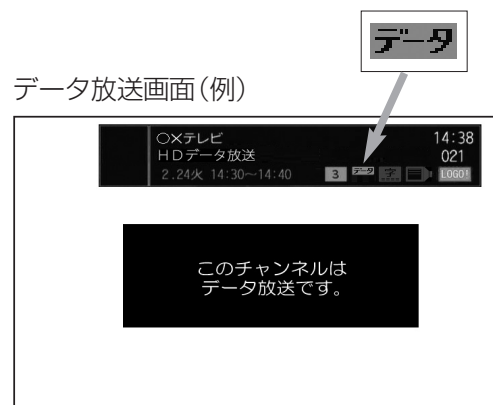
アドバース

- 表示が“テレビ”のときは、天気予報など番組とは直接関連しないデータ放送です。
- 表示が“テレビ+d”のときは、出演者や選手の情報など番組内容に関連するデータ放送です。
- 放送電波からデータを取得している間は“データ取得中”と表示されます。“dボタンを押してください”と表示される番組もあります。
- 受信時に“dボタンを押してください”と表示される番組では、d ボタンをタッチしたときにデータ放送のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面の項目を選んだときに別のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- d ボタンをタッチしなくても自動でデータ放送画面が表示される場合もあります。
- 画面の操作ボタンの表示が消えた場合は、再度画面をタッチし 次へ をタッチし操作ボタン2を使用して色ボタンの表示や d ボタンタッチでデータ放送の終了をしてください。

■ 独立型データ放送を見る場合

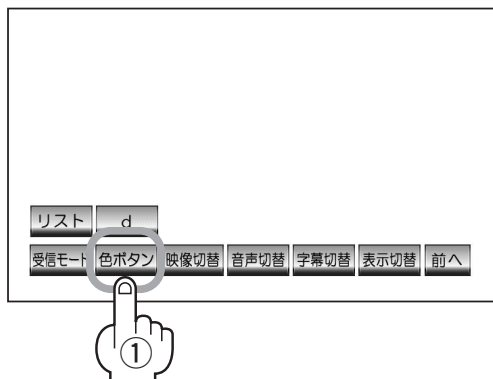
独立型データ放送では受信後のバナー表示に“データ”と表示されます。

データ放送画面(例)



①245ページ手順①にしたがって操作し、②のとき **色ボタン** をタッチする。

操作ボタン2



②画面の色ボタンを使って見たい項目を選択し、**決定** ボタンをタッチする。



色ボタン



アドバイス

- 選局した後、データが取得されると画面が表示されます。
- 音声が出る番組や動画が表示される番組があります。
- 独立型データ放送の画面は、番組付加型データ放送と同じようにカラーキー(青／赤／緑／黄)を使った画面(手順は上記参照)、数字入力画面が表示されます。画面の指示にしたがって、カラーキー(青／赤／緑／黄)や10キー(0～9(201ページ))をタッチして項目を選択してください。
- データ放送の操作は番組によって異なります。操作のしかたは画面の指示にしたがってください。操作方法がわからない場合は、それぞれの放送局へお問い合わせください。

映像
デジタル

データ放送を利用

Digital TVを使う(26)

リレーサービスの番組を見る

リレーサービスとは、番組の内容が予定の終了時間になっても終わらない場合に別のチャンネルで番組の続きを放送するサービスです。

※リレーサービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

1

画面の **選局する** ボタンをタッチする。

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。



アドバイス

番組の続きを見ない場合は、**選局しない** ボタンをタッチしてください。

臨時サービスの番組を見る

放送中の番組に関連した臨時放送を別のチャンネルで放送する場合があります。

■臨時放送が始まると…

臨時放送が始まると、画面に“〇〇〇chで臨時サービスが放送されています。”と表示されます。

〇〇〇ch で臨時サービスが
放送されています。

パネルの **選局** ボタン(◀▶)を押して選局してください。

■臨時放送が終了すると・・・

臨時放送が終了すると、画面に“臨時サービスが終了しましたので前のチャンネルを選局しました。”と表示され、臨時放送に変える前のチャンネルに自動で戻ります。



アドバイス

臨時サービスは12セグのみのサービスです。

緊急放送を見る

災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

■「現在地設定」をしてください。

緊急放送は地域別に異なることがありますので、本機の購入・設置時に現在地設定(地方／県域の設定)をしておいてください。設定しておかないと正しい緊急放送が受信できません。

「」 **視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする**」 206、207ページ

■受信中に緊急放送が始まると…

緊急放送が始まると、画面に“緊急放送が始まりました。”と表示され、自動で緊急放送に切り換わります。

緊急放送が始まりました。

■緊急放送が終了すると…

緊急放送が終了すると、画面に“緊急放送が終了しましたので前のチャンネルを選局します。”と表示され、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。



アドハイス

緊急放送は、地上デジタルテレビ放送を受信中のときのみ見ることができます。Digital TVモード以外のモードを選択しているときや、車のエンジンスイッチをO(OFF)にしているときは緊急放送は受信できません。

Digital TVを使う(27)

エラーコードについて

画面にメッセージとエラーコード〔Exxx〕が表示された場合は以下の原因が考えられます。

メッセージ	エラーコード	本機の動作および処置
アンテナ接続が異常のためコンバータを切にしました。接続をもう一度確認してください。	〔E209〕	アンテナ線がショートしたとき。 アンテナ線を確認してください。
信号が受信できません。	〔E202〕	アンテナ線が外れているとき。 アンテナ線を確認してください。
		受信状態が悪く、番組を提示できないとき。 受信できる場所に移動してください。
現在放送されていません。	〔E203〕	放送休止中のとき。 (PAT/PMTが取得できず) 視聴できるチャンネルを選択してください。
放送チャンネルではないため、視聴できません。	〔E200〕	非放送サービスを受信(NIT)したとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
データが受信できません。	〔E400〕	データ放送のBMLドキュメントが取得できないとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
この受信機ではデータを表示できません。	〔E401〕	データ放送のBMLエンジンが、取得したBMLドキュメントのバージョンをサポートしていないとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
データの表示に失敗しました。	〔E402〕	データ放送のコンテンツを表示中に、実行エラーがおこったとき。 もう一度やりなおしてください。
このチャンネルは存在しません。	〔E204〕	10キー選局において、存在しないチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。 存在するチャンネルを入力してください。
この受信機では、このチャンネルは受信できません。	〔E210〕	10キー選局において、未対応チャンネルのチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。 対応しているチャンネルを入力してください。

VTR



VTR機能を使う

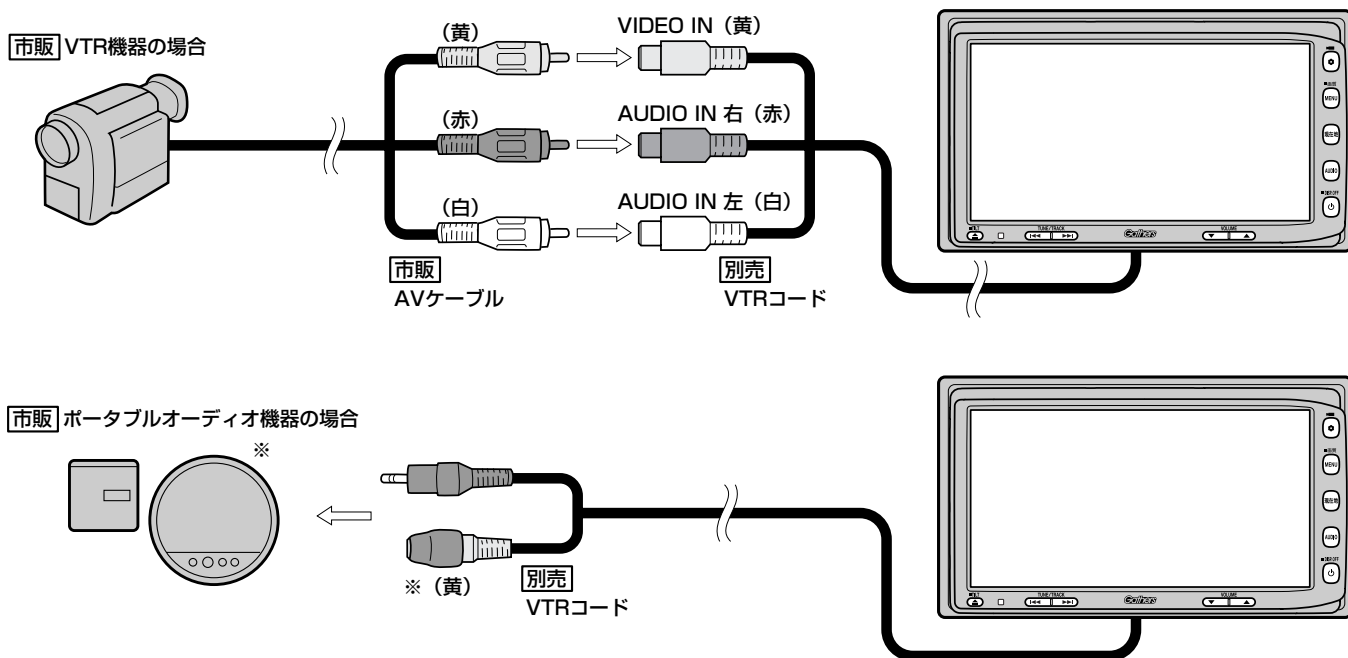
市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。出力するには、別売のVTRコードをお買い求めください。



VTR機器などの映像は安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

1

別売のVTRコードを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。



※DVDプレーヤー等の場合に使用します。

2

使用する機器の電源を入れる。

※他のモードになった場合は

1. パネルの **AUDIO** ボタンを押して AV MENU画面を表示させ、
2. 画面の **VTR** ボタンをタッチして、VTRモードに切り替えてください。

AV MENU画面



1 **AUDIO** ボタン

3

VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



お願い

本機の電源をOFF(エンジンスイッチをO(OFF)に)する場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- 🔧 「音量を調整する」 26ページ
- 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドバイス

VTRから入力された音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 🔧 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ



アドバイス

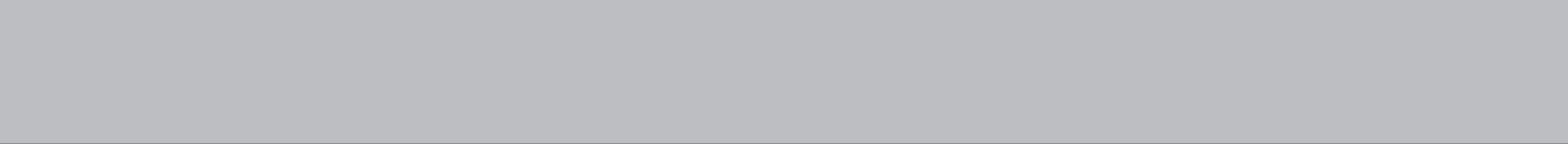
- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- **ボタン消** ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- **Quick** ボタンをタッチするとQuickメニュー画面が表示され、機能選択をすることができます。
(🔧 354ページ)
- 接続した機器によっては映像や音声がでない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。
(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子 (RCA×1系統)

映像入力レベル	1 Vpp (入力インピーダンス75Ω)
音声最大入力レベル	2.0V (入力インピーダンス47KΩ)

映像
V
T
R

〔VTR機能を使う〕



SD(SDカード)

SDカードの音楽再生について	256～258
SDカードを使う	259～269
各部の名称とはたらき	259
表示部(再生画面)について	260
SDカードを聞く	261、262
SDモードを終了する	262
SDカードを取り出す	262
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める)	263
早戻し／早送りをする	263
リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを 選び再生させる	264、265
選曲モードより選択し再生させる	266、267
再生モードを選択する (リピート／ランダム／スキャン再生)	268、269

SDカードの音楽再生について(1)

パソコンからSDカードにMP3／WMA／AAC形式で編集された音楽データを本機で再生することができます。

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 

■本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

■MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3／WMAの説明につきましては88ページを参照してください。

■SDカードについて

- 16GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
 「システムの設定について」356、357ページ
- SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターを残さないようにしてください。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - ・使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
 - ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機 能 SDカードの 種類		静止画像の閲覧と 本機への保存 別冊ナビゲーション編 78～83ページ	音楽データの再生 259～269ページ			Gracenoteデータベース アップデート 56～62ページ
			MP3	WMA	AAC	
class2	2GB以下	○	○	○	○	○
	4GB以上 (SDHC対応)	○	○	○	○	○
class4	2GB以下	○	○	○	○	○
	4GB以上 (SDHC対応)	○	○	○	○	○
class6	2GB以下	○	○	○	○	○
	4GB以上 (SDHC対応)	○	○	○	○	○

- クラス (class) とは転送速度の最低保証値を規定するものです。
(class2→2MB/sec (16Mbps)、class4→4MB/sec (32Mbps)、class6→6MB/sec (48Mbps))
- SDHCとはSDアソシエーションによって策定された2GBを超えるSDカードの新規格です。
- miniSDカード／microSDカードの場合はアダプターを使用してください。

■MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応しておりません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報 (画像など) が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC (m4a) ファイルに画像データ (iTuneのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1フォルダ内の最大ファイル数255 (ファイル＋フォルダ)／全体の最大ファイル数10000／最大フォルダ数：200となります。
- 選曲モード (266ページ) のフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

SDカードの音楽再生について(2)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましてはP.92、93ページを参照してください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

■ファイル名について

- MP3／WMA／AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。

※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。

※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。

- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。

- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名です。
(トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。)

※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

SDカードを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(264、265ページ)

③ **フォルダリスト** ボタン

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。
(264、265ページ)

④ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(355ページ)

⑤ **選曲モード** ボタン

選曲モードから再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
(266ページ)

⑥ **再生モード** ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
(268、269ページ)

⑦ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。
※ナビゲーション画面／FM／AM／Digital TV／
CD／DVD／MP3／WMA／Music Rack／
iPod／USB／VTRモードからSDモードに切り替
えるときに使用します。

⑧ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始／終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

⑨ **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、
SDカードを入れる／取り出すときに使用します。
(261、262ページ)

⑩ **トラック** ボタン(⏮／⏭)

好きな曲を選びます。
また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送
り(⏭)します。
(263ページ)

⑪ **VOLUME** ボタン

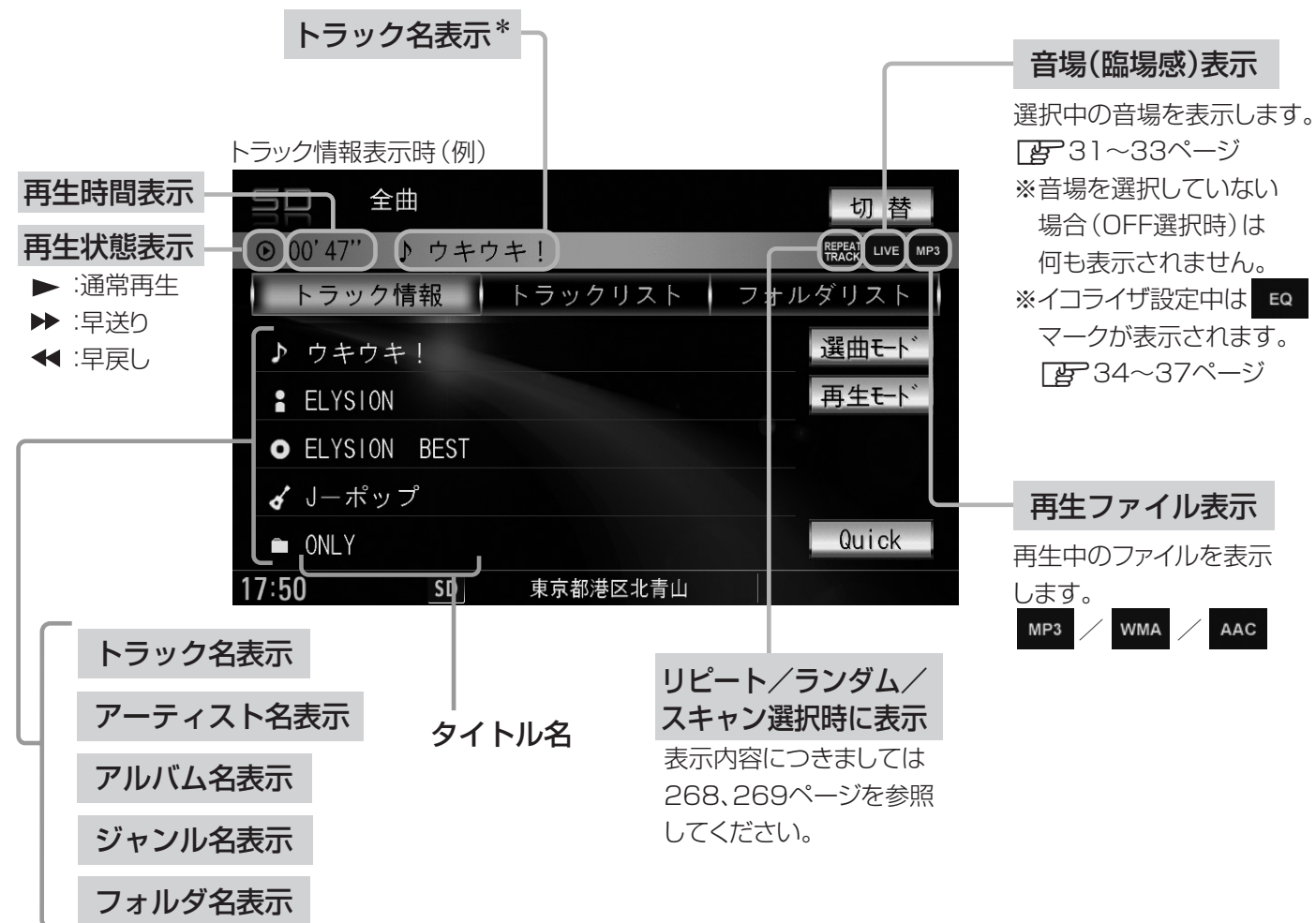
音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

⑫ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

SDカードを使う(2)

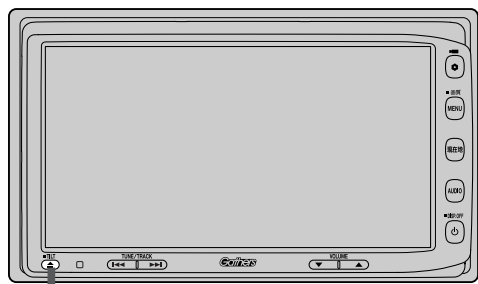
表示部(再生画面)について



アドバース

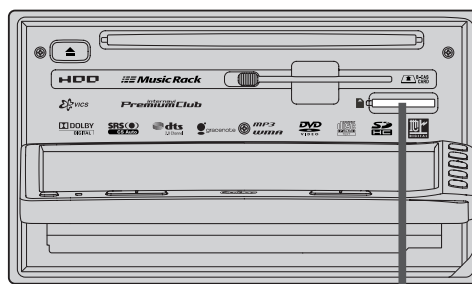
- トラック名/アーティスト名/アルバム名/フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名/アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
※ *印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名/フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
※ タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※ 画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報画面/トラックリスト画面/フォルダリスト画面の、どの画面からでもタッチしてスクロールすることができます。

[ディスプレイが閉じた状態]



1 / 3 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 SDカード挿入口

SDカードを聞く

■ SDカード未挿入の場合

1 パネルの TILT ボタン (▲) を押す。

：ディスプレイが開きます。

2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回SDモード画面でOFF (オーディオモードを終了) していた場合

① パネルの 電源 ボタン (⏻) を押す。

：前回のつづきからSDカードの再生を始めます。



① 電源 ボタン (⏻)

- ナビゲーション画面または前回SDモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの AUDIO ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

もう一度 AUDIO ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

②画面の SD ボタンをタッチする。

：SDカードの再生を始めます。



① AUDIO ボタン

AV MENU画面



再生画面

SD

聞く

SDカードを使う(3)

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- 「音量を調整する」 26ページ
- 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドバイス

SDカードの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

SDモードを終了する

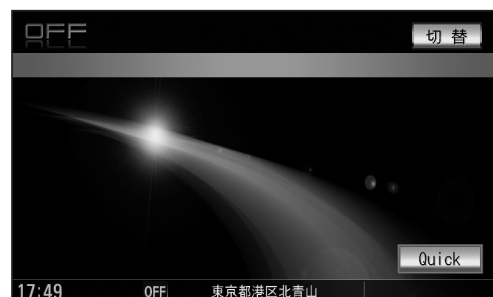
1

- パネルの **電源** ボタン()を押す。
- : 画面に“OFF”と表示されSDカードの再生を止めます。
(オーディオモード終了)



1

電源 ボタン()



SDカードを取り出す

1

- パネルの **TILT** ボタン()を押す。
- : ディスプレイが開きます。

2

- SDカードを1回押し取り出す。



アドバイス

- SDカードを取り出して、再度同じSDカードを挿入し再生を始めると前に再生していたつづきから再生を始めます。
※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)にして取り出してください。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。
：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

画面をタッチしてリスト表示より選択することもできます。

「リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる」264、265ページ

早戻し／早送りををする

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。
：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

- ▶：通常再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

SDカードを使う(4)

リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる

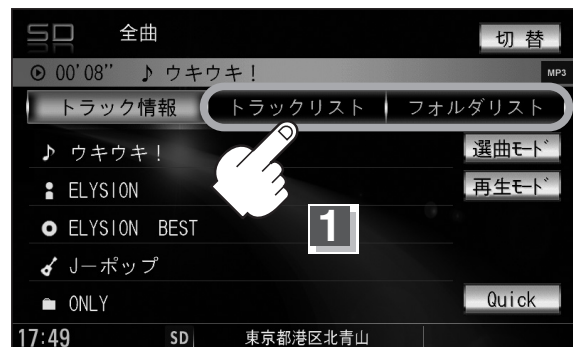
選曲モード(☞266ページ)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

1

画面の **トラックリスト** ボタンまたは **フォルダリスト** ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

SDモードTOP画面
トラック情報表示時(例)



■ **トラックリスト** ボタンをタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード(☞266ページ)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■ **フォルダリスト** ボタンをタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。



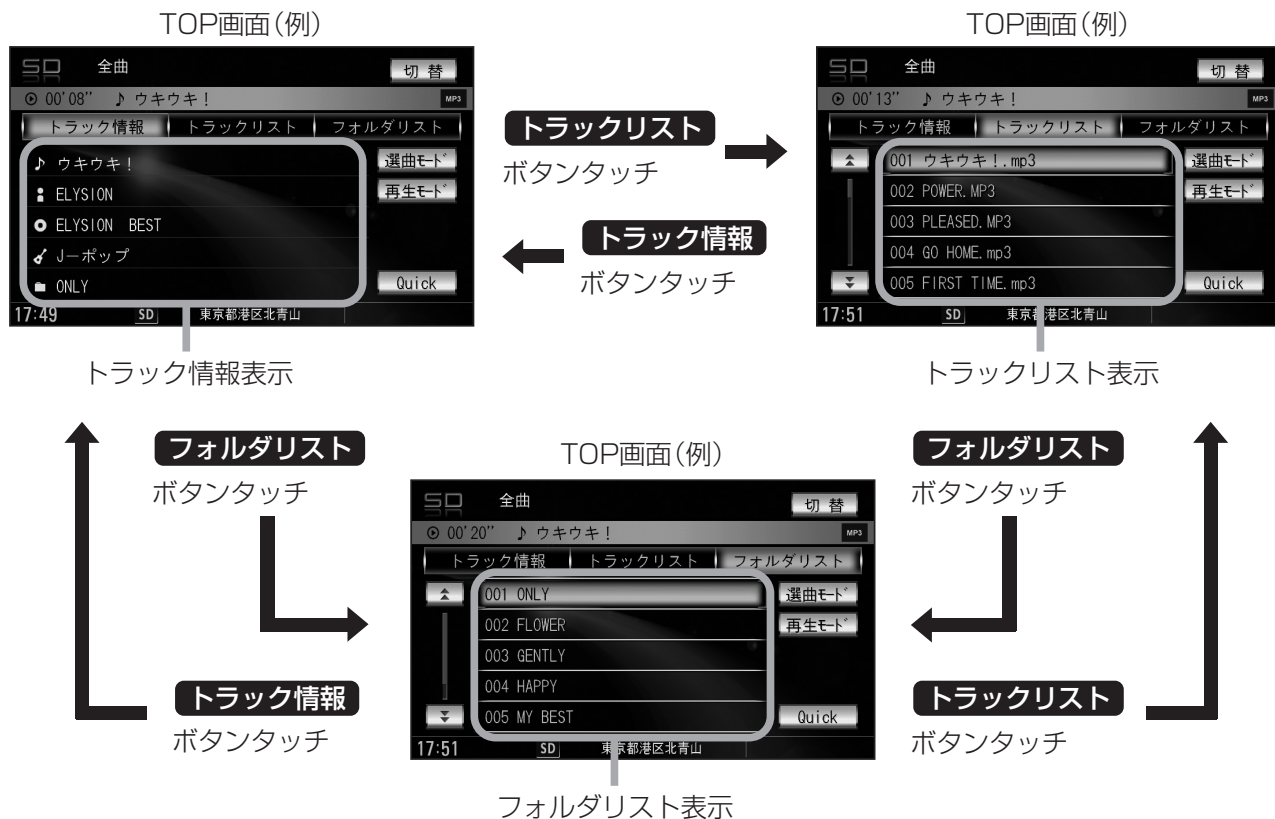
アドバイス

選曲モード(☞266ページ)でフォルダを選択した場合は、選択したフォルダのトラックリストを表示します。



アドバイス

SDモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト** / **フォルダリスト**)によってトラック情報表示/トラックリスト表示/フォルダリスト表示となります。



「リストより選択」

2

再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

SDカードを使う(5)

選曲モードより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

1

画面の**選曲モード**ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

SDモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



2

選曲モード(**全曲**／**フォルダ** ボタン)

より選曲する方法を選択します。



選曲モード

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。

■ フォルダ ボタンをタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

②再生させたいトラックをタッチする。

フォルダリスト画面



フォルダリスト

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

トラックリスト画面



トラックリスト

：選択した曲を再生します。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



アドバイス

次ページがある場合 / ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

SDカードを使う(6)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の**再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

SDモード TOP画面(例)



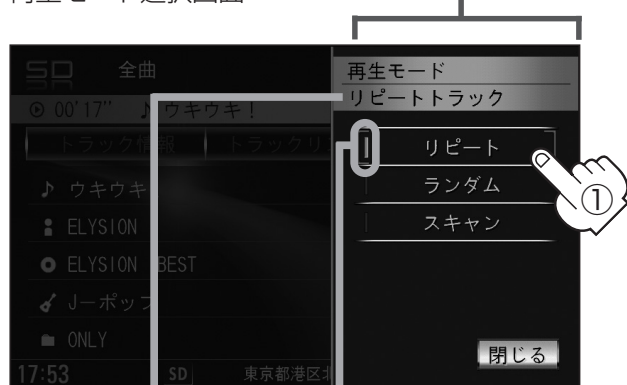
2

再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯 / TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯 / マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をランダム再生

(表示灯点灯 / TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯 / マーク表示無)

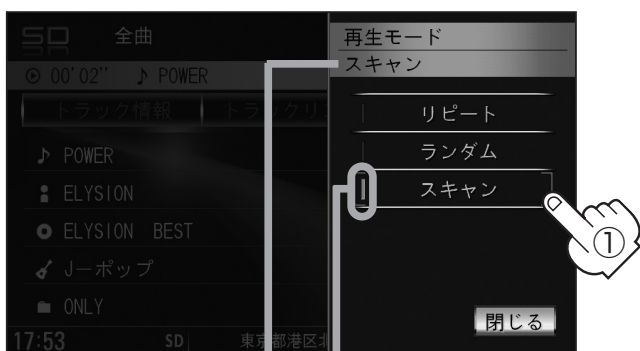


ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード
の状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすると下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をスキャン再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

〔再生モード選択(リピート・ランダム・スキャン再生)〕

SD



スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

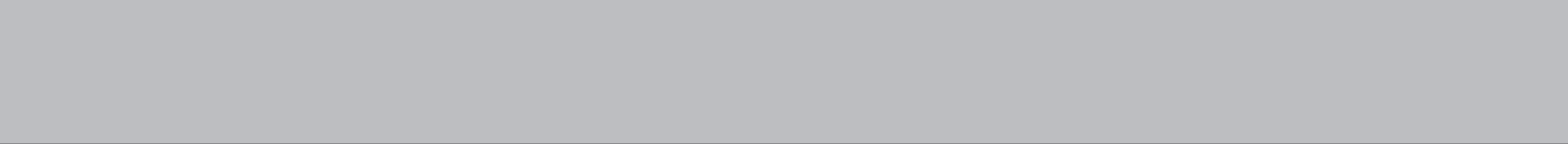
：TOP画面に戻ります。



3



マーク表示が消えるまでそれぞれのモード再生を繰り返します。



iPod

iPodについて	272~275
iPodとは	272
使用上のご注意	272
対応可能なiPod	273
iPodを本機に接続するには	274、275
iPodを本機に接続すると	275
iPodを使う	276~293
各部の名称とはたらき	276
表示部(再生画面)について	277
iPodを聞く	278
iPodモードを終了する	279
再生を止める(一時停止)	279
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する	
(トラックを戻す／進める)	280
早戻し／早送りをする	280
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	281
選曲モードより選択し再生させる	282~287
再生モードを選択する	
(リピート／シャッフル再生)	288、289
iPodビデオモードで映像データを再生させる	290~293

iPodについて(1)



"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。

「iPod」、「iPhone」は、Apple Inc.の登録商標です。



アドバース

*印：インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体としてください。
※外さないと音が出なくなるなど正常に動作しなくなることがあります。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチ0 (OFF)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- 本機はUSBモードからもiPodを再生させることができます。

 「■ USBモードで再生させる場合」 275ページ

対応可能なiPod

モデル名	ソフトウェアバージョン	iPodモードにて再生 (iPod ボタン選択時)		USBモードにて再生 (USB ボタン選択時)	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone	2.0以上	○	○	○	×
iPod touch 第2世代	2.1.1以上	○	○	○	×
iPod touch 第1世代	1.1.5以上	○	○☆	○	×
iPod classic	1.0.3以上	○	○	○	×
iPod Video (iPod 第5世代)	1.2.3以上	○	○	○	×
iPod nano 第4世代	1.0以上	○	○	○	×
iPod nano 第3世代	1.0.3以上	○	○	○	×
iPod nano 第2世代	1.1.3以上	○	×	○	×
iPod nano 第1世代	1.3.1以上	○	×	○	×
iPod photo	1.0以上	○	×	×	×
iPod mini	1.2以上	○	×	×	×
iPod 第4世代 (クイックホイール)	3.0.2以上	○	×	×	×

☆：ビデオ再生の場合はソフトウェアバージョン2.0以上である必要があります。 ○：対応可能 ×：対応不可



アドバイス

- iPodは最新のソフトウェアをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 第1、第2、第3世代のiPodには対応しておりません。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- USBモード(iPodをUSB接続)で再生させている場合、映像(ビデオモード(290～293ページ))は対応していません。
- iPodを再生させるには以下の方法があります。 19、274、275ページ
 - ・ iPodモードで再生するには別売のiPod接続コードが必要です。
 - ・ USBモードで再生するには別売のUSB接続コード(USBコードA)または別売のUSB接続コード& BeatJamに付属のUSBコードAが必要です。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

「iPodとは」／「使用上のご注意」

iPod

「対応可能機種」

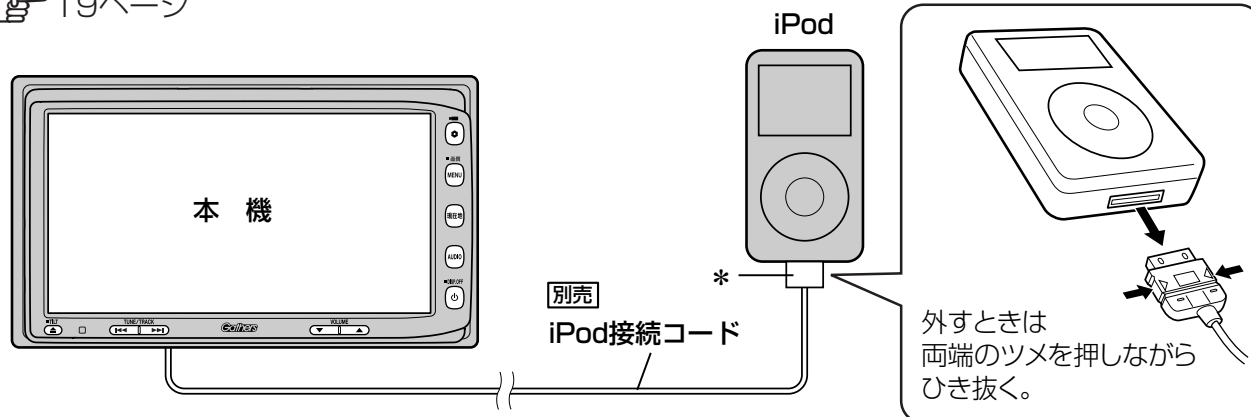
iPodについて(2)

iPodを本機に接続するには

■ iPodモードで再生させる場合

iPodを聞くには別売のiPod接続コードが必要です。

 19ページ

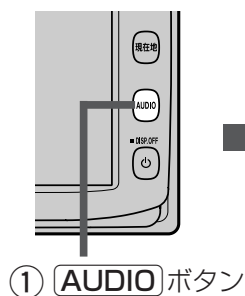


* : iPod接続コードの先端にはキャップが付いています。
接続時以外はキャップをはめてください。



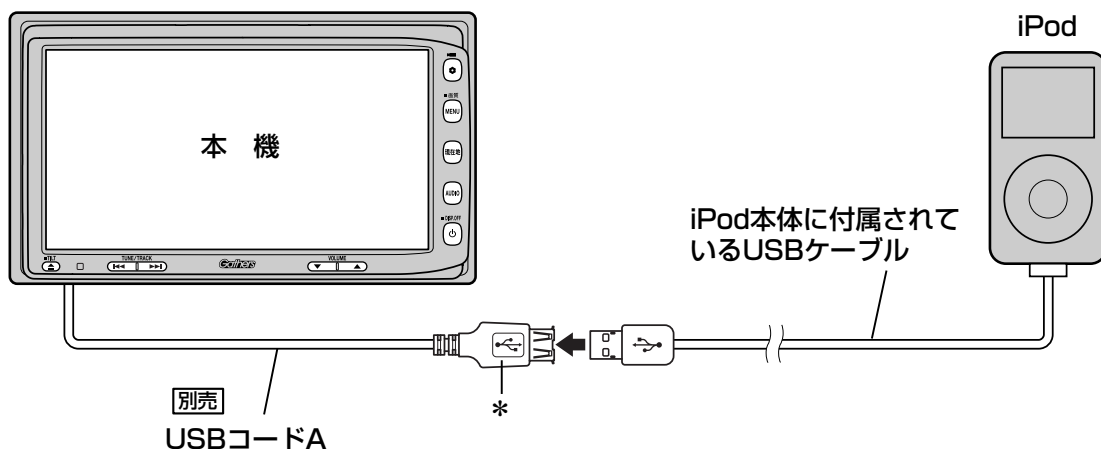
アドバイス

iPod接続コードを使用して再生
させる場合は、AV MENU画面で
iPod ボタンをタッチします。



■ USBモードで再生させる場合

iPod本体に付属されているUSBケーブルと別売のUSB接続コードまたは別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のUSBコードAを使用して再生させることができます。  19ページ



* : USBコードAの先端にはキャップが付いています。
接続時以外はキャップをはめてください。



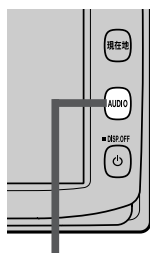
アドバイス

USBコードA／USBケーブルを使用してiPodを再生させる場合は、AV MENU画面で **USB** ボタンをタッチします。

(USBモードでの再生となります。USBモードですが、再生中の操作はiPodモード時と同等操作となりますので「iPodを使う」276～289ページを参照してください。

※USBモードでiPodを再生させている場合、ビデオモード（映像）は表示されません。

(**モード切替** ボタンは選択できません。)



① **AUDIO** ボタン



AV MENU画面



〔接続するには〕

iPod

〔接続する〕

iPodを本機に接続すると…

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。使い慣れたiPodの感覚そのままにタッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態でACCをOFFにすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。

iPodを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(281ページ)

③ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(355ページ)

④ **選曲モード** ボタン

iPodのミュージックリストから再生したい曲を絞り込んで再生することができます。
(282ページ)

⑤ **再生／一時停止** ボタン(▶||)

再生中にタッチすると音声が一時的に止まります。
もう一度タッチすると再び再生が始まります。

⑥ **再生モード** ボタン

リピート再生やシャッフル再生をすることができます。
(288、289ページ)

⑦ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。

※ナビゲーション画面／FM／AM／Digital TV／
CD／DVD／MP3／WMA／Music Rack／SD／
USB／VTRモードからiPodモードに切り替える
ときに使用します。

⑧ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始／終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

⑨ **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを
押し続けると早戻し(◀◀)／早送り(▶▶)します。
(280ページ)

⑩ **モード切替** ボタン*1

映像(iPodビデオモード)へ切り替えることができます。
(290～293ページ)

⑪ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

⑫ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

*1：USBケーブルを使用してUSBモードで再生させて
いる場合は選択できません。[P] 275ページ

表示部(再生画面)について

再生状態表示

- ▶ :通常再生
- ▶▶ :早送り
- ◀◀ :早戻し
- ⏸ :再生一時停止

トラック名表示

音場(臨場感)表示

選択中の音場を表示します。

☞ 31～33ページ

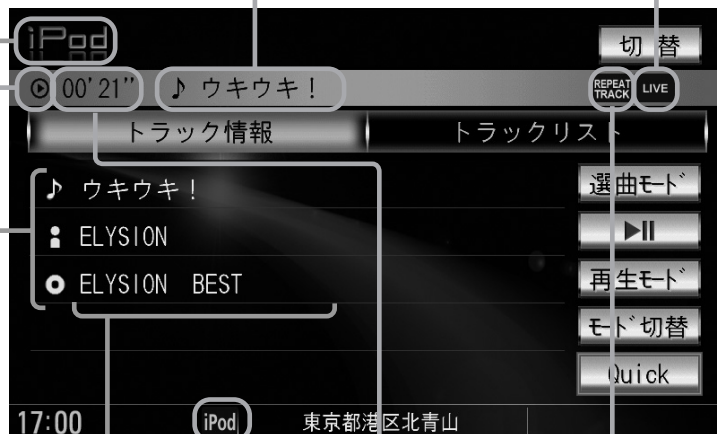
※音場を選択していない場合
(OFF選択時)は何も表示
されません。

※イコライザ設定中は **EQ**
マークが表示されます。

☞ 34～37ページ

(例)

*2



タイトル名

*2

トラック名表示

アーティスト名表示

アルバム名表示

再生時間表示

リピート/シャッフル再生時に表示

表示内容につきましては288、289ページを参照してください。

*2 : USBモードでiPod再生中の場合はUSBと表示されます。



アドバイス

- 表示内容はiPod本体で表示されるトラック名/アーティスト名/アルバム名となります。
- 本機は日本語/英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では- (ハイフン表示)となります。
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示のどちらからでもタッチしてスクロールすることができます。
- iPodのUSB接続再生について



USBモード

iPodをUSBモードで再生させている場合、**iPod**マークが表示されます。

再生中の操作はiPodモードと同等となりますので「iPodを使う」276～289ページ、「iPodについて」272～275ページを参照してください。

ジャケット写真が付加されている場合は、トラック情報画面のときに表示されます。

【各部の名称とはたらき】

iPod

【再生画面について】

iPodを使う(2)

iPodを聞く

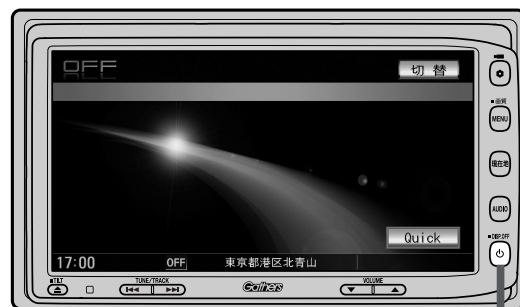
※iPodを本機に接続していない／iPodになにも収録されていない場合、iPodの曲を聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回iPodモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回iPodモード以外のオーディオモード画面の場合

① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

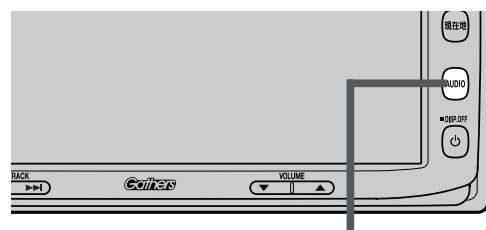
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面
(OFF含む)

②画面の **iPod** ボタンをタッチする。☆

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

↓
AV MENU画面



☆：iPod本体に付属のUSBケーブルを使用してiPodを再生させる場合は **USB** ボタンをタッチしてUSBモードで再生させます。

☞ 275ページ

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

☞ 「音量を調整する」 26ページ

「画質調整のしかた」 27～29ページ

「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドバース

iPodの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

☞ 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

iPodモードを終了する

1

パネルの**電源** ボタン(⏻)を押す。

：画面に“OFF”と表示されiPodの再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)



アドバイス

iPod本体を外すときはiPodモードを終了させてください。(OFF状態)

再生を止める(一時停止)

1

画面の**再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：再生を止めます。

再生状態を表示します。

▶：通常再生

||：再生一時停止



1

■ 再び、再生を始める場合

画面の**再生／一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。

聞く／終了する／一時停止

iPod

iPodを使う(3)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1

パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」281ページ

早戻し／早送りをする

1

パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続ける。

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。 **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(282ページ)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ポッドキャスト／ジャンル／プレイリスト／作曲者)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1

画面の **トラックリスト** ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

iPodモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



アドバイス

iPodモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報**／**トラックリスト**)によってトラック情報表示／トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)

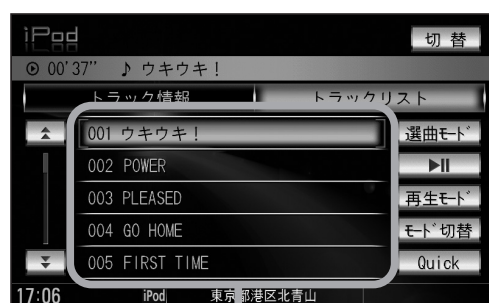


トラック情報表示

トラックリスト
ボタンタッチ

トラック情報
ボタンタッチ

TOP画面(例)



トラックリスト表示

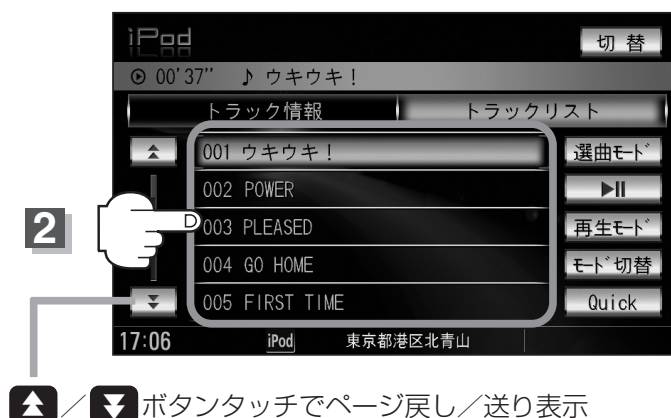
※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2

再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

TOP画面
(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。
(上記アドバイス参照)

「パネルより選択」／「早戻し／早送り」

iPod

「リストより選択」

iPodを使う(4)

選曲モードより選択し再生させる

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1

画面の **選曲モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



2

選曲モードより選曲する方法

(**全曲** / **アルバム** / **アーティスト** /
ポッドキャスト / **ジャンル** /
プレイリスト / **作曲者** ボタン) を
選択します。



アドバイス

- 選曲モードより選択した各ボタンに収録されている内容は、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

選曲モード画面



選曲モード

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

：トラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。

- **アルバム** ボタンをタッチした場合 : アルバムリスト画面が表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアルバムのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



- **アーティスト** ボタンをタッチした場合 : アーティストリスト画面が表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべて ボタンをタッチすると iPod内のアルバムが表示されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチすると①で選択したアーティストに該当するトラックリストが表示されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

iPodを使う(5)

■ ポッドキャスト ボタンをタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

- ①再生させたいポッドキャストをタッチする。



ポッドキャスト

：選択したポッドキャストに収録されているポッドキャストリスト表示とともにポッドキャストが再生されます。

- ②再生させたいポッドキャストをタッチする。



：選択したポッドキャストを再生します。

■ ジャンル ボタンをタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

①再生させたいジャンル(iPodに収録されているジャンル名の)ボタンをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

ジャンルリスト画面



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアーティストが表示されます。さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべて ボタンをタッチすると①で選択したジャンルに該当するアルバムが表示されます。さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチすると②で選択したアーティストのトラック表示とともに曲が再生されます。

④再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



アドバース

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

iPodを使う(6)

■ プレイリスト ボタンをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

- ①再生させたいプレイリストをタッチする。 ②再生させたいトラックをタッチする。



：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



：選択した曲を再生します。

■ 作曲家 ボタンをタッチした場合

：作曲家リスト画面が表示されます。

- ①再生させたい作曲者をタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内の全てのアルバムが表示されます。さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内の全てのトラック表示とともに曲が再生されます。

- ②再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリストの一番上の曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチすると①で選択した作曲者に該当するiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



アドバース

次ページがある場合  /  ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

iPodを使う(7)

再生モードを選択する(リピート/シャッフル再生)

再生モード(リピート/シャッフル)を選択することができます。

1

画面の **再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))

手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。



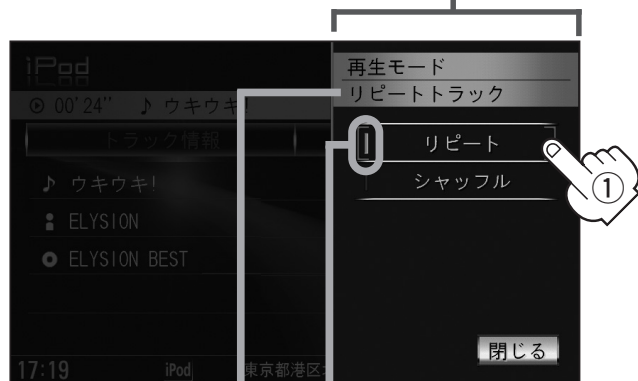
2

再生したいモード(**リピート** / **シャッフル** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(表示灯点灯／TOP画面で **REPEAT TRACK** マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ シャッフル再生する場合

① シャッフル ボタンをタッチする。



：表示灯点灯し、シャッフル機能がはたらきます。

- **シャッフル** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲を
シャッフル再生

(表示灯点灯／TOP画面で **SHUFFLE TRACK** マーク表示有)



今聞いているリストを
アルバムごとにシャッフル再生

(表示灯点灯／TOP画面で **SHUFFLE ALBUM** マーク表示有)



通常再生(シャッフル解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

〔再生モード選択(リピート・シャッフル再生)〕



アドバイス

曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため、同じ曲が連続で再生されることがあります。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



アドバイス

マーク表示がある限りそれぞれの再生を繰り返します。

iPodを使う(8)

iPodビデオモードで映像データを再生させる

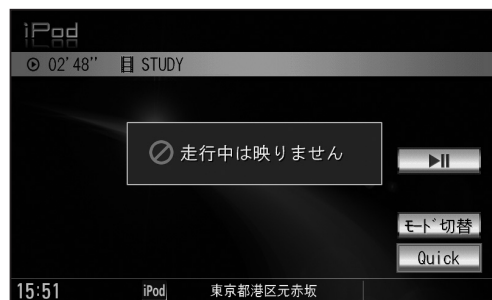
TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータを本機に表示させることができます。



注意

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

iPodビデオモード(走行中)(例)



1

画面の **モード切替** ボタンをタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

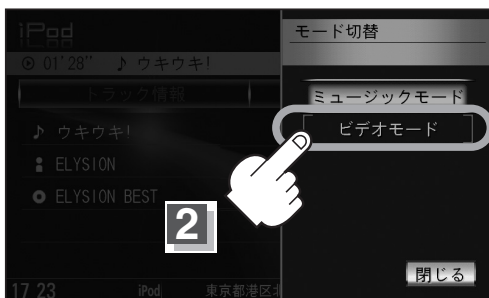
iPodモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



2

画面の **ビデオモード** ボタンをタッチする。

モード切替画面



映像(例)



：iPodビデオモードに切り替わり、映像が表示されます。



アドバース

- 走行中は音声のみになります。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合は黒画面表示されます。

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、
モード切替 ボタンをタッチして
ミュージックモード(音楽再生のみ)に
戻してください。

※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチ
してください。



※iPod touchの場合ソフトウェアバージョンによっては操作は可能ですが映像は表示されません。音声再生のみとなります。



画面をタッチすると操作ボタンを表示させることができます。



画面に表示されている操作ボタンを消して映像のみ表示させたい場合は **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチします。

リスト ボタン……… 動画リストより選択し、再生させることができます。☞ 292ページ

▶|| ボタン……… 再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

再生モード ボタン … 再生中のビデオを繰り返し表示させることができます。☞ 292ページ

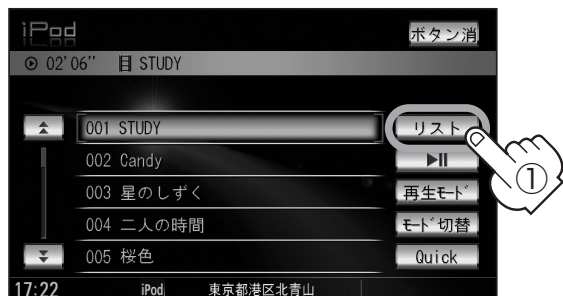
モード切替 ボタン … ミュージックモード(音声再生のみ)と、ビデオモード(映像あり)の切り替えをすることができます。☞ 290ページ手順 **1**、**2** および292ページ

Quick ボタン……… カスタマイズ機能を使用することができます。☞ 354ページ

iPodを使う(9)

■ 動画リストより選択し再生させる場合

①操作ボタン表示中に **リスト** ボタンをタッチする。



②リストより再生させたい動画をタッチする。

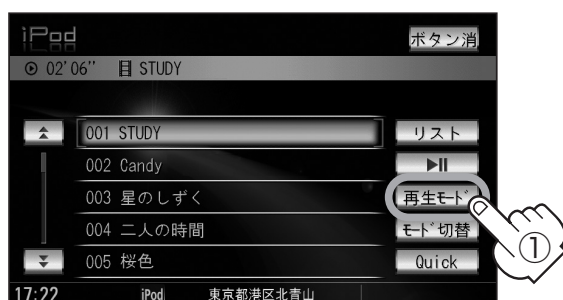


：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。

■ 再生中の動画を繰り返し再生させる場合

①操作ボタン表示中に **再生モード** ボタンをタッチする。



② **リピート** ボタンをタッチする。

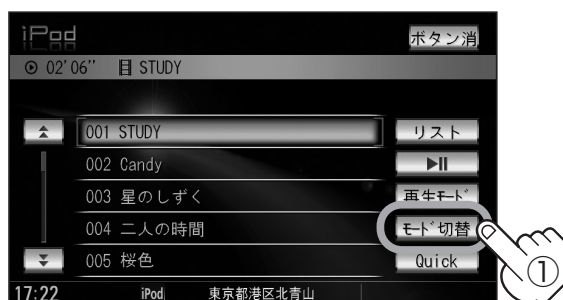


表示灯点灯しリピート機能が働きます。

※リピート再生をやめるにはもう一度タッチし表示灯を消灯させてください。

■ ビデオモードのときミュージックモード(音楽再生のみ)に戻す場合

①操作ボタン表示中に **モード切替** ボタンをタッチする。



② **ミュージックモード** ボタンをタッチする。

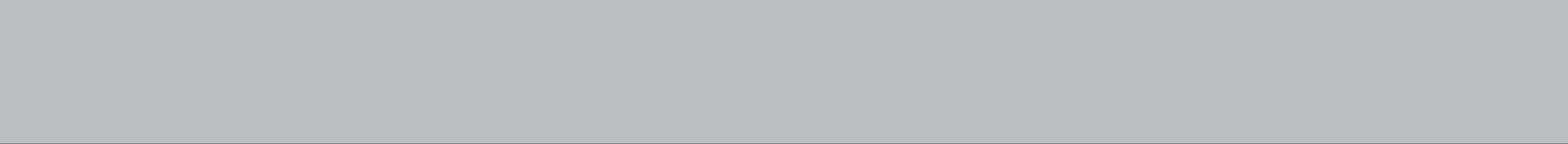


：TOP画面(音楽再生のみ)に戻ります。



アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPodビデオモード(**ビデオモード** ボタンをタッチ)にすることにより見たり、聞くことができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- iPodビデオモードのとき、モードを変更したときはビデオモード画面を保持しません。もう一度手順 **1** (**戻る** 290ページ)より操作しなおしてください。
- ミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、それぞれの曲は保持しないでリスト一番上の曲からの再生となります。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。選択すると前回のつづき(再生位置)から再生が始まります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。
- USBモードでiPodを再生させている場合は映像データを再生できません。
(290ページ手順 **1** **モード切替** は選択できません。)
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



USB

USBメモリデバイスの音楽再生について …	296～298
USBメモリデバイスを使う ……………	299～313
各部の名称とはたらき ……………	299
表示部(再生画面)について……………	300、301
USBメモリデバイスを本機に接続するには……………	302
USBメモリデバイスを聞く ……………	302、303
USBモードを終了する……………	303
USBメモリデバイスの接続をやめるには……………	303
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す／進める) ……………	304
早戻し／早送りをする ……………	304
USBフラッシュメモリのリスト表示より好きな トラックまたはフォルダを選び再生させる ……………	305
ウォークマンのリスト表示より好きなトラック またはアルバムを選び再生させる……………	306、307
選曲モードより選択し再生させる……………	308～311
再生モードを選択する (リピート／ランダム／スキャン再生)……………	312、313

USBメモリデバイスの音楽再生について(1)

USBメモリデバイス(USBフラッシュメモリ)を使用して本機で再生することができます。

※ソニー社製のATRAC AD対応のウォークマン(OMA形式)にも対応しています。

■MP3/WMA/AAC/ATRAC3/ATRAC3plusは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては88ページを参照してください。

■USBメモリデバイスについて

- 別売のUSB接続コードまたはUSB接続コード&BeatJamに付属のUSBコードAにUSBメモリデバイスを接続してください。

※iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してUSBモードでiPodを再生させることができます。  「■ USBモードで再生させる場合 」 275ページ

- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- 16GBまでの容量のUSBフラッシュメモリに対応しています。
- マストレージクラスのUSBフラッシュメモリ(USBメモリデバイス)および、ATRAC AD対応のウォークマンに対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSBメモリデバイスには対応していません。
- USBメモリデバイスに記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USBメモリデバイスの音楽再生中にUSBメモリデバイスを外さないでください。
※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16/FAT32のファイルシステムに対応しています。
- すべてのUSBメモリデバイスの動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSBメモリデバイスの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

□ウォークマン(ATRAC AD対応)について

- 本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン(Eシリーズ/Aシリーズ/Sシリーズ)を接続し、再生することができます。
※2009年2月現在に発表されているものに限りです。
※Walkman Phoneには対応していません。
- ウォークマンの種類によりウォークマンの対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマンに転送できる音楽フォーマットはウォークマンに依存しますのでウォークマンの取扱説明書を参照してください。
- ウォークマンに転送されたATRAC Advanced Lossless/WAV(PCM)形式の曲には対応していません。

“WALKMAN” “ウォークマン” はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless” は、ソニー株式会社の商標です。

■MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応しておりません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報(画像など)が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC(m4a)ファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／フォルダ内の最大ファイル数：255(ファイル+フォルダ)／全体の最大ファイル数：10000／最大フォルダ数：200となります。
- 選曲モードのリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想されている順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3／WMA／AAC／OMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”／AACの拡張子“m4a”／OMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。

※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。

※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

USBメモリデバイスの音楽再生について(2)

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。
- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名／トラック番号*です。

*：トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。

※WMA／AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3／WMAにつきましては92、93ページを参照してください。AACにつきましてはサンプリング周波数16～48kHz、対応ビットレート8～320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AAC／ATRAC3／ATRAC3plusを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

USBメモリデバイスを使う(1)

各部の名称とはたらき

主な操作画面は代表としてUSBフラッシュメモリ接続時を記載しています。

※ATRAC AD対応ウォークマン接続時のみの機能の場合は、別途説明しています。



① トラック情報 ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② トラックリスト ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(305～307ページ)

③ フォルダリスト ボタン☆1

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。
(305ページ)

④ 切替 ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(355ページ)

⑤ 選曲モード ボタン

選曲モードから再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
(308～311ページ)

⑥ 再生モード ボタン

リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
(312、313ページ)

⑦ AUDIO ボタン

AV MENU画面を表示します。

※ナビゲーション画面／FM／AM／Digital TV／CD／DVD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／VTRモードからUSBモードに切り替えるときに使用します。

⑧ 電源 ボタン()

オーディオモードを開始／終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

⑨ Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

⑩ トラック ボタン()

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し()／早送り()します。
(304ページ)

⑪ VOLUME ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増



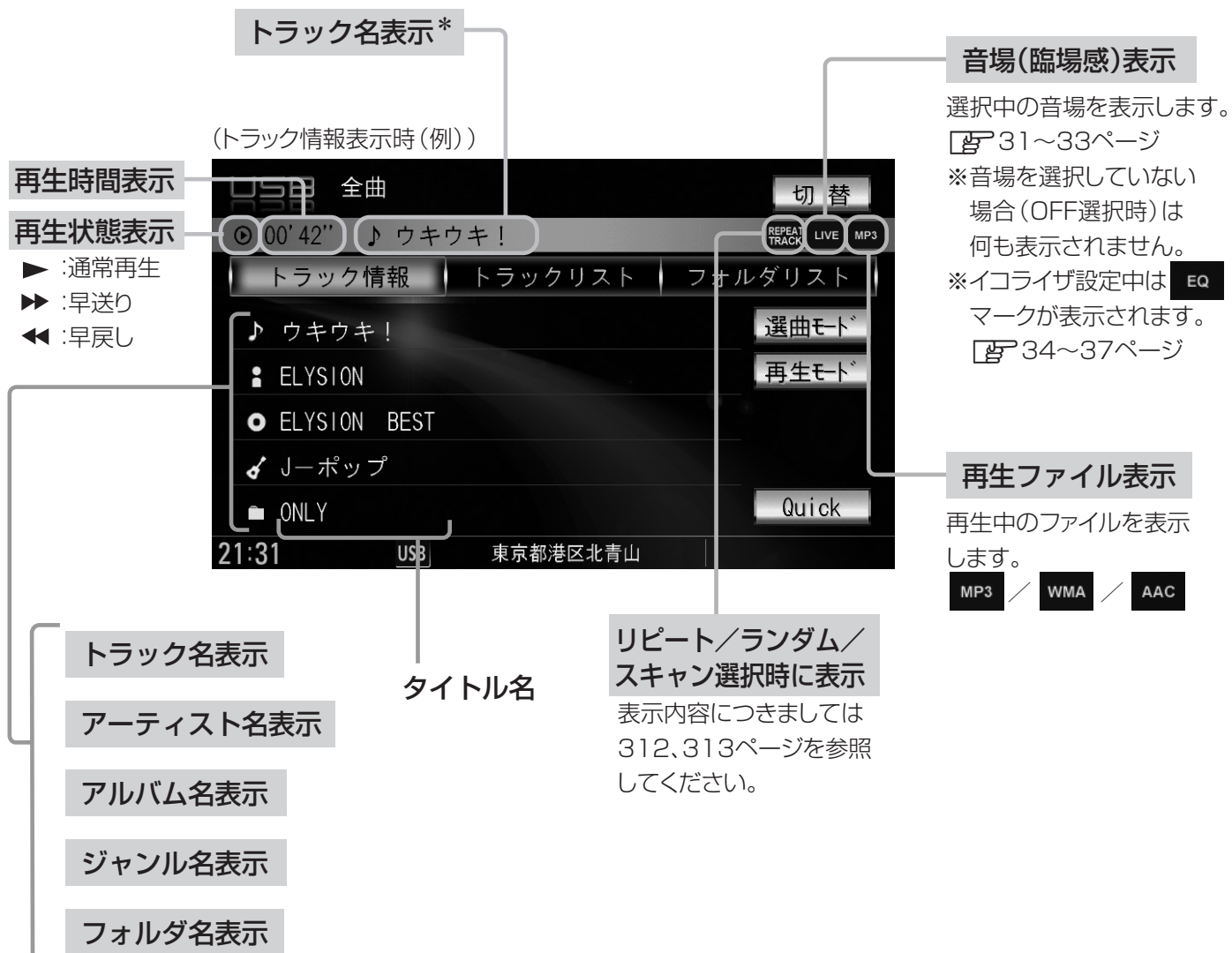
アドドライブ

- ☆1印：ソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン(Eシリーズ／Aシリーズ／Sシリーズ)を接続している場合、**フォルダリスト** (☆1) ボタンが**アルバムリスト** ボタン表示に変わります。☞ 306、307ページ参照
- iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してiPodを再生させている場合の操作につきましては「iPodを使う」276ページを参照してください。

USBメモリデバイスを使う(2)

表示部(再生画面)について

USBフラッシュメモリの場合



ウォークマンの場合

(トラック情報表示時(例))



再生ファイル表示

ウォークマンの場合に表示

リピート/ランダム/スキャン選択時に表示

表示内容につきましては312、313ページを参照してください。

トラック名表示

アーティスト名表示

アルバム名表示

ジャンル名表示

タイトル名

ジャケット写表示

ジャケット写真が附加されている場合に表示されます。



アドバンス

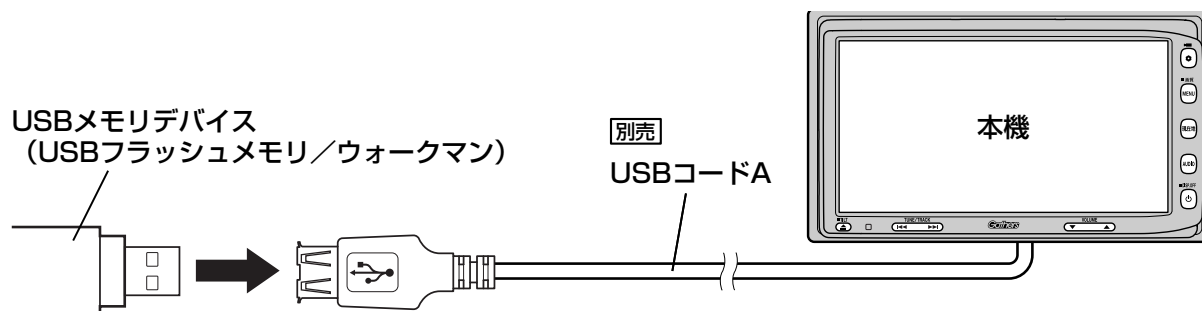
- トラック名/フォルダ名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名/アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
※*印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。(USBフラッシュメモリの場合)
- 詳細表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(フォルダ名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示のどちらからでもタッチしてスクロールすることができます。
- iPod本体に付属されているUSBケーブルを使用してiPodを再生させている場合の表示部につきましては「iPodを使う」277ページを参照してください。

USBメモリデバイスを使う(3)

USBメモリデバイスを本機に接続するには

1

別売のUSBコードAにUSBメモリデバイスを接続する。



※パソコンとの接続(64～73ページ)で別売のUSBコードBを接続している場合は、音楽再生では使用しませんので外してください。

※別売のUSBコードAに、iPod本体に付属されているUSBケーブルを接続すると、USBモードでiPodを再生させることができます。[図] 19、275ページ

※ウォークマンの種類によっては、ウォークマン本体に付属されているUSBケーブルを使用して本機にUSB接続する必要があります。

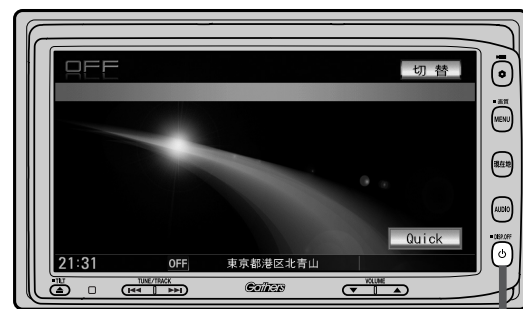
USBメモリデバイスを聞く

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回USBモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

①パネルの**電源** ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからUSBメモリデバイスの再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回USBモード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの**AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…

②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…

もう一度**AUDIO** ボタンを押す。

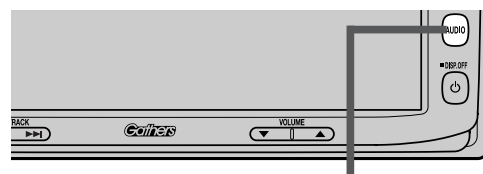
：AV MENU画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

②画面の**USB** ボタンをタッチする。

：USBメモリデバイスの再生を始めます。

※USBモードでiPodを再生させた場合の操作方法につきましては278～289ページを参照してください。



① **AUDIO** ボタン

AV MENU画面



■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖥️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



USBメモリデバイスの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

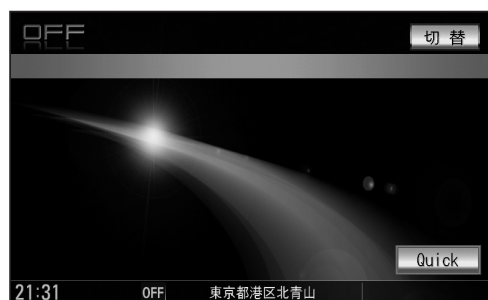
USBモードを終了する

1 パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：画面に“OFF”と表示されUSB機器の再生を止めます。(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(🔌)

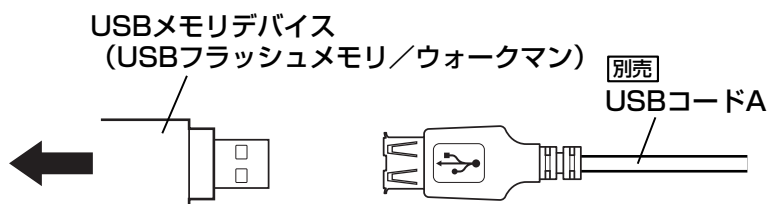


USBメモリデバイスの接続をやめるには

1 パネルの **電源** ボタン(🔌)を押す。

：電源をOFF(オーディオモード終了)します。

2 USBメモリデバイスを外す。



- USBメモリデバイスを外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
※USBメモリデバイス認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSBメモリデバイスを外すとデータがこわれたり、USBメモリデバイスが破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

「接続する」

「聞く」

「USBモードを終了する」

「接続をやめる」

USB

USBメモリデバイスを使う(4)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を押す。
：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

画面をタッチしてリスト表示より選択することもできます。

・USBフラッシュメモリの場合 305 右記

・ウォークマンの場合 306、307ページ

早戻し／早送りをする

- 1** パネルの **トラック** ボタン(◀◀／▶▶)を
押し続ける。
：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

再生状態表示

▶：通常再生

▶▶：早送り

◀◀：早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。

USBフラッシュメモリのリスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる

1

画面の **トラックリスト** ボタンまたは **フォルダリスト** ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

USBモードTOP画面
トラック情報表示時(例)



■ **トラックリスト** ボタンをタッチした場合

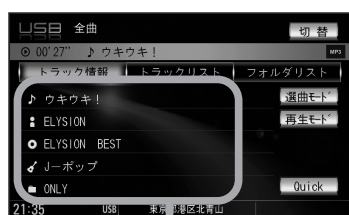
：再生しているフォルダ中のトラックリストが表示されます。

■ **フォルダリスト** ボタンをタッチした場合

：全てのフォルダがリスト表示されます。

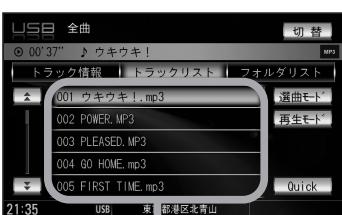
USBモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト** / **フォルダリスト**)によってトラック情報表示/トラックリスト表示/フォルダリスト表示となります。

TOP画面(例)



トラック情報表示

TOP画面(例)



トラックリスト表示

TOP画面(例)



フォルダリスト表示



2

再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し/送り表示



TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

「一曲ずつ選曲」／「早戻し／早送り」／「リストより選択(フラッシュメモリ)」

USB

USBメモリデバイスを使う(5)

ウォークマンのリスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選び再生させる

1

画面の **トラックリスト** ボタンまたは **アルバムリスト** ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

トラック情報表示時(例)



■ **トラックリスト** ボタンをタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード( 308ページ)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリスト)のトラックリスト表示となります。

■ **アルバムリスト** ボタンをタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。



アドバイス

選曲モード( 308ページ)で選択したボタン(全曲／アーティスト)のアルバムリスト表示となります。
※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバム表示となります。



USBのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報**／**トラックリスト**／**アルバムリスト**)によってトラック情報表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。



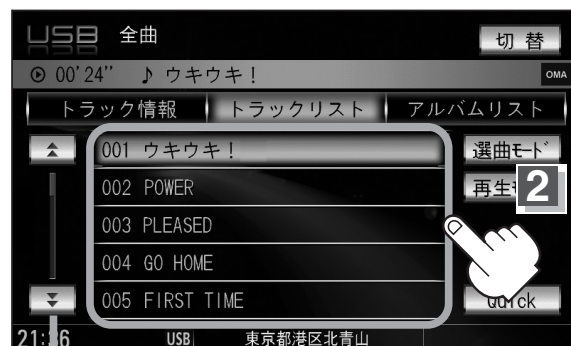
- 選曲モード(☞ 308ページ)で“アーティスト”を選択すると、選んだアーティストのトラックリスト／アルバムリスト表示となります。
- 選曲モード(☞ 308ページ)で**ジャンル**／**グループ**／**プレイリスト**を選択した場合は、**アルバムリスト** ボタンは選択できません。

2

再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))



↑ / ↓ ボタンタッチでページ戻し／送り表示



TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

USBメモリデバイスを使う(6)

選曲モードより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

USBモード TOP画面(詳細表示時(例))

1

画面の **選曲モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。



2

選曲モードより選曲する方法を選択します。

■ USBフラッシュメモリの場合 (MP3/WMA/AAC)

全曲 / **フォルダ** ボタンより選択する。



選曲モード

■ ウォークマンの場合 (OMA)

全曲 / **アルバム** / **アーティスト** /
ジャンル / **グループ** / **プレイリスト**
ボタンより選択する。



選曲モード

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

：トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



：選択した曲を再生します。

■ フォルダ ボタンをタッチした場合 (USBフラッシュメモリ再生時)

：フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

フォルダリスト画面



フォルダリスト

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



トラックリスト

：選択した曲を再生します。

■ アルバム ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

：アルバムリストが表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト画面



アルバムリスト

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



トラックリスト

：選択した曲を再生します。

USBメモリデバイスを使う(7)

■ **アーティスト** ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

: アーティストリストが表示されます。

- ①再生させたいアーティストをタッチする。 ②再生させたいアルバムをタッチする。



: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。



: 選択したアルバムに収録されているトラックリストの表示とともに曲が再生されます。

- ③再生させたいトラックをタッチする。



トラックリスト

: 選択した曲を再生します。

■ **ジャンル** ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

: ジャンルリストがポップアップ表示されます。

- ①再生させたいジャンルをタッチする。 ②再生させたいトラックをタッチする。



: 選択したジャンルのトラックリストのポップアップ表示とともに曲が再生されます。



: 選択した曲を再生します。



アドバース

ウォークマン再生時のジャンル(ジャンルリスト)はお客様が入れたものとなります。

■ グループ ボタンをタッチした場合 (ウォークマン再生時)

：グループリストがポップアップ表示されます。

①再生させたいグループをタッチする。



：選択したグループのトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

■ プレイリスト ボタンをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

①再生させたいプレイリストをタッチする。



：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

3 設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



次ページがある場合 / ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

USBメモリデバイスを使う(8)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の**再生モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順**2**で選択した再生モードがマーク表示されます。

USBモード TOP画面(例)



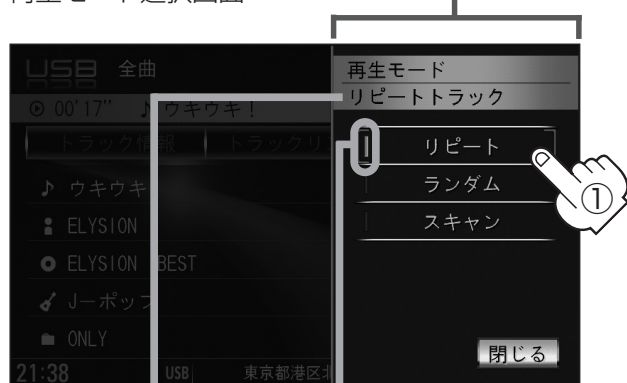
2

再生したいモード (**リピート** / **ランダム** / **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示
選択時点灯

：表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)



通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの状態を表示
選択時点灯

：表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をランダム再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)



通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



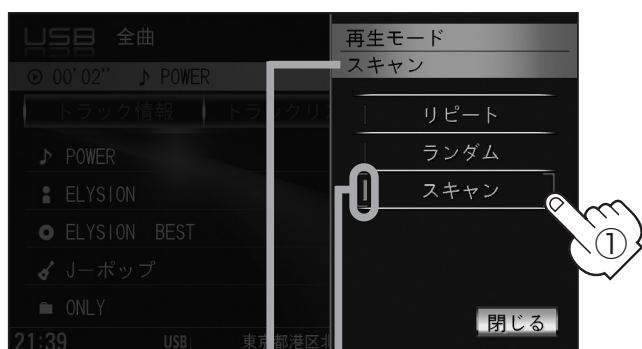
アドバンス

ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯
の状態を表示

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をスキャン再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)



アドバイス

スキャン解除をすると、再生中の曲で通常再生を続けます。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



3

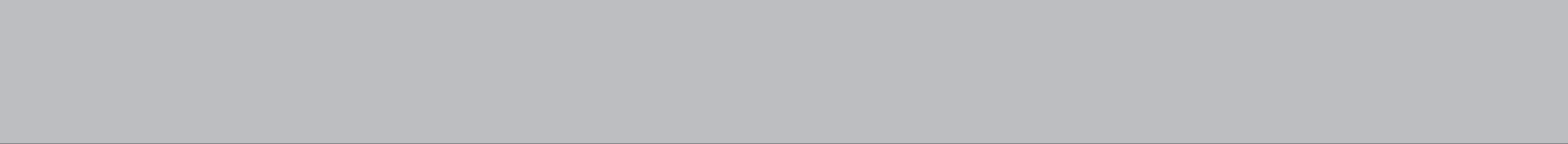


アドバイス

マーク表示を消すまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

〔再生モード選択(リピート・ランダム・スキャン再生)〕

USB



ハンズフリー

ハンズフリーについて	316~318
Bluetoothとは	316
ハンズフリーとは	316
音声について	316
安全上のご注意	316
使用上のご注意	317、318
初期登録設定	319~335
携帯電話を登録する	319~323
マニュアル設定するには	321
登録した携帯電話の詳細情報を見る／ 削除する	324、325
携帯電話を切り替える	326
登録した携帯電話の自動接続を設定する	327
携帯電話のメモリを本機に登録する	328、329
車載機(本機)のBluetooth情報を見る	330
着信音量を設定する	331
受話音量を設定する	332
送話音量を設定する	333
自動的に保留する(自動応答保留)	334
パスキーを変更する	335
電話を受ける	336~341
着信音量を調整する	336
電話に出る	337
保留にする	338
通話を拒否(終了)する	339
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート)	339
通話を携帯電話に切り替える	340
トーン入力する	341
電話をかける	342~349
電話番号から	342、343
リダイヤルから	344
履歴から	345~347
アドレス帳から	348、349
発着履歴を削除する	350
通話中に地図画面を表示する	351

Bluetooth対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

Bluetoothとは

- 携帯電話と本機をケーブルを使わずに接続し、音声やデータのやりとりをすることができる無線通信技術のことです。
- Bluetooth機能を利用するには、初期登録をする必要があります。

 「初期登録設定」319～335ページ

初期登録後、自動接続「する」の場合は車のエンジンスイッチを「I (ACC)」または「II (ON)」にして本機に電源が入ると自動的にBluetooth接続となります。



アドバイス

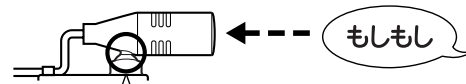
本機にて電話のやりとりをすると通常より携帯電話の電池が早く消耗します。

Bluetooth®

BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG, Incの登録商標です。

ハンズフリーとは

携帯電話を操作することなく画面をタッチすることで「電話を受ける」「電話をかける」などの電話機能が使用できます。これがハンズフリー機能です。



運転者の音声をひろいやすい向きにマイクの方向を調整してください



音声について

発信後および着信後は、付属のマイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

安全上のご注意

警告

- 安全のため、自動車運転中の携帯電話のご使用はおやめください。法律で禁止されています。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても通話しなければいけないときは、“ハンズフリー機能”を使用して「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してかけ直してください。
- 電話(本機)を使用するために、禁止された場所や周りに迷惑のかかる場所で駐・停車などをしないでください。

使用上のご注意

- ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しくください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスプレイが開いた状態では、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
 - ・ 悪路走行時 ・ 高速走行時 ・ 窓を開けているとき ・ エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機はすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
接続するBluetooth対応携帯電話はBluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBluetooth対応携帯電話が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種につきましては、
インターナビプレミアムクラブのホームページ(<http://www.premium-club.jp/>)を参照ください。
- auの携帯電話をご使用の場合には、機種によって「回線交換モード(ASYNC/FAX)」と「パケットモード」の2種類の通信モードがありますが「パケットモード」でご使用ください。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話および本機を使用する場合は、心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して本機を使用してください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあります。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
 - ・ 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- Bluetooth通信用の車両側アンテナはナビに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのよう聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
 - ・ マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しくください。

- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
※録音(REC)中に発着信があった場合、録音(REC)は継続されます。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBluetooth接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送も含む)はしないでください。
誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
 - ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
 - 1 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店へご相談ください。
 - 3 その他、本製品から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・分解や改造をする
 - ・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 車載機で携帯電話を充電することはできません。
- 携帯電話と本機以外の機器がBluetooth接続されている場合、本機とBluetooth接続を行なうことはできません。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBluetooth接続を切断してください。

初期登録設定(1)

“Bluetooth携帯対応ハンズフリー”を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整／登録削除／電話の切り替え／アドレス帳の転送／自動応答保留などの各設定をすることができます。

- 下記手順を行なう前にあらかじめ携帯電話側のBluetoothが使用できるように設定してください。
※設定方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲のBluetooth機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する 使用する携帯電話を本機に登録します。

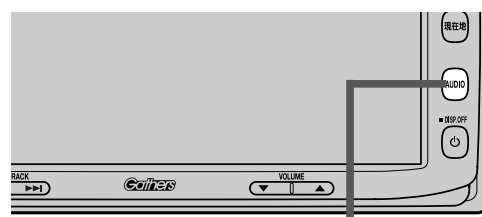
1 パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。



アドバンス

AV MENU画面につきましてはP22ページを参照ください。



1 **AUDIO** ボタン

2 画面の **システム設定** の **携帯電話** ボタンをタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

AV MENU画面(例)



3 画面の **設定** の **携帯電話機器登録** ボタンをタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。



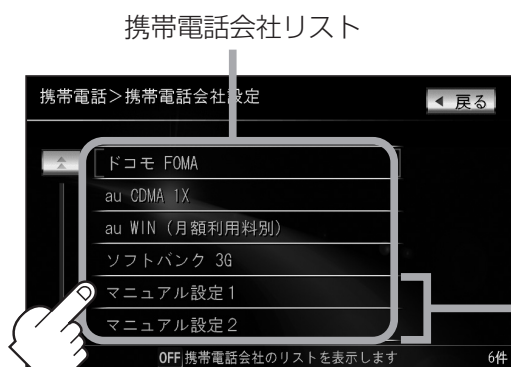
※登録されている携帯電話が2台あるとき、**携帯電話機器登録** ボタンは選択できません。

初期登録設定(2)

4

登録する携帯電話の会社名(種類)をタッチし、**はい** ボタンをタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

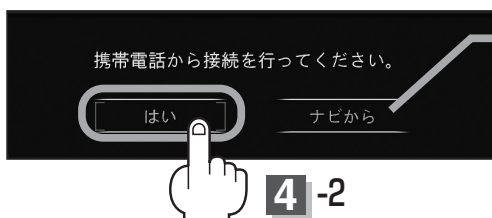


4-1

新たに接続先を設定することもできます。

☞ 「**マニュアル設定するには**」 321ページ

※すでに設定済みの場合は、選択するとメニューが吹き出し表示されるので**選択** ボタンをタッチして **4-2** へ進んでください。



ナビゲーション側から登録可能な携帯電話を検索する場合は**ナビから**を選択してください。

☞ 「**ナビから ボタンをタッチした場合**」 322ページ

：携帯電話側から登録可能な携帯電話を検索します。



左記画面が表示されるので、携帯電話を操作してハンズフリーとして登録を行なってください。

※操作方法是携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

接続待機中に画面の**中止** ボタンをタッチすると接続を中止し、携帯電話会社リスト表示に戻ります。



アドバイス

- ★：すでに登録済 (Bluetooth接続済) の携帯 (番号) がある場合その携帯 (のBluetoothの接続) を切断するかどうかのメッセージが表示されるので “はい” を選択してください。

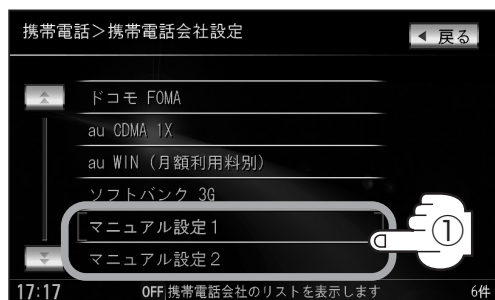
※ “はい” を選択すると現在接続中の携帯との通信を切断し、携帯を検索する方法を選択する画面が表示されます。“いいえ” を選択した場合は登録作業を中断し、ハンズフリー携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台ですが、Bluetoothに接続できる携帯電話は1台となります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

- 携帯電話の操作の内容 (ID / パスワード / IPアドレスなど) や設定項目 (☞ 右記手順③) について分からない場合は、ご利用になっている携帯電話会社にご確認ください。

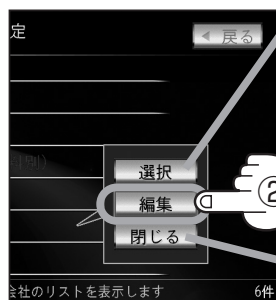
マニュアル設定するには

携帯電話会社リストの中に会社名(種類)がない場合は、新しく接続先を設定することができます。

- ① **マニュアル設定1**／**マニュアル設定2** ボタンをタッチする。



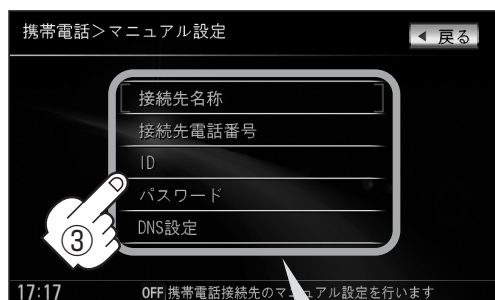
- ② **編集** ボタンをタッチする。



すでに設定済みの場合は**選択** ボタンをタッチしてください。
☞ 左記手順 **4** -2 へ

選択や編集を止める場合は**閉じる** ボタンをタッチしてください。会社リストに戻ります。

- ③ 設定する項目をタッチする。



- **接続先名称** ボタンをタッチした場合

接続先の名称を入力します。

：入力画面が表示されるので50音パレットをタッチして入力してください。(★1)

- **接続先電話番号** ボタンをタッチした場合

接続先の番号を入力します。

：入力画面が表示されるので数字をタッチして入力してください。(★2)

- **ID**／**パスワード** ボタンをタッチした場合

接続先のユーザーID／パスワードを入力します。

：入力画面が表示されるのでID／パスワードを入力してください。(★1)

- **DNS設定** ボタンをタッチした場合

接続先のDNSのIPアドレスを入力します。

1. **自動**／**手動** を選択する。

- **自動** を選択したときは…

：IPアドレスは自動で設定されます。

- **手動** を選択したときは…

プライマリDNS／**セカンダリDNS** をタッチする。

：入力画面が表示されるので**訂正** ボタンをタッチして数字を入力してください。(★2)

※入力方法は、★1：☞ 126、127ページ、

★2：☞ 335ページ手順 **4**、**5** を参考にしてください。

※ **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

初期登録設定(3)

■ ナビから ボタンをタッチした場合

ナビゲーション側から登録可能な携帯電話を検索します。

※携帯電話検索中に画面の **中止** ボタンをタッチすると検索を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

検索中画面

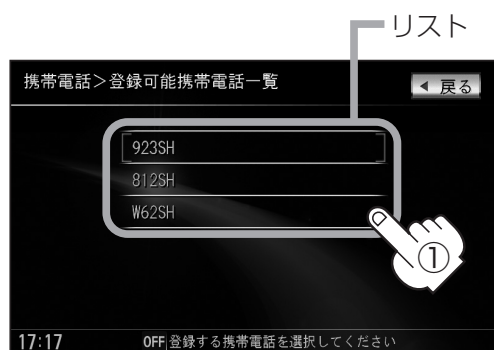


● 登録可能な携帯電話が2台以上検索された場合...

：リストを表示します。

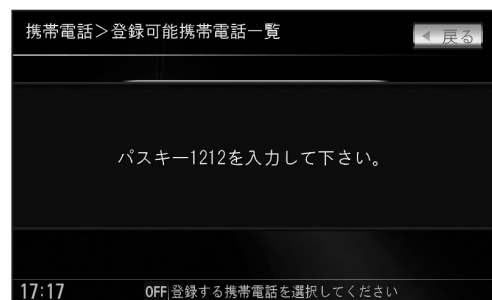
※登録可能な携帯電話が1台のみ検出された場合はこの操作はありません。
手順②へ進んでください。

①リストの中から登録したい(Bluetooth接続したい)携帯電話をタッチする。



②画面に表示されるパスキーを携帯電話から入力する。

※画面に表示されるメッセージを確認してください。



- リストには最大5台まで表示されます。
※周辺にBluetooth端末 (Bluetooth機能のある機器) が多数ある場合、リストが表示されない場合があります。
- 携帯電話のデバイス名が取得できなかった場合は<デバイス名なし>と表示されます。



アドバイス

- パスキーとは、“Bluetooth対応携帯電話”を本機に登録するためのパスワードです。
- 複数の機器を検索した場合は、登録する携帯を機器名称で判断してください。また、同一名称の機器を複数検索した場合は、ご使用の携帯の名称を変更してください。
- 携帯電話の詳しい操作方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話の電波状態がアイコンとして表示されます。

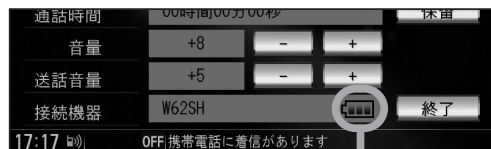


アンテナ3本：電波状態良好



圏外：電波は届いていません

※電波状態（アンテナの本数）は携帯電話の表示と異なる場合があります。（良好でも圏外となることがあります。）
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。



電池残量

初期登録設定(4)

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1

319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 [AUDIO] ボタン

2

画面の **設定** の **登録機器一覧** ボタンをタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※表示は最大2件です。登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** ボタンは選択できません。

HANDS FREEの設定画面



■ 詳細情報を見る場合

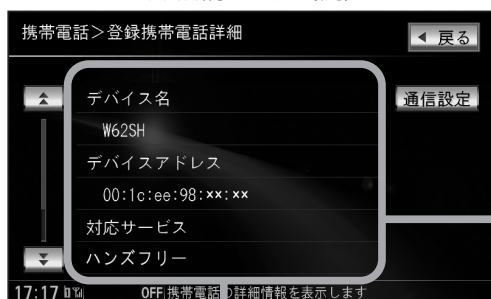
① 詳細情報を見たい携帯電話の **詳細** ボタンをタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

携帯電話一覧画面



詳細情報画面(例)



対応サービスとは登録した端末が、どのサービスに対応しているのかを表示します。

登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。(※パスキーの数字は表示されません。)

※お手持ちの携帯電話の自局情報(プロフィール)に絵文字を使用している場合、本機では_ (アンダーバー) 表示されます。

※本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

■ 削除する場合

①削除したい携帯電話の **削除** ボタンをタッチする。

：削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話を削除し、手順 **1** の画面に戻ります。



アドバイス

2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

携帯電話一覧画面



アドバイス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

初期登録設定(5)

携帯電話を切り替える

接続可能な携帯電話を切り替えます。

※Bluetooth接続できる携帯電話機は1台です。

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



2 画面の **設定** の **登録機器一覧** ボタンをタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※表示は最大2件です。登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** ボタンは選択できません。



3 切り替えたい携帯電話の **接続する** ボタンをタッチする。

：メッセージを表示しBluetooth接続する携帯電話が切り替わります。

接続する携帯電話がない場合も切り替えはできますが、接続相手の携帯がないのでアイコンは表示されません。



アドバイス

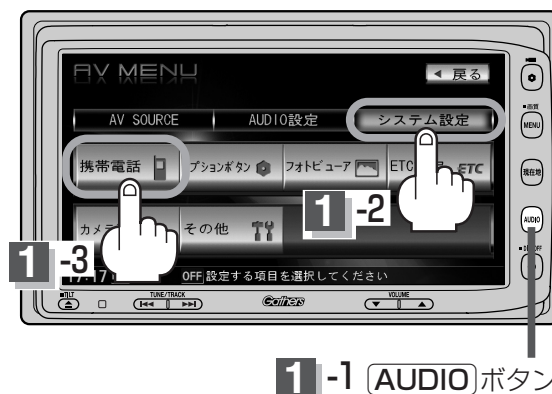
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。

登録した携帯電話の自動接続を設定する

登録機器が2台ある場合、電源を入れたときにどちらの機器を優先して自動接続するかを設定します。

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 AUDIO ボタン

2 画面の **設定** の **登録機器一覧** ボタンをタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※表示は最大2件です。登録されている携帯電話がない場合 **登録機器一覧** ボタンは選択できません。



HANDS FREEの設定画面

3 画面の **する** / **しない** ボタンをタッチする。

： **優先する** ボタンが選択されているほうの携帯電話を優先して接続します。

※自動接続しない場合は、 **しない** ボタンをタッチします。

※優先するボタンの設定は次回エンジンスイッチをⅡ (ON) にした時より有効となります。



携帯電話一覧画面

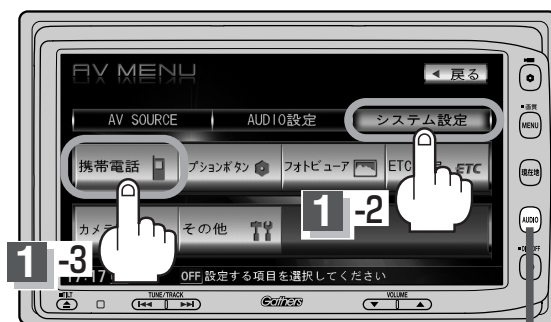
初期登録設定(6)

携帯電話のメモリを本機に登録する

携帯電話のメモリ(アドレス)を本体に登録します。

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 [AUDIO] ボタン

2 画面の **電話** の **携帯メモリ読み出し** ボタンをタッチする。

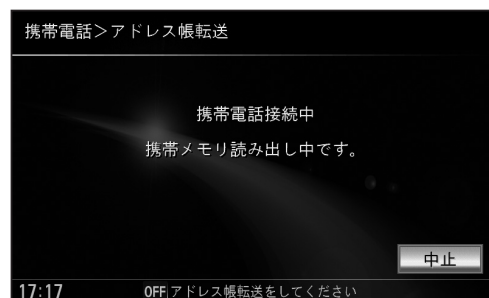
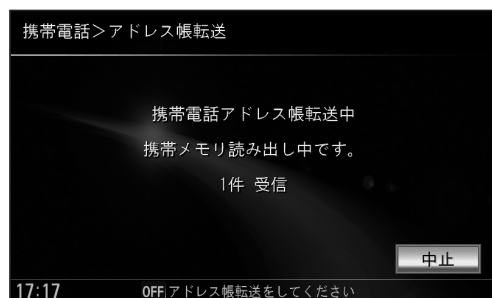
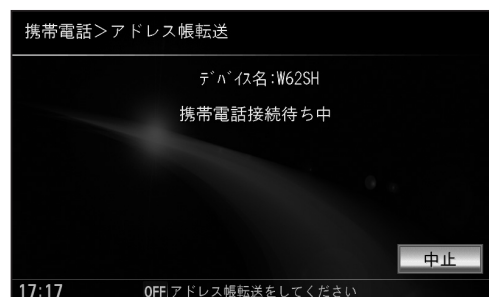
：メモリを読み出していかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話接続待ち中画面が表示されます。



3 携帯電話を操作します。

①読み出したいアドレス帳を選択し、データ送信を開始させる。

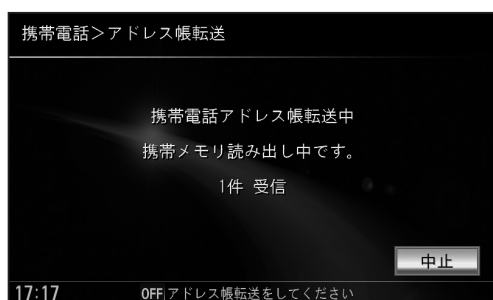
：本機にアドレス帳を転送します。



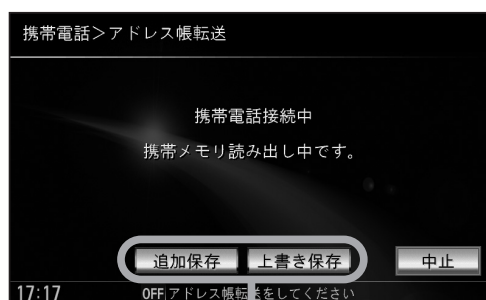
アドバイス

- ①は本機が携帯電話接続待ち中画面を表示している間に行なってください。
- 電話帳のデータ送信やBluetoothの接続／接続などの操作方法は、お使いの携帯電話によって異なります。お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- メモリの読み出しは、本機にハンズフリーとして登録、接続されている携帯電話のみ可能となります。

1件転送の場合



全件転送の場合



全件転送する場合は追加保存するか
上書き保存するか選択してください。

：携帯電話のアドレス帳の転送が開始されます。



アドバイス

アドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のメモリを更新した際は、再度メモリ(アドレス)を登録しなおしてください。

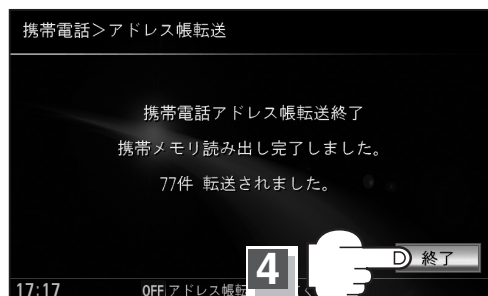
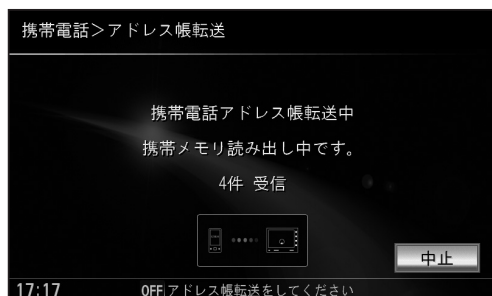
4

読み出し(アドレス転送)が完了したら…

画面の**終了** ボタンをタッチする。

：HANDS FREE画面に戻ります。

アドレス帳転送終了画面



アドバイス

- **中止** ボタンをタッチするとメモリの読み出しは中止されます。
- 本機のメモリがいっぱい(最大1500件)になったり、不正なデータがある場合は転送は終了されます。
※すでに本機に転送されたメモリ(アドレス)は本機に保存されます。
- メモリ読み出し中にエンジンスイッチを変更した場合、メモリ読み出しは中止されます。その場合は、再度メモリ読み出しをやり直してください。(故障のおそれがありますので、メモリ読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- メモリ読み出し中に着信があった場合、Bluetooth接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種により読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は以下の通りです。
名前：全角9文字まで／よみ：半角18文字まで／電話番号：36桁まで
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 手順 **3** (328ページ) で一括送信(全件メモリ読み出し)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。

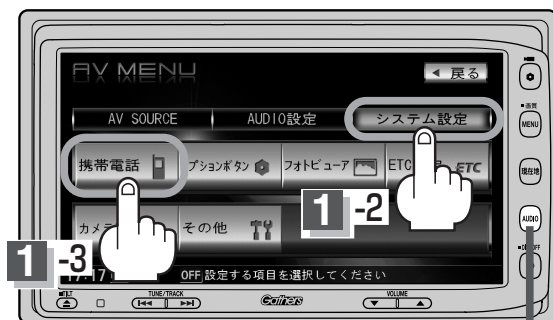
初期登録設定(7)

車載機(本機)のBluetooth情報を見る

携帯電話に登録した車載機(本機)の情報を削除してしまったときなど、車載機(本機)のBluetooth情報を見たいときに使用します。

- 1** 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 [AUDIO] ボタン

- 2** 画面の **設定** の **Bluetooth本体情報** ボタンをタッチする。

：Bluetooth本体情報画面が表示されます。



Bluetooth本体情報画面



パスキー変更 ボタン

パスキーの変更ができます。

「**パスキーを変更する**」

335ページ



アドバイス

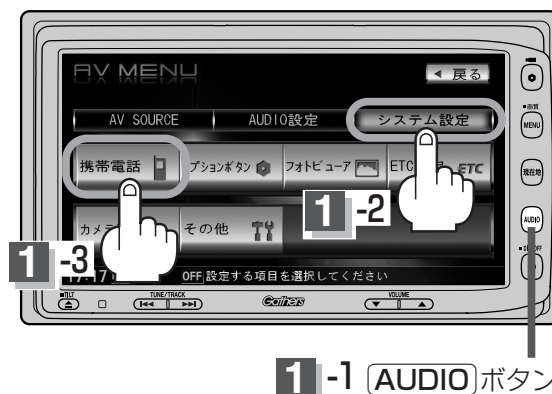
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

着信音量を設定する

着信音の大きさを調整します。

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 AUDIO ボタン

2 画面の **設定** の **携帯電話通話設定** ボタンをタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。



3 画面の **-** / **+** ボタンをタッチして音量を調整します。

■ **-** ボタンをタッチする。
：着信音量が小さくなります。

■ **+** ボタンをタッチする。
：着信音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面



アドバース

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 着信中に調整することもできます。[**戻る**] 「**着信音量を調整する**」 336ページ

初期登録設定(8)

受話音量を設定する

聞こえてくる通話相手の声の大きさを調整します。

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



2 画面の **設定** の **携帯電話通話設定** ボタンをタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。

HANDS FREEの設定画面



3 画面の **-** / **+** ボタンをタッチして音量を調整します。

■ **-** ボタンをタッチする。
：受話音量が小さくなります。

■ **+** ボタンをタッチする。
：受話音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面



アドバイス

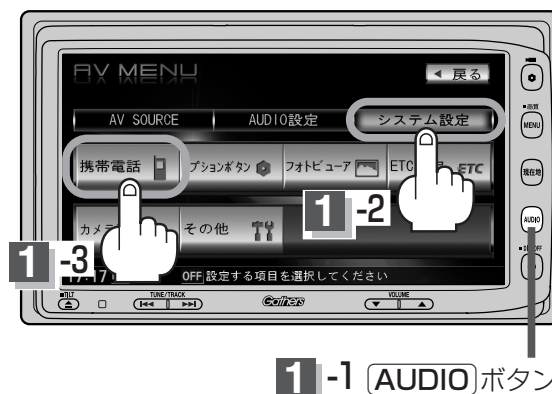
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声は音声認識マイクに向かって大きくはっきりとお話してください。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

送話音量を設定する

相手に聞こえる自分の声の大きさを調整します。

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 AUDIO ボタン

2 画面の **設定** の **携帯電話通話設定** ボタンをタッチする。

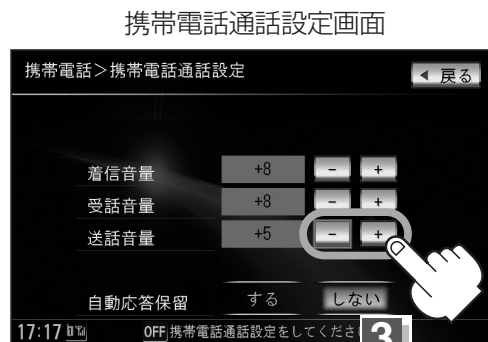
：携帯電話通話設定画面が表示されます。



3 画面の **-** / **+** ボタンをタッチして音量を調整します。

■ **-** ボタンをタッチする。
：送話音量が小さくなります。

■ **+** ボタンをタッチする。
：送話音量が大きくなります。



アドバイス

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定(決定)されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

初期登録設定(9)

自動的に保留する(自動応答保留)

すぐに応答できない場合に自動的に保留にし、音声で応答できないことを相手に案内します。

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



2 画面の **設定** の **携帯電話通話設定** ボタンをタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。

HANDS FREEの設定画面



3 画面の自動応答保留の **する** ボタンをタッチする。

：着信時自動的に保留されます。

※自動的に保留にしない場合は **しない** ボタンを選択してください。

携帯電話通話設定画面



アドバイス

- 保留し、音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に **通話** ボタンをタッチすると電話はつながり、**終了** ボタンをタッチすると電話は切れます。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 自動応答保留を行なうためには、携帯電話側で応答保留(着信保留)に対応している必要があります。
※保留に対応していない携帯は自動応答保留はOFFを選択してください。(自動応答保留をONにした場合は自動的に着信拒否されます。)
- 携帯電話が2台登録されている場合、自動応答保留設定はどちらも同じ設定になります。(個別に設定できません。)

パスキーを変更する

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 AUDIOボタン

2 画面の **設定** の **Bluetooth本体情報** ボタンをタッチする。

：Bluetooth本体情報画面が表示されます。

HANDS FREEの設定画面



3 画面の **パスキー変更** ボタンをタッチする

：パスキー変更画面が表示されます。



4 変更したいパスキー(4～6桁)を10キー(0～9ボタン)をタッチして入力する。

パスキー変更画面



5 入力が終わったら **決定** ボタンをタッチする。

：Bluetooth本体情報画面に戻ります。

〔初期登録設定〕

ハンズフリー



アドバンス

- 入力した数字を訂正するときは **訂正** ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

電話を受ける(1)

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてお考えください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。

(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

着信音量を調整する

電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

1

着信音が鳴っているときに、画面の **−** / **+** ボタンをタッチして音量を調整します。

■ **−** ボタンをタッチする。

：着信音量が小さくなります。

■ **+** ボタンをタッチする。

：着信音量が大きくなります。

着信通知画面



アドバイス

携帯電話通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。

「**着信音量を設定する**」 331 ページ

電話に出る

1

画面の **開始** ボタンをタッチする。

：通話可能となります。



通話中に **－** / **＋** ボタンをタッチすると送話音量が増減します。



アドバイス

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話通話設定画面からも受話音量を調整できます。
「**受話音量を設定する**」 332ページ
- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

電話を受ける(2)

保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1

電話がかかってきたら、画面の**保留** ボタンをタッチする。

：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。

※保留状態が1分経過すると自動的に電話が切れます。

着信通知画面



アドバイス

- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に**終了** ボタンをタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行なうためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
※対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。

●通話できる状態になったら…

①画面の**通話** ボタンをタッチする。

：通話可能となります。

着信保留画面



②通話が終わったら画面の**終了** ボタンをタッチする。

：電話が切れます。



アドバイス

通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)されます。



通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)ことができます。

1

着信通知画面で画面の**終了** ボタンをタッチする。

：かかってきた相手と電話を接続することなく電話が切れます。

着信通知画面



通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。

※相手の声は聞こえます。

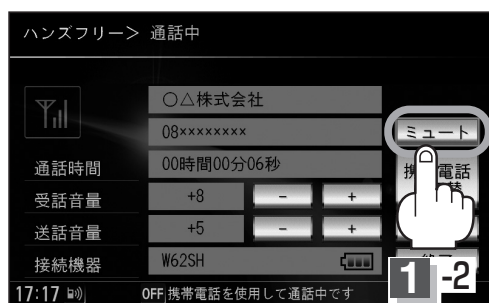
1

着信通知画面で画面の**開始** ボタンをタッチして通話しているときに、画面の**ミュート** ボタンをタッチする。

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)



通話中画面

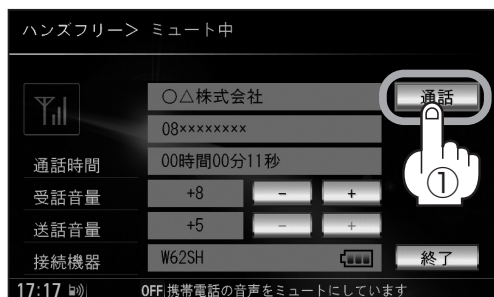


〔電話を受ける〕

ハンズフリー

■ 再びこちらの音声を出す場合

ミュート中画面



① **通話** ボタンをタッチする。

：自分の声が相手に聞こえます。

電話を受ける(3)

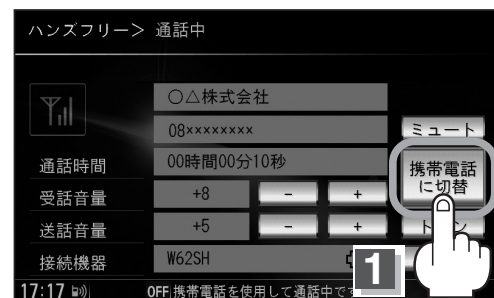
通話を携帯電話に切り替える

通話をマイクから携帯電話に切り替えます。

1

通話中画面で画面の **携帯電話に切替** ボタンをタッチする。

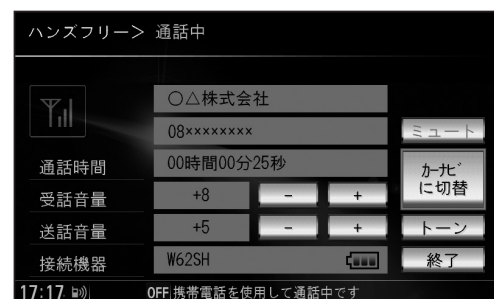
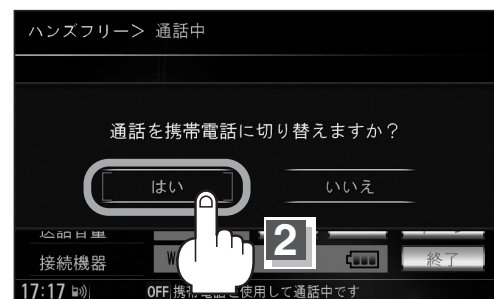
通話中画面



2

切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので、画面の **はい** ボタンをタッチする。

：通話を携帯電話に切り替えます。



通話を本機に戻す場合

① **カーナビに切替** ボタンをタッチする。



②通話をカーナビに切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので、**はい** ボタンをタッチする。



：通話を本機に切り替えます。

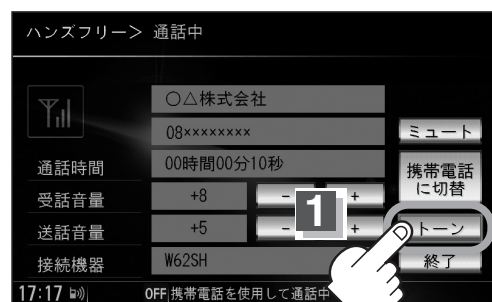
トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービスを利用することができます。

- 1 通話中画面で画面の **トーン** ボタンをタッチする。

：トーン入力画面が表示されます。

通話中画面



- 2 入力したい番号を10キー（**0**～**9** ボタン）をタッチして入力する

トーン入力画面

10キー



アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。

電話をかける(1)

警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてお考えください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

いろいろな方法(電話番号／リダイヤル／履歴)で電話をかけることができます。

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 [AUDIO] ボタン

2 画面の **電話** の **電話から** ボタンをタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。



3 相手先の電話番号を入力し発信します。

①入力したい数字をタッチする。

※36桁まで入力でき、24桁まで表示します。

② **発信** ボタンをタッチする。

：入力先(相手先)に電話をかけます。

※入力した番号が25桁以上の場合、発信してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** または **いいえ** を選択してください。

- 入力した数字を1つ訂正する場合
訂正ボタンをタッチします。
- 全ての数字を訂正する場合
訂正ボタンを長めにタッチします。

電話番号入力画面



発信中画面で

- / + ボタンタッチで
発信中の音(呼び出し音)
の大きさを調整すること
ができます。

発信中画面



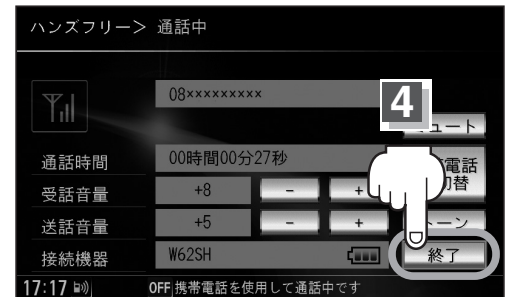
終了 をタッチする
と発信を中止するこ
とができます。

4

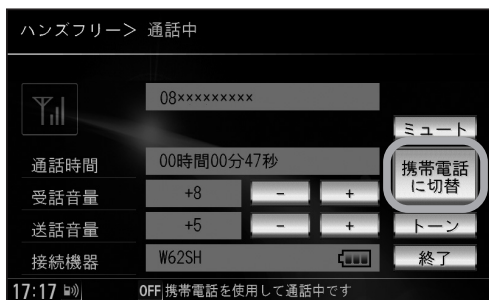
通話が終わったら画面の**終了** ボタンを
タッチする。

：電話が切れます。

通話中画面



- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない(電話に出てない)が、本機の画面では通話中となります〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ **電話から** ボタンを選択(左記手順 **2**) することができます。
- 通話を携帯電話に切り替えたり、本機に切り替えたりする操作方法は340ページを参考に操作してください。



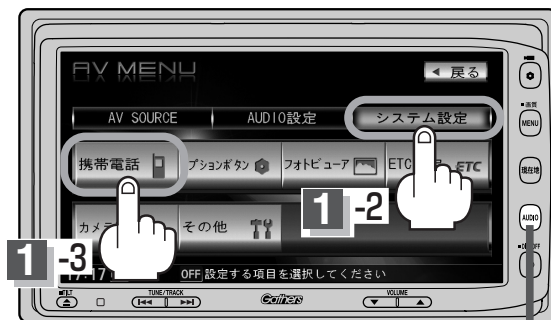
電話をかける(2)

リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけ直すときは番号を入力しなくても簡単にかけることができます。

- 1** 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 [AUDIO] ボタン

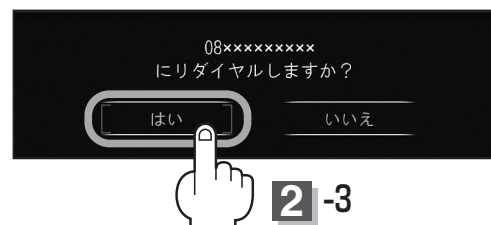
- 2** 画面の **電話** の **リダイヤル** ボタンをタッチする。

：リダイヤル発信するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択してください。



アドバイス

発信履歴がない(どこにもかけてない)場合 **リダイヤル** ボタンは選択できません。

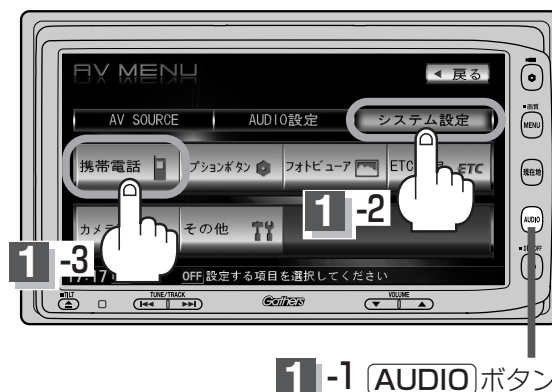


履歴から

発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1 319ページ手順 1、2 にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 AUDIO ボタン

2 画面の 電話 の 発信履歴 / 着信履歴 ボタンをタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

※発信／着信履歴がない場合 発信履歴 / 着信履歴 ボタンは選択できません。



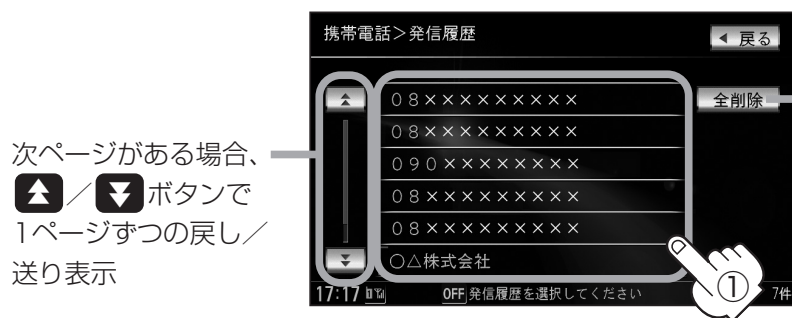
3 発信履歴または着信履歴から電話をかけることができます。

■ 発信履歴からかける場合

電話をかけるとかけた相手の電話番号が発信履歴に自動的に登録されます。
登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の番号を選択する。

発信履歴リスト画面(例)



次ページがある場合、
▲ / ▼ ボタンで
1ページずつの戻し／
送り表示

全削除 ボタンをタッチし、
はい を選択すると発信履歴
を一括で削除します。

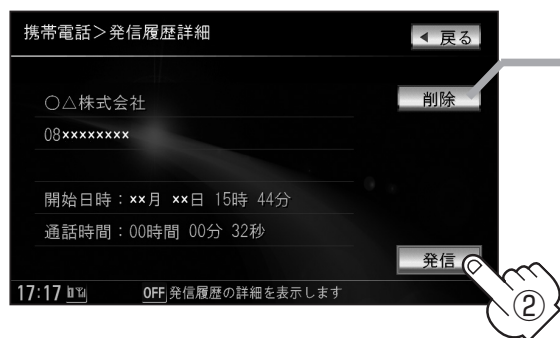


- 本機に発信履歴がない場合 発信履歴 ボタンは選択できません。
- リストに表示される履歴は最新の10件分です。

電話をかける(3)

②画面の**発信** ボタンをタッチする。

発信履歴詳細画面(例)



削除 ボタンをタッチし、**はい** を選択すると選択中の発信履歴を削除します。
※全ての発信履歴を一括で削除することもできます。
☞「発信履歴を削除する」350ページ

※発信中画面(☞342ページアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(☞343ページ手順4参照)になります。

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので**はい** ボタンをタッチすると選択した発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

■ 着信履歴からかける場合

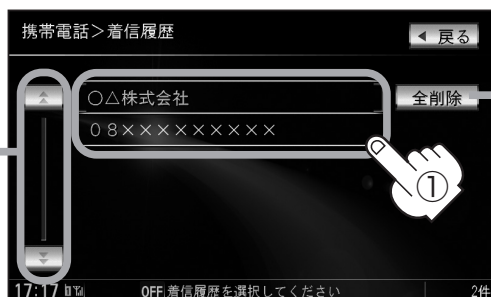
電話がかかってくると、かかってきた相手の電話番号が着信履歴に自動的に登録されます。登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。
ご使用中の携帯の機種によっては着信番号が表示されないで非通知と表示されます。

①リストの中からかけたい相手の番号を選択する。

：着信履歴詳細画面が表示されます。

着信履歴リスト画面(例)

次ページがある場合、
▲／▼ ボタンタッチで1ページずつの戻し／送り表示



全削除 ボタンをタッチし、**はい** を選択すると着信履歴を一括で削除します。



- 本機に着信履歴がない場合 **着信履歴** ボタンは選択できません。
- 着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知設定と表示されます。また、非通知の場合選択する(電話をかける)ことはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

②画面の **発信** ボタンをタッチする。

着信履歴詳細画面(例)



削除 ボタンをタッチし、**はい** を選択すると選択中の着信履歴を削除します。
※全ての着信履歴を一括で削除することもできます。
☞「発信履歴を削除する」
350ページ

※発信中画面(☞342 ページアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(下記)になります。

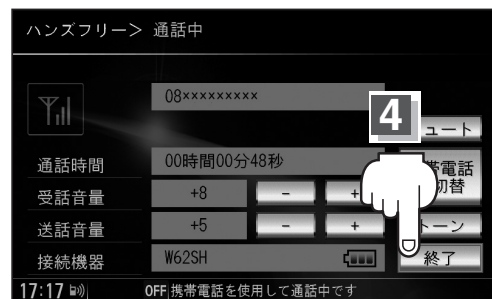
：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** ボタンをタッチすると選択した着信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

4

通話が終わったら画面の **終了** ボタンをタッチする。

：電話が切れます。

通話中画面(例)



アドバイス

- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 非通知設定と表示されている履歴に電話をかけることはできません。
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 発信履歴や着信履歴は、携帯電話本体の履歴とは異なります。

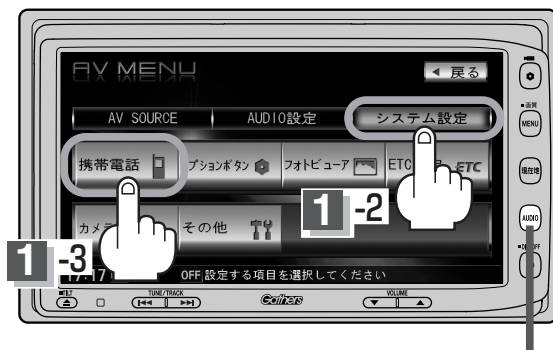
電話をかける(4)

アドレス帳から

本機に登録したアドレス帳を使って電話をかけることができます。

- 1** 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



1-1 [AUDIO] ボタン

HANDS FREE画面

- 2** 画面の **電話** の **アドレス帳から** ボタンをタッチする。

：アドレス帳検索方法選択画面が表示されます。

※アドレスのデータがない場合 **アドレス帳から** ボタンは選択できません。



- 3** 名前またはメモリ番号から電話をかけることができます。

■ 名前からかける場合

本機に転送したアドレス帳を使って50音から検索して電話をかけることができます。

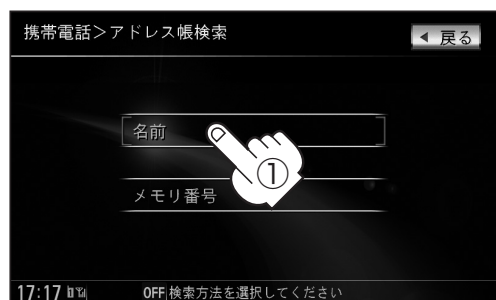
- ①画面の **名前** ボタンをタッチする。

：アドレス帳名前検索画面が表示されます。

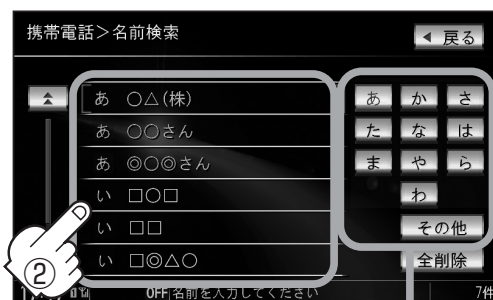
- ②リストの中からかけたい相手の名前を選択する。

：アドレス帳詳細画面が表示されます。

アドレス帳検索方法選択画面



アドレス帳名前検索画面(例)



名前の頭文字(またはそれ以外の文字)を表示
頭文字をタッチすると該当する名前が表示され、効率よく絞り込むことができます。(入力できない文字は選択できません。)

■ メモリ番号からかける場合

本機に登録したアドレス帳を使って登録番号から検索して電話をかけることができます。

①画面の **メモリ番号** ボタンをタッチする。

：アドレス帳メモリ番号検索画面が表示されます。

アドレス帳検索方法選択画面



メモリ番号は携帯から転送された順番にリストの上から表示されます。

②リストの中からかけたい相手のメモリ番号を選択する。

：アドレス帳詳細画面が表示されます。

- 入力した数字を1つ訂正する場合
訂正ボタンをタッチします。
- 全ての数字を訂正する場合
訂正ボタンを長めにタッチします。

アドレス帳メモリ番号検索画面(例)



数字をタッチしてメモリ番号を直接入力することもできます。

4

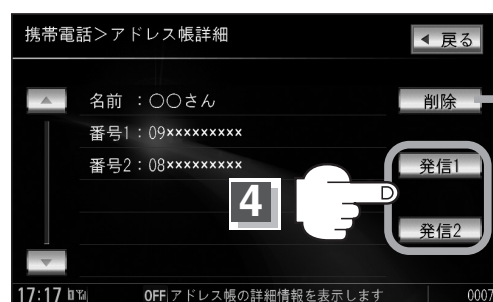
詳細画面でアドレス帳の内容を確認し、画面の **発信1** または **発信2** ボタンをタッチする。

(発信1＝番号1／発信2＝番号2)

：電話してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると(相手先の)番号に電話をかけます。

※発信中画面(☞ 342ページアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(☞ 343ページ手順 **4** 参照)になります。

アドレス帳詳細画面(例)



削除 ボタンをタッチし、**はい** を選択すると選択中の名前(アドレス)を削除します。
※全ての名前(アドレス)を一括で削除する場合は手順 **3** - ②(左記または上記)のとき **全削除** ボタンをタッチし、**はい** を選択してください。

〔電話をかける〕
ハンズフリー



アドバイス

●アドレス帳から電話をかけるにはあらかじめ携帯電話のメモリ(アドレス)を本機に転送しておく必要があります。

☞ 「**携帯電話のメモリを本機に登録する**」 328、329ページ

発着履歴を削除する

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

- 1 319ページ手順 **1**、**2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。



- 2 画面の **電話** の **発信履歴** / **着信履歴** ボタンをタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

※発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** / **着信履歴** ボタンは選択できません。



- 3 画面の **全削除** ボタンをタッチする。

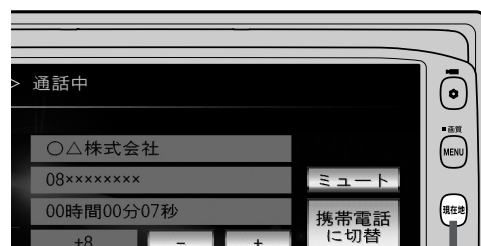
：全件削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、発信または着信履歴を一括で削除し、HANDS FREE画面に戻ります。



通話中に地図画面を表示する

“Bluetooth携帯対応ハンズフリー” を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

- 1 通話中にパネルの **現在地** ボタンを押す。
：ナビゲーション(地図)画面が表示されます。



1 **現在地** ボタン

ナビゲーション画面



- 2 再び通話中画面にするには…
地図画面のとき、
通話画面 ボタンをタッチする。
：通話中画面に戻ります。



アドバイス

- パネルの **AUDIO** ボタンを押し、画面の **システム設定** の **携帯電話** ボタンをタッチしても通話中画面を表示させることができます。



2-1 **AUDIO** ボタン



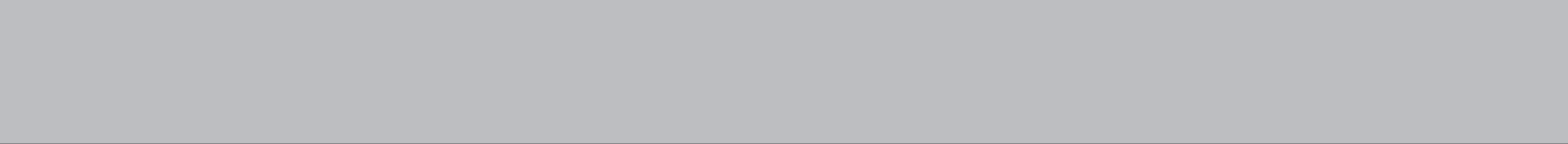
アドバイス

- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中は、パネルの **VOLUME** (▼/▲) ボタンは無効となります。

〔発着履歴を削除する〕

〔通話中地図画面表示〕

ハンズフリー



その他

カスタマイズ(Quick)機能について	354
時計を表示する	355
システムの設定について	356、357
リア席モニターについて(別売)	358
初期設定一覧	359
メッセージ表示について	360～362
故障かな?と思ったら	363～379
エリア番号と放送局一覧	380、381
用語説明	382～387
個人情報の取り扱い(初期化)について	388
索引	389～391

カスタマイズ(Quick)機能について

ナビゲーションのよく使う項目を1画面に集約し、簡単に呼び出すことができます。

1

各モードのTOP画面で、
画面の **Quick** ボタンをタッチする。

：カスタマイズメニュー画面が表示されます。

オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



2

呼び出したい(表示させたい)機能(メニュー)ボタンをタッチする。

：選択した機能画面が表示されます。

カスタマイズメニュー画面(例)



Quick設定 ボタンをタッチすると、
カスタマイズメニュー画面の内容や
配置を変更することができます。

別冊の取扱説明書

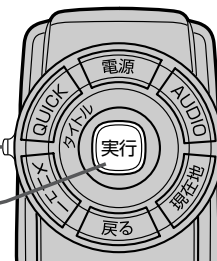
ナビゲーション編76、77ページ



アドバイス

- Digital TVモードの場合 **Quick** ボタンは選択できません。
- **右画面表示** ボタンをタッチし **AV** ボタンをタッチすると、ナビ画面とオーディオ画面を左右に分割して表示させることができます。
別冊の取扱説明書ナビゲーション編73～75ページ
- カスタマイズメニュー画面のとき、別売のリモコンのカーソルキー(+)はNAVI/AV切替スイッチがAV側にあると使用できません。これはリア席モニターの接続(別冊358ページ)を考慮してリア席モニターに表示されるモード(DVD/VTR/Digital TV)のカーソルキー動作を優先させるための仕様となっています。

NAVI/AV
切替スイッチ



カーソルキー(+)
は使用できません。

時計を表示する

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

1

各モードのTOP画面で、
画面の **切替** ボタンをタッチする。

：画面中央に時計が大きく表示されます。

※映像を表示するモードの場合、本設定はできません。

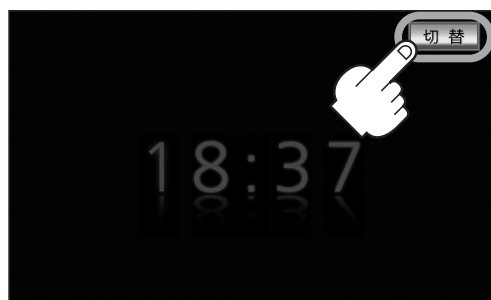
オーディオモード画面
(USBモード画面(例))



再度、画面を表示する場合

画面の **切替** ボタンをタッチする。

：手順 **1** で表示させていたモードの再生画面が表示
されます。



アドバース

音声はそのまま全画面を消すこともできます。(時計表示もなし)

「音声はそのまま、画面を消す」25ページ

システムの設定について

キー操作音のON/OFFやSDカードの初期化はシステム設定より変更します。

1

パネルの **MENU** ボタンを押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は **MENU** ボタンを2回押します。

※AV MENU画面につきましては 22ページを参照してください。

オーディオモード画面(USBモード画面(例))



1 **MENU** ボタン

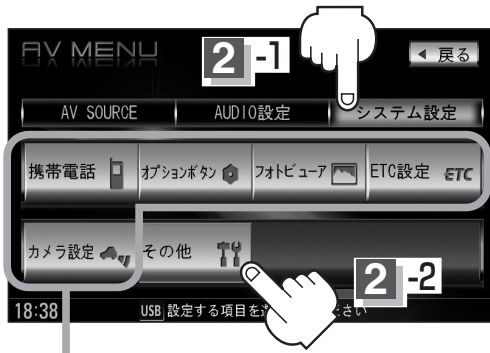
2

画面の **システム設定** の

その他 ボタンをタッチする。

：その他画面が表示されます。

AV MENUのシステム設定画面(例)



“その他”以外の項目につきましては下記を参照してください。

携帯電話 315～351ページ

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編

オプションボタン249、250ページ

フォトビューア251～258ページ/ETC設定259、260ページ

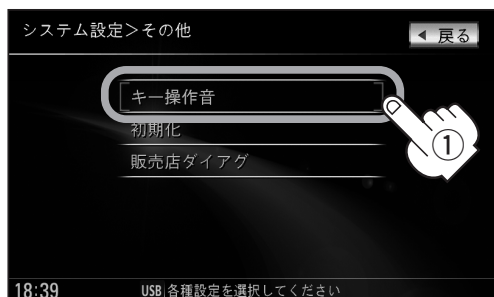
カメラ設定265～273ページ

3

キー操作音の設定またはSDカードの初期化を行ないます。

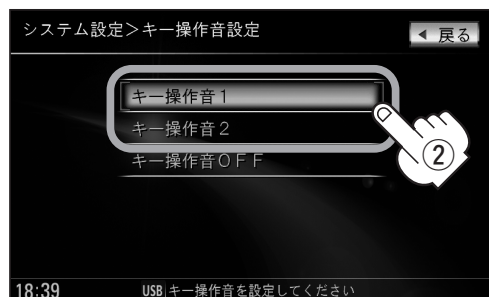
■ 操作音を設定する場合

① **キー操作音** ボタンをタッチする。



：キー操作音設定画面が表示されます。

② **キー操作音1** または **キー操作音2** ボタンをタッチする。

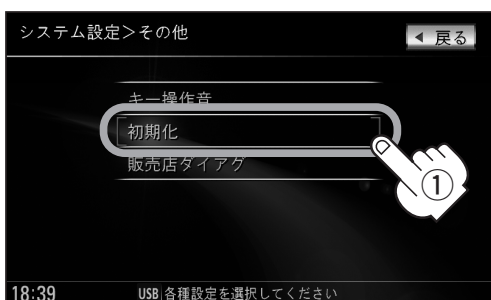


：パネルおよびタッチパネル操作時の“ピッ”という音を設定します。

※操作音を出さない設定にする場合は上記手順②のとき **キー操作音OFF** ボタンをタッチしてください。

■ SDカードの初期化をする場合

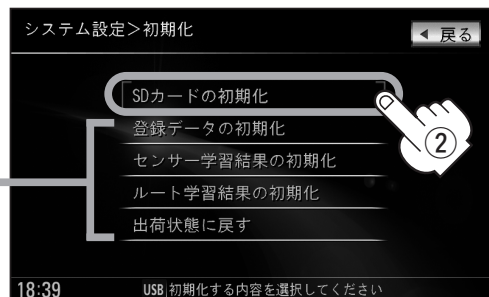
① 初期化 ボタンをタッチする。



：初期化設定画面を表示します。

その他の設定につきましては別冊の
取扱説明書 ナビゲーション編
275、276ページを参照してくだ
さい。

② SDカードの初期化 ボタンをタッチする。



：SDカードを初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、画面にしたがって **はい** ボタンを選択してください。

4

設定を終わるには…

パネルの **AUDIO** ボタンを押す。

：現在選択中のモードの再生画面に戻ります。



アドバイス

- システム設定画面について

カメラ設定 ボタンは別売のフロントカメラ／コーナークメラ接続時に表示されます。

- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。手順②ですでに設定を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。



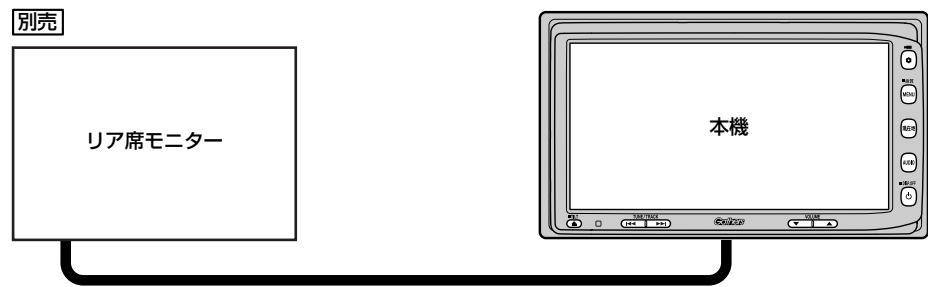
お願い

- 初期化中は他の操作（モードを切り替えたり車のエンジンスイッチをO(OFF)にしたり I (ACC)の状態から II (ON)にしてエンジンを始動したり電源を切ったり)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で“はい”を選択すると、お客様の画像データ／音楽データは消去され、二度と復帰しません。
※すでにデータが書き込まれている“SDカード”メディアを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。
誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
(SDカード内全てのデータが消去されます。)

リア席モニターについて(別売)

別売のリア席モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”*などの使い方ができます。

*：DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。



※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ナビゲーション画面とオーディオモードを本機で同時起動した場合のリア席モニターとの表示関係について

本機のモード		本機に 表示される画面	リア席モニターに 表示される画面
ナビ	—	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	Digital TV (iPodビデオ／VTR)	ナビ	Digital TV (iPodビデオ／VTR)
Digital TV (iPodビデオ／VTR)	—	Digital TV (iPodビデオ／VTR)	Digital TV (iPodビデオ／VTR)
DVD	—	DVD	DVD
ナビ	FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB	ナビ	表示されません
FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB	—	FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB	表示されません

※Digital TVを受信している場合、本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。



- オーディオモードを終了(OFF状態)にするとリア席モニター側の表示も消えます。
- リア席モニターでは映像出力のみを行ないます。モード選択や画面の操作を行なうことはできません。操作は本機で行なってください。
- リア席モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- リア席モニターでは右画面AV表示はできません。

初期設定一覧

オーディオ設定

31~52ページ

音場

音場設定=OFF

イコライザ

音質選択=OFF

スピーカー

フロント=LARGE
リア=LARGE

フェード・バランス

各項目の調整値=0

車速連動音量=MIDDLE

録音

録音=自動録音
録音音質=高音質モード
録音モード=追っかけ
録音方法=全曲録音

システム設定

356、357ページ

その他

キー操作音=キー操作音1

イメージ変更

30ページ

ライトパープル

画質調整

27~29ページ

明るさ=31 (イルミネーションON時は12)
コントラスト=16 (DVDモード時は22)
色の濃さ=16
色合い=16
ディスプレイ=フル

DVD

186、187、189、190ページ

音声言語=日本語
字幕言語=日本語
メニュー言語=日本語
ダイナミックレンジ圧縮=OFF
モニター設定=ワイド
視聴制限レベル=制限なし

Digital TV

206~237ページ

エリア変更

視聴エリア=東京都
エリア変更=自動

チャンネルリスト

チャンネルリスト=登録済(東京都)
プリセットリスト=未登録

字幕切替=表示設定オフ(なし)

バナー表示(表示切替)=何も表示しない
(223ページ)

システム設定

郵便番号設定=未設定
文字スーパー表示=第1言語
チャンネル表示=サービスch(サービスチャンネル番号を表示)
時計表示=しない
放送自動切替=ワンセグ優先(ワンセグを優先的に受信)
サービス設定=テレビ／データ
中継・系列局サーチ=自動
アンテナ電源=電源入

メッセージ表示について(1)

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンが違います”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとしたとき。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオは、本機では再生できません。	—
“視聴制限により再生できません”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止しているとき。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルに合わせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。	190
“入力されたパスワードが間違っています”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違うとき。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	191
“走行中は映りません”	走行中にDVDを再生またはVTR/iPodビデオ(映像がある場合)/Digital TVを見ようとしたとき。	安全のため停車中のみご覧になることができます。安全な場所に車を停車させてから操作してください。	—
“登録最大件数をオーバーしています” “録音可能曲数を超えました。これ以上録音できません” “録音可能容量を超えました。これ以上録音できません” “フォルダに保存できる画像は200個までです。フォルダまたは画像を再選択してください”	HDDの容量が一杯になったため。	HDD内のデータを削除してから、再度、各操作をしながらしてください。	—
“ディスクを入れてください”	ディスクが入っていないとき。	ディスクを入れてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください”	●本機で再生できないディスクを入れているとき。 ●ディスクが逆にセットされているとき。 ●ディスクに汚れ／異常があるとき。 ●音楽用ディスク以外のディスクがセットされているとき。 ●VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。	●本機で再生できるディスクを入れてください。 ●ディスクを正しくセットしてください。 ●ディスクの汚れを拭きとってください。 ●別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。 ●正しいディスクをセットしてください。 ●書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。	—

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“しばらくおまちください。”	ディスクを読込中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	—
“録音中に電源が落ちたためデータベースの修復を行なっています。時間がかかる場合がありますが、絶対に電源（エンジンスイッチ）を切らないでください。”	録音中に車のエンジンスイッチを0 (OFF) やⅡ (ON) にした可能性があります。	自動でデータベースの修復を行ないますので、メッセージ表示が消えるまでそのままお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源（エンジンスイッチ）を切ってください。復帰しない場合は音楽データの初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	車のエンジンスイッチを一旦0 (OFF) にしてください。 30秒以上待ってからエンジンスイッチをⅠ (ACC) またはⅡ (ON) にしてください。	—
●“録音に失敗しました。” ●“CDを読めませんでした。録音を中止します。”	CDに汚れ、傷があるとき。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	ナビ36
“信号が受信できません。”	放送エリア外にいるとき。	放送エリア外では受信できません。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪いとき。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	アンテナの故障が考えられるとき。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。お買い上げの販売店にお問い合わせください。	239
	車の走行速度が速いとき。	法定速度内でも受信できない場合があります。	—
	パソコンや携帯電話などを使用しているとき。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できないとき。	社団法人 デジタル放送推進協会 (Dpa) で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
“信号を受信できないため、選択できないメニューがあります。”	放送エリア外にいて、 設定 ボタンタッチでデジタルメニュー画面を表示したとき。	放送エリア外では選択できない場合があります。	—

メッセージ表示について(2)

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“このキーにはプリセットが設定されていません。”	設定がされていない エリア ボタン／ プリセット ボタンをタッチしたとき。	チャンネルリスト画面／プリセットリスト画面でプリセットを確認してください。	216、217
“ICカードの交換が必要です。カスタマーセンターへ連絡してください。”	B-CASカード(ICカード)の故障が考えられるとき。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	197
“SDカードのデータが読みとれません。” “デバイスのデータが読み取れません。”	再生中にSDカード／USBメモリデバイスを外したとき。 SDカード／USBメモリデバイスのファイルがこわれている。	オーディオモードを終了(OFF)状態にし、再接続してからSD／USBモードにしてください。 一度デバイスをフォーマットし、曲を入れなおしてください。	—
“デバイスの管理データが読み取れません。対応ソフトと接続し、再度転送してください。”(ウォークマン)	デバイスの管理データファイルがこわれている、または存在しないとき。	一度デバイスをフォーマットし、BeatJamやSonic Stageなどから転送しなおしてください。	—
“このB-CASカードは使用できません。正しいB-CASカードを装着してください。”	B-CASカード(ICカード)の故障が考えられるとき。 ●B-CASカードの挿入方向が間違っているとき。 ●B-CASカードではないカードを挿入している。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。 B-CASカードを正しく挿入してください。	197
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できないとき。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

参考ページの見方

(例) ナビ2→別冊の取扱説明書 ナビゲーション編2ページ目参照／2→本書の2ページ目参照

モ ニ タ ー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。 音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が 暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してくだ さい。	27～ 29
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させて ください。	25
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他の モードに切り替えてください。 (VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づ らい。	車両のライティングスイッチが ONになっている。	画面の明るさはイルミに連動します。 (トンネル内など画面が急に暗くなります。) イルミ連動に設定した場合ライトをON にしていると画面は暗くなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無 線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる 場合があります。液晶画面の近くにこ れらを近づけないでください。	—
DVDやテレビな どの映像色や色 合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、 色合いを調整してください。	27～ 29
映像にはん点や しま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュ ア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してく ださい。	—
ディスプレイに 光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有 効画素がありますが、0.01%以 下の画素欠けや常時点灯するもの が生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご 使用ください。	—
リア席モニター にCDやMusic Rackなど音楽関 連の画面が表示 されない。	音楽関連の画面は表示されませ ん。	故障ではありません。 リア席モニターに表示されるのは映像 関連(DVDやDigital TV、iPodビデオ など)となります。	—

「メッセージ表示について」／「故障かな？と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(2)

共 通

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
低温時(0℃以下)に車のエンジンスイッチをⅡ(ON)にすると、しばらく画面が暗い。	液晶(内部照明装置(バックライト))の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままお待ちください。 本体の温度が上がると元に戻ります。	—
エンジンスイッチをⅡ(ON)にした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。	—
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	VOLUME ボタン(▲／▼)で調整してください。	26
	バランス・フェードが片方に寄っている。	バランス・フェードを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。	40、 41
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している。	●本機の使用をあやまった ●ノイズの影響を受けた ●修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスプレイが閉じない。	ディスク排出処理中。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイ部は閉じません。	—
	SDカードが奥まで差し込まれていない。	奥まで差し込んでください。奥まで差し込まないとディスプレイ部は閉じません。	—
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、傷、指紋がついていたり、ラベルが貼ってある。	ディスクが出なくなった場合はお買い上げの販売店にご相談ください。取り出したディスクは汚れ、指紋をふきとってください。また、キズやラベルのついていないディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	ナビ 36

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本機を長時間使用していた。 ディスクを長時間使用していたり、何枚もリッピングしていた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

故障かな？と思ったら(3)

CD、MP3／WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CD、MP3／WMAモードに切り替わらない。	CD、MP3／WMAのディスクが挿入されていない。	CD、MP3／WMAのディスクを挿入してください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音がとんだり音質が悪い。	ディスクの不良。	他のCD、MP3／WMAのディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れをふきとるなど)をしてみてください。 また、キズのあるディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまう恐れがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-R／RWの特性は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないと言切れや音とびをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
CD、MP3／WMAのディスクが入らない。	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにディスクが入っていて2枚目をいれようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のCD、MP3／WMAのディスクを入れてください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズ処理されていない。	ディスクをファイナライズ処理をしてください。	—

CD、MP3/WMA

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3/WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。	—
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3/WMAファイルにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)	—
聞きたいMP3/WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3/WMAファイルの再生順序は、CD-R/CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。	—
CDのアーティスト名(タイトル名)などが異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。)	カスタムアップデートをしてタイトル情報を更新してください。	60～62

「故障かな?と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(4)

Music Rack

録音(REC)／更新／初期化／コピー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	46
	MP3／WMAを再生している。	MP3／WMAは録音できません。	—
録音できない。	録音中に車のエンジンスイッチを0(OFF)したりⅡ(ON)にしたりしてエンジンを始動した。	音楽データ修復 ボタンをタッチしてデータベースの修復を行ってください。	54
	ハードディスクの容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済の曲(アルバム)を削除すると新たに録音できます。	53、124、131、132、137～139
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(チェックマーク(✓)を消している。)	チェックマーク(✓)を付けてください。	124、130、132、136
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。 または止まる。	再生管理データが読み取れていません。	録音中のエンジン始動等でデータに異常が発生した可能性がありますので 音楽データ修復 ボタンをタッチしてデータベースの修復を行ってください。	54
	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくおまちください。	—
現在地 ボタンを押しても現在地が表示されない。	画像コピー中。	中止 をタッチしてコピーを止めるか、コピー後に押してください。	—
	Gracenoteデータベース更新中 または音楽データ初期化中。	更新後または初期化後に押してください。	—
AUDIO ボタンを押してもAUDIOソース画面が表示されない。	パソコン接続中。	転送(チェックアウト)やパソコンに戻す(チェックイン)などデータベースを更新している場合は、更新完了後に一旦電源を切って(エンジンスイッチを0(OFF)にし)10秒後に再度電源を入れて(エンジンスイッチをⅡ(ON)にして)ください。	—
メニュー ボタンを押しても何も変わらない。			

Music Rack

BeatJam

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
転送(チェックアウト)できない。	転送(チェックアウト)できる回数を超えている。	転送(チェックアウト)できる回数は音楽配信レーベルにより異なります。 転送(チェックアウト)した音楽ファイルをパソコンに戻す(チェックイン)することで転送(チェックアウト)の残り回数を戻すことができます。 転送(チェックアウト)できる回数はパソコンのBeatJamの画面で確認してください。 ※著作権保護の関係により転送(チェックアウト)できる回数が決まっています。	—
PC接続できない。	本機に別売のUSBコードBと別売のUSBコードAが正しく接続されていない。	別売のUSBコードBと別売のUSBコードAが正しくパソコンに接続されているか確認してください。	19, 70
PC接続 ボタンが有効にならない。(選択できない。)	オーディオモードを終了(OFF)状態にしていない。	オーディオモードを終了(OFF)状態にしてください。	—
	走行中。	停車してください。	—
	本機に別売のUSBコードBと別売のUSBコードAを接続していない。	別売のUSBコードBと別売のUSBコードAを接続してください。	19, 70
データベースの更新が終わらない。	一度に転送する曲が多い。	一度に転送する曲が多い場合、USB接続解除後データベースの更新に時間がかかる場合があります。	—
転送した曲がアルバムリストに載らない。	正規の手順で転送を行っていない。	ATRAC3／ATRAC3plusに変換後、Gracenote音楽認識サービスより曲情報の再取得を行ってから転送してください。	66～73

「故障かな?と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(5)

SD、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
SD、USBの再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USBメモリデバイス未接続。	SDカードを挿入またはUSBメモリデバイスを接続してください。	—
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	256～258、296～298
AACファイルを再生できない。	AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データが混在しているSDカードまたはUSBメモリデバイスを再生しようとした。	AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合、AACファイルは再生できません。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSBメモリデバイスに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたファイルは再生しないでください。	—
ウォークマンでMP3／WMA／AACファイルが再生できない。	ウォークマンで再生できるファイル形式はOMAのみです。	MP3／WMA／AACファイルはUSBフラッシュメモリを使用して再生させてください。	—
		Sonic Stage(ソニー社)／BeatJam(ジャストシステム社)などのアプリケーションを使用してウォークマンに転送してください。	

SD、USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
USBメモリデバイスを認識していない。	対応しないUSBメモリデバイスの可能性があります。	別のUSBメモリデバイスで試してください。	—
		本機で対応しているウォークマンはソニー社製ATRAC AD対応のEシリーズ／Aシリーズ／Sシリーズとなります。	296
SDカードの再生が始まらない。	本機で再生できないSDカードを挿入している。	再生可能なSDカードを挿入してください。	257
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—

故障かな？と思ったら(6)

iPod

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
正常に動作しない。	接続不良。 (iPodと本機を正しく接続していない。)	別売のiPod接続コードまたは別売のUSBコードAとiPodに付属のUSBケーブルを確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合は接続前にiPodをリセットしてください。	19、 274、 275
	使用するコードによって選択するモードボタンが異なります。	正しいモードを選択してください。(別売のiPod接続コードを使用している場合は iPod ボタン、別売のUSBコードAを使用している場合は USB ボタンをタッチしてください。)	
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	273
ビデオ再生ができない。	iPodがビデオ再生に対応していない。	ビデオ再生機能のあるiPodをご使用ください。	273
ビデオが途中で再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム情報をiPod本体がおぼえています。	リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunes*で“再生位置を記録”のチェックをOFFにしてください。	—
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPodビデオ認証中に車のエンジンスイッチをO(OFF)／I (ACC)などにした。	Audioモードを終了し、再度 電源 ボタン (⏻)を押して電源を入れて、iPodを接続しなおしてください。	—
選択できないビデオがある。	アーティスト、アルバムなどのタイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。	—

*：アップル社が開発および配布している動画および音楽の再生・管理ソフト

ラジオ

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	151
“ジージー、ザー ザー” という雑 音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信 状態が良くない。	受信状態が良くなると、音の入りが良 くなり、雑音が少なくなります。受信 できる場所に移動してください。	—
ラジオの入りが 悪い。	エアコンやワイパー動作に連動 したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る 場合があります。電装品の動作を止め ると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機 を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離 してご使用ください。	—

故障かな？と思ったら(7)

ハンズフリー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ビルの谷間などで 音声が入る。	電波がビルなどにより乱反射した り電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してく ださい。	—
鉄道の高架下や高 圧線、信号機、ネ オンサインなどの 近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が、電波 に混入した。		
オーディオの音声 にブーンというノ イズが入る。	電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ●相手の声が聞こ えない。 ●着信音が聞こえ ない。	音量が最小になっている。	着信音量、受話音量を調整してくだ さい。	—
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。 携帯電話の電波状態を確認してくだ さい。	
相手に声が伝わら ない。	音声を消している。(ミュート中)	ミュートを解除してください。	473
通話後、オーディ オの音が聞こえな い。	音を消している。(ミュート中) (OPTION ボタン(●)にミュ ートを設定している場合)	OPTION ボタン(●)を押してミュ ートを解除してください。	ナビ 249、 250
携帯電話側で応答 保留(着信保留)に 対応していないの にもかかわらず、 着信時に応答でき ない。	自動応答保留設定が“する”にな っている。	自動応答保留設定を“しない”に設定 してください。	468
携帯電話と接続で きない。	Bluetoothが携帯電話と通信でき ない状態になっている。	携帯電話の電源を入れ直すか、車のエ ンジンスイッチをⅠ(OFF)→Ⅱ(ON)に してください。	—
	Bluetooth対応携帯電話機を使用 していない。	対応電話機を使用していないと接続で きません。お使いの携帯電話が対応機 種かどうか販売店に確認してください。	—

D V D

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
字幕がでない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。	—
	字幕がオフになっている。	設定を変えてください。	178
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送信中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋をふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまって故障の原因になりますので、使用しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	12、 13
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	18
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	184、 185、 190
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れをふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ 36
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—

「故障かな?と思ったら」

その他

故障かな？と思ったら(8)

D V D

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
“⊙” (禁止マーク) を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。 (ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。) 再生しているディスクを確認してください。	—
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面のみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	184、 185、 190
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	—
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—

D V D

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
DVDメニューが 外国語で表示さ れる。	“メニュー言語” が、外国語に設 定されている。または外国語のみ で収録されている。	“メニュー言語” を日本語に設定すると、 ディスクに日本語が収録されていれば、 DVDメニューが日本語で表示されます。 メニュー言語を確認してください。	172、 173
VRディスクを再 生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクをファイナライズ処理してく ださい。	12、13、 161

故障かな？と思ったら(9)

Digital TV

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
映像がでない。	●B-CASカードを挿入していない。 ●B-CASカードが裏返しになっていたり、挿入方向が間違っている。	B-CASカードを正しく挿入してください。	197
文字スーパーが出ない。	●文字スーパーのある番組を選局していない。 ●文字スーパー表示設定で“表示しない”にしている。 ●受信モードがワンセグである。	文字スーパー表示設定で言語を選択してください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	225
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。 12セグの場合、バナー表示の  のアイコンが明るく表示されます。	222
受信できない。	エリアを変更していない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	206、 207
	放送エリア内にいない。	地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。 ※アンテナ端子やアンテナコードをショートさせた場合や、アンテナの故障等で過電流を検出すると自動的に 電源 切 に設定されます。	アンテナ電源を 電源 入 に設定してください。 ※設定できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	236、 237
映像が止まったりモザイクがかかる。	セグメントを12セグ固定にしている。	受信モード ボタンをタッチし、自動切替に設定しておくとう受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。 ※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があります。その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像がうつらない場合があります。	201

Digital TV

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。	—
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	・ 初期化を行なった ・ 本機の使用を誤った ・ 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

エリア番号と放送局一覧

地上デジタルテレビ放送(Digital TV)の、放送局とプリセット登録されるチャンネルの組み合わせは、以下のようになります。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログテレビ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

■ 表のみかた

徳島		お住まいの地域
		エリア番号
		(プリセット登録)
①	四国放送	放送局名
2	NHK教育・徳島	
3	NHK総合・徳島	

※放送局名は放送局側の都合により変更になる場合があります。

(2009年2月現在)

お住まいの地域	北海道(札幌)	北海道(函館)	北海道(旭川)	北海道(帯広)	北海道(釧路)	北海道(北見)
放送局名	1 HBC北海道放送	1 HBC北海道放送	1 HBC北海道放送	1 HBC北海道放送	1 HBC北海道放送	1 HBC北海道放送
	2 NHK教育・札幌	2 NHK教育・函館	2 NHK教育・旭川	2 NHK教育・帯広	2 NHK教育・釧路	2 NHK教育・北見
	3 NHK総合・札幌	3 NHK総合・函館	3 NHK総合・旭川	3 NHK総合・帯広	3 NHK総合・釧路	3 NHK総合・北見
	5 STV札幌テレビ	5 STV札幌テレビ	5 STV札幌テレビ	5 STV札幌テレビ	5 STV札幌テレビ	5 STV札幌テレビ
	6 HTB北海道テレビ	6 HTB北海道テレビ	6 HTB北海道テレビ	6 HTB北海道テレビ	6 HTB北海道テレビ	6 HTB北海道テレビ
	7 TVH	7 TVH	7 TVH	7 TVH	7 TVH	7 TVH
	8 UHB	8 UHB	8 UHB	8 UHB	8 UHB	8 UHB

お住まいの地域	北海道(室蘭)	青森	岩手	秋田	山形	宮城
放送局名	1 HBC北海道放送	1 RAB青森放送	1 NHK総合・盛岡	1 NHK総合・秋田	1 NHK総合・山形	1 TBCテレビ
	2 NHK教育・室蘭	2 NHK教育・青森	2 TBCテレビ	2 NHK教育・秋田	2 NHK教育・山形	2 NHK教育・仙台
	3 NHK総合・室蘭	3 NHK総合・青森	2 NHK教育・盛岡	4 ABS秋田放送	4 YBC山形放送	3 NHK総合・仙台
	5 STV札幌テレビ	5 青森朝日放送	4 テレビ岩手	5 AAB秋田朝日放送	5 YTS山形テレビ	4 ミヤギテレビ
	6 HTB北海道テレビ	6 ATV青森テレビ	4 ミヤギテレビ	8 AKT秋田テレビ	6 テレビユー山形	5 KHB東日本放送
	7 TVH	6 HTB北海道テレビ	5 岩手朝日テレビ		8 さくらんぼテレビ	8 仙台放送
	8 UHB	8 UHB	5 KHB東日本放送			
			6 IBCテレビ			

お住まいの地域	福島	栃木	群馬	埼玉	茨城	千葉
放送局名	1 NHK総合・福島	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・水戸	1 NHK総合・東京
	1 TBCテレビ	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京
	2 NHK教育・福島	3 とちぎテレビ	3 群馬テレビ	3 テレ玉	3 チバテレビ	3 チバテレビ
	4 福島中央テレビ	4 日本テレビ	3 テレ玉	3 群馬テレビ	4 日本テレビ	3 tvk
	4 ミヤギテレビ	5 テレビ朝日	4 日本テレビ	3 チバテレビ	5 テレビ朝日	3 テレ玉
	5 KFB福島放送	6 TBS	5 テレビ朝日	4 日本テレビ	6 TBS	4 日本テレビ
	5 KHB東日本放送	7 テレビ東京	6 TBS	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	5 テレビ朝日
	6 テレビユー福島	8 フジテレビジョン	7 テレビ東京	6 TBS	8 フジテレビジョン	6 TBS

お住まいの地域	東京	神奈川	山梨	新潟	富山	石川
放送局名	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・東京	1 NHK総合・甲府	1 NHK総合・新潟	1 KNB北日本放送	1 NHK総合・金沢
	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・東京	2 NHK教育・甲府	2 NHK教育・新潟	2 NHK教育・富山	1 KNB北日本放送
	3 tvk	3 tvk	4 YBS山梨放送	4 TeNYテレビ新潟	3 NHK総合・富山	2 NHK教育・金沢
	3 チバテレビ	4 日本テレビ	5 テレビ朝日	5 新潟テレビ21	6 チューリップテレビ	4 テレビ金沢
	3 テレ玉	5 テレビ朝日	6 UTY	6 BSN	6 MRO	5 北陸朝日放送
	4 日本テレビ	6 TBS	6 TBS	8 NST	8 BBT富山テレビ	6 MRO
	5 テレビ朝日	7 テレビ東京	7 テレビ東京		8 石川テレビ	8 石川テレビ
	6 TBS	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン			8 BBT富山テレビ
	7 テレビ東京	9 TOKYO MX				
	8 フジテレビジョン	12 放送大学				
	9 TOKYO MX					
	12 放送大学					

お住まいの地域	長野	福井	岐阜	静岡	愛知	三重
放送局名	1 NHK総合・長野	1 NHK総合・福井	1 東海テレビ	1 NHK総合・静岡	1 東海テレビ	1 東海テレビ
	2 NHK教育・長野	2 NHK教育・福井	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・静岡	2 NHK教育・名古屋	2 NHK教育・名古屋
	4 テレビ信州	6 MRO	3 NHK総合・岐阜	4 静岡第一テレビ	3 NHK総合・名古屋	3 NHK総合・津
	5 abn長野朝日放送	7 FBCテレビ	4 中京テレビ	5 静岡朝日テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ
	6 SBC信越放送	8 福井テレビ	5 CBC	6 SBS	5 CBC	4 MBS毎日放送
	8 NBS長野放送		6 メ〜テレ	8 テレビ静岡	6 メ〜テレ	5 CBC
			7 三重テレビ		7 三重テレビ	6 メ〜テレ
			8 岐阜テレビ		8 岐阜テレビ	6 ABCテレビ
			10 テレビ愛知		10 テレビ愛知	7 三重テレビ
						8 関西テレビ
						10 読売テレビ

お住まいの地域	滋賀	京都	奈良	和歌山	兵庫	大阪
放送局名	1 NHK総合・大津	1 NHK総合・京都	1 NHK総合・奈良	1 NHK総合・和歌山	1 NHK総合・神戸	1 NHK総合・大阪
	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪	2 NHK教育・大阪
	3 BBCびわ湖放送	3 サンテレビ	3 サンテレビ	4 MBS毎日放送	3 サンテレビ	3 サンテレビ
	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	5 テレビ和歌山	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	5 KBS京都	5 KBS京都	5 KBS京都	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	5 KBS京都
	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	8 関西テレビ	7 テレビ大阪	6 ABCテレビ
	8 関西テレビ	7 テレビ大阪	7 テレビ大阪	10 読売テレビ	8 関西テレビ	7 テレビ大阪
	10 読売テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ		10 読売テレビ	8 関西テレビ
		10 読売テレビ	9 奈良テレビ			10 読売テレビ
			10 読売テレビ			

お住まいの地域	鳥取	島根	岡山	広島	山口	香川
放送局名	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	1 NHK総合・岡山	1 NHK総合・広島	1 NHK総合・山口	1 NHK総合・高松
	2 NHK教育・鳥取	2 NHK教育・松江	2 NHK教育・岡山	2 NHK教育・広島	1 KBC九州朝日放送	2 NHK教育・高松
	3 NHK総合・鳥取	3 NHK総合・松江	4 RNC西日本テレビ	3 RCCテレビ	2 NHK教育・山口	4 RNC西日本テレビ
	6 BSSテレビ	6 BSSテレビ	5 KSB瀬戸内海放送	4 広島テレビ	3 tysテレビ山口	4 MBS毎日放送
	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	6 RSKテレビ	5 広島ホームテレビ	3 OBS大分放送	5 KSB瀬戸内海放送
			7 テレビせとうち	8 TSS	4 KRY山口放送	6 RSKテレビ
			8 OHKテレビ		4 RKB毎日放送	7 テレビせとうち
					5 yab山口朝日	8 OHKテレビ
					5 FBS福岡放送	10 読売テレビ
					7 TVQ九州放送	
					8 TNCテレビ西日本	

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	大分	佐賀
放送局名	1 NHK総合・松山	1 四国放送	1 NHK総合・高知	1 KBC九州朝日放送	1 NHK総合・大分	1 NHK総合・佐賀
	2 NHK教育・松山	2 NHK教育・徳島	2 NHK教育・高知	2 NHK教育・福岡	1 KBC九州朝日放送	1 KBC九州朝日放送
	4 南海放送	3 NHK総合・徳島	4 高知放送	2 NHK教育・北九州	2 NHK教育・大分	2 NHK教育・佐賀
	4 RNC西日本テレビ	3 サンテレビ	6 テレビ高知	3 NHK総合・福岡	3 OBS大分放送	3 STSサガテレビ
	4 広島テレビ	4 MBS毎日放送	8 さんさんテレビ	3 NHK総合・北九州	4 TOSテレビ大分	3 RKK熊本放送
	5 愛媛朝日	5 テレビ和歌山		3 RKK熊本放送	4 南海放送	3 NBC長崎放送
	5 広島ホームテレビ	6 ABCテレビ		3 STSサガテレビ	4 RKB毎日放送	4 RKB毎日放送
	6 あいテレビ	7 テレビ大阪		4 RKB毎日放送	5 OAB大分朝日放送	5 FBS福岡放送
	7 テレビせとうち	8 関西テレビ		5 FBS福岡放送	5 FBS福岡放送	7 TVQ九州放送
	8 テレビ愛媛	10 読売テレビ		7 TVQ九州放送	7 TVQ九州放送	8 TNCテレビ西日本
	8 TSS			8 TNCテレビ西日本	8 TNCテレビ西日本	8 TKUテレビ熊本
						8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	長崎	宮崎	熊本	鹿児島	沖縄
放送局名	1 NHK総合・長崎	1 NHK総合・宮崎	1 NHK総合・熊本	1 MBC南日本放送	1 NHK総合・那覇
	1 KBC九州朝日放送	1 MBC南日本放送	1 KBC九州朝日放送	2 NHK教育・鹿児島	2 NHK教育・那覇
	2 NHK教育・長崎	2 NHK教育・宮崎	2 NHK教育・熊本	3 NHK総合・鹿児島	3 RBCテレビ
	3 NBC長崎放送	3 UMKテレビ宮崎	3 RKK熊本放送	3 UMKテレビ宮崎	5 QAB琉球朝日放送
	3 RKK熊本放送	5 KKB鹿児島放送	3 STSサガテレビ	4 KYT鹿児島読売TV	8 沖縄テレビ (OTV)
	4 NIB長崎国際テレビ	6 MRT宮崎放送	4 KKTくまもと県民	4 KKTくまもと県民	
	4 RKB毎日放送	8 KTS鹿児島テレビ	4 RKB毎日放送	5 KKB鹿児島放送	
	4 KKTくまもと県民		5 KAB熊本朝日放送	5 KAB熊本朝日放送	
	5 NCC長崎文化放送		7 TVQ九州放送	6 MRT宮崎放送	
	8 KTNテレビ長崎		8 TKUテレビ熊本	8 KTS鹿児島テレビ	
	8 TNCテレビ西日本		8 KTNテレビ長崎		
	8 TKUテレビ熊本				

用語説明(1)

DTS : Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 Channel

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4:3(普通のテレビ)と16:9(ワイドテレビ)の2種類あります。

LB(レターボックス)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4:3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

VTR

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

ID3タグ/WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、ID3タグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

ATRAC3 plus

ATRAC3との互換性を維持しながらさらに圧縮技術を進化させた音声圧縮技術です。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)

セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表す数値のことです。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層にあるディレクトリのことをさします。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(ATRAC3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

用語説明(2)

SHIFT-JIS

現在多くのパソコンなどで日本語を表すために使われている一般的な文字コードです。(JISX0208の漢字コードをもとに作成されています。)

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DRM (デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術で不正利用を防ぎます。本機はWMAのDRMに対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“保護された音楽を録音する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

Joliet (ジュリエット)

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

マストストレージクラス

正式名称はUSBマストストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、再生時には録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行ないます。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

OpenMG (オープンエムジー)

ソニー社によって開発されたデジタルコンテンツの著作権管理・保護・配信技術です。(本機では再生中に  マークが表示されます。)

Gracenoteデータベース

Gracenote®は、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴおよびロゴ標記および“Powered by Gracenote” ロゴはグレースノート社の商標です。

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

チェックアウト

音楽データを本機へ転送することです。著作権保護(SDMI規定)により転送(チェックアウト)の回数が制限されている場合とされていない場合があります。一度転送(チェックアウト)したファイルを元のパソコンに戻す(チェックインする)ことで元に戻り再び別のカーナビに転送(チェックアウト)できます。

チェックイン

本機へ転送した音楽データをパソコンへ戻すことです。転送(チェックアウト)した音楽は著作権保護(SDMI規定)のため転送元(チェックアウト元)のパソコンにしか戻せません。

※別のパソコンに音楽データを転送(チェックアウト)することは出来ません。

アップロード

本機にリッピングした音楽データをパソコンに移動することです。

※移動元の音楽データは削除されます。

ATRAC AD (アトラックエーディー)

ATRAC Audio Device の略です。ソニーによって開発されたウォークマン等で採用されているメディアフォーマットです。Sonic StageやBeat Jamといったアプリケーションから著作権保護された曲などを転送することができます。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



用語説明(3)

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。

受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、送信所からの距離、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。※本機はハイビジョン放送には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

B-CASカード(ICカード)

プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだものです。

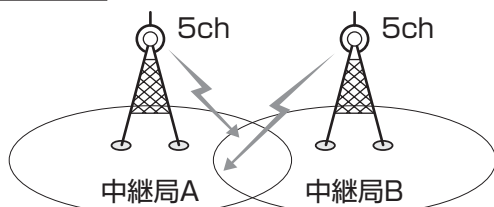
地上デジタルテレビ放送の番組の著作権保護等に利用されていて、地上デジタルテレビ放送を受信するために必要となります。

MFN方式

MFNとはMultiple Frequency Networkの略です。

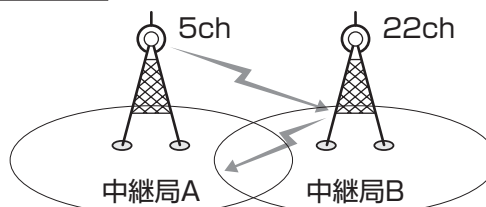
放送中継を用いない(各中継局と周波数を同じにする)SFN方式に対し、MFN方式では放送区域内で中継局の送信チャンネルを複数用いる方法です。

SFN方式



放送波中継を用いないため中継局AとBの周波数を正確にそろえる(伝える)必要があります。

MFN方式



中継局Bでは中継局Aの放送波を受信して別のチャンネルで送信します。

※今までの放送局が受信できなくなった場合でも他のチャンネルにすることにより、同じ放送局の別の中継局を受信することが可能です。

 「**中継局を探す**」 207ページ

カスタマイズ

お客様の好みの使い方にあわせて機能を設定しなおすことです。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。
例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

1125i(1080i)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

525i(480i)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

525p(480p)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないで、チラツキが少なくなります。

750p(720p)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないで、チラツキが少なくなります。

Podcast(ポッドキャスト)

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

SDHC(エスディーエイチシー)

SDアソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で4GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され「class2(2MB/s)」「class4(4MB/s)」「class6(6MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行なって接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

パスキー

Bluetooth接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。Bluetooth機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの英数字(パスキー)を入力する必要があります。

個人情報取り扱い(初期化)について

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護および著作権保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編「データを初期化(消去)する」275、276ページ
※ナビゲーションに関する登録データや走行状況の学習度の初期化、個人情報に関する設定を工場出荷時の状態に戻します。

■ オーディオに関する設定をそれぞれの設定ヶ所で消去する場合

- 本機にアップデートしたGracenote データベースのデータの削除

別冊「 Gracenoteデータベースのデータを初期化するには 」 63ページ手順 **3** で **初期化** を選択決定

- 本機に録音した音楽データの削除

別冊「 音楽データの初期化するには 」 55ページ手順 **3** で **音楽データ初期化** を選択決定

- 本機に設定した地上デジタルテレビ放送に関する情報の削除

・ 12セグ／ワンセグ

別冊「 設定を初期化する 」 244ページ手順 **4** で **メモリ初期化** を選択決定

- SDカードの初期化

別冊「 システムの設定について 」 318、319ページ手順 **3** で **初期化** を選択決定

- 本機にコピーした画像の削除

別冊の取扱説明書 ナビゲーション編

別冊「 画像を見る 」 251ページ手順 **2** の③で **全画像削除** を選択決定

索引(1)

五十音順

え

エリア番号と放送局一覧 ……380、381

お

音量調整 ……26
音声はそのまま画面を消す ……25
音声はそのままナビゲーション画面を
表示する ……24

か

各部の名称とはたらき(表示部含む)

ラジオ(AM/FM) ……146、147
CD ……76、77
Digital TV ……198~203
DVD ……162~164
iPod ……276、277
MP3/WMA ……94、95
Music Rack ……106、107
SD ……259、260
USB ……299~301
画質調整 ……27~29
カスタマイズメニュー ……354
画面イメージ(色合い)変更 ……30

き

曲管理(アルバムリスト編集/
トラックリスト編集) ……124~137

こ

故障かな?と思ったら ……363~379
個人情報の取り扱いについて ……388

さ

再生できるディスク ……12、13

し

システムの設定

キー操作音のON/OFF ……356
SDカードの初期化 ……356、357
ジャケット写真 ……68、69
手動/自動の選択 ……46、47
初期化 ……388
初期設定一覧 ……359

て

テレビ

地上デジタルテレビ放送について ……194
地上デジタルテレビ放送の番組受信について ……195
B-CASカードについて ……196
B-CASカードを入れる/取り出す ……197
B-CASカードに関するお問い合わせ先 ……197

データ管理

ローカルアップデート/カスタム
アップデート ……56~62
(ホームページアドレス) ……45

データベースについて ……14、15
BeatJamについて ……15

は

はじめに ……20、21
ハンズフリー
初期登録設定 ……319~335
電話を受ける ……336~341
電話をかける ……342~349
通話中に地図画面を表示 ……351
ハンズフリーについて ……316~318
発着履歴を削除する ……350

へ

別売品の接続コードについて ……19

め

メッセージ表示 ……360~362

よ

用語説明 ……382~387

ら

ラジオ(交通情報含む) ……145~157

り

リア席モニターについて ……358

【個人情報の取り扱いについて】／【索引】

その他

アルファベット

A

AUDIO設定

- イコライザ設定……………34～37
- カスタマイズメニュー……………354
- 車速連動音量設定……………42、43
- スピーカー設定……………38、39

データ管理

- 音楽データの修復……………54
- 音楽データの初期化……………55
- 使用上のご注意……………65
- BeatJamでできること……………64
- BeatJamを利用する……………64
- HDD情報……………53
- PC接続……………66～73
- フェード・バランス……………40、41
- 臨場感……………31～33
- 録音設定(手動／自動の選択)……………46、47

Gracenoteデータベース

- ローカルアップデート／
カスタムアップデート……………56～62
- データの初期化……………63

AV MENU画面について……………22

- AV SOURCE画面のモードボタンについて……………23

B

B-CASカード……………196、197、240、241

BeatJam

- ノートパソコンへ接続するには……………66～73

C

CDプレーヤーを使う……………76～85

D

Digital TVを使う……………198～250

- アンテナ電源の設定……………236、237
- 映像切替……………220
- エラーコードについて……………250
- エリアスキャン……………209
- 音声切替……………221
- 緊急放送を見る……………249
- 字幕切替……………222
- 再スキャン……………209
- 視聴エリアの変更
(地方／県域の設定)……………206、207
- 自動切替の設定……………230、231
- 受信可能なチャンネルと受信レベルを
確認し、受信する……………238、239
- 初期スキャン……………208
- 設定の初期化……………244
- 選局する……………210～213
- チャンネル表示の設定……………226、227
- 時計表示設定……………228、229
- バナー表示……………198、199
- バナー表示の設定……………223
- プリセットボタンにメモリーを
する……………214、215
- データ放送を利用する……………245～247
- 番組の詳細情報を見る……………219
- 番組表を見る……………218、219
- 放送局からの情報を見る……………242、243
- 文字スーパー切替……………225
- 郵便番号設定……………224
- リレーサービスの番組を見る……………248
- 臨時サービスの番組を見る……………248
- B-CASカードテスト……………240、241
- DVDビデオについて……………18
- DVDプレーヤーについて……………160、161
- DVDプレーヤーを使う……………162～191
- DVDの初期設定について……………184～191

アルファベット

H

HDDの情報53

I

iPodについて272~275

iPodを使う276~293

iPodビデオモードの再生290~293

M

MP3/WMAについて88~93

MP3/WMAプレーヤーを使う94~103

Music Rack

Music Rackについて48、49

Music Rackを使う106~143

録音方法の手動/自動を選択する...46、47

録音方法/録音音質50~52

Q

Quickメニュー(カスタマイズ機能)354

S

SDカード/USBメモリデバイス

について16、17

SDカードの音楽再生について256~258

SDカードを使う259~269

U

USBメモリデバイスの音楽再生に

ついて296~298

USBメモリデバイスを使う299~313

V

VTR機能を使う252、253

- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間：9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く)

販売元 株式会社 ホンダ アクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号
製造元 三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
〒680-8634 鳥取県鳥取市立川町7丁目101番地